

CICS Transaction Server for z/OS



CICS コード

バージョン 5 リリース 5

CICS Transaction Server for z/OS



CICS コード

バージョン 5 リリース 5

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 281 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
CICS Codes
Version 5 Release 5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1977, 2018.

目次

この PDF について v

第 1 章 トランザクション異常終了コード 1

| | |
|------------------------|-----|
| AAxx 異常終了コード | 2 |
| ABxx 異常終了コード | 16 |
| ACxx 異常終了コード | 35 |
| ADxx 異常終了コード | 65 |
| AExx 異常終了コード | 84 |
| AFxx 異常終了コード | 113 |
| AGxx 異常終了コード | 123 |
| AIxx 異常終了コード | 123 |
| AJxx 異常終了コード | 143 |
| AKxx 異常終了コード | 146 |
| ALxx 異常終了コード | 152 |
| AMxx 異常終了コード | 156 |
| ANxx 異常終了コード | 160 |
| AOxx 異常終了コード | 161 |
| APxx 異常終了コード | 162 |
| ARxx 異常終了コード | 180 |
| ASxx 異常終了コード | 188 |
| ATxx 異常終了コード | 202 |
| AUxx 異常終了コード | 219 |
| AWxx 異常終了コード | 219 |
| AXxx 異常終了コード | 227 |
| AZxx 異常終了コード | 238 |

第 2 章 システム異常終了コードとダンプ・コード 263

| | |
|---|-----|
| CICS システム・ダンプ・コード | 263 |
| DHxx (IMS) 異常終了コード | 264 |
| 01xx (変換プログラム) 異常終了コード | 265 |
| 02xx (DFHPD720) 異常終了コード | 265 |
| 03xx (DFHCSDUP) 異常終了コード | 266 |
| 04xx (外部 CICS インターフェース) 異常終了コード | 269 |
| 4xxx LE/370 異常終了コード | 273 |
| CICSplex SM 異常終了コードおよびダンプ・コード | 274 |
| CICS 異常終了コードとダンプ・コード | 274 |
| Uxxxx 異常終了コード | 277 |
| システム・ダンプ・コード | 278 |
| CICSplex SM 異常終了コードおよびダンプ・コード | 279 |
| CICS 異常終了コードとダンプ・コード | 279 |
| Uxxxx 異常終了コード | 280 |
| システム・ダンプ・コード | 280 |

特記事項 281

索引 287

この PDF について

この PDF は、CICS トランザクション異常終了コードおよびシステム異常終了コードのリファレンスです。CICS TS V5.4 より前では、この情報は、「CICS メッセージおよびコード、第 1 巻」という PDF に含まれていました。

本書で使用される用語および表記について詳しくは、IBM Knowledge Center の CICS 資料で使用されている表記規則および用語を参照してください。

この PDF の日付

この PDF は、2018 年 12 月 14 日に作成されました。

第 1 章 トランザクション異常終了コード

異常条件が発生した場合、CICS® はトランザクション ID、プログラム名、および異常終了コードを含むメッセージを、CSMT 一時データ宛先に送信することができます。

例えば、次のようになります。

DFHAC2236: *date time applid* プログラム *program name* 端末 *termid* でトランザクション *tranid* が異常終了 *primary abcode* しました。
バックアウトに成功しました (backout successful)。{ *batchid* = }*batchid*。 *message*

あるいは、アクティブな **EXEC CICS HANDLE ABEND** コマンドを組み込むことによって、アプリケーションが異常終了を代行受信することができます。実際の異常終了コードは、**ABCODE** オプションを指定して **EXEC CICS ASSIGN** コマンドを出して判別することができます。

トランザクション識別コード *tranid* は、通常、CICS に対して定義された 4 文字から成ります。しかし、トランザクションがライト・ペン、オペレーター識別 (OPID) カード読取装置、あるいは 3270 の PA キーまたは PF キー (TASKREQ= オペランドで指定) を使用して開始された場合、CICS は 1 バイトの 3270 アテンション識別 (AID) コードとそれに続く 3 バイトの X'FF' 形式で、内部トランザクション識別コードを作成します。

内部作成されたトランザクション識別コードの代わりにメッセージに実際に表示されるコードは、*xx* になります。ただし、xx は、3270 AID コードを文字変換したものです。あいまいさを避けるため、ユーザーはこれらのコードをトランザクション ID として使用しないようにする必要があります。

次のリストは、キー、ライト・ペン (LPA)、および OPID に対応して表示される AID コードを示しています。

| | | | | | |
|------|------|------|-------|------|------|
| PF1 | *F1* | PF13 | *C1* | LPA | *7E* |
| PF2 | *F2* | PF14 | *C2* | OPID | *E6* |
| PF3 | *F3* | PF15 | *C3®* | PA1 | *6C* |
| PF4 | *F4* | PF16 | *C4* | PA2 | *6E* |
| PF5 | *F5* | PF17 | *C5* | PA3 | *6B* |
| PF6 | *F6* | PF18 | *C6* | | |
| PF7 | *F7* | PF19 | *C7* | | |
| PF8 | *F8* | PF20 | *C8* | | |
| PF9 | *F9* | PF21 | *C9* | | |
| PF10 | *7A* | PF22 | *4A* | | |
| PF11 | *7B* | PF23 | *4B* | | |
| PF12 | *7C* | PF24 | *4C* | | |

異常終了コードは、CICS またはユーザー・プログラムによって生じた可能性のあるエラーの原因を示します。この章で説明している異常終了コードの大部分について、異常終了時に CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

すべての CICS トランザクション異常終了コード *abcode* は、*Axy* のような 4 文字の英数字になります。ただし、

A IBM® が割り当てた CICS トランザクション異常終了の指定です。

xx エラーを検出したモジュールを識別するために、CICS が割り当てた 2 文字のコードです。

y CICS が割り当てた 1 文字の英数字コードです。

情報の形式

トランザクション異常終了コードごとに、次の情報が示されます。

- メッセージが出される原因となった、またはメッセージが出された後のイベントの説明
- CICS によってとられた、またはとられることになる処置 (システム処置)
- ユーザー (コンソールまたは端末のオペレーター) に対して推奨される処置
- メッセージを送信することを決定できる 1 つ以上のモジュール (これらは、メッセージを書き出すマクロを発行できるモジュールとは限りません。)

AAXx 異常終了コード

AACA

説明: 無効なエラー・コードが DFHTFP または DFHACP プログラムに渡されました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHTFP、DFHACP

AAL1

説明: DFHALP が、デッドロックした要求を処理していました。この異常終了の理由として最も考えられるのは、コンテンション勝者のリンクがないため ALLOCATE QUEUE 要求が中断されたことです。

非タイムアウト関連のデッドロック (タスクが取り消された場合など) の場合は AAL1 が出されます。

停止除去およびデッドロック・タイムアウトの場合は AAL8 が出されます。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。ダンプが取られます。

ユーザーの処置: ALLOCATE QUEUE 要求を満たすのに十分なコンテンション勝者セッションがあることを確認してください。

モードグループで稼働している場合は、そのモードグループ内で ALLOCATE 要求を満たすのに十分なコンテ

ンション勝者セッションがあることを確認してください。

モジュール: DFHALP

AAL2

説明: 割り振られたタスクの延期から間違った応答 (PURGED 以外の) が返されたか、またはその再開から間違った応答が返されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 再開または延期からの戻りコードを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHALP

AAL3

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、そのタスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHALP

AAL4

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内で指定されたオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

AAL6

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHALP による SIGNOFF_TERMINAL_USER に対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

AAL7

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHALP によるリモート端末削除のスケジュールのための呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHALP

AAL8

説明: DFHALP が、デッドロックした要求を処理していました。この異常終了の理由として最も考えられるのは、コンテンション勝者のリンクがないため ALLOCATE QUEUE 要求が中断されたことです。

非タイムアウト関連のデッドロックの場合は AAL1 が出されます。

停止除去およびデッドロック・タイムアウトの場合は AAL8 が出されます。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。トランザクション・ダンプ・テーブルが AAL8 に対応するように変更されていないければ、トランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプは取られません。

ユーザーの処置: ALLOCATE QUEUE 要求を満たすのに十分なコンテンション勝者セッションがあることを確認してください。

モードグループで稼働している場合は、そのモードグループ内で ALLOCATE 要求を満たすのに十分なコンテンション勝者セッションがあることを確認してください。

この異常終了が再発しないようにするには、トランザクションのデッドロック・タイムアウト (DTIMEOUT) 値を増やすことが必要な場合があります。

この異常終了に関するトランザクション・ダンプまたはシステム・ダンプが必要である場合は、トランザクション・ダンプ・テーブルに AAL8 を追加してください。

モジュール: DFHALP

AALA

説明: Atomservice マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることで、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMW2

AALB

説明: CICS/MQ 接続マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMMQ

AALC

説明: JVMSERVER リソース・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMSJ

AALM

説明: ログ・マネージャー (LM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内で指定されたオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAMLM

AALN

説明: TD マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMTD

AALO

説明: CICS/DB2 テーブル・マネージャー DFHD2TM に対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMD2

AALP

説明: プログラム・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMPG

AALQ

説明: ビジネス・アプリケーション・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMBA

AALR

説明: 一時ストレージマネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMBA

AALS

説明: グローバル・エンキュー・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMBA

AALT

説明: インターネット ORB 間プロトコル・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMOP

AALU

説明: ソケット・ドメイン・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMSO

AALV

説明: Enterprise Java ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMEJ

AALW

説明: Web ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMWB

AALX

説明: パイプライン・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMPI

AALY

説明: ISC/IP ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMIS

AALZ

説明: 文書ハンドラーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることにより、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMDH

AAM1

説明: トランザクション・クラスのインストール中に、DFHXMCL から予期しない応答が返されました。これは、インストール中に除去されたタスクが原因である可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

エラーが発生した場合は、そのエラーが検出されたときに、CICS は DFHXMnnnn コンソール・メッセージを出し、例外トレース項目を記録してシステム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: タスクが失敗した理由を判別してください。システム・ダンプがある場合は、システム・ダンプとトレース項目およびコンソール・メッセージを使用して、問題を解決してください。システム・ダンプがない場合は、タスクはマスター端末オペレーターによって除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されたかのどちらかです。

モジュール: DFHAMP

AAM2

説明: トランザクション定義のインストール中に、DFHXMxD から予期しない応答が返されました。これは、インストール中に除去されたタスクが原因である可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

エラーが発生した場合は、そのエラーが検出されたときに、CICS は DFHXMnnnn コンソール・メッセージを出し、例外トレース項目を記録してシステム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: タスクが失敗した理由を判別してください。

さい。システム・ダンプがある場合は、システム・ダンプとトレース項目およびコンソール・メッセージを使用して、問題を解決してください。システム・ダンプがない場合は、タスクはマスター端末オペレーターによって除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されたかのどちらかです。

モジュール: DFHAMP

AAM3

説明: ローダー・ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることで、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMLD

AAM4

説明: リソース・ライフサイクル・マネージャーに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、トレース項目、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることで、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMRL

AAMA

説明: DFHAMP に内部論理エラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMC

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHAMP

AAMD

説明: DFHDMP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMF

説明: カーネル (KE) ドメインに対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMH

説明: DFHFCMT に対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMI

説明: DFHFCRL に対する呼び出しの後に、予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

ユーザーの処置:

モジュール: DFHAMP

AAMJ

説明: RDO を使用してファイルをインストールしているときに、そのファイルを使用可能にするために DFHFCFS が呼び出されました。DFHFCFS からリカバリー不能エラーが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

エラーが検出された時点で、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。トレースおよびダンプを調べることで、エラーの発生地点が識別されます。

モジュール: DFHAMP

AAMK

説明: RDO を使用してファイルをインストールしているときに、DFHFCDN が呼び出されました。DFHFCDN からリカバリー不能エラーが返されました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。エラーが検出された時点で、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプをとります。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡し、トレースおよびダンプを調べて、エラーの発生地点を識別してください。

モジュール: DFHAMP

AAMN

説明: DFHPRPT に対する呼び出しから予期しない戻りコードが返されました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMO

説明: DFHTOR (CICS 端末オブジェクト解決プログラム) から無効な戻りコードが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMP

説明: DFHPUP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMQ

説明: RDO を使用して、パートナーをインストールしようとした。しかし、CICS 初期設定時に初期設定できなかったため、パートナー・リソース・マネージャー (PRM) を使用することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: PRM を使用する必要がある場合には、PRM の初期設定を妨げた問題を訂正してから、CICS を再始動してください。

モジュール: DFHAMP

AAMS

説明: ストレージ・マネージャーに対する GETMAIN 要求の後に、予期しない戻りコードが返されました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMT

説明: DFHTMP からの予期しない戻りコードのため、DFHAMP に内部論理エラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAMZ

説明: DFHZCP から予期しない戻りコードを受け取りました。これは内部論理エラーによるものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAMP

AAO2

説明: CPI 通信が、DFHLUC からの予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示して

います (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCBA

AAO3

説明: CPI インターフェースは、CPI 通信が初期設定されないまま CPI 通信機能に対して呼び出しが行われたことを検出しました。これは、CICS 初期設定時に、CPI 通信初期設定が失敗したことを意味しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。このイベントが発生するときには、例外トレース項目も作成されます。

ユーザーの処置: コンソール・リストを調べ、CICS 初期設定時に CPI 通信が初期設定に失敗した理由を判別してください。問題を訂正して、CICS を再始動してください。

コンソール・リストが、CPI 通信が正常に初期設定されたことを示している場合には、問題を解決するためにさらにサポートが必要になります。コンソール・リスト、トレース、およびトランザクション・ダンプを収集してください。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPI

AAO4

説明: DFHZARL、または DFHZARL によって呼び出されたモジュールが、論理エラーを検出しました。このエラーの原因は、モジュールが VTAM から無効なデータまたは標識を受け取ったことによるものと考えられます。

システムの処置: CPI 通信層に戻る前に DFHZARL が DFHZNAC を呼び出して、このセッションを消去し、メッセージを CSNE ログに書き込みます。CPI 通信はトランザクションを異常終了し、CICS トランザクション・ダンプを作成し、さらに例外トレース項目を作成します。

ユーザーの処置: CSNE ログを調べて、エラーのタイプを判別してください。この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR

AAO5

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCPCBA、DFHCPCBI、DFHCPCBS

AAO7

説明: CPI 通信同期点要求ハンドラーに、無効な DFHLUC パラメーター・リストが渡されました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPSRH

AAO8

説明: CPI 通信同期点要求ハンドラーに、無効な会話制御ブロック (CPC) が渡されました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPSRH

AAO9

説明: CEMT トランザクションによってマスター端末オペレーターからタスクが除去されたか、あるいは、トランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後でタスクがタイムアウトになったことによって、タスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHCPCLR

AAOA

説明: アプリケーションが、CICS でサポートされていない CPI verb を出しました。アプリケーション・プログラムで参照された入り口点はリンク・エディット・スタブで解決されましたが、制御権が CICS に渡されたときに、要求された機能を解決することができませんでした。

これには、次の 2 つの異常が考えられます。

- この CICS リリースよりも多くの機能をサポートする CPI スタブを使用して、アプリケーション・プログラムをリンク・エディットした。
- リンク・エディット・スタブが破壊された。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース項目も作成されます。

ユーザーの処置: エラー発生時に、汎用レジスター 0 は、出された CPI 呼び出しの名前と一致する 8 バイトの文字ストリングを指します。トレースまたはダンプを利用して、この文字ストリングが、サポートされている CPI 機能の名前であることを確認してください。

この文字ストリングが明瞭な文字ストリングでない場合には、スタブが破壊されている可能性があります。

モジュール: DFHCPI

AAOB

説明: アプリケーションが、9 個以上のパラメーターを指定する CPI verb を出しました。

システムの処置: このトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成され、例外トレース項目も作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、CPI 呼び出しで正しい数のパラメーターが指定されるようにします。

モジュール: DFHCPI

AAOC

説明: CPI 通信が、呼び出しに無効な数のパラメーターで呼び出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了で作成された例外トレース・ポイントには、間違っ出された CPI 通信 verb 名が入っています。この verb 名を使用して、そのアプリケーション・プログラムがどこでエラーになっているかを判別し、それに従って修正してください。

「共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書」(SC26-4399) で、すべての CPI 通信 verb の詳細、およびそれらを呼び出す方法が説明されています。

モジュール: DFHCPARH

AAOD

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCPCBI

AAOE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCPCBA

AAOF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCPCBS

AAOG

説明: CMACCP (受諾会話) の処理時に、CPI 通信は、サポートされていない同期レベルでアプリケーションがタスク生成されていることを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この条件は、CM_NONE(0) または CM_CONFIRM(1) でない同期レベルでタスク生成されたバックエンドの CPI 通信トランザクションによって引き起こされます。

フロントエンド・トランザクション (つまり、他のシステムでの会話の開始プログラム) を変更して、同期レベルが正しく定義されるようにします。

モジュール: DFHCPCBA

AAOH

説明: CPI コミュニケーション・マップ式会話で送信されたデータのジャーナル処理に失敗しました。この条件は、CICS ログ・マネージャーからのゼロ以外の応

AAOI • AAOK

答によって引き起こされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ジャーナルまたはログ・レコードを正しく書き込めない理由を突き止めてください。ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL が壊されている可能性があります。

問題判別: レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ログ・マネージャー要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー
X'02' - INVREQ - 無効な要求
X'03' - STATERR - ステータス・エラー
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

TIOA のアドレスはレジスター 8 に入っており、そのデータ長は TIOATDL に入っています。

分析:

レジスター ラベル 説明

R4=@JCA TCZARQPJ JCAJCRC は非ゼロです。

モジュール: DFHPCPOJ

AAOI

説明: CPI 通信マップ式会話で受け取ったデータのジャーナル処理に失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この条件は、ログ・マネージャーからの無効な応答によって引き起こされます。ダンプを使用して、ジャーナルまたはログ・レコードを正しく書き込めない理由を突き止めてください。ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL が壊されている可能性があります。

問題判別: レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。CICS ログ・マネージャー要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー
X'02' - INVREQ - 無効な要求
X'03' - STATERR - ステータス・エラー
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー
X'07' - IOERROR - I/O error

TIOA のアドレスはレジスター 8 に入っており、そのデータ長は TIOATDL に入っています。

分析:

レジスター ラベル 説明

R4=@JCA TCZARQPJ JCAJCRC は非ゼロです。

モジュール: DFHCPCRI、DFHPCRWW

AAOJ

説明: CPI 通信が、その内部ルーチンの 1 つから予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメーターです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

AAOK

説明: CPI 通信が、その内部ルーチンの 1 つに対する予期しない呼び出しを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが

必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

AAOL

説明: CPI 通信が、DFHLUC に対して無効な呼び出しを行いました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR

AAOM

説明: CPI 通信および DFHZUSR 状態マシンの同期がとれていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメーターです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR、DFHCPSRH

AAON

説明: CPI 通信が、DFHLUC からの予期しない応答を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています。例えば、呼び出されたモジュールおよびそのパラメータ

ーです。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCLR、DFHCPCLC

AAOO

説明: CPI 通信が、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPARH

AAOP

説明: CPI 通信状態マシンは、「不可能な」状態とみなされる状態遷移要求の実行を要求されました。(「共通プログラミング・インターフェース・コミュニケーション (CPI-C) 解説書」(SC26-4399) に、該当する状態がすべて記載されています。)

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

- CPC (会話制御ブロック) が上書きされ、会話状態が変更された。または、
- CPI 通信状態マシンにエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

トランザクション・ダンプは、CPC を示します。この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPCPFS

AAOQ

説明: CPI 通信によって生成された戻りコードには、現行の CPI 通信 verb に対する状態テーブル内の項目がありません。このエラーは、CPI 通信状態マシンによって検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPCPFS

AAOR

説明: CPI 通信は、CPC (会話制御ブロック) 内に無効な値を検出しました。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

•

CPC (会話制御ブロック) が上書きされた。または、

•

CPI 通信に有効な値を拒否させるエラーが CPI 通信にある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

モジュール: DFHCPIC

AAOS

説明: CPI 通信は、RESET が起こってはならない状況で会話状態が RESET されたことを検出しました。つまり、会話制御ブロック (CPC) が削除されようとしています。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

•

CPC (会話制御ブロック) が上書きされた。または、

•

CPI 通信にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

AAOT

説明: 特定の会話に対して CPC (会話制御ブロック) を介してチェーニングしているときに、そのチェーンが壊れたことを CPI 通信が検出しました。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

1.

CPC チェーンが上書きされた。または、

2.

CPI 通信チェーニング機構にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 上記のどちらの原因によりエラーが発生したかを判別してください。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPCPBI

AAOU

説明: 初期設定会話要求を処理しているときに、CPI 通信は、TP_name または partner_LU_name にエラーを検出しました。TP_name または partner_LU_name は、パートナー・リソース・テーブル (PRT) 内の sym_dest_name を調べることによって入手できます。

このエラーには、2 つの原因が考えられます。

1.

PRT 内の項目に無効なデータが入っている。または、

2.

PRT からのデータを戻し、それを解釈する機構にエラーがある。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPGBI

AAOV

説明: CPI 通信が、その内部状態テーブルが破壊されていることを検出しました。

このエラーは、CPI 通信状態マシンによって検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPGFS

AAOW

説明: CPI 通信が、DFHCPCLC の内部論理エラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが

必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCLC

AAOX

説明: CPI 通信は、同期レベル 0 または 1 の会話に設定されている誤った同期点戻りコードを検出しました。誤った戻りコードは、同期レベル 2 の会話でのみ予期されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) を示します。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIC

AAOY

説明: CPI 通信が、マップ式会話上で受け取っていた GDS レコード内に無効な LL フィールドを検出しました。

リモート・システムが無効なレコードを送っていたことも考えられますが、受信論理におけるエラーである可能性の方が大きいと思われます。DFHZARRC (低い方のレベルの受信モジュール) もこれらの LL を CPI 通信に渡す前に調べるからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS トレース、およびできれば VTAM トレースを使用して、両方のシステム相互間で送られたデータを判別してください。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPCRB

AAOZ

説明: CPI 通信は、マップ式会話上で受け取っていた GDS レコード内に無効な ID フィールドを検出しました。この異常終了を伴う例外トレース・ポイントは、データ 3 に ID フィールドを与えます。これらの有効な ID は、アプリケーション・データの場合には '12FF'X で、空のデータの場合には '12F1'X です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS トレース、およびできれば VTAM トレースを使用して、両方のシステム相互間で送られたデータを判別してください。

トランザクションの「CP」に関するレベル 2 の CICS トレースは、このエラー以前のイベントの経緯を示しています (例えば、呼び出されたモジュールおよびこれらのパラメーター)。レベル 2 トレースは、エラー自体の詳細も提供します。

この問題を完全に解決するには、IBM のサポートが必要な場合があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

ABxx 異常終了コード

ABAC

説明: アクティビティーが³ (ENDACTIVITY オプションを指定せずに) EXEC CICS RETURN コマンドを実行しましたが、活動化中にイベントが処理されませんでした。アクティビティーは RUN コマンドで実行されました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: アクティビティーでイベントが処理されなかった原因を調べてください。

モジュール: DFHBASP

ABAD

説明: 保留中のアクティビティー完了イベントがある状態で、アクティビティーが EXEC CICS RETURN ENDACTIVITY を発行しました。アクティビティーは RUN コマンドで実行されました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

モジュール: DFHCPCRB

AASA

説明: 子タスクの初期設定中に、ユーザー (US) ドメインへの呼び出しから予期しない EXCEPTION 応答を受け取りました。

この呼び出しは、端末なしで開始されたトランザクションの初期設定中に、トランザクションとその特定のユーザーとを関連付ける処理の一部として出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が CICS ジョブに対して出したメッセージを調べてください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要なことがあります。

トランザクション・ダンプを調べて、外部セキュリティ・マネージャーが、ユーザーが正しく定義されていないことを CICS に知らせた理由を判別する必要がある場合もあります。

モジュール: DFHASXM

ユーザーの処置: アクティビティーに保留中のアクティビティー完了イベントがあった原因を調べてください。

モジュール: DFHBASP

ABAE

説明: アクティビティーが³ (ENDACTIVITY オプションを指定せずに) EXEC CICS RETURN コマンドを実行しましたが、活動化中にイベントが処理されませんでした。アクティビティーは LINK コマンドで実行されました。

システムの処置: LINK を発行したタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: アクティビティーでイベントが処理されなかった原因を調べてください。

モジュール: DFHEIBAM

ABAF

説明: 保留中のアクティビティー完了イベントがある状態で、アクティビティーが EXEC CICS RETURN ENDACTIVITY を発行しました。アクティビティーは LINK コマンドで実行されました。

システムの処置: LINK を発行したタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: アクティビティーに保留中のアクティビティー完了イベントがあった原因を調べてください。

モジュール: DFHEIBAM

ABLA

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール:

DFHMCPE、DFHMCPE、DFHM32、DFHPBP、DFHRLR

ABLB

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初にエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール:

DFHMCPE、DFHMCPE、DFHM32、DFHPBP、DFHRLR

ABM0

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) 要求のために指定されたマップが見つかりませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: マップが定義されているかどうかを調べます。定義されている場合には、それが正しく指定されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHMCPE、DFHMCX、DFHMCY

ABM1

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) サービスが、BMS によってサポートされていない端末と関連したタスクによって要求されました。この要求は、経路指定要求ではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS サービスを使用しているアプリケーションには、BMS でサポートされない端末を使用しないでください。

端末のタイプと型式番号を調べます。その端末が、BMS サポート端末でないことを確認してください。

BMS サポート端末のリストは、「CICS アプリケーションの開発」にあります。端末のリソース定義が物理端末を正確に記述していることを確認してください。

問題判別: 異常終了が起こった時点で、レジスター 11 は TCTTE を指し、TCTTETE およびレジスター 6 は、TCTTE 拡張の TCTTETE を指しています。

関係のあるフィールドは、次のとおりです。

TCTTEDDS 装置依存接尾部

TCTTEMSS マップ・セット接尾部

分析: DFHRLR は、TCTTE 拡張部分にある装置依存接尾部とマップ・セット接尾部をテストします。この両方がゼロであった場合には、その端末は BMS によってサポートされておらず、DFHRLR はそのタスクを異常終了コード ABM1 で異常終了させます。

レジスター ラベル 説明

| | | |
|----------|----------|---|
| R4= | RLRSFXCK | TCTEDDS=X'00' および TCTEMSS=X'00'. |
| @TCTTETE | | The device dependent suffix マップ・セット接尾部は、 |

サブルーチン RLRSUFXS に
よってレジスター 3 の最後の
2 バイトにロードされます。

モジュール: DFHRLR

ABM2

説明: ユーザー・データが、この BMS 要求に提供されて
いません。つまり、ユーザー・データ域のアドレス
が、TCTTEDA でも TCAMSIOA でも見つかりません
でした。

BMS マクロ・レベル出力要求が出される場合、ユーザ
ーは、そのマクロを出す前に、BMS に渡すデータのアド
レスを TCTTEDA または TCAMSIOA の中に入れて
おかねばなりません。どちらに入れるかは、次の
基準によって決まります。

- データが端末向けのタスクによって TIOA 内に渡さ
れる場合、この TIOA のアドレスは TCTTEDA に
入れるか、また、TCAMSIOA に入れると同時に
TCTTEDA に 2 進ゼロを設定することができる。
- データが端末向けのタスクによって渡されているが、
TIOA 内に渡されない場合、このデータの TIOA に
似た区域のアドレスは、TCAMSIOA に入れて、
TCTTEDA に 2 進ゼロを設定する必要がある。
- データが端末向けでないタスクによって渡されている
場合、このデータの TIOA に似た区域のアドレスは
TCAMSIOA に入れる必要がある。このタスクに関
連付けられている TCTTE がないため、TCTTEDA
を参照することはできません。

タスクが TCTTEDA と TCAMSIOA の両方からアドレ
スを渡そうとしている場合には、TCTTEDA 内のアドレ
スが選択されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: プログラマーは、データのアドレスを
TCTTEDA または TCAMSIOA のいずれか該当する方
に入れる必要があります。

まず、アプリケーション・リストと、TCTTEDA または
TCAMSIOA、あるいはその両方の内容を調べ、ユーザ
ー・データのアドレスがユーザーによって TCTTEDA
または TCAMSIOA に実際にロードされているかどう
かを調べます。

次に、OSPPWA 要求バイト (OSPTR1 から 8) を参照す
るか、またはトレース・テーブル内の最後の BMS 項目
をデコードすることにより、BMS 要求が CICS によっ

て正しくデコードされているかどうかを調べます。
OSPIND01 を見て、PAGEBLD または TEXTBLD が正
しくデコードされているかどうか調べ、また、TCAFCI
ビット 7 を見て、端末向けのタスクであるか端末向け
でないタスクであるかを識別します。

異常終了が起きた時点で、レジスター 1 に最後にロー
ドされたユーザー・データ・アドレスが入れられ、レジ
スター 4 に OSPTIOA のアドレスがヌル・データのアド
レスとして入れられます。

CICS エラーの疑いがあった場合には、最初にサブルー
チン MCPFTIOA に注意を向けます。これは、データ取
り出し論理を示すコードの単純な部分だからです。
ABM2 条件は、DFHBMS 要求の CICS によるデコー
ドの初期段階でトラップされるため、モジュール
DFHMCP だけが組み入れられます。

| ケース/レジスター | ラベル | 説明 |
|------------|----------|---|
| R9=@OSPPWA | MCPMAP | OSPTR4 は TYPE=MAP で OSPTRM (X'04') ビット・セットです。 |
| R9=@OSPPWA | MCPPGBLD | OSPTR5 には OSPTRB (X'80') ビット・セットがあり、 BMS は OSPIND01 の OSPLMPB (X'08') ビット を TYPE=PAGEBLD に セットします。 OSPTR4 は DATA=NO, ONLY, または YES それぞれに対応し、 X'40', X'80', または X'C0' ですので X'80' または X'C0' である ことが必須です。 |
| R9=@OSPPWA | MCPTXBLD | OSPTR7 には OSPTRX (X'80') ビット・セットがあり、 BMS は OSPIND01 の OSPLMTB (X'04') ビット を TYPE=PAGEBLD に セットします。 OSPTR4 は DATA=NO, ONLY, または YES それぞれに対応し、 X'40', X'80', または X'C0' ですので X'80' または X'C0' である ことが必須です。 |
| R9=@OSPPWA | MCPMAPNG | OSPTR3 は OSPTSN (X'01'), OSPTSA (X'02'), または OSPTMN (X'04') ビット・セットで、 OSPTR4 はマッピングに OSPTMA (X'10') ビット・ セットです。 OSPTR4 は DATA=NO, ONLY, または YES それぞれに |

| | | |
|----------------|----------|--|
| | | 対応して X'40', X'80', または X'C0'ですので X'80' または X'C0' であることが必須です。 |
| A11 R12=@TCA | MCPFTIOA | TCAFCI はタスクが端末指向の場合 TCAFCITRM (X'01') ビット・セットです。 |
| A11 R11=@TCTTE | MCPFTIOA | TCTTEDA は、ユーザー・データ域 TIOA を指すことができましたが TIOA を使用しませんので異常終了の原因となります。 |
| A11 R12=@TCA | MCPFTIOA | TCAMSIOA はユーザー・データ域 (TIOA またはその他) を指すことができましたが異常終了の原因となります。 |
| A11 R9=@OSPPWA | MCPNTOTM | OSPTIOA には、すでに見つけられたユーザー域のアドレスがあるため、ゼロです。OSPSIOA は BMS によってデータをさがされているセカンド・ドライ・データ域として OSPIOA (TCAMSIOA から複写) を指します。 OSPPIA (TCAMSIOA) もゼロであり、異常終了の原因となります。 |

モジュール: DFHMCP

ABM3

説明: BMS の入力要求または出力要求が、端末向けないタスクから出されました。

システムの処置: タスクは CICS ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: BMS 入力または出力要求を出すタスクは、端末に対して生成されていなければなりません。

モジュール: DFHMCP

ABM4

説明: BMS が出した一時ストレージ PUT または PUTQ 要求に対して、無効な要求応答が受け取られました。一時ストレージ・プログラムへ渡されたデータが無効な長さになっています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

異常終了が DFHMCP か DFHTPP のいずれで起こったのかを、トレース・テーブルから判断します。

該当する区域の長さを調べます。

MCR の長さが無効であった場合には、次の理由が考えられます。

- BMS ROUTE 要求の TITLE オプションに指定されている表題レコードの形式が無効。つまり、そのレコードがハーフワードの長さフィールドで始まっていないか、または 64 文字を超えています。
- メッセージが、予定されたよりも多くの端末へ経路指定されている。OSPTTCNT が非常に大きく、例えば、ROUTE 要求に LIST=ALL が指定され、TCT に多数の端末があった場合です。

ページ・バッファの長さが大きすぎる場合、予定よりも多くのデータがページに組み入れられていることが考えられます。ページ・バッファの長さが、その前のストレージ・アカウンティングに示されるストレージの長さよりも大きい場合には、ページまたはテキストの作成中にエラーが起きており、ページ・バッファは、割り振られた区域を超えて拡張していることにもなります(つまり、記憶保護違反です)。

問題判別: DFHMCP における異常終了 (分析を参照)

OSPPWA (出力サービス作業域) はユーザー・ストレージにあって、トランザクション・ダンプに印刷されます。そのアドレスは、異常終了が起きた時点のレジスター 9 によって示されます。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

OSPTITLE
OSPTTCNT
OSPPLTI
OSPTOTPG

メッセージ制御レコード (MCR) は、BMS によって入手されたユーザー・ストレージの中の 1 区域です。そのアドレスは、異常終了が起きた時点のレジスター 8 によって示されます。最初の 8 バイトには、ストレージ・アカウンティング情報が入っています。MCRLBBB には、DFHTPP 内の MCR (ハーフワード) 異常終了の長さが入っています。

ページ・バッファのアドレスは、異常終了が起きた時点のレジスター 7 によって示されます。このページ・バッファの最初の 8 バイトには、ストレージ・アカウンティング・フィールドが入っており、オフセット 8 (TSIOAVRL) には、ハーフワードの長さが入っています。

いずれの場合にも、一時ストレージ使用マップ (DFHTSMAP) は、CSATSATA からアドレッシングされます。 TSMAPCOM には、一時ストレージ・データ・セット上の制御インターバルで使用するこのできるバイト数が入っています。

分析：異常終了の前に出されていた一時ストレージ要求が DFHTS PUT であった場合には、DFHMCP で異常終了が起きています。 異常終了の前に出されていた一時ストレージ要求が DFHTS PUTQ であった場合には、DFHTPP で異常終了が起こっています。 DFHMCP で異常終了が起こった場合、DFHMCP は、メッセージ制御レコードを一時ストレージに入れようと試みています。 MCR (MCRLBB) の長さを調べてください。 その長さが負の値になっていることがあります。

MCR の長さは、ラベル MCPNODDS に続くコードを使用して、次のように計算されます。

$$28 + 21 * OSPTTCNT + (\text{表題レコードの長さ}) \\ + (\text{ページ /LDC テーブル用のスペース、(該当する場合)})$$

表題レコードのアドレスは OSPTITLE にあり、その長さは最初のハーフワードに入っています。 OSPLT1 がゼロ以外であった場合には、ページ /LDC テーブル用のスペースが必要です。ゼロ以外の値は、メッセージが LDC 装置 (3600、3650、 3767、3770、3790) へ経路指定された場合に限り生じます。 項目の数は OSPTOTPG に入っており、 項目ごとに 2 バイトが必要です。

DFHTPP で異常終了が起こった場合、BMS は、一時ストレージ・キューへのページの追加を試みており、ページ・バッファが制御インターバルに適合しないことになります。 TSIOAVRL には、ページ・バッファの長さが入っています。

3270 装置へ送られるメッセージの場合、ページ・バッファは、3270 データ・ストリームとそれに続く 4 バイトのページ制御域から構成されます (3270 データ・ストリームは、特に拡張 3270 属性が使用されている場合に、表示画面で使うことができる文字数よりも大きくなる場合があります)。 その他の装置へ送られるメッセージの場合、ページ・バッファは、NL 文字形式に設定されたメッセージとそれに続く 4 バイトのページ制御域から構成されます。 TSIOAVRL の長さは、その前にあるストレージ・アカウンティングの長さよりも短くなければなりません。 短くない場合には、おそらくは前の BMS 要求で、ページを構成しているときにエラーが起こっています。

上記のいずれの場合であっても、出力されている区域の長さが有効と思われる場合には、一時ストレージ・デー

タ・セットのための制御インターバルのサイズを大きくすることが必要となります。

| レジスター | ラベル | 説明 |
|---------------------|---------------------------|------------------------------|
| DFHMCP R8=@MCR | MCPMCRTS | MCR が長すぎるか長さ (\$4) が間違っています。 |
| DFHTPP R7=@pgbuf | TPNOPGL または TPNODDS | ページ・バッファが 大きすぎます |

モジュール: DFHMCP、DFHTPP

ABM5

説明: DFHTS TYPE=PURGE 要求が出されましたが、その REQID が無効でした。この正しくない要求は、基本マッピング・サポート (BMS) によって出されました。

DFHTPR は、メッセージ制御レコード (MCR) 内の端末リストに現行端末のための端末識別名を見つけることができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース・テーブルを調べて、前に出されている PUT/PUTQ TS 要求を見つけます。 PUT/PUTQ の識別名が PURGE の識別名と同じであるかどうかを調べてください。 同じでなかった場合には、それがどのように異なっているのかを突き止めてください。 また、OSPWA が破壊されていないかどうかを調べます。

このエラーは、そのラベル (TPRSNH - 『Should Not Happen』) が示すように、起こることは非常にまれです。 DFHTPS は、このメッセージの宛先となる端末を識別するために MCR をスキャンし、それらの各端末で CSPG(DFHTPR) を開始するための AID を作成しています。 ただし、DFHTPR が MCR を検索したものの、現在の端末識別名を端末のリストの中に見つけることができません。 AID の作成と端末での CSPG のタスク指名の間に、MCR が破壊されたことが考えられます。 トレース・テーブル全体を前にたどり、この端末のための AID を作成した DFHTPS (トランザクション CSPS) のインスタンスを調べてください。 DFHTPS は、端末識別名が有効であることを確認するための TC LOCATE 要求を出すことになり、この識別名をトレース項目内で検出することができます。

問題判別: TS 識別名は、TS 除去要求が出される前に TCATSDI において作成されますが、おそらく、これはダンプがとられる前に上書きされています。 TS 識別名は、DFHTS TYPE=PURGE のトレース・テーブル項目の最後の 8 バイトに入っています。

OSPWA は、レジスター 9 によってアドレッシングされます。

OPSTSID 一時ストレージ識別名 (8 バイト)

レジスター 8 は、MCR を指し示しています。

レジスター 5 は、現在の項目を指し示しています。

レジスター 0 は、テーブルの終わりを指し示しています。

レジスター 9 は、TCTTE を指し示しています。

端末リストは MCRIDLST で始まり、端末識別名は端末項目の先頭にあります。各端末項目は、X'15' バイトの長さです。

分析：DFHMCP は、OSPTSID にある一時ストレージ識別名を使用します。

この端末のための端末識別名を、MCR 内の端末で見つけることができません。

| レジスター | ラベル | 説明 |
|-------------|----------|--|
| R9=@(OSPWA) | MCPCKPGS | コードは一時ストレージコードを TCATSDI にビルドし、異常終了が発生する MCPTSIDE の DERROR 出口を指定して DFHTS TYPE=PURGE マクロを発行します |
| R8=@(MCR) | TPRCKID | 現在の端末の ID がある端末項目をコードが端末リストよりさがし見つからない場合 TPRSNNH にリンクして、異常終了を発生させます。 |

モジュール：DFHMCP、DFHTPR

ABM6

説明：BMS によって内部的にスケジュールされたトランザクション CSPA が、インストールされませんでした。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：トランザクション CSPA (グループ DFHBMS) をインストールしてください。

モジュール：DFHMCP

ABM7

説明：テキスト・データのページを作成するときに使用するように指定されたトレーラーが、そのページよりも長くなっています。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：長すぎるトレーラーの要求を出しているアプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール：DFHPBP

ABM8

説明：BMS テキスト要求が、ゼロまたは作成されているページに対して大きすぎる値を JUSTIFY オプションに指定しました。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：JUSTIFY オプションに大きすぎる値またはゼロを指定したアプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール：DFHPBP

ABM9

説明：テキスト・オーバーフローの処理中に、テキスト・データ・オーバーフロー・ルーチンに再入しました。この条件は、テキストのヘッダー、トレーラー、またはその両方の行の要件が、データが形式設定されているページの容量を超えた場合に起こります。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：ヘッダー、トレーラー、またはその両方に必要な行数を減らすか、端末のページ・サイズを増やします。

モジュール：DFHPBP

ABMA

説明：ユーザーが用意した端末入出力域 (TIOA) のデータの長さが無効になっています。つまり、それがゼロに等しいか、ストレージ・アカウントの長さから 12 を引いた値よりも大きくなっています。

または、アプリケーション・プログラムによって与えられたヘッダーまたはトレーラー域の長さフィールドが無効となっています (それが正の値になっていません)。

システムの処置：トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置：エラーのあるデータ長を与えたプログラムを訂正してください。

TIOA を調べます。上記のいずれかの条件がある場合には、アプリケーション・プログラムを調べてください。コマンド・レベル・インターフェースを使用しているプログラムの場合、CICS は EXEC CICS SEND MAP コマンドまたは EXEC CICS SEND TEXT コマ

ンドの FROM オプション、あるいは EXEC CICS SEND TEXT コマンドまたは EXEC CICS SEND PAGE コマンドの TRAILER または HEADER オプションで渡されたデータ項目の長さを使用して、TIOA を入手します。データ項目の長さがゼロであるかどうかを調べてください。

ヘッダーおよびトレーラー・レコードは、特殊な形式を持っています (「CICS アプリケーション開発のリファレンス」を参照)。最初のハーフワード (長さ) が正の値になっていない場合には、ABMA 異常終了が起こります。長さを調べる場合には、ヘッダー/トレーラー・レコードの残りの部分の妥当性について調べてください。

問題判別: 出力サービス作業域 (OSPWA) は、ユーザー・ストレージの中にあり、トランザクション・ダンプに印刷されます。そのアドレスは、異常終了が起こった時点のレジスター 2 によって示されます。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

- OSPTR7
- OSPHDRA
- OSPTRLA

レジスター 4 または OSPTIOA は、TIOA を指し示しています。TIOA の中で関係のあるフィールドは、次のとおりです。

- TIOATDL
- TIOASAL

分析:

| レジスター | ラベル | 説明 |
|---|----------|---|
| R4=@TIOA | PBCKTDL | TIOATDL はゼロに等しいか TIOASAL-12 の値より大きいです。 |
| R2=@OSPWA R0=トレーラーの長さ R8=@trailer | PBD20080 | R0 (トレーラーの最初のハーフワード) はゼロです。R8=OSPTRLA。OSPTR7 は X'20' ビット・セットです。 |
| R2=@OSPWA R8=@header R0=ヘッダーの長さ | PBDTXHDR | R0 (トレーラーの最初のハーフワード) はゼロです。R8=OSPHDRA。OSPTR7 は X'40' ビット・セットです。 |

モジュール: DFHPBP、DFHMCP

ABMB

説明: カーソル位置が BMS 出力要求に指定されていますが、出力が作成されている 3270 の現行画面サイズを超えています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 正しくないカーソル位置を指定したプログラムを訂正してください。

トレースを使用して、要求を出しているステートメントを識別します。カーソル位置が正しく設定されているかどうかを調べてください。プログラムは代替表示画面サイズ・モードで実行するように設定されているときに、それがデフォルトの表示画面サイズ・モードで実行されている場合もあります。または、使用中の型式と異なる 3270 で実行するように設計されていることも考えられます。プログラムがメッセージ経路指定を行っている場合には、経路リストを調べる必要があります。プログラムが各種の型式の 3270 で実行されるようになっている場合、カーソル位置はその最小の表示画面の範囲内になければなりません。

問題判別: DFHPBP で異常終了が起こった場合:

異常終了が起こった時点のレジスター 2 は OSPWA を示し、レジスター 1 は TTP を指し示します。関係のあるフィールドは、次のとおりです。

- OSPTR3 には X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示す。
- OSPCP には、ユーザーによって指定されたハーフワード・カーソル位置が入っている。
- TTPSCSZ には、比較対象となる表示画面サイズのハーフワード値が入っている。

DFHMCP または DFHMCX で異常終了が起こった場合:

- レジスター 6 は、OSPWA (LIFO ストレージの中の) を指し示している。
- OSPCP には、ユーザーによって指定されたハーフワード・カーソル位置が入っている。
- OSPTR3 には X'10' ビットが設定され、ユーザー指定のカーソル位置を示す。
- OSPSCSZ には、比較対象となる表示画面サイズのハーフワード値が入っている。

分析：

| レジスター | ラベル | 説明 |
|---------------------------|---------|--|
| DFHPBP: において R2=@OSPWA | PBDBADC | OSPTR3 X'10' ビットが 設定され、ユーザー指定の カーソル位置を 示します。 |
| R1=@TTP | | TTPSCSZ ハーフワード表示 画面サイズです。 OSPCP ハーフワード・カーソル 位置です。 |

In DFHKCP または DFHMCX:

| | | |
|-----------|----------|---|
| R6=@OSPWA | MCENEAU2 | OSPTR3 X'10' ビットが 設定され、ユーザー指定の カーソル位置を 示します。 |
| | | OSPCSZ ハーフワード 画面サイズです。 OSPCP ハーフワード・カーソル 位置です。 |

モジュール: DFHPBP、DFHMCX (最小機能 BMS の
場合)、DFHMCX

ABMC

説明: CMSG トランザクションが、送信可能な数を上
回る端末にメッセージを送信しようとしてしました。この値
は、経路指定コマンドに指定したその他のオペランドに
よって決まるため、固定の最大数はありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 経路リストを再定義します。

モジュール: DFHMCX

ABMD

説明: DFHTPR または DFHTPP は DFHDI
TYPE=SEND を出し、「FUNCERR-REQUEST FOR
CHANGE DIRECTION SIALED」または
「NORESP」以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにお問い合わせ
してください。

モジュール: DFHTPP、DFHTPR

ABME

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) 要求の処理中
に、DFHTPR または DFHTPP が無効なデータ・スト
リームを検出したか、DFHWBBMS が無効なフォー
ム・データを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

DFHTPR または DFHTPP から ABEND が出された場
合は、レジスター 7 から異常終了の検出位置が分か
ります。

ユーザーの処置: DFHTPR または DFHTPP から
ABEND が出された場合は、トランザクション・ダンプ
を調べて TIOA に無効なデータがないかを確認してく
ださい。無効なデータがアプリケーション・プログラム
にある場合は、そのプログラムを訂正してください。

DFHWBBMS から ABEND が出された場合は、CICS
トレースで着信フォーム・データの妥当性を確認してく
ださい。

モジュール: DFHTPP、DFHTPR、DFHWBBMS

ABMF

説明: 基本マッピング・サポート (BMS) 送信マップの
長さオプションに指定した値が、「from」域の長さを超
えています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 長さオプションの値を再定義してく
ださい。

モジュール: DFHPBP

ABMG

説明: ユーザーから基本マッピング・サポート (BMS)
サービスが要求されましたが、このサービスはシステム
生成時または初期設定時に指定されていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、
CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求されたサービスを、BMS のシス
テム生成で指定されたオプションと関連させます。

次の手順に従ってください。

1.

異常終了コードを出したトランザクション ID があ
るかどうかにトレース・テーブルをスキャンします。
これが、CSPQ (ページ終結処置) であった場合に
は、ゼロのメッセージ除去遅延が指定されており、
CSPQ へは端末を介して入ったために、モジュール
DFHTPP が異常終了しています。メッセージ除去
遅延は、DFHSIT マクロの PRGDLAY に指定さ
れ、その値は SITPRGD の中で見つけることができ
ます。

2.

最後の BMS 要求 (コード「FA」) について、トレース・テーブルをスキャンします。失敗に終わったモジュールの先頭にあるオプション・バイトを使用して、要求された機能が生成されているかどうかを調べます。例えば、ページングが要求されたが、標準または最小の BMS が SIT に指定されていた場合があります。

3.

BMS 要求が CICS システム生成内の BMS オプションと互換性を持っている場合には、BMS モジュール間の接尾部の指定で何らかの互換性のない処置をとっていることが考えられます。この状況は、DFHSIT マクロで各 BMS モジュールについて個別の接尾部を指定した場合に起こる可能性があります。

以下のモジュールは、標準機能 BMS と全機能 BMS とでは異なります。

DFHMCP
DFHRLR
DFHPBP
DFHTPP

モジュール: DFHMCP、DFHTPPQ

ABMH

説明: BMS マッピング・プログラム DFHMCX または DFHMCY が、出力 TIOA の更新に失敗しました。TIOA の外部にあるストレージの破損が検出されたことが原因です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS SEND コマンドで使用されている BMS マップを特定し、調べます。マップを調べてマップ定義にエラーがないかを確認します (例えば DFHMDX マクロに指定された長さとフィールド内の実際のデータの長さの不整合など)。エラーを特定できない場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHMCX、DFHMCY

ABMI

説明: BMS 入力マッピング要求に対して指定されたマップが、入力マップではありませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 別の入力マップを定義するか、または既存のマップを再定義します。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

ABML

説明: 端末管理位置指定ルーチンは、DFHRLR からの無効なデータを受け取ったため、エラー戻りコードを戻しています。DFHRLR は、LIST=ALL、オペレーター・クラス、またはオペレーター ID を指定した BMS ROUTE 要求が経路リストにあるかどうか、TCT スキャンを試みています。端末管理テーブルが破壊されてしまっている場合もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

端末管理テーブルは、多くの場合実行中に破壊されてしまっています。ダンプ内の TCT 全体をスキャンしてください。(システム・ダンプでは、同じ技法を使用してすべての TCTTE を印刷するので、同じポイントで失敗に終わることになります。)

どの項目が正しくないのかを判別してください。

TCTTE に対して、ダンプの中で認識可能なユーザー・データによる上書きが行われている場合もあります。

アプリケーション・プログラムが TCTTE ポインターを参照しているかどうかを調べます。また、同じポインターからアドレスリングされているユーザー・データがあるかどうかを調べてください。

アセンブラー・プログラムでは、TCTTE 基底レジスターに対して複数の等価値があることも考えられます。

先に実行された何らかのトランザクションによって TCT に上書きが行われていることもあります。その場合に、TCT はその TCTTE に対して上書きの行われた端末に関連した TCT となる可能性があります。

問題判別: レジスター 11 は、探索されている現在の TCTTE を指し示しています。

TCT 接頭部 (DFHTCTFX) は、CSATCTBA から突き止めることができます。

TCT の中の最初の端末項目 (TCTTE) のアドレスは、TCTVTEBA によって示されています。

TCTTETEL は、現在の TCTTE から次の TCTTE までのハーフワード・オフセット長です。

分析: 現行 TCTTE アドレスが、フルワード境界上にないか、TCT の範囲内にないか、あるいは次の TCTTE アドレス (現行アドレスに TCTTETEL を加算すると得られる) が無効です。この検査は、DFHZCX の中の位置指定コード (DFHZLOC) によって行われます。

レジスター ラベル 説明
R11=@TCTTE RLRLOCN Issue DFHTC CTYPE=LOCATE

モジュール: DFHRLR (全機能 BMS の場合)

ABMM

説明: 無効なマップが指定されています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 提供されたダンプを使用して問題を診断します。レジスター 6 には、エラーが認識された時点で実行されていた BMS 命令のアドレスが入っています。

モジュール: DFHPBP

ABMO

説明: BMS 出力マッピング要求に対して指定されたマップが、出力マップではありませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 別の出力マップを定義するか、または、既存のマップを定義し直します。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

ABMQ

説明: 照会トランザクション (CQRY) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末が 3270 または SCSPRINT 装置として CICS に定義されていません。こうした異常終了は、CQRY がコンソールで入力された場合に起こります。また、コンソールが 3270 装置である場合にも、コンソールの外観がキーボードまたは印刷装置の CICS に似ているため、このような異常終了が起こります。CQRY トランザクションにはオペレーター・インターフェースがないため、正常な条件の下では、オペレーターが CQRY を呼び出したり、ユーザー・トランザクションが CQRY トランザクションを START する必要はありません。3270 または SCSPRINT 装置が接続されると、CICS は自動的に CQRY を稼働します。関連する端末の TCTTE のアドレスが、トランザクション・ダンプ内のレジスター 8 に含まれています。レジスター 8 にゼロが含まれている場合は、タスクが端末向けではないことを示しています。

システムの処置: タスクは CICS ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: CQRY に関連した端末が、3270 ファ

ミリーまたは SCSPRINT ファミリーの装置であることを確認してください。

モジュール: DFHQRY

ABMR

説明: ページ検索トランザクション (CSPG) が開始されましたが、このタスクは端末向けではありません。

システムの処置: タスクは CICS ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 端末が CSPG トランザクションと関連していることを確認してください。

モジュール: DFHTPR

ABMT

説明: BMS 要求が出された端末タイプが、その要求に必要な BMS レベルをサポートしていません。入力要求または出力要求の場合は非 3270 タイプの端末、マップ位置指定要求の場合は非ブリッジ機能端末の可能性があります。マップ位置指定要求は、CICS 3270 ブリッジ関連コードから内部的に出されます。

この異常終了は、要求に必要な BMS のレベルを CICS 領域がサポートしていない場合にも出されることがあります。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 端末と CICS 領域が BMS 要求をサポートすることを確認します。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX

ABMU

説明: アプリケーション・プログラムで、領域の境界内にはないアドレスが与えられました。トランザクション・ダンプの汎用レジスター 1 の下位 3 バイトには、誤りのあったアドレスが示されています。レジスター 1 の高位バイトは、アドレス・タイプを次のように示しています。

X'01' - Title address (TCAMSTA)
X'02' - Alternate I/O area address (TCAMSIOA)
X'03' - Map address (TCABMSMA)
X'04' - Header address (TCAMSHDR)
X'05' - Route list address (TCAMSRLA)
X'06' - Trailer address (TCAMSTRL)
X'07' - Map set address (TCAMMSA)
X'08' - TIOA address (TCTTEDA)

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 誤ったアドレスを与えているアプリケ

ABMV • ABNB

ーション・プログラムを訂正します。

モジュール: DFHMCP、DFHEMS

ABMV

説明: DFHRLR が無効な経路リスト項目を検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 経路リストが、ブランクを含む項目内の予約フィールドを持ち、リストを終了させるためのハーフワード X'FFFF' の停止フィールドを備えるように正しく作成されているかどうかを調べます。

モジュール: DFHRLR

ABMX

説明: BMS に渡されたテキスト・ストリングに属性設定オーダーが含まれていましたが、その列は次のいずれかの理由で無効となっていました。

1. 属性設定オーダーが 3 文字未満であった。
2. 属性タイプが無効であった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHPBP

ABMY

説明: BMS が TTP (Terminal Type Parameter) 制御ブロックを作成していますが、BMS が端末に対して選択したページ・サイズがゼロです。これは、デフォルトまたは代替の画面サイズがゼロと定義されていることが原因です。

トランザクション・ダンプでの重要な汎用レジスターの内容は以下のとおりです。

1. レジスター 6 は TCTTE の BMS 拡張を指します。
2. レジスター 10 は TTP (Terminal Type Parameter) 制御ブロックを指します。
3. レジスター 11 は TCTTE を指します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 障害が起きている TCTTE の属性を決定した TERMINAL 定義と TERMTYPE 定義を確認します。

モジュール: DFHRLR

ABMZ

説明: TCTTEDA 内の端末入出力域 (TIOA) のアドレスがゼロでした。

EXEC CICS RECEIVE MAP の結果、BMS 高速パスを使用すると、DFHEMS は必ず TIOA のアドレスで TCTTEDA を初期設定します。その後で、TCTTEDA がゼロであると DFHMCX が判別した場合は、上書きが行われたことになります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TCTTEDA がゼロになっている原因を調べてください。

最後の BMS 要求のトレース・テーブル (コード FA) で障害タスクをスキャンし、BMS 要求が出されて以来、制御権を持っているユーザー・プログラムを判別してください。

モジュール: DFHMCP、DFHMCX、DFHMCY

ABNA

説明: ;i1.DFHTPS 異常終了コード・リモート・システムから受信した経路指定要求に経路リストが指定されていませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTPS

ABNB

説明: タスクの主要機能が正しいタイプの TCTTE になっていないか、タスクに主要機能がありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHTPS が CSPS 以外のトランザクションの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。オペレーターが CSPS を端末から入力していないかどうかを調べます。

モジュール: DFHTTPS

ABNC

説明: 一時ストレージ・キューへのアクセスの試みが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージが正しく生成されるようにしてください。

モジュール: DFHTTPS

ABNE

説明: BMS TYPE=ROUTE または TYPE=STORE 要求の呼び出しから、エラー応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: BMS が正しく生成されているかどうかを調べます。

モジュール: DFHTTPS

ABNF

説明: 送信モードでないトランザクションから、リモート・システムにデータが送信されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTTPS

ABNG

説明: リモート・システムから接続要求を受け取りましたが、その要求の理由を示すデータがありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTTPS

ABNH

説明: データをリモート・システムへ送り出す試みが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTTPS

ABNI

説明: CICS は、LU6.2 トランザクション経路指定要求のためのプロファイルを検出することができませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: EXEC CICS ALLOCATE コマンドの PROFILE パラメーターに正しく名前が指定されていないか、またはプロファイルをインストールしていないかのいずれかです。エラーを訂正してから、トランザクションを再サブミットしてください。

モジュール: DFHTTPS

ABNJ

説明: このタスクは、別のドメインの呼び出しが正常に完了する前に除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHTTPS

ABNK

説明: 別のドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ABR3 • ABRF

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTTPS

ABR3

説明: ブリッジ出口が、サポートされない BMS 要求を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ブリッジは、最小機能の BMS と SEND TEXT のみをサポートします。このトランザクションはブリッジ環境では使用できません。

モジュール: DFHEMS

ABR4

説明: link DFHL3270 コマンドで COMMAREA が指定されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: link DFHL3270 コマンドでは、BRIH とメッセージ・ベクトルを含んだ COMMAREA を指定する必要があります。

モジュール: DFHBRMR

ABR5

説明: link DFHL3270 コマンドで指定された COMMAREA が BRIH より短くなっています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: link DFHL3270 コマンドでは、BRIH とメッセージ・ベクトルを含んだ COMMAREA を指定する必要があります。

モジュール: DFHBRMR

ABR6

説明: link DFHL3270 コマンドで指定された COMMAREA に有効な BRIH が含まれていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: link DFHL3270 コマンドでは、有効な BRIH を含んだ COMMAREA を指定する必要があります。

モジュール: DFHBRMR

ABRC

説明: ブリッジ出口が定義されておらず、自動インストールできませんでした。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: RDO を使用してプログラムを定義するか、または自動インストールが可能になるようにプログラム自動インストール出口を変更します。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRD

説明: ブリッジ出口は使用不可になっています。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口が使用不可である原因を判別してください。ブリッジ出口を使用可能にして、アクションを再試行してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRE

説明: ブリッジ出口をロードできませんでした。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口をロードできない原因を調べてください。ブリッジ出口が DFHRPL ライブラリーで定義されていない可能性があります。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRF

説明: ブリッジ出口がリモートとして定義されていません。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ブリッジ出口をローカル・プログラムとして定義してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRG

説明: 無効なブリッジ機能トークンが指定されています

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: このエラーは、クライアント・アプリケーションからブリッジ出口に送信された不正なデータが原因である可能性があります。

クライアント・アプリケーションから送信されたデータをトレースしてデータ・セットを調べてください。

アプリケーションから送信されたデータ内のブリッジ機能トークンが正しいことを確認してください。

モジュール: DFHBRXM

ABRH

説明: 指定されたブリッジ機能トークンは CICS では認識できません。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: 多くの場合これは、クライアント・アプリケーションがブリッジ機能に対して少なすぎる保持時間を指定したことによるエラーです。クライアントがブリッジ機能トークンを再使用する前に、CICS によってその時間は廃棄されました。アウトバウンド・メッセージでブリッジ機能の保持時間を確認してください。CICS では、トランザクションで最後に使用されたメッセージで指定された保持時間値を使用します。または、トレースか CEDX を使用して、ブリッジ出口の終了呼び出しで渡された BRXA 内の保持時間を確認してください。

別のエラーの原因としては、クライアント・アプリケーションが、元の要求を送信した CICS システムとは異なるシステムに要求を渡したことが考えられます。ブリッジ機能は、1 つの CICS システム上でのみ有効です。

モジュール: DFHBRXM

ABRI

説明: 使用可能な空きブリッジ機能トークンがありません。これは、ブリッジ出口終了呼び出しで指定された保持時間値が大きすぎるのが原因と考えられます。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションが使

用している保持時間値を確認します。大きすぎる値を返しているクライアント・アプリケーションがある場合は、値の限度を指定するようブリッジ出口を変更してください。

モジュール: DFHBRXM

ABRJ

説明: 無効な FACILITYLIKE 値が指定されています。

FACILITYLIKE 値はブリッジ出口初期設定呼び出しで指定できます。デフォルト値 (ブランク) が返された場合は、ユーザー・トランザクション・プロファイル定義内の値が使用されます。プロファイル定義に FACILITYLIKE 値が指定されていない場合は、CBRF の値が使用されます。

名前は、インストール済みの VTAM 3270 端末の名前でなくてはなりません。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: FACILITYLIKE によって指定される端末の定義、プロファイル定義の値の変更、クライアント・アプリケーションによって指定される値の変更、または CBRF の端末定義のインストールを行ってください。

モジュール: DFHBRXM

ABRK

説明: Link3270 ブリッジ要求を実行する呼び出しに続くユーザー ID 検査が失敗しました。これは、要求をサービスするために使用されるブリッジ機能を作成したユーザー ID と一致しなかったためです。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: Link3270 ブリッジ機能は、その存続期間を通して 1 つのユーザー ID の制御下で実行する必要があります。Link3270 セッションを使用するすべてのプログラムが、同じユーザー ID で実行されるようにしてください。

モジュール: DFHBRXM

ABRN

説明: コマンドから呼び出されたブリッジ出口が、そのコマンドにとって無効な BRXA_RESP の値を返しました。

ABRP • ABSA

システムの処置: トランザクションはバックアウトされます。

ユーザーの処置: 有効な応答設定値のみを返すようブリッジ出口を変更してください。

モジュール:

DFHBRIC、DFHBRMS、DFHBRSP、DFHBRTC

ABRP

説明: ブリッジ・クライアントが使用不可になりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ブリッジ・クライアントが使用不可になった理由を確認してください。パージされた可能性があります。

モジュール: DFHBRME

ABRQ

説明: ブリッジ出口が異常終了を出しました。

システムの処置: トランザクションはバックアウトされます。

ユーザーの処置: ブリッジ出口が異常終了した原因を判別してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRR

説明: ユーザー・トランザクションのプロファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ユーザーの処置: ユーザー・トランザクション定義内のプロファイル名が正しいこと、およびこのプロファイルが定義済みであることを確認してください。

モジュール: DFHBRXM

ABRX

説明: トランザクションが開始された時点でブリッジ機能が無効でした。このエラーは、ビジー状態のシステムで MAXTASK が低い値にリセットされると発生することがあります。ユーザー・トランザクションが開始される前に、ブリッジ機能がタイムアウトになって削除される可能性があります。

システムの処置: 初期設定中にユーザー・トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHBRXM

ABRY

説明: CICS は、ブリッジ出口ルーチンの実行中に予期しないエラーを返しました。これは CICS の内部エラーです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHBRMS, DFHBRTC

ABRZ

説明: ブリッジ出口が BRXA で無効データを返しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザー提供のブリッジ出口が使用された場合は、出口から返されたデータの形式を確認してください。

CICS 提供出口ルーチンが使用された場合、これは CICS エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRTC, DFHXMBR

ABSA

説明: DFHBSMSG に渡されたメッセージが長すぎます。これは CICS の内部エラーです。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTBS

ABSX

説明: BMS 保護フィールドがクライアントによって更新されたことを CICS が検出しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHTF0200 に、クライアントおよび更新されたフィールドの詳細が示されます。

次に実行するアクションをこのメッセージで確認してください。

モジュール: DFHMCPE

ABX1

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際に無効な BRXA-HEADER が指定されました。これは、ストレージの上書きを示しています。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

出口の呼び出しから返される BRXA も CICS によって検査されるため、ABRZ 異常終了が続いて発生することが予想されます。

ユーザーの処置: ストレージ・エラーの原因を調査し、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE, DFH0CBRE, DFH0CBRF

ABX2

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際に無効な BRXA-TRANSACTION-AREA が指定されました。これは、ストレージの上書きを示しています。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

出口の呼び出しから返される BRXA も CICS によって検査されるため、ABRZ 異常終了が続いて発生することが予想されます。

ユーザーの処置: ストレージ・エラーの原因を調査し、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE, DFH0CBRE, DFH0CBRF

ABX3

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際に無効な BRXA-COMMAND-AREA が指定されました。これは、ストレージの上書きを示しています。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

出口の呼び出しから返される BRXA も CICS によって検査されるため、ABRZ 異常終了が続いて発生することが予想されます。

ユーザーの処置: ストレージ・エラーの原因を調査し、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE, DFH0CBRE, DFH0CBRF

ABX5

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際にユーザー域が指定されませんでした。ブリッジ出口のエラーが考えられます。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ストレージ・エラーの原因を調査し、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE, DFH0CBRE, DFH0CBRF

ABX6

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際に無効なユーザー域が指定されました。これは、ストレージの上書きか、ブリッジ出口のエラーを示しています。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ストレージ・エラーの原因を調査し、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE, DFH0CBRE, DFH0CBRF

ABX7

説明: フォーマッターに渡された TC コマンドが最大メッセージ・サイズを超えています。

システムの処置: エラーのあるデータの最初の 4K で例外トレースが作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザー・トランザクションが正しいデータを渡していることを確認してください。データが正しい場合は、バッファ・サイズを変更する必要があります。この値は、サンプル出口の block-length フィールドで設定されます。この出口をコンパイルし直して再ロードし、再試行してください。

ABX8 • ABXF

モジュール: DFH0CBRF

ABX8

説明: フォーマッターに渡される入力メッセージの次の BMS BRMQ ベクトルには、RECEIVE MAP 要求に応答するように要求されたマップ・セットは含まれません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・パスのエラーが原因でトランザクション・バックアウトが発生した可能性があります。そうでなければ、入力メッセージにこのマップ・セットの BRMQ ベクトルが示されるはずですが、クライアント・アプリケーションを変更して再コンパイルし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXA

説明: フォーマッターに渡された入力メッセージ内の次の BRMQ ベクトルが、正しいタイプの RECEIVE ベクトルではありません。RECEIVE と RECEIVE MAP は別々のベクトルを使用します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・パスのエラーが原因でトランザクション・バックアウトが発生した可能性があります。そうでなければ、入力メッセージにこのコマンドの BRMQ ベクトルが示されるはずですが、クライアント・アプリケーションを変更して再コンパイルし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXB

説明: アウトバウンド BMS ベクトル内に ADS 記述子が必要であることが BRIH から要求されました。マップに ADS 記述子が含まれていませんでした。これは、マップ・セットが CICS TS 1.2 以降でアセンブルされていないことを意味します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最新レベルの BMS マクロでマップ・セットを再アセンブルするか、BRIH-ADSDESCRIPTOR を BRIHADSD-NO に設定します (デフォルト値は BRIHADSD-YES)。Link3270 メッセージのコード・ページ変換が必要である場合は (ECI などを使用)、BRIHADSD-YES に設定する必要があるので注意してください。マップ・セットの再アセンブルが必要であると

きにマップ・セット・ソースがない場合は、ユーティリティ DFHBMSUP で再作成できます。

モジュール: DFHBRMF

ABXC

説明: ブリッジ出口から SYNCPOINT 要求が出されたときにエラーが発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 他の CICS メッセージや例外トレース項目を確認して、SYNCPOINT エラーの原因を調べてください。

モジュール: DFH0CBRE

ABXD

説明: ブリッジ出口から SYNCPOINT ROLLBACK 要求が出されたときにエラーが発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 他の CICS メッセージや例外トレース項目を確認して、SYNCPOINT ROLLBACK エラーの原因を調べてください。

モジュール: DFH0CBRE

ABXE

説明: ブリッジ出口には START コマンドの BRDATA パラメーターが渡されることが想定されていました。データが見つかりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: START を出したトランザクションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE

ABXF

説明: ブリッジ出口が次のメッセージを入力しようとしたときにエラーが検出されました。

システムの処置: 例外トレースは、何らかのエラー情報で作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 他の CICS メッセージや例外トレース項目を確認して、入力エラーの原因を調べてください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE、DFH0CBAI

ABXG

説明: ブリッジ出口が次のメッセージを出力しようとしたときにエラーが検出されました。

システムの処置: 例外トレースは、何らかのエラー情報で作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 他の CICS メッセージや例外トレース項目を確認して、出力エラーの原因を調べてください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE

ABXH

説明: ユーザー・トランザクションが出した要求には追加のデータが必要です (RECEIVE 要求など)。メッセージにはデータがなく、かつ mqcih-conversationaltask が mqcct-no (トランザクションが会話型でないことを示す値) に設定されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションではこれが正しい動作と定義されている可能性があります。そうでない場合は、クライアント・アプリケーションで追加のデータを提供するか、トランザクションを会話型とするようにクライアント・アプリケーションを再設計する必要があります。

モジュール: DFH0CBRE

ABXI

説明: ブリッジ出口が最大メッセージ・サイズを超えるメッセージを受け取りました。

システムの処置: エラーのあるデータの最初の 4K で例外トレースが作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションが正しいデータを渡していることを確認してください。データが正しい場合は、バッファ・サイズを変更する必要があります。この値は、サンプル出口の block-length フィールドで設定されます。この出口をコンパイルし直して再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE

ABXJ

説明: ブリッジ出口がクライアント・アプリケーションから渡された MQCIH ヘッダーでエラーを検出しました。

システムの処置: この MQCIH ヘッダーを含んだ例外トレースが作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションが MQCIH ヘッダーを設定していなかったか、またはブリッジ出口と互換性のないバージョンのヘッダーを使用しています。クライアント・アプリケーションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE

ABXK

説明: ブリッジ出口が START コマンドの BRDATA パラメーターで渡されたデータでエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: START を出したトランザクションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE

ABXM

説明: ブリッジ出口またはフォーマッターを呼び出す際に、サポートされない関数またはコマンドが使用されました。これは、ストレージの上書きを示すか、またはブリッジ出口がこのコマンド向けに設計されていないことを示します。

システムの処置: 例外トレースは、エラーがあるデータで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースの BRXA データを調べて、ストレージの上書きがなかったか、または出口がこのコマンドをサポートしているかを確認してください。

モジュール: DFH0CBAE、DFH0CBRE、DFH0CBRE

ABXN

説明: 入力メッセージが切り捨てられたことをフォーマッターが検出しました。

システムの処置: このメッセージの最初の 4K で例外

ABXO • ABXV

トレースが作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランSPORT・メカニズムがこの長さのメッセージを許可していることを確認します。許可している場合は、クライアント・アプリケーションが正しくないメッセージを発行しています。クライアント・アプリケーションでアウトバウンド・メッセージをトレースしてください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXO

説明: フォーマッターがクライアント・アプリケーションから渡された BRMQ ベクトルでエラーを検出しました。

システムの処置: フィールド MQCIH-ERROROFFSET はメッセージでエラーの位置を示すように設定され、例外トレースは MQCIH および BRMQ ベクトルで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXP

説明: フォーマッターがクライアント・アプリケーションから渡された BRMQ ベクトル・ヘッダーでエラーを検出しました。

システムの処置: フィールド MQCIH-ERROROFFSET はメッセージでエラーの位置を示すように設定され、例外トレースは MQCIH および BRMQ ベクトルで作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXQ

説明: MQCIH-ADSDESCRIPTOR に MQCADSD-MSGFORMAT が指定されている状態で、フォーマッターが BRMQ-RM ベクトルの一部として ADSD ベクトルを検出できませんでした。

システムの処置: この要求で例外トレースが作成されま

す。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションを訂正してください。コンパイルしなおして再ロードし、再試行してください。

モジュール: DFH0CBRF

ABXS

説明: ブリッジ出口が入力メッセージまたは出力メッセージのキューをオープンする際にエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレースは、何らかのエラー情報で作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 他の CICS メッセージや例外トレース項目を確認して、オープン・エラーの原因を調べてください。

モジュール: DFH0CBRE

ABXU

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページ間の変換が、CICS/390 でサポートされていません。Japanese コード・ページ 932 と Latin-1 コード・ページ 500 間の変換などが要求されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページのデフォルトと指定変更値の両方が、サーバー・コード・ページと同じグループに入っていることを確認してください。例えば、Latin-2 グループからのクライアント・コード・ページ 852 は、サーバー・コード・ページ 870 対してのみサポートされています。

モジュール: DFHBRMF

ABXV

説明: クライアントによって要求されたクライアント・コード・ページは CICS がサポート可能なページではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHBRMF

ACxx 異常終了コード

ACAA

説明: この説明は、2 つのトランザクション異常終了コード ACAA と ACAD に適用されます。パラメーターとして指定されたリソース定義に認識されていないリソース・タイプ・コードが含まれているため、CICS は、言語定義テーブル内に機能コードで一致するものを見つけることができません。出される異常終了コードは、エラーが起こる前に呼び出された DFHCAP 操作によって異なります。

異常終了

DFHCAP 操作

ACAA

ANALYZE

ACAD

DEFAULTS

異常終了の原因は、次のいずれかです。

- ライブラリー内の言語定義テーブル DFHEITCU が、実行している CICS のリリースに対して無効である。または
- CICS 論理エラーが発生した。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHEITCU モジュールがライブラリーにあり、このリリースの CICS に有効であることを確認してください。

DFHEITCU の有効なバージョンがすでにライブラリーにある場合は、CICS 論理エラーが起こっています。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCAP

ACAD

説明: ACAA を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHCAP

ACAI

説明: モジュール DFHCAP が呼び出されたときに内部エラーが起きました。DFHCAP に対するドメイン呼び出しに無効な機能コードがありました。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCAP

ACAJ

説明: EXEC CICS CREATE の処理中にモジュール DFHCAP が呼び出されたときに、内部エラーが起きました。事前割り振りの動的ストレージ域が小さすぎました。

システムの処置: EXEC CICS CREATE コマンドを実行しているトランザクションは、CICS トランザクション・ダンプを作成して異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCAP

ACAM

説明: CBAM トランザクションの処理中にモジュール DFHECBAM が呼び出されたときに、内部エラーが起きました。

システムの処置: CBAM が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

ACC1 • ACC9

モジュール: DFHECBAM

ACC1

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC2

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC3

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC4

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC5

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC6

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC7

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC8

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACC9

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCA

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCB

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCC

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCD

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCE

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCF

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCG

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCH

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCI

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCJ

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

ACCK • ACCS

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCK

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCL

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCM

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCN

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCO

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCP

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCQ

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCR

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCS

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCT

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCU

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCV

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCW

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCY

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCZ

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACCX

説明: 最初の 3 文字が 'ACC' である異常終了コードが、CICS で実行中の C/370 コンパイラーによって出されました。これらについては、IBM C/370 一般情報で説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ACFA

説明: CFCL トランザクションによるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロード中に、異常終了が検出されたか、またはドメイン呼び出しから応答 (DISASTER など) が返されて、正常な処理を続行できなくなりました。

システムの処置: メッセージが出されます。

(DFHFC7100、DFHFC7101、DFHFC7103、または DFHFC7104 の 1 つ)。データ・テーブルのロードが終了し、CFCL が異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了が、ロード時の異常終了の結果として作成された場合には、メッセージ DFHFC7103 が出されます。この異常終了が、ドメイン呼び出しを失敗した結果起こった場合には、どのドメインにより失敗が返されたかによって、メッセージ DFHFC7100、DFHFC7101、または DFHFC7104 のいずれかが出されます。詳細については、メッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCDL

ACFB

説明: トランザクションがアクティブ・ロックを保持しているカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対して要求を出しましたが、このカップリング・ファシリティ・データ・テーブルが存在するプールのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーで障害が発生し、サーバーが再始動されました。この要求は、サーバーで障害が発生する前に取得されたロックに依存しているため、サーバーの新しいインスタンスで続行できません。

システムの処置: 要求を出したトランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHEIFC

ACFC

説明: カップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーの前のインスタンスで最後にアクセスされたカップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対してトランザクションが要求を出しました (つまり、このカップリング・ファシリティ・データ・テーブルが存在するプールのサーバーで障害が発生したために、サーバーが最後のアクセスの後に 1 回以上再始動されています)。このため、この CICS ファイルとカップリング・ファシリティ・データ・テーブルの間でアクセスを再オープンする必要がありますが、再オープンに失敗しました。

システムの処置: 要求を出したトランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションを再試行してください。それでもエラーが発生する場合は、ファイルに対して明示的なクローズ要求を出し、続いて明示的なオープン要求を出してください。

モジュール: DFHEIFC

ACFD

説明: CFCL トランザクションによるカップリング・ファシリティ・データ・テーブルのロード中に、CICS トランザクション・マネージャーに対する呼び出しから応答 (DISASTER など) が返されて、正常な処理を続行できなくなりました。

システムの処置: メッセージ DFHFC7121 が出されま

す。データ・テーブルのロードが終了し、CFCL が異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHFCDL

ACFE

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHFCDL を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHFCDL は CICS システム・トランザクション CFCL によって使用されます。これによりカップリング・ファシリティ・データ・テーブルがロードされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CFCL を不正に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHFCDL が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHFCDL

ACHA

説明: リモート・サーバー・トランザクション CEHS が、CICS/CMS システムとともに作動する互換レベルにありません。これは、通常、CICS/CMS とリモート・サーバーのサービス・レベルが異なることを示します。

システムの処置: CICS はリモート・サーバー・トランザクションを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

問題判別: リモート・サーバーで問題を診断する場合には、通常は、障害が発生した時点までのリモート・サーバーの活動のトレース情報を獲得すると有効です。

リモート・サーバーのトレース情報は、TRACE オプションを指定して、リモート・サーバーを呼び出すと獲得されます (CEHS TRACE と入力します)。リモート・サーバーは通常どおり作動しますが、トレース項目は一時ストレージにあるトレース・ログに書き込まれます。このキューには、補助ストレージではなく、主ストレージが使用されるため、このトレースを長時間にわたって行くと、大量のストレージを使ってしまうことに注意してください。

トレース情報は、「CEHSxxxx」という名前のキューにあります。「xxxx」は 4 文字の端末 ID です。このキューは、CEBR を使用して、テキスト形式または 16 進形式でスキャンすることができます。端末 ID を見つけるには、キュー名を指定せずに、CEHS を実行した端末で CEBR を呼び出します。キュー名のデフォルトの名前は「CEBRxxxx」であり、「xxxx」は端末 ID です。

注意：CEBR の場合、キュー名は大文字でなければなりません。

リモート・サーバーとそのトレース項目および異常終了コードについては、「」(LC33-0438) を参照してください。

モジュール：DFHCHS

ACHB

説明：リモート・サーバーが、CICS/CMS から順序外のデータ・フレームを受け取りました。伝送中に脱落したフレームがある可能性があります。

システムの処置：CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置：CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール：DFHCHS

ACHC

説明：リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期していた肯定応答タイプのデータ・フレームを受け取りませんでした。

システムの処置：CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置：CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール：DFHCHS

ACHD

説明：リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期していた応答タイプのデータ・フレームを受け取りませんでした。

システムの処置：CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置：CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール：DFHCHS

ACHE

説明：リモート・サーバーが、CICS/CMS から予期しないデータ・フレームを受け取りました。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置：CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置：CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール：DFHCHS

ACHF

説明：単一フレームしか送信できない状況で、リモート・サーバーが一連のデータ・フレームを CICS/CMS に送信しようとしていました。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置：CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置：CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

ACHG • ACHL

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHG

説明: リモート・サーバーが、CICS/CMS にデータを送信しようとしていました。しかし、リモート・サーバーがデータを送信するための正しいモードに設定されていませんでした。このことは、リモート・サーバーに論理エラーがあることを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHH

説明: リモート・サーバーが CICS/CMS から受け取ったデータから TIOA が作成されていません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHI

説明: リモート・サーバーが変換プログラム 2 から予期しない戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード

ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHJ

説明: 「無応答」オプションが指定された CICS/CMS からの要求を処理しているときにエラーが発生しました。このため、リモート・サーバーから CICS/CMS にエラー状態を返すことができません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: リモート・サーバーを再確立して、NOCHECK オプションを指定せずに、CICS/CMS 下で CECI から同じコマンドを実行することによって、問題を診断します。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHK

説明: 変換プログラムは、CICS/CMS から受け取った要求の実行を EIP と DLI のどちらにも要求していません。EIP または DLI のいずれかに要求を出す必要があるため、これは論理エラーです。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHL

説明: CICS/CMS がリモート・サーバーに提供しているバッファの大きさが、リモート・サーバーが戻さなければならない応答を保持するのに十分ではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHM

説明: リモート・サーバーが、再試行回数の限界を超えるまで CICS/CMS から応答を受け取ろうとして、失敗を繰り返しました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHN

説明: リモート・サーバーが、再試行回数の限界を超えるまで CICS/CMS から要求を受け取ろうとして、失敗を繰り返しました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHO

説明: リモート・サーバーが CICS/CMS から応答を受け取ろうとして失敗を繰り返し、再試行回数の上限を超えました。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CICS/CMS とリモート CICS システムの間の接続を再確立して、リモート・サーバーを再使用してみてください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHP

説明: CICS/CMS がリモート・サーバーに出した要求への応答に必要なストレージが、最大許容ストレージ (32660 バイト) を超えています。このことは、論理エラーが起きたことを示しています。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHR

説明: CICS/CMS リモート・サーバー・トランザクション (CEHS) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末がコンソールではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このトランザクションが関連する端末で開始されており、その端末がコンソールとして定義されていないことを確認してください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACHS

説明: CICS/OS2 リモート・サーバー・トランザクション (CEHP) が開始されましたが、タスクが端末向けではないか、関連する端末がコンソールではありません。

システムの処置: CICS はリモート・サーバーを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このトランザクションが関連する端末で開始されており、その端末がコンソールとして定義されていないことを確認してください。詳細については、異常終了コード ACHA の『問題判別』のセクションを参照してください。

モジュール: DFHCHS

ACL0

説明: 新しいオペレーターがオブジェクト作成中にストレージの割り振りに失敗しました。この問題は、要求に対応できるだけの十分なストレージが CICS 領域にない場合に発生します。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、オブジェクトを作成し、削除しないときループになった場合に発生する可能性があります。あるいは CICS でストレージ不足が発生している可能性があり、トランザクションの再サブミットを試みてください。

モジュール: ICCGLBIC

ACL1

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、アプリケーション・プログラマーがキャッチに失敗した例外をスローしました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: 例外をキャッチするようアプリケーションをコーディングしたことを確認してください。スローされている例外の原因を確定するために、例外オブジェクト内に組み込まれているメッセージ・オブジェクトを調べてください。

この異常終了のほかの原因として、ファウンデーション・クラス・プログラムを実行しているマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていないことが考えられます。ご使用のマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていることを確認してください。

モジュール: ICCGLBIC

ACL2

説明: アプリケーション・プログラマーが独自の `handleEvent` メソッドをインプリメントしていないため、CICS ファウンデーション・クラスは、CICS 条件を処理するためにデフォルトの `handleEvent` メソッド (クラス `IccResource` で定義されている) を起動しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: 独自の `handleEvent` メソッドをインプリメントするか、またはリソース・オブジェクトをカスタマイズして、予想される CICS 条件のいずれについ

ても `handleEvent` メソッドを呼び出さないようにしてください。

モジュール: ICCRESEC

ACL3

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、アプリケーション・プログラマーによる CICS タスクの異常終了要求に応答しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラマーが、`handleEvent` メソッドからの適切な戻りの列挙型を使用してトランザクションを異常終了させるよう CICS ファウンデーション・クラスに要求しました (`IccResource` クラスを参照)。

モジュール: ICCRESIC

ACL4

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACL5

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、CICS ストレージ要求 (`GETMAIN`) からエラーを受信しました。新しいオペレーター要求への応答で、CICS ファウンデーション・クラスが CICS `GETMAIN` 要求を出してストレージを割り振ろうとしましたが、CICS が対応できませんでした。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、オブジェクトを作成し、削除しないときループになった場合に発生する可能性があります。あるいは CICS でストレージ不足が発生している可能性があり、トランザクションの再サブミットを試みてください。

モジュール: ICCBASEC

ACL6

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、ストレージ解放要求の処理中にエラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、存在しない (つまり、既に削除された) オブジェクトを削除しようとしたときに発生することがあります。また、CICS のメモリー管理の問題、あるいはストレージ破損の問題を示す可能性もあります。エラーが解消されない場合は、サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCBASEC

ACL7

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、アプリケーション・プログラマーがキャッチに失敗した例外をスローしました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: 例外をキャッチするようアプリケーションをコーディングしたことを確認してください。スローされている例外の原因を確定するために、例外オブジェクト内に組み込まれているメッセージ・オブジェクトを調べてください。

この異常終了のほかの原因として、ファウンデーション・クラス・プログラムを実行しているマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていないことが考えられます。ご使用のマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていることを確認してください。

モジュール: ICCGLBIC

ACL8

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、アプリケーション・プログラマーがキャッチに失敗した例外をスローしました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: 例外をキャッチするようアプリケーションをコーディングしたことを確認してください。スローされている例外の原因を確定するために、例外オブジェクト内に組み込まれているメッセージ・オブジェクトを調べてください。

この異常終了のほかの原因として、ファウンデーション・クラス・プログラムを実行しているマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていないことが

考えられます。ご使用のマシンに C++ 実行時データベースがインストールされていることを確認してください。

モジュール: ICCGLBIC

ACL9

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、アプリケーション・プログラマーによる CICS タスクの異常終了要求に応答しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: 特定の CICS 条件が発生したときにトランザクションを異常終了させるよう、リソース・オブジェクトがカスタマイズされ、その後にこの条件が CICS によって生成された。

モジュール: ICCRESIC

ACLA

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLB

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLC

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデー

ACLD • ACN2

ション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLD

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLE

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLF

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLG

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、内部エラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、CICS ファウンデーション・クラスの内部の問題を示します。サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCGLIBC

ACLH

説明: CICS ファウンデーション・クラスは、ストレージ解放要求の処理中にエラーを検出しました。

システムの処置: CICS はこのトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了は、存在しない (つまり、既に削除された) オブジェクトを削除しようとしたときに発生することがあります。また、CICS のメモリー管理の問題、あるいはストレージ破損の問題を示す可能性もあります。エラーが解消されない場合は、サポート組織に連絡してください。

モジュール: ICCBASEC

ACN1

説明: テーブル DFHCNV をロードすることができません。これは、おそらく、テーブルが事前に生成されていなかったことが原因と考えられます。さらに、この状況は、テーブル DFHCNV が 16 MB 境界より上でリンクされているときに、DFHCCNV が 16 MB 境界より下でリンクされている場合にも起こる可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCNV モジュールがライブラリーにあり、CICS のこのリリースに有効であるかどうかを調べてください。DFHCNV のリンクを調べて、必要であればそれを正しい AMODE にリンクし直してください。

モジュール: DFHCCNV

ACN2

説明: テーブル DFHCNV がロードされましたが、最初のレコードの形式が間違っています。これはおそらく、アセンブリーまたはリンク・エディット時に起こったエラーによるものですが、ストレージが重ね書きされた結果起こった可能性もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: テーブルを再アセンブルして、リンク・エディットしなければなりません。アセンブル出力およびリンク・エディット出力を調べてください。ストレージの上書きが行われたことを示すメッセージが、CICS から出されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHCCNV

ACN3

説明: プログラム DFHUCNV をリンクすることができません。ユーザー変換プログラムが、使用可能でなければなりません (そのプログラムが戻るだけである場合にも)。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHUCNV モジュールがライブラリーにあり、CICS のこのリリースに有効であるかどうかを調べてください。DFHUCNV のリンクを調べて、必要であればそれを正しい AMODE にリンクし直してください。

モジュール: DFHCCNV

ACN4

説明: 認識されない形式設定の DFHCNV テーブルが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCNV マクロを再調整して、再度リンク・エディットしてください。

モジュール: DFHCCNV

ACN5

説明: デフォルトのクライアント・コード・ページの指定変更が受け取られましたが、その値は認識されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・システムが、CICS/390 でサポートされているクライアント・コード・ページを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

ACN6

説明: クライアントが Unicode のデータを送信しましたが、クライアントとサーバーのコード・ページが同じではありません。Unicode データは、変換が不要である場合にのみ許容されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページが同じであることを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

ACN7

説明: デフォルトの 2 進数形式の指定変更が受け取られましたが、その値は認識されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: データ形式は S/370 または INTEL のどちらかにしてください。それ以外は CICS/390 ではサポートされていません。

モジュール: DFHCCNV

ACN8

説明: CICS のデータ変換が、GRAPHIC 文字 (DBCS のみ) が入るように定義されている FIELD を処理しています。すなわち、次のようになっています。

DFHCNV TYPE=FIELD,DATATYP=GRAPHIC,... しかし、クライアント・コード・ページ (CLINTCP オペランドで定義) とサーバー・コード・ページ (SRVERCP オペランドで定義) が、FIELD に SBCS 文字だけが入ることを次のように暗黙指定しています。DFHCNV TYPE=ENTRY,CLINTCP=437,SRVERCP=037

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: FIELD 定義を訂正してください。

モジュール: DFHCCNV

ACN9

説明: テーブル DFHCNV をロードすることができません。この異常終了コードは、DFHCNV テーブルのロード時に発生した NOTAUTH 条件に従って出されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リソース・セキュリティ定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

ACNA

説明: テーブル DFHCNV をロードすることができません。これは汎用の異常終了コードです。変換テーブル DFHCNV の LOAD 要求が失敗したことを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、

ACNB • ACQA

LOAD 要求から戻された実際の状態を判別してください。

モジュール: DFHCCNV

ACNB

説明: プログラム DFHUCNV をリンクできませんでした。これは汎用の異常終了コードです。変換プログラム DFHUCNV の LINK 要求が失敗したことを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、LINK 要求から戻された実際の状態を判別してください。

モジュール: DFHCCNV

ACNC

説明: クライアントによって要求されたクライアント・コード・ページは CICS がサポート可能なページではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページが有効であることを確認してください。

モジュール: DFHCCNV

ACND

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページ間の変換が、CICS/390 でサポートされていません。Japanese コード・ページ 932 と Latin-1 コード・ページ 500 間の変換などが要求されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページのデフォルトと指定変更値の両方が、サーバー・コード・ページと同じグループに入っていることを確認してください。例えば、Latin-2 グループからのクライアント・コード・ページ 852 は、サーバー・コード・ページ 870 対してのみサポートされています。

モジュール: DFHCCNV

ACNE

説明: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページの間の変換が、CICS/390 ではサポートされません。コード・ページは同じグループにありますが、

指定されたクライアント・コード・ページに対して要求されたサーバー・コード・ページを一致させる変換テーブルが CICS にありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・コード・ページとサーバー・コード・ページが正しいことを確認してください。これらが意図したとおりであれば、CICS は要求された変換をサポートできません。

モジュール: DFHCCNV

ACP1

説明: DFHIC TYPE=GET 応答コードが、印刷キーの処理時の通常応答以外のものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHCPY

ACP2

説明: DFHIC TYPE=INITIATE 応答コードが、印刷キー処理中の通常応答のものではありません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHCPY

ACQA

説明: 接続静止プロトコル・トランザクションが、START コマンドなどのユーザー・アクションで開始されたか、端末でトランザクション ID を入力する方法で開始されました。どちらもこのトランザクションの適切な開始方法ではありません。

システムの処置:

1.

トランザクションが端末入力によって開始されていない場合は、メッセージ DFHZC4951 が宛先 CSNE に書き込まれます。

2.

例外トレース・レコードは、すべてのアクティブなトレース宛先に書き込まれます。

3.

トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションが開始された理由を判別してください。例外トレース・レコードの情報が参考になります。

モジュール: DFHCLS5

ACQB

説明: 接続静止プロトコル・トランザクションが APPC セッションで別のシステムと通信する際にエラーが発生しました。

システムの処置:

1.

メッセージ DFHZC4951 が宛先 CSNE に書き込まれます。

2.

例外トレース・レコードは、すべてのアクティブなトレース宛先に書き込まれます。

3.

トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別してください。パートナー・システムとのセッションの障害が原因であると考えられます。

モジュール: DFHCLS5

ACQC

説明: 接続静止プロトコル・トランザクションが予期しないエラーを検出しました。

システムの処置:

1.

メッセージ DFHZC4951 が宛先 CSNE に書き込まれます。

2.

例外トレース・レコードは、すべてのアクティブなトレース宛先に書き込まれます。

3.

トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCLS5

ACRA

説明: 中継プログラムが呼び出されましたが、その基本機能としての端末がありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHAPRT が端末に関連しないタスクの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRB

説明: 中継プログラムが、リモート・トランザクションとして定義されていないトランザクションによって呼び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 中継プログラムが正しく定義されているかどうかを調べてください。トランザクションがリモート・トランザクションではない場合に DFHAPRT が呼び出された理由を判別します。

モジュール: DFHAPRT

ACRC

説明: 中継プログラムが、DFHZCX または DFHAPRR から無効な応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRD

説明: 経路指定されるシステムのシステム項目が見つからなかったか、または (CICS TS 4.1 以前のリリースの場合) routable=yes と定義されたトランザクションを IPIC 接続経由で送信しようとした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ACRE • ACRJ

ユーザーの処置: インストール済みトランザクション定義を調べて、システムが正しく指定されているかどうかを確認してください。 CONNECTION または IPCONN リソース定義で、CICS に対してシステム項目が定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRE

説明: APPC 端末から呼び出され、インストール済みトランザクション定義でリモートと指定されているトランザクションが、リンクがサービス休止になっているために異常終了しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: リンクが使用可能になるまで待機します。 CICS 提供のトランザクション CEMT INQUIRE CONNECTION を使用して、リンクの状態を検査することができます。

モジュール: DFHAPRT

ACRF

説明: 中継プログラムが、最初の呼び出しの後で、動的ルーターからゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、渡された COMMAREA DFHDYE の内容が正しいかどうかを調べ、動的経路指定プログラムが失敗した理由を判別してください。 COMMAREA アドレスは、そのタスクのシステム TCA のフィールド TCACOMM から見つかる可能性があります。 COMMAREA フィールドは DFHDYPDS DSECT によってマップされます。

モジュール: DFHAPRT

ACRG

説明: AID チェーン内に一致する項目がないために、DYNAMIC(YES) を指定して定義された ATI 開始リモート・トランザクションが失敗しました。

チェーン内の各 AID は調べられ、次のいずれの状況も見つかりませんでした。

- TCTTE のそれに一致する AID 端末装置 ID
- インストール済みトランザクション定義と一致する AID トランザクション ID
- リモート・トランザクションの AID

- 取り消されていない AID

システムの処置: タスクは異常終了し、CICS システム・ダンプが出されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用すると、不一致を確認するのに役立ちます。システム・ダンプの TCTTE フィールドと PCT フィールドにリストされたトランザクションを AID チェーンと比較して検査してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRH

説明: トランザクションの経路指定時に、システム間の流れを運ぶセッションのためのプロファイルを見つけることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: インストール済みトランザクション定義を調べて、TRPROF が正しく指定されているかどうかを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRI

説明: 動的経路指定プログラムにリンクしようとしているときに、エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

DFHRT4417 から DFHRT4420 のメッセージが、CSMT ログに書き出されます。

ユーザーの処置: CSMT ログに送られたメッセージを参照してください。そのリンクの失敗の原因を識別し、詳しいユーザー手引きを得ることができます。

モジュール: DFHAPRT、DFHEPC

ACRJ

説明: DFHAPRT または DFHEPC からのリンクが実行された後で、動的経路指定プログラムに異常終了が発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。メッセージ DFHRT4416 が、CSMT ログに書き込まれます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHRT4416 を参照してください。そのメッセージから動的経路指定プログラムでの異常終了を識別し、詳しいユーザー手引きを得ることができます。

モジュール: DFHAPRT、DFHEPC

ACRK

説明: 中継プログラムは呼び出されましたが、その主要な機能のアドレスがありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRL

説明: タスクがその機能を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRM

説明: 動的ルーターからの要求への応答中に、動的ルーターの呼び出し先トランザクションの開始プログラムではないプログラムへの INITIAL_LINK を、DFHAPRT が試みました。その試みは失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以下のことが起きた可能性を調べてください。

- 自動導入ユーザー置き換え可能モジュール (URM) が呼び出されたが、自動導入を行うことができない。
- 自動導入 URM が呼び出されたが、このモジュールが提供したデータが無効である。
- 自動導入 URM が呼び出されたが、自動導入モデルの定義がない。
- 自動導入 URM に問題がある。
-

プログラムのリソース定義がない。また、自動導入が活動状態でないか、または自動導入 URM でそのプログラムが自動導入の対象として指定されていない。

- プログラムが使用不能である。
- プログラムをロードできない。
- プログラムがリモートで定義されている。

モジュール: DFHAPRT

ACRN

説明: 動的経路指定プログラムから、トランザクションは経路指定できず、ローカル・システム内で実行する必要があることが通知されました。アプリケーション・プログラムを呼び出す前に、セキュリティチェックが実行されます。このチェックは失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・セキュリティ定義が正しいことを確認してください。

モジュール: DFHAPRT

ACRO

説明: 端末から CRSQ トランザクションを呼び出す試みが行われました。CRSQ は内部 CICS トランザクションであり、このような方法で呼び出すことはできません。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。CEMT コマンドおよび EXEC CICS コマンドを使用して AID を取り消すことはできません。

モジュール: DFHCRQ

ACRP

説明: 動的ルーターから提供された SYSID のサポート対象機能が不明です。これは、バックレベル・リリースが原因であるか、または通信に使用される APPC 接続をどの処理も経由しなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 代わりの SYSID を指定するか、以前のスタイルの START に戻すか、または経路指定される処理がこの接続を経由するようにします。

ACRQ • ACSF

モジュール: DFHAPRT

ACRQ

説明: IPIC 接続を介してサポートされない機能の経路指定が試行されました。ACRQ 異常終了の直前にメッセージ DFHIS1035 が発行される場合は、ACRQ 異常終了の原因はバックレベル・リリースへの経路指定を試行したことです。メッセージ DFHIS1035 が発行されない場合は、ACRQ 異常終了の原因は APPC 装置の経路指定を試行したことです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 代わりの SYSID を指定するか、または MRO 接続か ISC 接続を使用可能にします。

モジュール: DFHAPRT

ACSA

説明: リモート・スケジューラー・タスク (CRSR) がシステム間リンク TCTTE を基本機能として所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHCRS が CRSR 以外のタスクの初期プログラムとして指定されていないことを確認してください。端末オペレーターが CRSR を入力していないかどうかを調べます。

モジュール: DFHCRS

ACSB

説明: リモート・システムから、そのシステム上のタスクをスケジュールする要求に対する応答として予期しない応答を受信しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSC

説明: タスクをスケジュールする要求を予期していましたが、予期しない要求をリモート・システムから受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSD

説明: 内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSE

説明: サポートされない方法でモジュール DFHCRS がタスク生成されました。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: モジュール DFHCRS は、トランザクション CRSR によってのみ実行されます。このトランザクションは、その基本機能として MRO セッション、LU6.1 セッション、または LU タイプ 6.2 会話を使用して実行されます。このトランザクションが、接続システム内でユーザー・トランザクションによってではなく、CRSR トランザクションによってタスク生成されていることを確認してください。

このトランザクションが CRSR トランザクションによってタスク生成される場合、問題を解決するには、IBM の援助が必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてくだ

さい。このタスクは、マスター端末オペレーターにより除去されたか、デッドロック・タイムアウトの結果として除去されました。

モジュール: DFHCRS

ACSG

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された、関連するエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSH

説明: APPC マップ・データの処理は、デフォルト値による LU6.2 付加 FMH の生成を必要とします。具体的には、要求された同期レベルはデフォルトの 2 になります。一方、使用される予定のセッションは同期レベル 1 でバインドされています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの CONNECTION リソースは単一セッションとして定義されていない。
- リモート・システムが、同期レベル 2 をサポートできるかどうか。
- 正しい同期レベルが要求されたかどうか。

モジュール: DFHCRS

ACSI

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート CICS システムに対する接続を調べて、確立し直してください。

モジュール: DFHCRS

ACSJ

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。この障害は、タスクのページの結果であるか CICS 論理エラーのいずれかです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連する診断材料を参照し、障害の原因を判別してください。

CICS 論理エラーの場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSK

説明: VTAM INQUIRE マクロの完了を待機している間に、トランザクション待機が除去されました。

CICS は、VTAM INQUIRE OPTCD=NQN 要求または INQUIRE OPTCD=SESSNAME 要求を出した後に VTAM による ECB の通知を待ちましたが、明示的な FORCEPURGE 要求が出されたか、または 3 分のタイムアウト時間が経過したために、待機が中止されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが取られ、CICS からメッセージ DFHZC0001 が出されます。

ユーザーの処置: 待機が中止された理由を調べてください。

タイムアウトの場合は、IBM のサポートが必要となることがあります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZGIN

ACSL

説明: CICS が、大量フラグ (CFTS) 要求または大量リモート削除 (CDTS) 要求を実行するためのトランザクションを接続することができませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSM

説明: トランザクション CFTS が異常終了しました。端末を大量削除するためのフラグ付けが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSN

説明: トランザクション CFTS が停止しました。削除のための端末の大量フラグ付けが予想された時間を超えたため、失敗に終わったものとみなされます。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。メインライン・トランザクションで CFTS の失敗が想定されたことを示すフラグが、リモート作業エレメント (RWE) に設定されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRS

ACSO

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、IPIC 会話障害が発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート CICS システムに対する接続を調べて、確立し直してください。トランザクション・ダンプを使用して、会話が失敗した原因を突き止めてください。原因としては、無効な資格情報が送信されたために発生したセキュリティ・エラー、または資格情報が必要と構成された接続で IPIC メッセージに資格情報が含まれていなかったために発生したセキュリティ・エラーが考えられます。

モジュール: DFHCRS

ACTA

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有領域からの予期しない要求を受け取りました。受け取られた要求が、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

この要求は、DFHZTSP の LIFO の DFHLUCDS DSECT、すなわちフィールド LUCOPN0 に入れられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

ACTB

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、端末管理 WRITE、LAST 要求をアプリケーション所有システムに出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常の戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

ACTC

説明: 端末専有領域で実行されている中継プログラムが、自身のセッションを解放するための端末管理要求をアプリケーション所有システムに出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常の戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

ACTD

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求をアプリケーション所有システムに出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

これは、TCATPAPR の端末管理からの通常に戻りコードです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理がその要求を処理できなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHZTSP

ACTE

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、APPC 端末とのそのセッションを解放しようとして端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、DFHZTSP の LIFO フィールドの DFHLUCDS DSECT、すなわち LUCRCODE に入れます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

ACTF

説明: 端末専有領域で実行されている中継プログラムが、自身のセッションを解放するための端末管理要求をアプリケーション所有システムに出し、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、TCA フィールド、TCATPAPR で見つけることができます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。アプリケーション所有領域上のトランザクションが異常終了したか、またはセッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

ACTG

説明: 端末専有領域内で実行されている中継プログラムが、アプリケーション所有領域内のトランザクションを生成するための要求を出しましたが、その領域から受け取った応答は無効でした。

TCA (フィールド TCATPAPR) 内の戻りコードはゼロ以外となり、TIOA がなくなるか (TCTTE 内のフィールド TCTTEDA がゼロ)、もしくは TIOA の開始点に FMH7 がなくなるかのいずれかです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。アプリケーション所有領域上のトランザクションが異常終了したか、またはセッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZTSP

ACTH

説明: リモート LU 6.2 システムに対して優先割り振りが出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZISP

ACTI

説明: 中継トランザクションは、基本機能として ISC または MRO セッションを備えています。しかし、そのセッションのための TCTTE をこのタスクは所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRT

ACTJ

説明: 中継トランザクションの基本機能は TCTTE ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスク CXRT は、リモート APPC 装置に対してアプリケーション所有領域で出された ALLOCATE 要求によって、端末専有領域で開始される必要があります。タスクの基本機能は、ISC または MRO リンクでなければなりません。CICS システムが常にこのようになるように定義されているかを確認してください。また、プログラム DFHCRT がタスク CXRT によってのみ開始されていることを確認してください。

モジュール: DFHCRT

ACTK

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。このタスクは、マスター端末オペレーターによって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウトの結果除去されました。

モジュール: DFHZISP

ACTL

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZISP

ACU0

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACU1

説明: 異常終了 ACUO の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACU2

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域から応答を受け取りましたが、それは CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反するものでした。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACU3

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路プログラムが、会話状態マシンを CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反する状態に設定しようとしました。

状態が入っているレジスターは、アセンブラー・リストから特定できます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACU4

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、会話状態マシンに対して SET 要求を出して、ゼロ以外の戻りコードを受け取りました。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

DFHZUSR から戻った時点のトレース項目に、要求タイプと現在の状態が示されます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACU5

説明: アプリケーション所有領域内で実行されているプログラムが、端末専有領域に接続されている APPC 装置に対して ALLOCATE 要求を出しましたが、2 つのシステム相互間の接続がインストールされていませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 2 つの領域相互間の接続をインストールしてください。

モジュール: DFHZXRL

ACU6

説明: 代理 TCTTE で同期点を準備する要求が DFHRTSU に出されましたが、予期しない応答と理由コードが返されました。応答と理由コードは、例外トレースに印刷される DFHRTSU のパラメーター・リストにあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACU7

説明: アプリケーション所有領域と端末専有領域の間にセッションを割り振る要求が出されましたが、リモート・システムとの接続が APPC 接続または MRO 接続ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接続を APPC または MRO として再定義するか、この接続でトランザクション経路指定を使用しないようにしてください。

モジュール: DFHZXRL

ACU8

説明: 代理 TCTTE のリカバリー処理状況を取得する要求が DFHRTSU に出されましたが、予期しない応答と理由コードが返されました。応答と理由コードは、例外トレースに印刷される DFHRTSU のパラメーター・リストにあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACU9

説明: リンクのリカバリー処理状況を設定する要求がリカバリー・マネージャーに出されましたが、予期しない応答と理由コードが返されました。応答と理由コード

ACUA • ACUF

は、例外トレースに印刷される DFHRMLN のパラメーター・リストにあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUA

説明: トランザクション経路指定ではサポートされない要求で DFHZXRL が呼び出されました。

この要求は、例外トレースに印刷される DFHLUC パラメーター・リストにあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUB

説明: ALLOCATE 要求のために DFHZXRL に渡されたパラメーター・リストに、リモート APPC 端末の TCTSE アドレスが入っていません。

TCTSE アドレスは、例外トレースに印刷される DFHLUC パラメーター・リストにあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUC

説明: DFHZXRL に渡された TCTSE アドレスは、リモート LU 6.2 端末のものではありません。

TCTSE アドレスは、例外トレースに印刷される DFHLUC パラメーター・リストにあります。DFHZXRL が DFHZARL から呼び出され、この DFHZXRL が要求の詳細をそのトレース項目に入れます。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUD

説明: プロファイル DFHCICSR が、インストール済みプロファイル定義として見つかりませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: IBM 提供のプロファイル DFHCICSR が正しく定義されていて、しかも CICS に正しくインストールされているかどうか調べてください。

モジュール: DFHZXRL

ACUE

説明: 代理 TCTTE を作成するための DFHZTSP に対する要求が満たされませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUF

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間のセッションが、要求を正しく指定しなかったために割り振られませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUG

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間にセッションを割り振る要求が失敗しました。

ALLOCATE 要求からの戻りコードは、以前はそのプロファイルをインストール済みトランザクション定義として見つけることができたものの、今回はそれができなかったことを示しています。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUH

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間にセッションを割り振る要求が失敗しました。ALLOCATE 要求からの戻りコードは、要求されたセッションを TCA が既に所有していることを示しています。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUI

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間の ISC セッションが、プロファイル内で指名された MODENAME が見つからなかったために割り振られませんでした。IBM 提供のプロファイル DFHCICSR は MODENAME を指定していません。したがって、このエラーは、MODENAME が IBM 提供のプロファイルに追加されたときに、その

MODENAME が端末専有領域について SESSIONS 定義に定義されていない場合に発生します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 端末専有領域に対して SESSIONS を定義しているときに、プロファイル DFHCICSR に指定した MODENAME も指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUJ

説明: アプリケーション所有領域および端末専有領域の相互間のセッションが、プロファイル DFHCICSR に指定されたモード・グループの最大セッション・カウントがゼロであるために割り振られませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: CEMT トランザクションを使用して、必要なモード・グループ内で使用できるセッションの数を設定してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUK

説明: リモート端末用の TCTSE 内に指定された端末専有領域について、TCT 項目が見つかりませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システム項目に定義されている端末専有領域が、CICS にも定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUL

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

ACUM • ACUT

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。

- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACUM

説明: 代理 TCTTE を解放するための DFHZTSP に対する要求が満たされませんでした。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUO

説明: 端末管理 READ 要求が失敗しました。アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域からデータを受け取ろうとして、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。

- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACUP

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域からロールバックを受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUQ

説明: 異常終了 ACUO の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACUR

説明: 異常終了 ACUP の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACUS

説明: 異常終了 ACUO の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACUT

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域から同期点またはロールバックのいずれも受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

端末専有領域からのトレースが、アプリケーション所有領域に対する応答を示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRL

ACUV

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上で端末専有領域に対して端末管理 ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACUW

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上で端末専有領域に対して端末管理 ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACUX

説明: 異常終了 ACUL の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACUY

説明: アプリケーション所有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、端末専有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 端末専有領域内の中継プログラムが異常終了している。この場合、中継プログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRL

ACUZ

説明: 異常終了 ACUL の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHZXRL

ACVA

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して端末管理 WRITE、WAIT、READ 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ACVB • ACVE

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVB

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して端末管理 ISSUE SIGNAL 要求を出そうとしました。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRT

ACVC

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上のアプリケーション所有領域に対して ISSUE SIGNAL 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVD

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して READ、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVE

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して WRITE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVF

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域に対して WRITE、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVG

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 端末とのセッションを解放するための FREE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

ACVH

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域とのセッションを解放するための FREE 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZARQ から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVK

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上に ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。
- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVL

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して ISSUE ABEND 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されません。

ACVM • ACVP

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。

セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVM

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 リンク上に ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。

セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVN

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、MRO リンク上でアプリケーション所有領域に対して ISSUE ERROR 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

この戻りコードは、DFHZIS1 から返される時点で、TCATPAPR およびトレース項目の両方にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。この異常終了コードは、次の場合に出されます。

- アプリケーション所有領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。

- セッションが失敗に終わっている。

モジュール: DFHZXRT

ACVO

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが ISSUE PREPARE 要求を出して、ゼロ以外の戻りコードまたは CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反するとの応答のいずれかを受け取りました。

戻りコードは TCASPRC にあり、応答は TCASPSN1 にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、問題の原因が戻りコードと応答のどちらであるかを判別してください。端末管理が要求を処理できなかった場合は、次の時点で異常終了になります。

- 接続された領域内のプログラムが異常終了している。この場合、このプログラムが異常終了した理由を判別してください。

- セッションが失敗に終わっている。

上記以外の場合は、分散アプリケーション・プログラムが APPC 会話プロトコルに違反している可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

ACVP

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、アプリケーション所有領域からの FMH43 を受け取りませんでした。これは、CICS トランザクション経路指定プロトコルに違反しています。

アプリケーション所有領域からのトレースは、その応答を端末専有領域に対して示します。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZXRT

ACVQ

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、APPC 端末に対して要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

要求と戻りコードはどちらも、例外トレースに印刷される DFHLUC パラメーター・リストにあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションは失敗したか、間違っただけの状態にあります。例えば、端末とアプリケーションの両方が同時に SYNCPOINT ROLLBACK を出した結果そのような状態になった場合です。

モジュール: DFHZXRT

ACVR

説明: 端末専有領域内のトランザクション経路指定プログラムが、LU 6.2 端末に対して SEND、LAST、WAIT 要求を出して、端末管理からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

ADxx 異常終了コード

AD21

説明: CICS-DB2 接続機能が、間違っただけの名前のリソース・マネージャーに対する要求を受け取りました。一時データに出力されるメッセージ DFHDB2045 に、無効な名前詳細が示されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD22

説明: CICS-DB2 接続機能の EDF プロセッサが SQL 要求を解釈できませんでした。

システムの処置: コマンドが EDF で解釈されません。CICS トランザクション・ダンプが取られて異常終了コード AD22 が記録されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

戻りコードは、例外トレース内に印刷されている DFHLUC パラメーター・リスト内にあります。

システムの処置: このタスクは異常終了し、トランザクション・ダンプと例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、端末管理が要求を処理できなかった理由を判別してください。その端末セッションが失敗した可能性があります。

モジュール: DFHZXRT

ACWA

説明: タスクにその基本機能としての独自の端末 (TCTTE) がないため、CICS CWTO トランザクションは失敗に終わりました。これは、CWTO が、端末 ID を持たない EXEC CICS START トランザクション ID として開始されたために起こった可能性があります。

システムの処置: トランザクションが異常終了します。トランザクション・ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: 端末 ID 値を指定して再試行するか、端末から CWTO を入力してください。

モジュール: DFHCWTO

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EDF

AD23

説明: CICS-DB2 接続機能のサービス・トランザクション CEX2 が行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する LOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 サービス・タスクが、CICS-DB2 インターフェースの強制シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX2

AD24

説明: CICS-DB2 接続機能のサービス・トランザクション CEX2 が行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する UNLOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 サービス・タスクが、CICS-DB2 インターフェースの強制シャットダウンを開始します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX2

AD25

説明: CICS-DB2 接続機能が DSNB コマンドの処理中に行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する LOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB コマンドは失敗し、トランザクションが異常終了してトランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CC

AD26

説明: CICS-DB2 接続機能が DSNB コマンドの処理中に行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する UNLOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB コマンドは失敗し、トランザ

クションが異常終了してトランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CC

AD27

説明: CICS-DB2 接続機能が、アプリケーションからの SQL 要求をサービスするために DB2 スレッドを作成する TCB に接続しようとした。TCB の接続がストレージ不足のために失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS 領域のサイズを大きくするか、DB2CONN に指定されている TCBLIMIT の値を小さくしてください。

モジュール: DFHD2EX1

AD28

説明: CICS-DB2 接続機能が、アプリケーションからの SQL 要求をサービスするために DB2 スレッドを作成する TCB に接続しようとした。TCB の接続が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD29

説明: CICS-DB2 接続機能が、その EDF プロセッサ DFHD2EDF にリンクできませんでした。

システムの処置: コマンドが EDF で解釈されません。メッセージ DFHDB2048 が一時データに出力され、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AD29 が記録されます。

ユーザーの処置: CICS トランザクション・ダンプ内のトレースを調べて、モジュール DFHD2EDF へのリンクが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EDF

AD2A

説明: ロック・マネージャー (LM) ドメインに対する LOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2B

説明: ロック・マネージャー (LM) ドメインに対する UNLOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2C

説明: DB2TRAN 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、予期しない EXCEPTION 応答が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2D

説明: DB2TRAN 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2E

説明: DB2ENTRY 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、予期しない EXCEPTION 応答が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2F

説明: DB2ENTRY 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成されます。また、ダンプ・テーブルに指定されたオプションによっては、システム・ダンプが取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2G

説明: トランザクションが、DISABLED または DISABLING の DB2ENTRY を使用しようとしていました。DB2ENTRY の DISABLEDACT 属性に ABEND が指定されています。これは、この DB2ENTRY を使用しようとする新規トランザクションを異常終了させる必要があることを意味します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 「CEMT INQ DB2TRAN TRANSID(tttt)」(tttt はトランザクション ID) を使用して、関係した DB2ENTRY の名前を特定してください。DB2ENTRY を再び使用可能にするか、または DB2ENTRY を破棄してトランザクション ID がプール・スレッドを使用するようにします。

モジュール: DFHD2EX1

AD2H

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムの異常終了を検出しました。

システムの処置: CICS が動的計画出口から異常終了をトラップしてメッセージ DFHDB2050 を出し、タスクを異常終了させて CICS トランザクション・ダンプを作成しました。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2050 一時データ・メッセージを参照して、動的計画出口プログラムの異常終了コードを特定します。出口プログラムが異常終了した原因を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2I

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。このプログラムがリンク・エディットされた AMODE 31 でなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2051 一時データ・メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。動的計画出口プログラム AMODE 31 を再度リンク・エディットします。

モジュール: DFHD2EX1

AD2J

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。このプログラムが使用不可になっていることが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2053 一時データ・メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。この動的計画出口プログラムを使用可能にします。

モジュール: DFHD2EX1

AD2K

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。プログラム定義が見つからなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2057 一時データ・メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。この動的計画出口プログラムが CICS で正しく定義されていることを確認します。

モジュール: DFHD2EX1

AD2L

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。このプログラムをロードできなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2058 一時データ・メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。この動的計画出口プログラムが正しく定義され、かつ CICS がアクセスできるロード・ライブラリー内にあることを確認します。

モジュール: DFHD2EX1

AD2M

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。このプログラムがリモートと定義されていることが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2066 一時データ・

メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。この動的計画出口プログラムがローカルと定義されるようにプログラム定義を訂正してください。

モジュール: DFHDB2EX1

AD2N

説明: CICS-DB2 接続機能が動的計画出口プログラムへのリンクに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2054 一時データ・メッセージを参照して、関係した動的計画出口プログラムの名前を特定してください。トランザクション・ダンプを調べて、リンクに失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHDB2EX1

AD2O

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ディスパッチャー (DS) ドメインに対する WAIT_MVS 呼び出しで発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHDB2EX1

AD2P

説明: トランザクションが DB2ENTRY またはプールから DB2 スレッドを取得できませんでした。関連する一時データ・メッセージ DFHDB2011 を参照して、どの DB2ENTRY が関係したか、あるいはプールであったかどうかを判別してください。DB2ENTRY またはプールで threadwait(no) が指定されていたために、トランザクションは異常終了しました。threadwait(no) は、スレッドがすべて使用中である場合に、スレッドを待機しないことを意味します。メッセージ DFHDB2011 にプールが使用中であったことが示されている場合は、トランザクションがプールにオーバーフローしたのではなくプールを直接使用していたことを意味します (トランザ

クションがプールにオーバーフローし、かつ使用できるプール・スレッドがない場合は、異常終了 AD3T が生成されます)。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DB2ENTRY またはプールに追加のスレッドを割り振る必要があるか、あるいは TRANCLASS を使用してこのトランザクションのインスタンス数を制限する必要があるかを判別してください。

モジュール: DFHDB2EX1

AD2Q

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する getmain 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHDB2EX1

AD2R

説明: このトランザクションの DB2 要求を処理する CICS-DB2 を使用した TCB 接続が異常終了しました。例外トレース AP 319D が作成されます。このトレースには、MVS 異常終了コード、MVS 理由コード、および CICS タスクと CICS-DB2 TCB 接続が使用する関連した CICS-DB2 制御ブロックが含まれます。返される制御ブロックの 1 つが CSUB 制御ブロックです。この制御ブロックには、異常終了時の MVS SDWA のデータ (CSB_SDWA_REGS (レジスター 0-15) や CSB_SDWA_PSW フィールドなど) が格納されます。CSB_SDWA_REGS は、SDWA 見出しに続く 16 個の単語です。CSB_SDWA_PSW フィールドは、CSB_SDWA_REGS フィールドに続く 2 個の単語です。

TCB 接続は、DB2 でスレッドがまだアクティブであるときに CICS トランザクションが CICS から強制除去された場合に終了します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS トランザクション・ダンプ内のトレースを調べて、CICS-DB2 スレッド TCB が異常終了した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2S

説明: トランザクションの DB2 要求をサービスするスレッド TCB が DB2 に対するサインオン要求を出しましたが失敗しました。インストール済みの DB2CONN は THREADERROR(N906D) または THREADERROR(ABEND) を指定しています。

システムの処置: THREADERROR(N906D) が DB2CONN に指定されている場合、処理は続行されます。アプリケーションに -906 sqlcode が返され、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AD2S が記録されます。

THREADERROR(ABEND) が DB2CONN に指定されている場合、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、DB2 に対するサインオン要求が失敗した理由を判別してください。理由の 1 つとして、スレッドが取り消されたことが考えられます。許可障害の場合は、トランザクションに使用された DB2ENTRY またはプールの AUTHID または AUTHTYPE パラメーターを調べてください。この ID が DB2 内の計画へのアクセスを許可されていることを確認します。

モジュール: DFHD2EX1

AD2T

説明: トランザクションの DB2 要求をサービスする TCB が DB2 スレッドを作成しようとしたが、DB2 理由コード 00F30040 で失敗しました。インストール済みの DB2CONN は THREADERROR(N906D) または THREADERROR(ABEND) を指定しています。

システムの処置: THREADERROR(N906D) が DB2CONN に指定されている場合、処理は続行されます。アプリケーションに -906 sqlcode が返され、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AD2T が記録されます。

THREADERROR(ABEND) が DB2CONN に指定されている場合、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 計画が使用できないか、または DB2 に認識されていません。

モジュール: DFHD2EX1

AD2U

説明: DB2 要求をサービスする TCB が DB2 スレッドを作成しようとしたが失敗しました。インストール済みの DB2CONN は THREADERROR(N906D) または THREADERROR(ABEND) を指定しています。

システムの処置: THREADERROR(N906D) が DB2CONN に指定されている場合、処理は続行されます。アプリケーションに -906 sqlcode が返され、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AD2U が記録されます。

THREADERROR(ABEND) が DB2CONN に指定されている場合、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、スレッドの作成に失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2V

説明: CICS-DB2 接続機能が DB2 に対してコミット要求またはアボート要求を出しましたが、DB2 との接続が失われたことを示す理由コード 00F30805 を受け取りました。これは、DB2 が異常終了したか、異常終了中であることが原因です。コミット要求またはアボート要求の前に準備要求が出されていた場合は、DB2 が未確定であると考えられます。この場合、CICS-DB2 接続機能は、UOW の結果を記録して再同期を保留するよう CICS に指示します (再同期は CICS と DB2 が再接続されたときに行われます)。アボート要求の前に準備 (トランザクションの異常終了または同期点ロールバック) が行われなかった場合は、UOW が未完了であるため、DB2 は未確定となります。UOW が行った更新は DB2 が再始動時にバックアウトするため、CICS で UOW の結果を記録しておく必要はありません。

システムの処置: トランザクションは正常に終了しますが、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AD2V が記録されます。UOW の結果が DB2 で未確定である場合は、CICS と DB2 が再接続されるときに解決されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに DB2 サブシステムの再始動を依頼してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2W

説明: CICS-DB2 接続機能が DB2 に対して単一フェーズ・コミット呼び出しを発行しましたが、予期しない応答を受け取りました。一時データ・メッセージ DFHDB2055 に、受け取った DB2 理由コードの詳細が

示されています。コミット要求は、処理されたか、終了した可能性があります。CICS リカバリー可能リソースが更新されなかったため、再同期は必要ありません。

システムの処置: CICS-DB2 接続機能が、異常終了コード AD2W でトランザクションを異常終了させます。CICS リカバリー・マネージャーによって、AD2W 異常終了コードが ASPR 異常終了コードで置き換えられます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2X

説明: CICS-DB2 接続機能が、CICS タスクとスレッド TCB が無効な状態であることを検出しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD2Y

説明: トランザクションが DB2ENTRY またはプールから DB2 スレッドを取得できませんでした。これは、スレッドの作成に使用できる TCB がなかったことが原因です。現在実行中のスレッド TCB の数が、DB2CONN で定義されている TCBLIMIT に達しています。メッセージ DFHDB2010 が一時データに出力されます。次のいずれかの理由でトランザクションが異常終了しました。

- スレッドを待機しないことを意味する threadwait(no) が DB2ENTRY で指定されている (使用可能な TCB がいないためにスレッドの作成を待つ必要がある場合も含まれるため、TCB を待機しないことも意味する)。

DB2ENTRY で threadwait(pool) が指定されているが、DB2CONN 内のプール定義で threadwait(no) が指定されており、使用可能な TCB もなかった。

- トランザクションがプールを直接使用しており、かつプールで threadwait(no) が指定されていて、使用可能な TCB がなかった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TCBLIMIT を増やすか、あるいは 1 つのインスタンスで DB2 を使用するトランザクションの数をトランザクション・クラスを使用して制限するかを決定します。

モジュール: DFHD2EX1

AD2Z

説明: DB2 がデッドロックを検出し、DB2ENTRY またはプールで DROLLBACK(YES) が指定されていたために、CICS-DB2 接続機能がトランザクションに対して SYNCPOINT ROLLBACK コマンドを実行しようとした。SYNCPOINT ROLLBACK コマンドが失敗しました。関係したトランザクション ID および失敗した SYNCPOINT ROLLBACK コマンドからの EIBRESP2 を示すメッセージ DFHDB2070 が一時データに出力されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EIBRESP2 値を調べて、同期点ロールバック要求が失敗した理由を判別してください。理由の 1 つとして、クライアント・トランザクションが SYNCONRETURN パラメーターを指定せずに DPL 先として指定した DPL サーバー・トランザクションが、実行中のトランザクションであったことが考えられます。この場合は、サーバー・トランザクションが同期点 (同期点ロールバック) を取ることができないため、DROLLBACK(YES) が無効になります。

モジュール: DFHD2EX1

AD31

説明: PACKAGESET 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、予期しない EXCEPTION 応答が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

AD32 • AD39

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD32

説明: PACKAGESET 制御ブロックを検出するためのディレクトリー・マネージャー (DD) ドメインに対する検出呼び出しで、エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD33

説明: CICS-DB2 接続機能が、パッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS の異常終了を検出しました。

システムの処置: CICS が DFHD2SPS から異常終了をトラップしてメッセージ DFHDB2080 を出し、タスクを異常終了させて CICS トランザクション・ダンプを作成しました。

ユーザーの処置: 関連する DFHDB2080 一時データ・メッセージを参照して、DFHD2SPS の異常終了コードを特定します。DFHD2SPS が異常終了した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD35

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。プログラムが使用不可になっていることが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHD2SPS プログラムを使用可能にする。

モジュール: DFHD2EX1

AD36

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。プログラム定義が見つからなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHD2SPS が CICS で正しく定義されていることを確認します。DFHD2SPS の定義は自動インストールできません。

DFHD2SPS の定義は、CICS で定義されるグループ DFHDB2 にあります。CSD 定義がアップグレードされていることを確認してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD37

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。このプログラムをロードできなかったことが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHD2SPS が正しく定義され、かつ CICS がアクセスできるロード・ライブラリー内にあることを確認します。

モジュール: DFHD2EX1

AD38

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。このプログラムがリモートと定義されていることが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHD2SPS がローカルと定義されるようにプログラム定義を訂正してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD39

説明: CICS-DB2 接続機能がパッケージ・セット設定プログラム DFHD2SPS へのリンクに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、リンクに失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD3A

説明: CICS-DB2 接続機能始動プログラムが行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する LOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2STR

AD3B

説明: CICS-DB2 接続機能始動プログラムが行ったロック・マネージャー (LM) ドメインに対する UNLOCK 呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2STR

AD3C

説明: CICS-DB2 接続機能始動プログラムが行った CICS-DB2 コーディネーター・プログラム DFHD2CO に対する CONNECT_TO_DB2 機能呼び出しで、エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2STR

AD3D

説明: DSNB STRT コマンドの処理中に、一時ストレージ・キューからレコードを削除する際に予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB STRT コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3E

説明: トランザクションの DB2 要求の処理中に、DB2 に対する呼び出し側 TCB を識別するための識別要求が行われました。この識別要求が失敗しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DB2 要求は失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプ内の例外トレースを調べて、識別要求が失敗した理由を判別してください。CSUB 制御ブロックは例外トレース項目の一部として出力され、フィールド CSB_TRACE_ENTRIES_START での DB2 開始のためのすべての呼び出しのレコードを含んでいます。識別要求には見出し「IDEN」が含まれ、その後に DB2 FRB の応答コードと理由コードが続きます。

モジュール: DFHD2D2

AD3F

説明: トランザクションの DB2 要求の処理中に DB2 に対してスレッド終了要求が行われましたが、失敗しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DB2 要求は失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプ内の例外トレースを調べて、スレッド終了要求が失敗した理由を判別してください。CSUB 制御ブロックは例外トレース項目の一部として出力され、フィールド CSB_TRACE_ENTRIES_START での DB2 開始のためのすべての呼び出しのレコードを含んでいます。スレッド終了要求には見出し「TERM」が含まれ、その後に DB2 FRB の応答コードと理由コードが続きます。

モジュール: DFHD2D2

AD3G

説明: CICS-DB2 DSNB コマンドの処理中に発行された EXEC CICS GETMAIN から、予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3H

説明: 動的計画出口から EXEC SQL コマンドまたは IFI 呼び出しを発行することはできません。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 動的計画出口から EXEC SQL コマンドまたは IFI 呼び出しを削除してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD3I

説明: CICS-DB2 インターフェースの始動中に発行された EXEC CICS INQUIRE DB2CONN コマンドから、予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3J

説明: 同期点の第 2 フェーズで出された DB2 に対するコミット要求が失敗しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS は、UOW がコミットしたレコードを保持したまま、DB2 との以降の再同期要求を保留します。

ユーザーの処置: ダンプ内の例外トレースを調べて、コミット要求が失敗した理由を判別してください。CSUB 制御ブロックは例外トレース項目の一部として出力され、フィールド CSB_TRACE_ENTRIES_START での DB2 開始のためのすべての呼び出しのレコードを含んでいます。コミット要求には見出し「COMM」が含まれ、その後に DB2 FRB の応答コードと理由コードが続きます。

モジュール: DFHD2D2

AD3K

説明: 同期点の第 2 フェーズで出された DB2 に対するアボート要求が失敗しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS は、UOW がバックアウトしたレコードを保持したまま、DB2 との以降の再同期要求を保留します。

ユーザーの処置: ダンプ内の例外トレースを調べて、アボート要求が失敗した理由を判別してください。CSUB 制御ブロックは例外トレース項目の一部として出力され、フィールド CSB_TRACE_ENTRIES_START での DB2 開始のためのすべての呼び出しのレコードを含んでいます。アボート要求には見出し「ABRT」が含まれ、その後に DB2 FRB の応答コードと理由コードが続きます。

モジュール: DFHD2D2

AD3L

説明: トランザクションの DB2 要求の処理中に、DB2 接続を呼び出し側 TCB に関連付けるための関連付け要求が行われました。この関連付け要求が失敗しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DB2 要求は失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプ内の例外トレースを調べて、関連付け要求が失敗した理由を判別してください。CSUB 制御ブロックは例外トレース項目の一部として出力され、フィールド CSB_TRACE_ENTRIES_START での DB2 開始のためのすべての呼び出しのレコードを含んでいます。関連付け要求には見出し「ASSO」が含まれ、その後に DB2 FRB の応答コードと理由コードが続きます。

モジュール: DFHD2D2

AD3M

説明: DSNB MODIFY コマンドの処理中に予期しないエラーが発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB MODIFY コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3P

説明: DSNB STOP コマンドの処理中に予期しないエラーが発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB STOP コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3Q

説明: DSNB STRT コマンドの処理中に、一時ストレージ・キューからレコードの読み取りを行う際に予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB STRT コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3R

説明: CICS-DB2 インターフェースの始動中に、一時ストレージ・キューからレコードの読み取りを行う際に予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

AD3S • AD3Z

モジュール: DFHD2STR

AD3S

説明: CICS-DB2 インターフェースの始動中に発行された EXEC CICS SET DB2CONN コマンドから、予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3T

説明: トランザクションがプールから DB2 スレッドを取得できませんでした。メッセージ DFHDB2011 が一時データに出力されます。トランザクションが DB2ENTRY を使用しようとしたますが、DB2ENTRY のスレッドがすべて使用中であり、また threadwait(pool) が指定されていましたがプール内のスレッドもすべて使用中であったために、トランザクションが異常終了しました。DB2CONN 内のプール定義には threadwait(no) が指定されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DB2ENTRY またはプールに追加のスレッドを割り振る必要があるか、あるいは TRANCLASS を使用してこのトランザクションのインスタンス数を制限する必要があるかを判断してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD3U

説明: トランザクション定義を検出するためのトランザクション・マネージャー (XM) ドメインに対する検出呼び出しで、エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD3W

説明: CICS-DB2 インターフェースの始動中に、一時ストレージ・キューへのレコードの書き込みを行う際に予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: CICS-DB2 インターフェースの始動は強制終了され、インターフェースは閉じられます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2STR

AD3X

説明: DSNB STRT コマンドの処理中に、一時ストレージ・キューにレコードの書き込みを行う際に予期しない応答を受け取りました。コンソール・メッセージが出力され、例外トレースが作成され、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) が取られます。

システムの処置: DSNB STRT コマンドは失敗します。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2CM1

AD3Z

説明: このトランザクションの DB2 要求を処理する CICS-DB2 スレッド TCB が異常終了しました。DB2 アダプターがシャットダウン中であることが原因です。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了が CICS または DB2

のシャットダウンで発生した場合は、DB2 アダプターがシャットダウン処理の一部としてタスクを異常終了させているため、この異常終了は無視してかまいません。それ以外の場合は、IBM の支援が必要になります。

モジュール: DFHD2EX1

AD4A

説明: CICS-DB2 パッケージ・セット設定プログラムが EXEC SQL SET CURRENT PACKAGESET コマンドを発行しましたが、コマンドが失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、コマンドが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHD2EX1

AD4B

説明: CICS-DB2 接続機能が有効な dfhd2pkgset 制御ブロックの検出に失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHD2EX1

ADCA

説明: この異常終了は、アプリケーション・プログラムが出した DL/I 要求に対して DBCTL がゼロ以外の応答コードを返した場合に出されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先に送信される関連メッセージ DFHDB8109 を調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCB

説明: この異常終了は、PSB がスケジュールされていないタスクから DL/I 要求が発行されたことが DBCTL から CICS に通知された場合に発生します。アプリケーションで PSB がスケジュールされていない場合は、このタスクに対応する DBCTL スレッドを終了させるために DBCTL STOP THREAD コマンドが使用されたことが異常終了の原因として考えられます。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 異常終了したタスクに対して、DBCTL オペレーターが STOP THREAD コマンドを発行したかどうかを確認します。「IMS メッセージおよびコード」の DBCTL 戻りコードに関するセクションで、DBCTL 応答コード 28 を調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCC

説明: この異常終了は、プログラム仕様ブロック (PSB) が既にスケジュールされているタスクから PSB 要求が発行されたことが DBCTL から CICS に通知された場合に発生します。タスクが UIBDLTR で PSBSCH 応答を返す方法で既に PSB スケジュール要求を出している場合は、CICS によってタスクが DBCTL に PSB スケジュール要求を出すことが禁止されます。ただしこのケースでは、DBCTL が後続の PSB スケジュール要求を拒否しています。この異常終了の原因として、ストレージの上書きが考えられます。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ストレージの上書きが発生したことを示すメッセージが CICS システムから出されていないかを確認します。「IMS メッセージおよびコード」の DBCTL 戻りコードに関するセクションで、DBCTL 応答コード 32 を調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCD

説明: この異常終了は、IMS によってデッドロックが検出され、このトランザクションが異常終了の対象として選択された場合に発生します。

この異常終了は、トランザクションが DBCTL 経由またはリモート CICS 領域に対するリモート DLI 要求経由で IMS にアクセスした場合に発生する可能性があります。リモート CICS 領域は DBCTL 経由で IMS にアクセスできます。また、CICS 4.1 以前の領域の場合は、ローカル DLI 経由で IMS にアクセスできます。

システムの処置: このトランザクションで、DBCTL を経由した IMS リソースへのアクセスが取り消されます。さらに IMS にアクセスしようすると、AEY9 異常終了が発生します。

CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: システムで ADCD 異常終了が頻繁に発生しなければアクションは不要ですが、ADCD 異常終了が発生した後にトランザクションが自動的に再始動されるようにシステムをセットアップすることを検討してください。詳細については、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。

システムで ADCD 異常終了が頻繁に発生する場合は、アプリケーションの設計を見直す必要があります。デッドロックを回避するための一般的な手法が「再始動とリカバリーの管理」に記載されています。

モジュール: DFHDLIDP

ADCE

説明: この異常終了は、アプリケーション・プログラムが DBCTL に出した DL/I 要求に対してモジュール DFHDBAT がゼロ以外の戻りコードを返した場合に発生します。DFHDBAT はタスク関連ユーザー出口であり、CICS-DBCTL インターフェースの一部です。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDB8110 が出されます。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先に送信される関連メッセージ DFHDB8110 を調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCF

説明: この異常終了が発行されるのは、オプション PCBLOC=31 を指定する DRA 始動テーブル (DFSPZPxx) を使って CICS-DBCTL インターフェースが構成されていることがモジュール DFHDLIDP によって検出され、しかもアプリケーションが amode 24 である場合です。

PCBLOC=31 は、PCB アドレス・リストおよび PCB を境界の上に保管できることを指定します。これは amode 24 アプリケーションとは非互換です。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: アプリケーション amode 31 をリンク・エディットするか、または DRA 始動テーブル・オプションを PCBLOC=24 に変更してください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCI

説明: この異常終了は、アプリケーション・プログラムが出した DL/I 要求に対して IMS がユーザー異常終了 3303 応答を返した場合に発生します。

システムの処置: このトランザクションで、DBCTL を経由した IMS リソースへのアクセスが取り消されます。さらに IMS にアクセスしようすると、AEY9 異常終了が発生します。

CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IMS ユーザー異常終了 3303 の意味については、「IMS メッセージおよびコード」の説明を確認してください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCI

説明: この異常終了は、DBCTL を使用しているアプリケーションがまだ DBCTL にスケジュールされているときに CICS-DBCTL インターフェースが終了すると発生します。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先で、CICS-DBCTL インターフェースが終了した理由を示すメッセージを調べます。CDBC 一時データ宛先の場所が分からない場合は、システム・プログラマーに確認してください。DBCTL システムから出されたメッセージがないか調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCP

説明: DBCTL プログラム仕様ブロック (PSB) を検査していた外部セキュリティ・マネージャーが、PSB の使用状況から次のいずれかの状況を検出しました。

- ユーザーが PSB のアクセスを許可されていなかった。
- PSB が外部セキュリティ・マネージャーに認識されなかった。
- ユーザーの機能がデフォルト・ユーザーに設定されていた。

上記の「ユーザー」の意味は、トランザクションが呼び出された方法によって異なります。

- トランザクションがローカル端末から実行されているか、またはリモート端末から経路指定された場合、ユーザーは端末ユーザーです (経路指定されたトランザクションの場合は、SIT で PSBCHK=NO が指定されるか、トランザクション定義で RESSEC=NO が指定されると (CEDA DEFINE TRANSACTION コマンド)、セキュリティ・マネージャーが端末ユーザーの検査を行いません)。
- 別の CICS MRO 領域から出された要求の結果としてトランザクションが実行されている場合、ユーザーは他の CICS システムの所有者です (初期設定 JCL の JOB ステートメントで外部セキュリティ・マネージャーに対して定義されます)。
- 接続された ISC システムから出された要求の結果としてトランザクションが実行されている場合、ユーザーは、リモート・システムとローカル・システム間のリンクを定義するインストール済み CONNECTION 定義の SECURITYNAME オペランドで設定されます。SECURITYNAME オペランドの名前が、接続された CICS システムの提供する名前と同じであることを確認してください。この名前は、2 つのシステム間の CONNECTION のタイプによって異なります。詳細については、「CICS の相互通信」を参照してください。

注

上記の定義から、経路指定されたトランザクションが使用する PSB には、端末ユーザーと通信領域の 2 種類のユーザーが存在します。このため、経路指定されたトランザクションについては、外部セキュリティ・マネージャーが端末ユーザー (上記の 1 に該当する場合) と通信領域 (上記の 2 または 3 に該当する場合) で 2 回の検査を行います。

システムの処置: PSB をスケジュールしようとしたタスクを CICS が異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: PSB が外部セキュリティ・マネージャーに対して定義されていること、およびすべてのユーザーに正しいレベルの権限が割り当てられていることを確認します。システムのセットアップは正しい場合、セキュリティ違反に注意してください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCQ

説明: この異常終了は、アプリケーションが EXEC DLI SCHD 要求を出した PSB に DBPCB が含まれておらず、かつ SYSSERVE キーワードが指定されていない場合に発生します。また、アプリケーションが PCB 要求を出した PSB に DBPCB が含まれておらず、かつ IOPCB オプションが指定されていない場合にもこの異常終了が発生します。それ以外の場合、この異常終了は IMS 処理エラーを示している可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが適切な PSB をスケジュールしていることを確認してください。PSB が正しい場合は、IMS 管理者に連絡してください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCR

説明: この異常終了は、アプリケーションがスケジュール要求以外の DL/I 要求を出した場合に発生します。DBCTL DRA 戻りコード 40 は、DBCTL とのアクティブな通信がなかったことを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CDBC 一時データ宛先で、CICS-DBCTL インターフェースが終了した理由を示すメッセージを調べます。CDBC 一時データ宛先の場所が分からない場合は、システム・プログラマーに確認してください。DBCTL システムから出されたメッセージがないか調べてください。

モジュール: DFHDLIDP

ADCS

説明: CICS が DBCTL に対して単一フェーズ・コミット要求を出し、DBCTL から予期しない応答が返されました。

システムの処置: CICS が一時データ・キュー CDBC に対してメッセージ DFHDB8119 を出し、タスクを異常終了させて CICS トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHDB8119 に、DBCTL からの予期しない応答と、関係した LUW のリカバリ・トークンが示されます。メッセージ DFHDB8119 には、LUW の結果をどのように判別すればよいかが説明されています。

ADCT • ADDJ

モジュール: DFHDBAT

ADCT

説明: ユーザーが端末から CICS-DBCTL 制御トランザクションを呼び出そうとしました。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: CICS 内部トランザクションを直接呼び出さないでください。

モジュール: DFHDBCT

ADCV

説明: DBCTL との接続が終了し、再確立されました。失敗したタスクは、DBCTL の前回の実行でスケジュール要求を出していたために、現在はスケジュールされていない状態です。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: アクションは不要ですが、ADCV 異常終了が発生した後にトランザクションが自動的に再始動されるようにシステムをセットアップすることを検討してください。

モジュール: DFHDLIDP

ADDA

説明: ストレージ・マネージャー・ドメインの呼び出しでエラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHDBME、DFHDLI、DFHDLIDP

ADDB

説明: カタログ (CC)ドメインの呼び出しでエラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHDBCON、DFHDBDSC

ADDC

説明: エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が、ローダー (LD) ドメインに対する呼び出し時に発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初に出されたエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHDBCON、DFHDBDI

ADDI

説明: CICS に DBCTL の障害が通知されましたが、CICS が代替りの DBCTL を検索できませんでした。IEFSSREQ 要求からの予期しない戻りコードが原因と考えられます。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが生成されます。CICS は、代替りの XRF DBCTL が見つからなかった場合と同様に続行されます。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDX8323 が出されます。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHDX8323 を参照してください。DBCTL を手動で再始動することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHDBCT

ADDJ

説明: CICS が DBCTL への接続に失敗しました。プログラム DFHDBAT を ENABLED にできなかったことが原因です。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが生成されます。CICS/DBCTL インターフェースの状態は未接続のままです。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、ENABLE が失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHDBCON

ADDK

説明: CICS がアダプターのグローバル作業域 (GWA) または DBCTL グローバル・ブロック (DGB) でロックの取得または解除に失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、ロックが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHDBAT

ADEF

説明: トランザクション CLS3 の実行中に、重大エラーが起きました。

システムの処置: CLS3 は異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。CICS は、メッセージ DFHZC4948 を出します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC4948 を参照してください。

モジュール: DFHCLS3

ADIR

説明: この異常終了コードは次のいずれかの理由によって出されます。

- DFHDIP プログラムがダミーとして生成されたときに、DFHDI または DFHBMS 要求が出された。
- DFHDI TYPE=RECEIVE または TYPE=NOTE が試行されたが、トランザクション識別で INBFMH=DIP または INBFMH=ALL のいずれも指定されていない。

システムの処置: 問題判別に役立つように CICS トランザクション・ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: DFHDIP プログラムをシステムに生成するか、または INBFMH をプロファイル定義に正しく指定してください。

モジュール: DFHDIP

ADIS

説明: EXEC CICS ISSUE SEND 要求が、非端末基本機能を持つタスクから出されました。

システムの処置: 問題判別に役立つように CICS トランザクション・ダンプが提供されます。

ユーザーの処置: 正しくサポートされている端末または装置を使用してください。

モジュール: DFHEDI

ADLE

説明: リモート・データベースに対して DL/I 要求が出されましたが、リモート PDIR 項目で指定されたシステムが CICS に認識されませんでした。つまり、そのシステムが DFHTCT TYPE=SYSTEM マクロまたは CEDA DEFINE CONNECTION コマンドで指定されていませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連する DFHDLPSB 項目の SYSIDNT パラメーターを訂正するか、DFHTCT TYPE=SYSTEM マクロまたは CEDA DEFINE CONNECTION コマンドでこのリモート・システムを CICS に対して定義します。

モジュール: DFHDLIRP

ADLF

説明: リモート・データベースに対して DL/I 要求が出されましたが、データベースが存在するシステムへのリンクがダウンしていました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。リモート・システムへのリンクが再確立されたら、トランザクションを再度実行依頼してください。

モジュール: DFHDLIRP

ADLG

説明: リモート・データベースに対して DL/I 要求が出されましたが、ユーザーが提供した DL/I 引数リストにエラーがありました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DL/I 引数のエラーをすべて訂正してください。

モジュール: DFHDLIRP

ADLP

説明: DLI プログラム仕様ブロック (PSB) を検査していた外部セキュリティー・マネージャーが、PSB の使用状況から次のいずれかの状況を検出しました。

- ユーザーが PSB のアクセスを許可されていなかった。
- PSB が外部セキュリティ・マネージャーに認識されなかった。
- ユーザーの機能がデフォルト・ユーザーに設定されていた。

上記の「ユーザー」の意味は、トランザクションが呼び出された方法によって異なります。

- トランザクションがローカル端末から実行されているか、またはリモート端末から経路指定された場合、ユーザーは端末ユーザーです (経路指定されたトランザクションの場合は、SIT で PSBCHK=NO が指定されるか、トランザクション定義で RESSEC=NO が指定されると (CEDA DEFINE TRANSACTION コマンド)、セキュリティ・マネージャーが端末ユーザーの検査を行いません)。
- 別の CICS MRO 領域から出された要求の結果としてトランザクションが実行されている場合、ユーザーは他の CICS システムの所有者です (初期設定 JCL の JOB ステートメントで外部セキュリティ・マネージャーに対して定義されます)。
- 接続された ISC システムから出された要求の結果としてトランザクションが実行されている場合、ユーザーは、リモート・システムとローカル・システム間のリンクを定義するインストール済み CONNECTION 定義の SECURITYNAME オペランドで設定されます。SECURITYNAME オペランドの名前が、接続された CICS システムの提供する名前と同じであることを確認してください。この名前は、2 つのシステム間の CONNECTION のタイプによって異なります。詳細については、「CICS の相互通信」を参照してください。

注: 上記の定義から、経路指定されたトランザクションが使用する PSB には、端末ユーザーと通信領域の 2 種類のユーザーが存在します。このため、経路指定されたトランザクションについては、外部セキュリティ・マネージャーが端末ユーザー (上記の 1 に該当する場合) と通信領域 (上記の 2 または 3 に該当する場合) で 2 回の検査を行います。

システムの処置: PSB をスケジュールしようとしたタスクが異常終了します。

ユーザーの処置: PSB が外部セキュリティ・マネージャーに対して定義されていること、およびすべてのユーザーに正しいレベルの権限が割り当てられていることを確認します。システムのセットアップは正しい場合、セキュリティ違反に注意してください。

モジュール: DFHDLIRP

ADMA

説明: アクティブな CICS の DBCTL 接続状況を追跡する代替 CICS タスクが、CICS 可用性マネージャー (CAVM) メッセージ入力サービスからエラーを受け取りました。

システムの処置: トランザクションの追跡が終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。DBCTL の状況変更に対応して追加のアクションが実行されることはありません。グローバル出口 XXDFB と XXDTO は呼び出されず、DBCTL 再始動時にテークオーバーが発生しても何も行われません。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDX8331 が出されます。

ユーザーの処置: CAVM データ・セットの問題に関連する他のメッセージがないか調べてください。テークオーバーが発生した場合は、DBCTL の手動での再始動が必要となることがあります。

モジュール: DFHDBCR

ADMB

説明: CICS/XRF DBCTL 追跡タスクが、CICS/XRF メッセージ・マネージャーから認識不可能なメッセージを受け取りました。この異常終了の前に、メッセージ DFHDX8333 が出されます。

システムの処置: CICS/XRF DBCTL 追跡タスクが異常終了します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHDX8333 の指示を参照してください。

モジュール: DFHDBCR

ADMD

説明: アクティブな CICS の DBCTL 接続状況を追跡する代替 CICS システム・タスクが、代わりの DBCTL を検索できませんでした。IEFSSREQ 要求からの予期しない戻りコードが原因と考えられます。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが生成されます。追跡トランザクションは、代わりの DBCTL が見つからなかった場合と同様に続行されます。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDX8335 が出されます。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHDX8335 を参照してください。DBCTL を手動で再始動することが必要になる場合があります。

モジュール: DFHDBCR.

ADPA

説明: デバッグ・プロファイルを管理する CICS 提供のトランザクション (CADP) が、ファイル・マネージャーから EXCEPTION 応答を受け取りました。理由はファイル・エラーです。ファイル・マネージャーは、エラーの詳細な特質を示すコードが含まれている CICS ジョブ・ログにメッセージを出します。例えば、CADP が使用する基本のファイル DFHDPFMB が使用不可であるか存在しない場合は、この異常終了が発生します。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージについては、CICS のジョブ・ログを調べ、問題を修正して CADP トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHDPLU

ADPB

説明: デバッグ・プロファイルを管理する CICS 提供のトランザクション (CADP) が、ファイル・マネージャーから DISASTER 応答を受け取りました。理由は内部エラーです。ファイル・マネージャー・プログラムにエラーがあります。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージについては、CICS のジョブ・ログを調べてください。このタイプのエラーについては、IBM にサポートを依頼してください。

モジュール: DFHDPLU

ADPC

説明: デバッグ・プロファイルを管理する CICS 提供のトランザクション (CADP) が、ファイル・マネージャーから DISASTER 応答を受け取りました。理由は災害回復機能委任です。ファイル・マネージャーが呼び出した CICS ドメインのいずれかにエラーがあります。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージについては、CICS のジョブ・ログを調べてください。このタイプの

エラーについては、IBM にサポートを依頼してください。

モジュール: DFHDPLU

ADPD

説明: デバッグ・プロファイルを管理する CICS 提供のトランザクション (CADP) が、ファイル・マネージャーから PURGED 応答を受け取りました。理由は災害回復機能委任です。CADP がアクセスしようとするレコードが別のトランザクションで処理されているために、CICS ファイル制御に対する基本の要求がタイムアウトになった可能性があります。例えば、CADP と同時に CECI を使用して基本のファイル DFHDPFMB にアクセスすると、このエラーが発生します。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CADP が使用するファイルに対して他のタスクが実行されていないかを調べてください。

モジュール: DFHDPLU

ADPI

説明: すべてのデバッグ・プロファイルを非アクティブにする CICS 提供のプログラム (DFHDPIN) が、ファイル・マネージャーから EXCEPTION 応答を受け取りました。理由はファイル・エラーです。ファイル・マネージャーは、エラーの詳細な特質を示すコードが含まれている CICS ジョブ・ログにメッセージを出します。例えば、CADP が使用する基本のファイル DFHDPFMB が、DFHDPIN の実行中に使用不可になるか、または削除されると、この異常終了が発生します。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージについては、CICS のジョブ・ログを調べ、問題を修正して CADP トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHDPIN

ADPL

説明: サーバー・プログラムが、分散プログラム・リンク (DPL) 環境に限定されているコマンドを出しました。一部の API 要求と CPI-RR 要求、および DL/I 終了要求は、DPL 環境で実行できません。これらの制限付きコマンドのリストは、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

サーバー・プログラムは、リモートでリンクされたプログラム、または DPL サブセットで実行するよう定義されているプログラムです。

ADXA • AEC8

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: サーバー・プログラムから制限付きコマンドを除去するか、サーバー・プログラムをローカルで実行してください。

モジュール: DFHEIP、DFHCPIR、DFHDLI

ADXA

説明: XRF DBCTL 状態キャッチアップ・トランザクション DXCU は失敗しました。

システムの処置: DXCU が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDX8319 が出されます。

ユーザーの処置: CICS トランザクション・ダンプからエラーを診断します。詳細については、DFHDX8319 を参照してください。

AExx 異常終了コード

AEC1

説明: コマンド・レベル解釈プログラム (CECI)、拡張マスター端末 (CEMT)、または RDO (CEDA、CEDB、CEDC) トランザクションを、サポートされていない端末で使用しようとしてしました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: コマンド・レベル解釈プログラム、拡張マスター端末、または RDO トランザクションがサポートされている端末を使用します。

モジュール: DFHECIP、DFHECSP、DFHEMTP、DFHESTP、DFHEOTP、DFHEDAP

AEC2

説明: コマンド・レベル解釈プログラム (CECI)、拡張マスター端末 (CEMT)、または RDO (CEDA、CEDB、CEDC) トランザクションを、サイズが 24 X 80 よりも小さなディスプレイ端末で使用しようとしてしました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: コマンド・レベル解釈プログラム、拡張マスター端末、または RDO トランザクションがサポートされているディスプレイ端末を使用します。

モジュール: DFHECIP、DFHECSP、DFHEMTP、DFHESTP、DFHEOTP、DFHEDAP

モジュール: DFHDXCU

ADXB

説明: XRF DBCTL 状態キャッチアップ・トランザクション DXCU は失敗しました。

システムの処置: DXCU が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。この異常終了に伴ってメッセージ DFHDX8318 が出されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して問題を診断します。詳細については、DFHDX8318 を参照してください。CICS 可用性マネージャー (CAVM) データ・セットの問題に関連する他のメッセージがないか調べてください。

モジュール: DFHDXCU

AEC7

説明: 言語環境使用可能プログラムを実行しようとしているときに、THREAD INITIALIZATION フェーズ中に、言語環境が予期しないエラーを検出しました。言語環境から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。

システムの処置: メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムが使用不能である。

ユーザーの処置: 言語環境が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

AEC8

説明: 言語環境使用可能プログラムを実行しようとしているときに、RUNUNIT INITIALIZATION フェーズ中に、言語環境が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: 言語環境から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムが使用不能である。

ユーザーの処置: 言語環境が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

AEC9

説明: 言語環境使用可能プログラムを実行しようとしているときに、RUNUNIT BEGIN INVOCATION フェーズ中に、言語環境が予期しないエラーを検出しました。

システムの処置: 言語環境から受け取った戻りコードは、フィールド EIBRESP2 に入れます。メッセージ DFHAP1200 が出され、トランザクションが異常終了します。プログラムが使用不能である。

ユーザーの処置: 言語環境が出したエラー・メッセージまたはメッセージを参照して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

AECA

説明: CICS 内部 EP アダプター・トランザクション CEPQ、CEPT、CEPR、または CEPS のいずれかをユーザー・トランザクションとして実行しようとした。

システムの処置: CICS はこのタスクを終了します。

ユーザーの処置: CICS 提供の EP アダプターがユーザー・トランザクションとして実行されようとした理由を調べてください。

モジュール:
DFHECEAM、DFHECEAQ、DFHECEAS、DFHECEAT

AECC

説明: イベントの発行中にエラーが発生しました。この問題の原因として、イベントの仕様または EP アダプターの構成にエラーが存在する可能性があります。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール:
DFHECEAM、DFHECEAQ、DFHECEAS、DFHECEAT

AECE

説明: イベント処理据え置きフィルター・タスク CEPF で予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。CEPF タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール: DFHECDF

AECM

説明: CICS イベント処理の据え置きフィルター処理タスク CEPF の接続を試行しましたが、トランザクションは CICS によって内部的に接続されませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。この CEPF タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS 提供のイベント処理据え置きフィルター・タスクがユーザー・トランザクションとして実行されようとした理由を調べてください。

モジュール: DFHECDF

AEEO

説明: イベントの送信中に予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。EP アダプター・タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール:
DFHECEAM、DFHECEAQ、DFHECEAS、DFHECEAT

AED1

説明: この異常終了は、次のいずれかの結果として作成されます。

- サポートされない端末で実行診断機能 (EDF) を使用しようとした。
- サポートされない装置で一時ストレージ・ブラウズ・トランザクション (CEBR) を使用した。
- 非端末基本機能を使用して、一時ストレージ・ブラウズ・トランザクション (CEBR) を開始しようとした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 正しくサポートされている端末または装置を使用してください。

モジュール: DFHEDFP、DFHEDFBR

AED2

説明: プログラム EDF はタスクを終了させ、そのタスクの TCA にこの異常終了コードを入れました。これは EDF の実行が異常終了しようとしているためです。EDF が終了する理由には、回線、制御装置、または端末がサービス不能状態に置かれたことが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EDF がディスプレイ端末としてサポートしている端末を使用してください。この異常終了コードとともに終了したタスクの CICS トランザクション・ダンプを使用して、検討することができます。

モジュール: DFHEDFX

AED3

説明: プログラム EDF はタスクを終了させ、そのタスクの TCA にこの異常終了コードを入れました。この終了は、EDF の実行が異常終了しようとしているために生じます。

EDF の異常終了の理由の 1 つに、正しくないデータがユーザー・タスクにより端末に送信されたことが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 終了したタスクの CICS トランザクション・ダンプ (その終了が異常終了であった場合には、EDF に関する類似のダンプも) を使用して、検討することができます。

モジュール: DFHEDFX

AED4

説明: EDF モジュール DFHEDFP で内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 論理エラーを示しています。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFP

AED5

説明: 内部論理エラーが EDF で検出されました。事前に割り振られた動的ストレージが不足しています。

システムの処置: EDF は異常終了し、ダンプ・コード CXSP、RMIN、PAGE、LDIN のダンプが作成されます。ユーザー・タスクは続行されます。

ユーザーの処置: この問題は、EDF とのユーザーの対話を簡素化することによって避けることができます。問題が解決しない場合は、サポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFD

AED6

説明: 内部論理エラーが EDF で検出されました。

システムの処置: EDF は異常終了し、ダンプ・コード CXSP、RMIN、PAGE、LDIN のダンプが作成されます。ユーザー・タスクは続行されます。

ユーザーの処置: この問題は、EDF とのユーザーの対話を簡素化することによって避けることができます。問題が解決しない場合は、サポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFU

AED7

説明: トランザクション CEDF のインストール済み定義に、小さすぎる TWA サイズがあります。

システムの処置: CICS は CICS トランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了します。

ユーザーの処置: インストールされた CEDF トランザクションの更新済みコピーがある場合は、TWA サイズが IBM 提供の定義によって定義されたサイズと少なくとも同じ大きさであることを確認してください。更新済みの CEDF がない場合は、問題を解決するために追加のサポートを受ける必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFP

AED8

説明: 端末管理エラーが DFHEDFX に発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFX

AED9

説明: EDF で一時ストレージ・エラーが起きました。これは、一時ストレージで入出力エラーが起きたか、または一時ストレージ・データがいっぱいになったことが原因で起きます。

システムの処置: EDF が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ要求障害が起きた理由を調べてください。一時ストレージ・データ・セットの定義が正しいか確認してください。

一時ストレージの問題の処理についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHEDFD

AEDA

説明: CEDF トランザクションが、無効な開始コードで開始されました。実行診断機能 (EDF) を EXEC CICS START(CEDF) で開始しようとした結果、このようなエラーが起きることがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、開始が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

AEDB

説明: DFHEDFP が無効な EDFXA を渡されました。これは、内部 CICS エラーです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEDFX

AEDC

説明: ストレージ・マネージャーへの GETMAIN 要求が失敗したために、プログラム EDF が終了しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、要求が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

AEDD

説明: CICS が EDF タスクを生成してユーザー要求を表示しようとしたましたが、タスク生成が失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、タスク生成が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

AEDE

説明: CICS が EDF タスクを完了させるためユーザー・タスクを延期していましたが、延期の実行中にエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、延期が失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

AEDF

説明: CICS が EDF タスクを完了させるためユーザー・タスクを延期していましたが、延期中、つまり EDF から制御が戻る前にユーザー・タスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: マスター端末オペレーターによってタスクが除去されたと思われます。

タスクが除去された理由を調べてください。これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

モジュール: DFHEDFX

AEDG

説明: CICS が EDF タスクを完了させるためユーザー・タスクを延期していました。延期中、つまり EDF から制御が戻る前にユーザー・タスクがなくなりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、タスクが再開前に終了した理由を判別してください。

モジュール: DFHEDFX

AEDH

説明: EDF を呼び出したユーザー・プログラムの詳細を調べるために、CICS がプログラム・マネージャーを呼び出したときにエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、呼び出しが失敗した原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEDFX

AEE0

説明: AMODE(64) で実行中のアプリケーションが、AMODE(64) をサポートしていないスタブ・プログラムを使用して CICS を呼び出しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが正しい AMODE で正しいスタブ・プログラムを呼び出すようにしてください。

現在使用中のスタブ・プログラムで CICS を呼び出す前に、アプリケーションで AMODE(64) バージョンのスタブ・プログラムを呼び出すか、AMODE に切り替える必要があります。

アプリケーションで AMODE(64) バージョンのスタブ・プログラムを呼び出す場合は、CICS 提供のマクロが呼び出される前に、SYSSTATE マクロを AMODE64=YES オプションを指定して呼び出す必要があります。

モジュール:

DFHCPI、DFHEIP、DFHEIPA、DFHERM

AEE1

説明: アプリケーション・プログラムが AMODE(64) コマンド・スタブを呼び出しましたが、実行モードが AMODE(64) ではありませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムが正しい AMODE で正しいスタブ・プログラムを呼び出すようにしてください。

現在のスタブ・プログラムで CICS を呼び出す前に、アプリケーションで非 AMODE(64) バージョンのスタブ・プログラムを呼び出すか、または AMODE(64) に切り替える必要があります。

モジュール: DFHEIG、DFHEIGA

AEE2

説明: 最初の AMODE(64) コマンド・プロセッサ・モジュール DFHEIG がアプリケーション・プログラム・エラーを検出しました。異常終了でエラーが明らかになる直前に、例外トレースが作成されます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 例外トレースを使用してエラーを特定し、訂正してください。

モジュール: DFHEIG

AEE3

説明: AMODE(64) アセンブラー・アプリケーションが呼び出し元に戻るために DFHEIRET を使用しましたが、CICS エピログ・コードによって解放される動的ストレージ域 (DSA) がチェーンの先頭にありません。アセンブラー DSA は、DFHEIENT マクロおよび CICS プロログ・コードによって取得され、互いにチェーンングされてチェーンの先頭に追加されます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 直接呼び出されて DFHEIENT を使用するすべてのアセンブラー・アプリケーション・プログラムが、DFHEIRET コマンドまたは EXEC CICS RETURN コマンドを使用して呼び出し元に戻るようにしてください。

モジュール: DFHEIGA

AEI0

説明: PGMIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI1

説明: TRANSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI2

説明: ENDDATA 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI3

説明: INVTSREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI4

説明: EXPIRED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI8

説明: TSIOERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEI9

説明: MAPFAIL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIA

AEIA

説明: 例外条件が発生したときに、コマンドに RESP オプション (または NOHANDLE オプション) が指定されていないか、またはアプリケーション・プログラムがその条件に対して EXEC CICS HANDLE CONDITION コマンドを実行しなかった場合、EXEC インターフェース・プログラムがこれらの異常終了コードを出します。これにより、DFHEIP が問題の条件に対してシステムの処置をとることになります。その処置は、ほとんどの場合、トランザクションを異常終了させることです。

特性が類似しているので、EXEC インターフェース・プログラムに対する異常終了コードをグループとして記述します。対象のコードと対応する例外条件は次のとおりです。

| コード | 状態 |
|------|--------------|
| AEIA | ERROR |
| AEID | EOF |
| AEIE | EODS |
| AEIG | INBFMH |
| AIEH | ENDINPT |
| AEII | NONVAL |
| AEIJ | NOSTART |
| AEIK | TERMIDERR |
| AEIL | FILENOTFOUND |
| AEIM | NOTFND |
| AEIN | DUPREC |
| AEIO | DUPKEY |
| AEIP | INVREQ |
| AEIQ | IOERR |
| AEIR | NOSPACE |
| AEIS | NOTOPEN |
| AEIT | ENDFILE |
| AEIU | ILLOGIC |
| AEIV | LENGERR |
| AEIW | QZERO |
| AEIZ | ITEMERR |
| AEI0 | PGMIDERR |
| AEI1 | TRANSIDERR |
| AEI2 | ENDDATA |
| AEI3 | INVTREQ |
| AEI4 | EXPIRED |
| AEI8 | TSIOERR |

| コード | 状態 |
|------|--------------|
| AEI9 | MAPFAIL |
| AEXC | RESIDERR |
| AEXF | ESCERROR |
| AEXG | UOWLNOTFOUND |
| AEXI | TERMERR |
| AEXJ | ROLLEDBACK |
| AEXK | END |
| AEXL | DISABLED |
| AEXU | NOTPOSS |
| AEXV | VOLIDERR |
| AEXW | TASKIDERR |
| AEX1 | DSNNOTFOUND |
| AEX2 | LOADING |
| AEX3 | MODELIDERR |
| AEX4 | UOWNOTFOUND |
| AEX5 | PARTNERIDERR |
| AEX6 | PROFILEIDERR |
| AEX7 | NETNAMEIDERR |
| AEX8 | LOCKED |
| AEX9 | RECORDBUSY |
| AEYA | INVERRTERM |
| AEYB | INVMPsz |
| AEYC | IGREQID |
| AEYE | INVLDC |
| AEYG | JIDERR |
| AEYH | QIDERR |
| AEYJ | DSSTAT |
| AEYK | SELNERR |
| AEYL | FUNCERR |
| AEYM | UNEXPIN |
| AEYN | NOPASSBKRD |
| AEYO | NOPASSBKWR |
| AEYP | SEGIDERR |
| AEYQ | SYSIDERR |
| AEYR | ISCINVREQ |
| AEYT | ENVDEFERR |
| AEYU | IGREQCD |
| AEYV | SESSIONERR |
| AEYX | USERIDERR |
| AEYZ | CBIDERR |
| AEY0 | INVEXITREQ |

| コード | 状態 |
|------|--------------|
| AEY1 | INVPARTNSET |
| AEY2 | INVPARTIN |
| AEY3 | PARTNFALL |
| AEY7 | NOTAUTH |
| AEZE | CHANGED |
| AEZF | PROCESSBUSY |
| AEZG | ACTIVITYBUSY |
| AEZH | PROCESSERR |
| AEZI | ACTIVITYERR |
| AEZJ | CONTAINERERR |
| AEZK | EVENTERR |
| AEZL | TOKENERR |
| AEZM | NOTFINISHED |
| AEZN | POOLERR |
| AEZO | TIMERERR |
| AEXP | SYMBOLERR |
| AEZQ | TEMPLATERR |
| AEZR | NOTSUPERUSER |
| AEZS | CSDERR |
| AEZT | DUPRES |
| AEZU | RESUNAVAIL |
| AEZV | CHANNELERR |
| AEZW | CCSIDERR |
| AEZX | TIMEDOUT |
| AEZY | CODEPAGEERR |
| AEZZ | INCOMPLETE |
| AEZ1 | APPNOTFOUND |
| AEZ2 | BUSY |

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、この条件を再発させないようにするか、RESP オプションを使用してこの条件を検査するか、またはこの条件が起きた場合に条件を処理するように (EXEC CICS HANDLE CONDITION コマンドを使用) します。必要であれば、EIB の EIBRESP2 フィールドまたは EIBRCODE フィールドの内容を使用して、例外条件の原因の判別に役立ててください。

問題判別: 例外応答と応答コードを作り出したコマンドの機能コードは、EXEC インターフェース・ブロック (EIB) の中にあります。EIB は、DFHEIP によって使用されるより大きな制御ブロックの一部です。この制御

ブロックは、EXEC インターフェース・ストレージ・ブロック (EIB) として知られています。EIS は TCAEISA (TCA + X'90' のシステム部分) によってアドレッシングされます。EIB は EIS + X'8' から指し示されます。

機能コードは、EIB のオフセット X'1B' にあり、応答コードは、次の特定のオフセットのいずれかにあります。

EIBRCODE

X'1D'

EIBRESP

X'4C'

EIBRESP2

X'50'

「CICS アプリケーション開発のリファレンス」に、エンコードされた機能とその応答の変換表があります。

分析: これらの異常終了コードは、HANDLE CONDITION コマンドに指定することのできる例外条件と直接関係しているため、アプリケーション・プログラマーは、その条件がアプリケーションによって処理すべき条件であるのかどうか (例えば、ENDFILE)、あるいはアプリケーションまたは CICS テーブルに対する修正変更が必要であるのかどうかを判断する必要があります。:i1.DFHEIP 異常終了コード

モジュール: DFHEIP

AEID

説明: EOF 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIE

説明: EODS 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

AEIG • AEIM

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIG

説明: INBFMH 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIH

説明: ENDINPT 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEII

説明: NONVAL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIJ

説明: NOSTART 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIK

説明: TERMIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIL

説明: FILENOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIM

説明: NOTFND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIN

説明: DUPREC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIO

説明: DUPKEY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIP

説明: INVREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIQ

説明: IOERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIR

説明: NOSPAC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIS

説明: NOTOPEN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIT

説明: ENDFILE 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

AEIU • AELB

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIU

説明: ILLOGIC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIV

説明: LENGERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIW

説明: QZERO 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEIZ

説明: ITEMERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AELA

説明: 実行中の機能は、制御が戻る前に除去されました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AELA を出して異常終了するようマーク付けされます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHETL

AELB

説明: 実行中の機能は、制御が戻る前に除去されました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AELB を出して異常終了するようマーク付けされます。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによ

って、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

マスター端末オペレーターがタスクを除去した場合には、何らかの理由でデッドロックになっていると思われるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHEGL

AEMA

説明: ユーザー出口を活動状態にする要求が使用できないときに、アプリケーション (AP) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID または DISASTER 応答) が起こりました。

システムの処置: このタスクは異常終了します。最初のエラーを検出したドメインは、コンソール・メッセージを出し、例外トレースやシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供することがあります。

ユーザーの処置: 詳細については、関連するコンソール・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHUEM

AEMB

説明: エラー (INVALID 応答または DISASTER 応答) が、ローダー (LD) ドメインに対する呼び出し時に発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHUEM

AEMP

説明: アプリケーション (AP) ドメインに対する活動化要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHUEM

AEMQ

説明: ローダー (LD) ドメインに対する IDENTIFY_PROGRAM 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、(ダンプ・テーブル内のオプションによっては) CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が

AEPD • AETF

多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHUEM

AEPD

説明: イベントのディスパッチ中に予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。EP ディスパッチャー・タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール: DFHEPDS

AEPM

説明: CICS EP ディスパッチャー・タスクの接続が試行されましたが、トランザクションは CICS によって内部的に接続されませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。EP ディスパッチャー・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS 提供の EP ディスパッチャー・タスクがユーザー・トランザクションとして実行されようとした理由を調べてください。

モジュール: DFHEPDS、DFHEPSY

AEPO

説明: EP ディスパッチャー・イベント・キュー・サーバー・タスクで予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。EP ディスパッチャー・タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール: DFHEPSY

AETA

説明: CICS トランザクションは、アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張) を介して非 CICS コマンドを出しました。プログラム DFHERM は、前の DFHRMCAL 要求がそのトランザクションか

ら出されたときからその出口は使用禁止になっていると判断しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHERM

AETC

説明: CICS トランザクションは、アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張) を介して非 CICS コマンドを出しました。しかし、タスク関連のユーザー出口 (TRUE) がプログラム・マネージャーに認識されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TRUE が、DFHRMCAL マクロに識別されているとおりに、CICS に正しく定義されていることを確認してください。

モジュール: DFHERM

AETF

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHERM

AETG

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHERM

AETH

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHERM

AETI

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHERM

AETJ

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する ADD_LINK 呼び出しで、エラー

(EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHERM は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHERM

AETK

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する SET_LINK 呼び出しで、エラー

(EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHERM は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合に

AETL • AETP

よってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHERM

AETL

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する SET_UOW 呼び出しで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHERM は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHERM

AETM

説明: トランザクション・マネージャー (XM) ドメインに対する INQUIRE_TRANSACTION 呼び出しで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、XM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETN

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する INITIATE_RECOVERY 呼び出しで、予期しない理由による EXCEPTION 応答が発生しました。DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETO

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する INITIATE_RECOVERY 呼び出しで、エラー (DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) も提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETP

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する TERMINATE_RECOVERY 呼び出しで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外

のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETQ

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する INQUIRE_UOW 呼び出しで、予期しない理由による EXCEPTION 応答が発生しました。DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETR

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する INQUIRE_UOW 呼び出しで、エラー (DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) も提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AETS

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する INQUIRE_STARTUP 呼び出しで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHRMSY は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRMSY

AEXO

説明: TCIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX1

説明: DSNNOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

AEX2 • AEX8

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX2

説明: LOADING 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX3

説明: MODELIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX4

説明: UOWNOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX5

説明: PARTNERIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX6

説明: PROFILEIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX7

説明: NETNAMEIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX8

説明: LOCKED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEX9

説明: RECORDBUSY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXC

説明: RESIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXF

説明: ESCERROR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXG

説明: UOWLNOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXI

説明: TERMERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXJ

説明: ROLLEDBACK 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXK

説明: END 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

AEXL • AEXY

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXL

説明: DISABLED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXU

説明: EXEC CICS コマンドの実行時に、無効なパラメーターが検出され、NOTPOSS 条件が起きました。これは、おそらく、以前のストレージ・オーバーレイによって引き起こされました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了を引き起こした CICS コマンドの機能コードを判別する方法については、異常終了 AEIA を参照してください。

NOTPOSS に EXEC CICS HANDLE CONDITION を設定することはできません。

システム・プログラマーは、ストレージ・オーバーレイの原因を調べる必要があります。

モジュール: DFHEIDTL, DFHEIG, DFHEIP, DFHEIQDS, DFHEIQSA, DFHEIQSC, DFHEIQSM, DFHEIQSP, DFHEIQST, DFHEIQSX

AEXV

説明: VOLIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEEXW

説明: SUPPRESSED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEEXX

説明: TASKIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEXY

説明: 制御が返される前に実行中のトランザクションが除去されました。

これは、次の場合にトランザクションが除去されると起こる可能性があります。

- CICS が処理されていた。
- トランザクションがディスパッチされるのを待っていた。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、トランザクションが除去された理由を突き止めてください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHACP, DFHAPRR, DFHAPRX, DFHBEP, DFHBREX, DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRTC, DFHBSTS, DFHBSTZO, DFHD2CC, DFHD2EX1, DFHD2EX2, DFHD2STR, DFHEDCP, DFHEDFP, DFHEDI, DFHEEI, DFHEGL, DFHEIBAM, DFHEICRE, DFHEIIC, DFHEIG, DFHEIP, DFHEIPA, DFHEIPI, DFHEIPRT, DFHEIPSE, DFHEIPSH, DFHEIQAS, DFHEIQBA, DFHEIQBR, DFHEIQCF, DFHEIQCS, DFHEIQDE, DFHEIQDI, DFHEIQDN, DFHEIQDS, DFHEIQDU, DFHEIQD2, DFHEIQEJ, DFHEIQIR, DFHEIQML, DFHEIQMQ, DFHEIQMS, DFHEIQMT, DFHEIQPF, DFHEIQPI, DFHEIQPN, DFHEIQRL, DFHEIQRQ, DFHEIQSA, DFHEIQSC, DFHEIQSJ, DFHEIQSK, DFHEIQSL, DFHEIQSM, DFHEIQSP, DFHEIQSQ, DFHEIQST, DFHEIQSX, DFHEIQSY, DFHEIQTM, DFHEIQTR, DFHEIQTS, DFHEIQUE, DFHEIQVT, DFHEIQWB, DFHEIQWR, DFHEIQW2, DFHEIUOW, DFHEIWB, DFHEKC, DFHEMS, DFHEOP, DFHEPC, DFHEPS, DFHERM, DFHESC, DFHESE, DFHESN, DFHETC, DFHETL, DFHETRX, DFHTACP, DFHTFP, DFHTIEM, DFHUEM, DFHWBTC, DFHXMBR, DFHXTP, DFHZATS, DFHZNCA, DFHZNCE, DFHZTSP, DFHZXQO, DFHZXST

AEXZ

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AEXZ で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHACP, DFHAPRA, DFHAPRR, DFHAPRX, DFHBEP, DFHBREX, DFHBRIC, DFHBRMS, DFHBRSP, DFHBRTC, DFHBSTS, DFHBSTZO, DFHCDKRN, DFHEDCP, DFHEDFP, DFHEDI, DFHEEI, DFHEGL, DFHEIACQ, DFHEIBAM, DFHEICRE, DFHEIG, DFHEIIC,

DFHEIP, DFHEIPA, DFHEIML, DFHEIPI, DFHEIPRT, DFHEIPSE, DFHEIPSH, DFHEIQBA, DFHEIQBR, DFHEIQCF, DFHEIQCS, DFHEIQDF, DFHEIQDI, DFHEIQDN, DFHEIQDS, DFHEIQDU, DFHEIQD2, DFHEIQEJ, DFHEIQIR, DFHEIQML, DFHEIQMQ, DFHEIQMS, DFHEIQMT, DFHEIQPF, DFHEIQPI, DFHEIQPN, DFHEIQRL, DFHEIQRQ, DFHEIQSA, DFHEIQSC, DFHEIQSJ, DFHEIQSK, DFHEIQSL, DFHEIQSM, DFHEIQSP, DFHEIQSQ, DFHEIQST, DFHEIQSX, DFHEIQSY, DFHEIQTM, DFHEIQTR, DFHEIQTS, DFHEIQUE, DFHEIQVT, DFHEIQWB, DFHEIQWR, DFHEIQW2, DFHEIUOW, DFHEIWB, DFHEKC, DFHEMS, DFHEOP, DFHEPC, DFHEPS, DFHESC, DFHESE, DFHESN, DFHETC, DFHETL, DFHETRX, DFHFCFL, DFHMQTRU, DFHSJIN, DFHTACP, DFHTFP, DFHTIEM, DFHUEH, DFHUEM, DFHWBTC, DFHXMBR, DFHXTP, DFHZATS, DFHZNCA, DFHZNCE, DFHZTSP, DFHZXQO, DFHZXST

AEY0

説明: INVEXITREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEY1

説明: INVPARTNSET 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEY2

説明: INVPARTN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEY3

説明: PARTNFAIL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEY6

説明: DFHUEM における内部論理エラーです。これは、EXITALL を使用して、出口プログラムが使用可能になっているすべての出口点からの出口プログラムを DISABLE にしたときに発生します。このユーザー出口テーブル全体のスキャンが行われ、プログラムのすべての関連が発見されました。その出口プログラム・ブロック内のプログラム用の活動化カウントは、関連がさらに存在するはずであることを示しています (例えば、活動化カウントがゼロに減少していません)。ユーザー出口テーブルおよび関連制御ブロック (EPB および EPL) がステップ外になっており、おそらく破壊されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHUEM

AEY7

説明: NOTAUTH 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEY8

説明: EXEC CICS コマンドを使用して、アセンブラー言語プログラムに動的ストレージを解放しようとしたときに、チェーン上に DSA が見つかりませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHEIENT、DFHEISTG、および DFHEIEND マクロ呼び出しが、正しく位置指定されているかどうかを確認して、再試行してください。エラーが解決しない場合は、サポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEIP

AEY9

説明: 以下のいずれかです。

- EXEC インターフェース・プログラム DFHEIP によってサポートされていない EXEC CICS コマンドが出された。
- トランザクションが、EXEC インターフェース・プログラム DFHEIP によって原則としてサポートされている EXEC CICS コマンドを出したが、前提条件の機能が現行の CICS スタートアップ時に含まれていない。
- アプリケーション「スタブ」(DFHRMCAL マクロの拡張部分) を介して非 CICS コマンドが出されたが、プログラム DFHERM は、必要な非 CICS サポートが使用できないことを検出した。
-

リモート資源の使用を試みたが、EXEC CICS コマンド内にローカル SYSID が指定されていたか、あるいはリモート SYSID が指定されているのにローカル資源を使おうとした。

- リモート資源の使用を試みたが、ISC はサポートされていない。
- EXEC CICS コマンドに無効な AID ID または CONDITION ID が入っている。これは、EXEC CICS コマンドが破壊されていることを示します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム識別名が指定されていて、しかも資源名が正しいかどうかを調べてください。そうでない場合には、システム・プログラマーに知らせてください。コマンド (またはアプリケーション・スタブ) が破壊されているか、使用できない機能を生成すること (CICS コマンド) または ENABLE (使用可能) にすること (非 CICS コマンド) が必要であるか、または例外的に非 CICS サポートが損傷を受けて自ら CICS システムから取り消しを試みているかのいずれかです。

モジュール: DFHEIG、DFHEIP、DFHEEI

AEYA

説明: INVERRTERM 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYB

説明: INVMPSTZ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYC

説明: IGRREQID 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYD

説明: トランザクション自体がアクセスできなかったストレージに CICS がアクセスするように、トランザクションが要求を出しました。無効なストレージが、EXEC CICS コマンドでの出力パラメーターとして CICS に渡された場合に、このようなエラーが起きます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、DFHEISR により作成された例外トレース項目を見つけ出し、エラー内のパラメーターを識別してください。異常終了が処理される場合は、EXEC CICS ASSIGN ASRASTG、ASRAKEY、および ASRASPC が異常終了に関する追加情報を提供します。異常終了が起こった時点のレジスター 2 は、障害が起きたストレージを示しています。

以下の項目の 1 つまたは複数を変更してください。

- EXEC CICS コマンドを出したトランザクション内のエラーのコードを訂正し、有効なストレージを提供してください。
- 記憶保護が活動状態である場合は、USER から CICS に EXEC CICS コマンドを出したプログラムの CEDA 定義上で、EXECKEY を変更してください。
- 記憶保護が活動状態である場合は、CICS から USER へのトランザクション定義上で、TASKDATAKEY 属性を変更してください。

AEYE • AEYG

トランザクション分離がアクティブな場合、トランザクション定義の ISOLATE 属性を YES から NO に変更してください。

モジュール: DFHSRP

AEYE

説明: INVLDC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されません。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYF

説明: トランザクション自体がアクセスできなかったストレージに CICS がアクセスするように、トランザクションが要求を出しました。この状況は、無効なストレージ域が PUT CONTAINER、PUT 64 CONTAINER、GET CONTAINER、GET 64 CONTAINER のいずれかのコマンドで CICS に渡された場合に発生します。このエラーは、以下の場合に発生する可能性があります。

- FROM または INTO アドレスが誤って指定された。
- FLENGTH 値が指定する値が大きすぎて、トランザクションがアクセスできないストレージが領域に含まれる。

このエラーの一般的な原因は、フルワード領域を期待している FLENGTH パラメーター内にハーフワード領域のアドレスを指定したことです。このエラーは、ハーフワードの長さを持つ、COMMAREA を以前使用していたプログラムが、フルワードの長さを持つコンテナを使用するように変更された場合に生じます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、DFHEISR により作成された例外トレース項目を見つけ出し、エラー内のパラメーターを識別してください。異常終了が処理される場合は、EXEC CICS ASSIGN ASRASTG、ASRAKEY、および ASRASPC が異常終了

に関する追加情報を提供します。異常終了が起こった時点のレジスター 2 は、障害が起きたストレージを示しています。

多くの場合、以下のステップを実行する必要があります。

- EXEC CICS PUT CONTAINER または EXEC CICS GET CONTAINER コマンドを発行したエラーのプログラムを修正してください。これが有効なストレージ域のアドレスを指定することと、これが FLENGTH を指定することで、トランザクションにアクセスできないストレージ域の部分がなくなります。FLENGTH がフルワードの長さを参照するようにします。

以下の 1 つ以上を変更することを考慮することが必要な場合もあります。

- 記憶保護が活動状態である場合は、USER から CICS に EXEC CICS コマンドを出したプログラムの CEDA 定義上で、EXECKEY を変更してください。
- 記憶保護が活動状態である場合は、CICS から USER へのトランザクション定義上で、TASKDATAKEY 属性を変更してください。
- トランザクション分離がアクティブな場合、トランザクション定義の ISOLATE 属性を YES から NO に変更してください。

モジュール: DFHSRP

AEYG

説明: JIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYH

説明: QIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYJ

説明: DSSTAT 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYK

説明: SELNERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYL

説明: FUNCERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYM

説明: UNEXPIN 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYN

説明: NOPASSBKRD 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYO

説明: NOPASSBKWR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYP

説明: SEGIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYQ

説明: SYSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYR

説明: ISCINVREQ 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYT

説明: ENVDEFERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYU

説明: IGREQCD 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYV

説明: SESSIONERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYX

説明: USERIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYY

説明: NOTALLOC 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEYZ

説明: CBIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZA

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義されましたが、トランザクション内のプログラムが amode 24 を実行していました。したがって、EXEC インターフェース・プログラムは、そのアプリケーションの TCA ヘアアクセスすることができません。さらに、EIB への参照が原因で、トランザクションが OC4 保護例外で失敗します。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して、新しい定義を再定義してインストールするか、またはこのプログラムを amode 31 としてリンクし直します。

モジュール: DFHEIP

AEZB

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義され、そのアプリケーションがタスク関連ユーザー出口の呼び出しを試みています。しかし、タスク関連ユーザー出口が AMODE 24 でリンク・エディットさ

れていて、LINKEDITMODE オプションにより使用可能になっています。このことは、CICS が AMODE 24 でそのユーザー出口を呼び出すように指示しています。AMODE 24 のタスク関連ユーザー出口は、呼び出しアプリケーションが TASKDATALOC(ANY) で実行されているときには、実行することができません。これにより、記憶保護例外またはストレージの上書きを引き起こすからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して新しい定義を再定義してインストールするか、またはタスク関連ユーザー出口を修正して、それが AMODE 31 で呼び出されるようにします。

モジュール: DFHERM

AEZC

説明: トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で定義されましたが、そのトランザクション内のプログラムは AMODE 24 を実行するように定義されています。トランザクションが TASKDATALOC(ANY) で実行されているときには、CICS は AMODE 24 プログラムを呼び出すことはできません。これにより、記憶保護例外またはストレージの上書きを引き起こすからです。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: TASKDATALOC(BELOW) を指定したトランザクションに対して新しい定義を再定義してインストールするか、またはこのプログラムを AMODE 31 としてリンクし直してください。

モジュール: DFHAPLI

AEZD

説明: TASKDATAKEY(CICS) と定義したトランザクションの一部として、EXECKEY(USER) と定義したプログラムを実行しようとした。これらの属性には互換性がないため、トランザクションは異常終了します。この非互換性は、プログラム定義が自動導入されている結果、起こる場合があります。プログラムの自動インストールについての詳細は、「CICS 用システム・プログラムの開発」および「リソースの定義」を参照してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。メッセージ DFHAP1226 に、互換性のないプログラムとトランザクションが示されます。

ユーザーの処置: TASKDATAKEY(USER) を指定したトランザクション、または EXECKEY(CICS) を指定し

AEZE • AEZK

たプログラムのいずれかに、新しい定義を再定義し、インストールしてください。

この異常終了は、CICS トランザクションの実行時に起ります。これは、そのプログラムに対して CICS 提供の定義を使用していないことが原因と考えられます。ユーザー独自の CICS 提供プログラム定義のコピーを使用している場合には、そのコピーが EXECKEY(CICS) として定義されていなければなりません。

モジュール: DFHAPLI

AEZE

説明: CHANGED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZF

説明: PROCESSBUSY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZG

説明: ACTIVITYBUSY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZH

説明: PROCESSERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZI

説明: ACTIVITYERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZJ

説明: CONTAINERERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZK

説明: EVENTERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特

性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZL

説明: TOKENERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZM

説明: NOTFINISHED 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZN

説明: POOLERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZO

説明: TIMERERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZP

説明: SYMBOLERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZQ

説明: TEMPLATERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZR

説明: NOTSUPERUSER 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特

AEZS • AEZY

性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZS

説明: CSDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZT

説明: DUPRES 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZU

説明: RESUNAVAIL 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZV

説明: CHANNELERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZW

説明: CCSIDERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZX

説明: TIMEDOUT 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZY

説明: CODEPAGEERR 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特

性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZZ

説明: INCOMPLETE 条件が処理されませんでした。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZ1

説明: APPNOTFOUND 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すい

くつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AEZ2

説明: BUSY 条件は処理されません。

これは、EXEC インターフェース・プログラムが出すいくつかの異常終了の 1 つです。これらの異常終了は特性が似ているため、1 つのグループとして記述されます。

詳しくは、異常終了 AEIA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHEIP

AFxx 異常終了コード

AFC0

説明: ファイル制御の再始動が失敗した後で、ファイルを更新しようとして失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ファイル制御の再始動での失敗の原因を突き止めてください。CICS を再始動してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFC2

説明: DFHFCU は、DFHFCFS に対してファイルを開くための呼び出しを出しました。DFHFCFS から破滅的なエラーが返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

破滅的なエラーが検出された時点で、CICS はコンソールに対してメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録して、システム・ダンプを取ります。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーは、トレース、システム・ダンプ、およびすべての関連 CICS メッセージを調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHFCU

AFC7

説明: CICS 定義ファイル (CSD) マネージャー (DFHDMPCA) は、DFHCSD ファイルを使用可能にするか、オープンもしくはクローズを行うために、DFHFCFS に対して要求を出しました。DFHFCFS から DFHDMPCA に、「破滅的なエラー」応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

破滅的なエラーが検出された時点で、CICS はコンソールに対してメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録して、システム・ダンプを取ります。

CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーは、トレース、システム・ダンプ、およびすべての関連 CICS メッセージを調べて、エラーの原因を識別する必要があります。

モジュール: DFHDMPCA

AFCB

説明: モジュール DFHEIFC が、モジュール DFHXSRC に対してリソース・レベル・セキュリティ検査 (RSLC) 要求を出し、OK または EXCEPTION 以外の応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、エラー発生時に DFHXSRC により作成された例外トレース項目を見つけ出してください。このトレース項目を使用して、DFHXSRC からの戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEIFC

AFCC

説明: ファイル制御要求処理モジュール DFHFCCR を呼び出すときに、内部論理エラーが検出されました。その呼び出し側のパラメーター・リストにエラーがあることを示す INVALID 応答を、DFHFCCR がその呼び出し側に返したか、または、その呼び出し側によって認識されない戻りコードを、DFHFCCR が返したかのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCE

説明: FFLE ストレージに対する GETMAIN が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHEIFC

AFCF

説明: ファイル制御要求を出している複数のタスク間でデッドロックが検出されました。

システムの処置: デッドロックに入ったタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このトランザクションおよび同じファイルを更新するシステム内の他のトランザクションを調べて、デッドロックの原因を突き止めてから、そのエラーを訂正してください。

トランザクションが同じ作業単位内のいくつかのファイルを更新するときには、すべてのトランザクションがこれらのファイルを同じ順序で更新する必要があります。AFCF を異常終了するトランザクションは、トランザクション定義内で RESTART(YES) を指定し、適切な DFHREST プログラムをコーディングすることによって再試行できます。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCG

説明: トランザクションが、ファイルの自己デッドロックを引き起こす一連のファイル制御要求を出しました。この応答が返される理由は、ファイル・タイプによって異なります。

ファイルが非 RLS モードでアクセスされている場合は、トランザクションが同じ CI に対して矛盾する要求を出すことによってこの応答が返されます。例えば、ファイルが LSR を使用してアクセスされている場合は、同じトランザクションから出された READ UPDATE 要求または WRITE MASSINSERT 要求の対象であるレコードと同じ CI 内にあるレコードを読み取ろうとしたときに自己デッドロックが発生します。

ファイルが RLS モードでアクセスされている場合、CI がロックされることはありませんが、自己デッドロック応答が発生する可能性はあります。これは、論理的に意味のない一連の要求、または VSAM RLS が実行できない一連の要求が原因です。

VSAM RLS でこの異常終了が発生する場合は、次の原因が考えられます。

- 同じトランザクションが、同じレコードに対する 2 つの READ UPDATE 要求を、REWRITE、DELETE、UNLOCK のいずれかのコマンドを間に実行せずに連続で出した。
これは、ファイル制御要求の誤った使用です。

トランザクションが、WRITE MASSINSERT でレコードを作成した後に、UNLOCK 要求を出して WRITE MASSINSERT シーケンスを終了せずに、READ UPDATE または DELETE 要求を出して同じレコードを変更しようとした。

この一連の要求は、VSAM がレコードをディスクに書き出していない場合に失敗します。レコードがディスクに書き込まれたことを保証するには、UNLOCK 要求を出す必要があります。

•

トランザクションが、更新シーケンスのブラウズを使用してレコードを更新または削除した後に、ENDBR 要求を出して更新シーケンスのブラウズを終了せずに、READ UPDATE、DELETE、WRITE のいずれかの要求を新たに出して同じレコードを変更しようとした。

この一連の要求は、VSAM がレコードをディスクに書き出していない場合に失敗します。レコードがディスクに書き込まれたことを保証するには、ENDBR 要求を出す必要があります。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブルへのアクセスにファイルが使用された場合は、論理的に意味のない一連の要求またはカップリング・ファシリティー・データ・テーブルのサポートで実行できない一連の要求が原因で、自己デッドロック応答が発生します。

カップリング・ファシリティー・データ・テーブルでこの異常終了が発生する場合は、次の原因が考えられます。

•

同じトランザクションが、同じレコードに対する 2 つの READ UPDATE 要求を、REWRITE、DELETE、UNLOCK のいずれかのコマンドを間に実行せずに連続で出した。

これは、ファイル制御要求の誤った使用です。

システムの処置: デッドロックに入ったタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このトランザクションがこのファイルに対して行った以前の要求を調べて、デッドロックの原因を識別してから、そのエラーを訂正してください。場合によっては (特にファイルが RLS モードでアクセスされる場合やファイルがカップリング・ファシリティー・データ・テーブルを使用する場合)、この異常終了がファイル制御要求を出したプログラムのプログラミン
グ・エラーを示すことがあります。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCH

説明: トランザクションが、そのトランザクション用の活動ブラウズを持つリモート共用データ・テーブルに要求を出しましたが、そのテーブルは所有 CICS システムによって使用不能にされているか、クローズされているか、あるいは所有 CICS システムに障害が起きました。

システムの処置: 要求を出したトランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS は正常に続行されます。

ユーザーの処置: アプリケーション所有領域において、CICS システムを所有しているファイルでの FORCE 要求または CICS システムを所有しているファイルの障害の後に通常行う処置をとってください。

詳細については、「共用データ・テーブルの概要」を参照してください。

モジュール: DFHEIFC

AFCI

説明: このトランザクションは、主ファイル制御プログラム (DFHFCFR) に対する呼び出しが行われることとなるファイル要求を出しました。要求の処理中に、トランザクションがパージされました。すなわち、トランザクションは明示的な PURGE または FORCEPURGE 要求の対象であったか、タイムアウトになったか、または SOS 条件を軽減しようとして CICS により終了の対象として選択されました。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AFCI が記録されます。

「PURGED」応答が DFHFCFR から呼び出し元に返されます。ファイル制御要求を出したトランザクションは、最終的に AFCY 異常終了を出し、追加のトランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 場合によっては、例えばトランザクションが明示的に除去された場合、これ以上処置を行う必要はありません。

そうでない場合には、例外トレースとトランザクション・ダンプを調べて、除去が発生した時点を識別してください。

モジュール: DFHFCFR

AFCJ

説明: DFHFUC は、DFHFCS に対してファイルをオープンするための呼び出しを出しました。そのタスクが CSFU トランザクションに対して指定された DTIMEOUT 間隔よりも長く資源を待っていたため、除

AFCK • AFCCO

去されたエラーが DFHFCFS から返されました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、エラーの原因を突き止めてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用して、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHFCU

AFCK

説明: DFSMSdss 非 BWO バックアップが実行されている RLS モードのデータ・セットに対し、トランザクションがファイル更新要求 (READ UPDATE、WRITE、または DELETE) を出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: RLS モードのデータ・セットに対して非 BWO バックアップが実行されているときは、新たなファイル更新要求を出すことができません。この制限は、バックアップが完了すると自動的に解除されます (非 BWO バックアップとは、BWO (オープン中のバックアップ) バックアップ以外のあらゆるバックアップ処理を指します)。バックアップが完了したら、トランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHDMPCA、DFHEIFC

AFCL

説明: CFTL トランザクションによる共用データ・テーブルのロード中に、CICS トランザクション・マネージャーに対する呼び出しから応答 (DISASTER など) が返されて、正常な処理を続行できなくなりました。

システムの処置: メッセージ DFHFC0949 が出されます。データ・テーブルのロードが終了し、CFTL が異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHDTLX

AFCM

説明: CFTL トランザクションによるデータ・テーブルのロード時に、異常終了が検出されたか、または通常の処理を続行できなくなった後でドメイン呼び出しが応答 (DISASTER など) を返しました。

システムの処置: メッセージが出されます。(DFHFC0945、DFHFC0946、または DFHFC0947 の 1 つ)。データ・テーブルのロードが終了し、CFTL が異常終了します。

ユーザーの処置: この異常終了が、ロード時の異常終了の結果として作成された場合には、メッセージ DFHFC0945 が出されます。この異常終了が、ドメイン呼び出しを失敗した結果起こった場合には、どのドメインにより失敗が返されたかによって、メッセージ DFHFC0946、または DFHFC0947 のいずれかが出されます。詳細については、メッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHDTLX

AFCN

説明: トランザクションがファイル要求を出したためにファイル制御がジャーナル・レコードを作成しようとしたが、レコードが大きすぎてジャーナル・バッファに格納できませんでした。ファイル定義で参照されているジャーナルが MVS ログ・ストリームを使用していますが、そのログ・ストリームが使用するカップリング・ファシリティー構造を定義する MAXBUFSIZE パラメーターが推奨値の 64000 を下回っています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ログ・ストリームが使用するカップリング・ファシリティー構造を再定義して、MAXBUFSIZE パラメーターを 64000 に設定してください。エラーが発生したジャーナルは、順方向リカバリ・ログであるか、または自動アーカイブに使用されるジャーナルです。エラーを検出したモジュールが DFHDMPCA の場合、エラーは、CSD (DFHCSD) の定義で参照されるジャーナルに関連付けられます。

モジュール: DFHDMPCA、DFHEIFC

AFCO

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHDTLX を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHDTLX は CICS システム・トランザクション CFTL によって使用されます。これにより共用データ・テーブルがロードされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CFTL を不正に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHDTLX が制御

を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHDTLX

AFCR

説明: プログラムは、RLS モードで開かれているファイルに対するファイル制御要求を出しました。この要求の実行中に、CICS が SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースで障害が発生したことを検出しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS は、これ以降の RLS アクセスをすべて禁止して、エラー・リカバリーを開始します。

ユーザーの処置: サーバーが再び使用可能になったらトランザクションを再実行してください。

SMSVSAM サーバーに障害がある場合、通常は、サーバーは可能な限り迅速に自動的に再始動します。これが実行されない場合、VSAM 資料を参照してください。SMSVSAM サーバーでの問題のデバッグについての詳しい手引きが提供されています。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCU

説明: プログラムは、RLS モードで開かれているファイルに対するファイル制御要求を出しました。

SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースがアクティブでないために、VSAM がこの要求を実行できませんでした。

ただし、オフサイト再始動が実行される場合 (つまり、システム初期設定の指定変更として OFFSITE=YES が指定された場合) は、SMSVSAM サーバー・アドレス・スペースがアクティブであっても、このトランザクション異常終了が出されます。これは、オフサイト再始動中は、CICS が RLS リカバリー作業を実行するために接続したトランザクションが出す RLS ファイル制御要求以外の要求に対して RLS アクセスが許可されないためです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: サーバーが再び使用可能になったらトランザクションを再実行してください。

SMSVSAM サーバーに障害がある場合、通常は、サーバーは可能な限り迅速に自動的に再始動します。これが実行されない場合、VSAM 資料を参照してください。SMSVSAM サーバーでの問題のデバッグについての詳しい手引きが提供されています。

オフサイト再始動が実行される場合は、RLS リカバリーが完了してユーザー・トランザクションによる RLS アクセスが再び可能になった時点で、トランザクションを再実行してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCT

説明: プログラムが、RLS モードで開いているファイルに対するファイル制御要求を出しました。その前に同じ作業単位が出した RLS 要求の後に SMSVSAM サーバーがリサイクルされています。SMSVSAM サーバーの 2 つのインスタンスに対して、同じ作業単位が要求を出すことはできません。この異常終了は、前の要求が成功しなかった場合でも発生するので注意してください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションを再実行依頼してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCU

説明: プログラムが、VSAM RLS モードでアクセスされているファイルに対してファイル制御要求を出しました。基本のデータ・セットが脱落ロック状態になっています。脱落ロック状態にあるデータ・セットに対してファイル制御要求を出すことはできません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 脱落ロックからのリカバリーは通常は自動的に行われます。脱落ロック・リカバリーの詳細については、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。このデータ・セットに対しては、ロック構造の障害が発生した時点でロックを所有していたすべてのシステムで脱落ロック・リカバリーが完了するまで、ファイル制御要求を出すことができません。

脱落ロック・リカバリーがまだ保留中である CICS システムを判別する方法、それらのシステムで未処理となっている作業を特定するコマンド、および脱落ロック・リカバリーを強制的に即時実行するコマンドについては、「再始動とリカバリーの管理」を参照してください。脱落ロック・リカバリーを強制的に即時実行するコマンドは、データ保全性を失う可能性があるため、最後の手段として使用してください。自動リカバリー手順が通常どおりに実行されるようにすることをお勧めします。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCV

説明: RLS モードで開いているファイルに対して出された要求が、レコード・ロックを獲得できませんでした。ロックを待機しましたが、待機時間がその要求に適用される最大待機時間を超えました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS からメッセージ DFHFC0164 およびメッセージ DFHFC0165 または DFHFC0175 が出されます。メッセージには、ロックのキューでこのトランザクションの直前にあるトランザクションまたはトランザクション VSAM リカバリー単位が示されます。通常はこのトランザクションまたはトランザクション VSAM リカバリー単位がロックの所有者ですが、レコードに対して一連の要求が行われた場合はそうではありません。

ユーザーの処置: トランザクションを再試行してください。

問題が再発する場合は、メッセージ DFHFC0164 と DFHFC0165 または DFHFC0175 を参照して、ロックを保持しているトランザクションまたはトランザクション VSAM リカバリー単位を判別してください。ほとんどの場合、問題は失敗したトランザクションではなくロック所有者にあります。

CICS トランザクションがタイムアウトになる場合は、次のような原因があります。

- ロックを保持するトランザクションに設計エラーがあります。以下に例を示します。

—

会話型トランザクションがリカバリー可能レコードを更新した後に端末管理読み取りを出しています。この端末管理読み取りにエンド・ユーザーが応答するまで同期点は出されません (したがってロックは解除されません)。このため、かなりの期間にわたってロックが保持される可能性があります。

—

トランザクションが、同期点を出す前にリカバリー可能ファイル内の多数のレコードを更新しています。作業単位内で実行する更新の数を少なく抑え、頻繁に同期点を出してロックが定期的に解除されるようにすることをお勧めします。

•

- ロックを保持するトランザクションが実行されているシステムのパフォーマンスが大きく低下しています。パフォーマンス低下の原因を調べてください。

•

RLS と別のリソース・マネージャーの間でデッドロックが発生しています。例えば、あるトランザクションが RLS ロックを保持し、かつ一時データ・キューでロックを待機しています。タイムアウトになるトランザクションは、一時データ・キューでロックを保持し、かつ RLS ロックを待機しています。RLS がデッドロックを検出できるのは、デッドロックに関係するすべてのロックが RLS ロックである場合に限られます。RLS は、この例のようなデッドロックを、ロックが長時間待機されている状態と見なし、タイムアウトとして報告します。トランザクションの設計を調べて、リソース・マネージャーのデッドロックが発生する可能性があるかどうかを判別してください。

•

要求がタイムアウトになるまで VSAM がデッドロック検出を実行しない場合は、RLS デッドロックが RLS タイムアウトと報告される可能性があります。例えば、SYS1.PARMLIB のメンバー IGDSMSxx で DEADLOCK_DETECTION が (15,4) と指定されているとします。この場合、15 秒の期間が 4 回 (つまり 60 秒が) 経過するまで VSAM は MVS 間デッドロックを検出しようとしません。トランザクションで DTIMOUT がアクティブになっておらず、かつ SIT で FTIMEOUT=30 が指定されている場合は、30 秒が経過した時点で (つまり VSAM が MVS 間デッドロックを検出しようとする前に) RLS 要求がタイムアウトになります。こうした現象を回避するには、FTIMEOUT、DTIMOUT、および DEADLOCK_DETECTION を調整します。

DFHFC0175 メッセージには、RLS ロックを所有するトランザクション VSAM リカバリー単位が示されます。トランザクション VSAM アプリケーションがロック所有者である場合は、このメッセージを調べてロックが保持されている理由を判別する必要があります。上記の検討事項の一部は、トランザクション VSAM アプリケーションにもほぼ当てはまります。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCW

説明: プログラムは、RLS モードで開かれているファイルに対するファイル制御要求を出しました。この要求がデッドロックの原因となることを VSAM RLS が検出しました。デッドロック・チェーンを切断するために、このトランザクションは異常終了します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

CICS からメッセージ DFHFC0166 およびメッセージ DFHFC0167 または DFHFC0177 が出されます。メッセージには、デッドロック・チェーン内の他のトランザ

クションまたはトランザクション VSAM リカバリー単位が示されます。

ユーザーの処置: トランザクションを再試行してください。

デッドロック・チェーンに関係するすべてのプログラムのロジックを調べて、デッドロックの発生を防ぐためにプログラムを改善できるかどうかを判別します。デッドロックを回避するプログラムの作成方法については、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFCY

説明: このトランザクションは、主ファイル制御プログラム (DFHFCFR) に対する呼び出しが行われることになるファイル要求を出しました。このトランザクションが要求の処理中に除去されました (つまり、このトランザクションが明示的な PURGE 要求または FORCEPURGE 要求の対象となったか、タイムアウトになった、あるいは CICS が SOS 状態を改善するためにこのトランザクションを終了の対象として選択しました)。「PURGED」応答が DFHFCFR から呼び出し元に返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

例外トレース項目が、除去が検出された時点と異常終了の出された時点の間で作成されました。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルのレコードでロックを待機している間にタスクがタイムアウトになった場合は、ロックされたレコードのキー、およびロックを所有するシステムと作業単位を示すメッセージ DFHFC7130 が CICS から出されます。

DFHFCFR で PURGED 応答が検出されると、トランザクション・ダンプが作成されて異常終了コード AFCI が記録されます。

ユーザーの処置: 場合によっては、例えばトランザクションが明示的に除去された場合、これ以上処置を行う必要はありません。

カップリング・ファシリティ・データ・テーブルを使用している場合は、関連する DFHFC7130 メッセージを探してください。

そうでない場合には、例外トレースと AFCI/AFCY トランザクション・ダンプを調べて、除去が発生した時点を識別してください。

モジュール: DFHDMPCA、DFHEIFC

AFCZ

説明: このトランザクションは、主ファイル制御プログラム (DFHFCFR) に対する呼び出しが行われることになるファイル要求を出しました。「破滅的なエラー」応答が、DFHFCFR からその呼び出し側に対して返されました。

システムの処置: エラーが検出された時点で、CICS はコンソールにメッセージを書き出し、例外トレース項目を記録し、システム・ダンプをとります。トレースおよびダンプの検査により、エラーの発生時点が識別されます。

その後で、そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーはトレースとトランザクション・ダンプを使用して、エラーが何であるか、またそれが発生した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHDMPCA、DFHEIFC

AFDA

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHFCQT を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHFCQT は CICS システム・トランザクション CFQS および CFQR によって使用されます。これらのトランザクションでは、VSAM RLS データ・セットの静止操作と静止解除操作、DFSMSdss の BWO バックアップと非 BWO バックアップ、および他のデータ・セット関連操作の一部がサポートされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CFQS または CFQR を不正に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHFCQT が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHFCQT

AFDB

説明: CICS が、制御が与えられるプログラムとして DFHFCQT を指定してトランザクションを内部的に接続しようとしたのですが、そのトランザクション ID が CFQS または CFQR ではありませんでした。

DFHFCQT は CICS システム・トランザクション CFQS および CFQR によって使用されます。これらのトランザクションでは、VSAM RLS データ・セットの静止操作と静止解除操作、DFSMSdss の BWO バック

AFDC • AFDF

アップと非 BWO バックアップ、および他のデータ・セット関連操作の一部がサポートされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理は続行されますが、VSAM RLS データ・セットの静止がサポートされなくなった可能性があります。

ユーザーの処置: CICS を再始動してください。問題が再発する場合は、さらに重大なエラーが発生しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHFCQT

AFDC

説明: CICS システム・トランザクション CFQS が重大なエラーのために失敗しました。トランザクションの再接続が試行されます。CICS メッセージにエラーの原因が示されています。

CFQS は、VSAM RLS データ・セットの静止操作と静止解除操作の開始をサポートします。

システムの処置: CFQS が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CFQS が再接続され、CICS 処理が続行されます。

ユーザーの処置: 一時データ・キュー CSFL で、CFQS の再接続が成功したことを示すメッセージ DFHFC6028 を確認してください。再接続が失敗すると、VSAM RLS データ・セットの静止開始がサポートされなくなります。このサポートが必要である場合は、CICS を再始動する必要があります。

VSAM RLS の静止開始のサポートを復旧できない場合は、さらに重大なエラーが発生しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHFCQT

AFDD

説明: CICS システム・トランザクション CFQR が重大なエラーのために失敗しました。トランザクションの再接続が試行されます。CICS メッセージにエラーの原因が示されています。

CFQR では、VSAM RLS データ・セットの静止操作と静止解除操作、DFSMSdss の BWO バックアップと非 BWO バックアップ、および他のデータ・セット関連操作の一部がサポートされます。

システムの処置: CFQR が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CFQR が再接続さ

れ、CICS 処理が続行されます。

ユーザーの処置: 一時データ・キュー CSFL で、CFQR の再接続が成功したことを示すメッセージ DFHFC6028 を確認してください。再接続が失敗すると、VSAM RLS データ・セットの静止がサポートされなくなります。この場合は CICS を再始動する必要があります。

VSAM RLS の静止のサポートを復旧できない場合は、さらに重大なエラーが発生しています。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHFCQT

AFDE

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHFCDR を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHFCDR は CICS システム・トランザクション CSFR によって使用されます。このトランザクションは、SMSVSAM サーバーで障害が発生した後のエラー・リカバリーをサポートします。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CSFR を不正に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHFCDR が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHFCDR

AFDF

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHFCOR を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHFCOR は CICS システム・トランザクション CFOR によって使用されます。このトランザクションは、RLS オフサイト・リカバリー・サポートの一部です。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CFOR を不正に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHFCOR が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHFCOR

AFDG

説明: CICS システム・トランザクション CFOR が重大なエラーのために失敗しました。CICS メッセージにエラーの原因が示されています。

DFHFCOR は、RLS オフサイト・リカバリー・サポートの一部です。

この異常終了は、CICS システムが RLS オフサイト・リカバリーを完了したものの、この事実を報告するメッセージ DFHFC0575D を出す際、またはメッセージ DFHFC0575D への応答を処理する際にエラーが発生したことを示しています。

システムの処置: CFOR が異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: メッセージ DFHFC0575D を確認して応答する手順が自動化されている場合は、この CICS をシャットダウンし、OFFSITE=YES を指定して再始動してください。RLS オフサイト・リカバリー全体の完了の確認とメッセージ DFHFC0575D への応答を手動で行う場合は、リカバリーが完了したシステムのリストでこの CICS に「チェック・マーク」を付けることができますが、他のすべての CICS システムで RLS オフサイト・リカバリーが完了するまでは、OFFSITE=NO を指定してこの CICS が再始動されないようにする必要があります。また、このシステムが再始動されるまでは、RLS にアクセスできないことに注意してください。

モジュール: DFHFCOR

AFDH

説明: カップリング・ファシリティ内の RLS ロック構造が満杯であることを示す応答が VSAM から返されました。VSAM RLS は新たなロックを作成できません。

通常この異常終了コードは、同じシスプレックス内のさまざまな CICS システムから出されます。

システムの処置: VSAM RLS 要求を出したタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: より大きな VSAM RLS ロック構造を割り振り、その構造で RLS 構造を再構築します。RLS ロック構造の作成とロック構造の再構築について詳しくは、「J」(GC88-6590) および「z/OS DFSMSdfp Storage Administration」(SC26-4920) を参照してください。

モジュール: DFHEIFC、DFHDMPCA

AFDI

説明: fct 項目を検索しようとしているときに、ディレクトリー・ドメインの呼び出しに失敗しました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、エラーの原因を突き止めてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用して、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHFCU

AFDJ

説明: fct 項目を検索しようとしているときに、ロック・マネージャーの呼び出しに失敗しました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ダンプを調べて、エラーの原因を突き止めてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用して、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHFCU

AFDK

説明: タスクでトランザクション分離がアクティブであるときに、NSR ファイルに対するファイル制御更新要求が行われました。トランザクション分離がアクティブな状態での NSR ファイルの使用はサポートされていません。システム初期設定テーブル・パラメーター TRANISO が YES に設定され、トランザクション定義で ISOLATE が YES に設定されています。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション分離が必要である場合は、LSR プールまたは RLS を使用するようにファイルを変換することを検討してください。トランザクション分離が不要である場合は、トランザクション定義を変更して ISOLATE(NO) を指定することもできます。これを指定すると、トランザクション分離なしで個々のトランザクションが実行されます。ダンプを調べて、エラーの原因を突き止めてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用し

AFDL • AFDQ

て、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHEIFC

AFDL

説明: ファイル制御更新要求が行われましたが、異なる複製ログ・ストリームを使用するファイルが既にタスクで更新済みでした。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 1 つのトランザクションで複数の複製ログ・ストリームを使用すると、ミラー・サイトでデータ保全性に問題が生じます。この異常終了は、同じ作業単位で 2 つの異なるリカバリー可能ファイルを更新するトランザクションにのみ影響があります。複製のセットアップを調べて、データ・セットが複数のサブスクリプションから更新できないことを確認してください。複製のセットアップがこの要件を満たしている場合は、データ・セット定義の LOGSTREAMID を更新して正しいログ・ストリームが使用されるようにしてください。システム・ダンプは、CEMT SET TRDUMPCODE コマンドを使用して、該当するダンプ・テーブル項目を追加することによって作成できます。

モジュール: DFHEIFC

AFDN

説明: プログラムが、認識できない要求タイプのファイル制御要求を発行しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEIFC

AFDO

説明:

制御が与えられるプログラムとして DFHFSCRN を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHFSCRN は CICS システム・トランザクション CFCR によって使用されます。このトランザクション

は、CICS バンドルで定義されているファイルを使用不可にするために使用されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CFCR を不適切に接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHFSCRN が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHFSCRN

AFDP

説明:

CICS は、CICS バンドルで定義されているファイルを使用不可にすることができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: ファイルを使用不可にできない理由を確認して問題を解決し、もう一度このバンドルを使用不可にしてみてください。

モジュール: DFHFSCRN

AFDQ

説明:

トランザクション CFCT を手動で開始する試みが行われましたが、その操作はサポートされていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: トランザクション CFCT を手動で開始しようとした理由を確認してください。このトランザクションは、始動時に CICS によって自動的にアタッチされます。

モジュール: DFHFCLJ1

AGxx 異常終了コード

AGMA

説明: 日常業務開始メッセージ・トランザクションの開始が、表示する端末識別名を指定せずに試行されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションを開始する試みがどのように行われたかを突き止めてください。 端末識別名が指定されていない日常業務開始メッセージ・トランザクションに対して、EXEC CICS START が行われないようにしてください。

モジュール: DFHGMM

AIxx 異常終了コード

AICA

説明: タスクが制御を渡さないままランナウェイ時間間隔 (システム初期設定マクロ DFHSIT の ICVR オペランドで定義) よりも長い時間実行されていました。ランナウェイ・タスク条件は、アプリケーション内でループが存在する可能性のあることを示しています。

システムの処置: そのタスクは終了し、AICA トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ループの取り扱いについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHSRP

AICD

説明: カーネル (KE) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHICP

AICB

説明: システム・シャットダウン時に RETRIEVE WAIT 要求が再び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHICP

AICE

説明: ディスパッチャー (DS) ドメイン要求 (AICG 以外) から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHICP

AICC

説明: タイマー (TI) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTAJP、DFHICP

AICF

説明: トランザクション・マネージャー (TM) ドメイン要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHICP

AICG

説明: PURGED 応答が、理由コード TASK_CANCEL とともにディスパッチャー・ドメイン (DS) 要求から返されました。そのタスクは明示的に取り消されたため、TASK_CANCEL が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHICP

AICH

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHICP、DFHEIIC

AICJ

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHICP

AICK

説明: モジュール DFHEIIC が、モジュール DFHXSRC に対してリソース・レベル・セキュリティ検査 (RSLC) 要求を出し、OK または EXCEPTION 以外の応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレースを調べて、エラー発生時に DFHXSRC により作成された例外トレース項目を見つけ出してください。このトレース項目を使用して、DFHXSRC からの戻りコードの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHEIIC

AICL

説明: DFHEIIC が、コマンド・レベル・パラメーター・リスト内で無効な機能コードを検出しました。その原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、IC コンポーネントおよび EI コンポーネントのレベル 1 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプのプログラム・ストレージ・セクションを調べ、処理しようとしているコマンドの引数 0 (EXEC インターフェース記述子 (EID)) と、同じコマンドに対して変換プログラムが作成した引数 0 を比較してください。両者の違いの中に、アプリケーション・プログラムの上書きを示すものがある可能性があります。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEIIC

AICN

説明: ユーザー・ドメイン (US) 要求から、間違った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHICP

AICO

説明: ユーザー (US) ドメインへの呼び出しから、予期しない EXCEPTION 応答を受け取りました。

この呼び出しは、端末なしで開始されたトランザクションの初期設定中に、トランザクションとその特定のユーザーとを関連付ける処理の一部として出されました。しかし、特定のユーザーとトランザクションを関連付ける試みは失敗しました。

トランザクションの特定のユーザーのユーザー ID が、正しく定義されていない可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの特定のユーザーが正しく定義されていない理由を突き止めてください。

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が CICS ジョブに対して出したメッセージを調べてください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要なことがあります。

トランザクション・ダンプを調べて、外部セキュリティ・マネージャーが、ユーザーが正しく定義されていないことを CICS に知らせた理由を判別する必要がある場合もあります。

ユーザーが正しく定義されている場合は、トランザクションのやり直しを考慮してください。

モジュール: DFHICXM

AICQ

説明: モジュール DFHDFST が端末で実行されていますが、この操作は許可されません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: このトランザクションが端末で実行されている理由を判別してください。

モジュール: DFHDFST

AICR

説明: DFHTC 書き込み要求が、IRC に対して失敗しました。TCATPAPR および TCTEIRET 内の戻りコードを調べて、その理由を判別する必要があります。

システムの処置: CSNC トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRR

AICS

説明: モジュール DFHDFST が検索処理中にエラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: レベル 1 トレース項目を使用して障害の原因を判別してください。

モジュール: DFHDFST

AICT

説明: モジュール DFHDFST が開始処理中にエラーを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: レベル 1 トレース項目を使用してエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHDFST

AIEA

説明: ユーザー (US) ドメインへの呼び出しから、予期しない EXCEPTION 応答を受け取りました。

この呼び出しは、端末なしで開始されたトランザクションの初期設定中に、トランザクションとその特定のユーザーとを関連付ける処理の一部として出されました。しかし、特定のユーザーとトランザクションを関連付ける試みは失敗しました。

トランザクションの特定のユーザーのユーザー ID が、正しく定義されていない可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの特定のユーザーが正しく定義されていない理由を突き止めてください。

外部セキュリティ・マネージャー (ESM) が CICS ジョブに対して出したメッセージを調べてください。これにはセキュリティ管理者のサポートが必要なことがあります。

AIEB • AINE

トランザクション・ダンプを調べて、外部セキュリティ・マネージャーが、ユーザーが正しく定義されていないことを CICS に知らせた理由を判別する必要がある場合もあります。

ユーザーが正しく定義されている場合は、トランザクションのやり直しを考慮してください。

モジュール: DFHIXM

AIEB

説明: TCP/IP リスナー・タスクの ECI のトランザクション ID (CIEP) が不正に開始されました。端末で ID を入力したことが原因と思われます。このトランザクションは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CIEP は直接開始しないでください。

モジュール: DFHIEP

AINA

説明: アプリケーション・プログラムが、未確定のテスト・ツール・プログラム DFHINDT に EXEC CICS LINK コマンドを出しましたが、実行する要求が含まれている COMMAREA を渡せませんでした。有効な要求は、ON、OFF、RESYNC COMMIT、または RESYNC BACKOUT です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 有効な要求が含まれている COMMAREA を DFHINDT に渡すようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHINDT

AINB

説明: アプリケーション・プログラムが、未確定のテスト・ツール・プログラム DFHINDT に EXEC CICS LINK コマンドを出して COMMAREA を渡しましたが、COMMAREA に実行対象の有効な要求が含まれていませんでした。有効な要求は、ON、OFF、RESYNC COMMIT、または RESYNC BACKOUT です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 有効な要求が含まれている COMMAREA を DFHINDT に渡すようにアプリケーション・プログラムを修正してください。

モジュール: DFHINDT

AINC

説明: 未確定テスト・ツールが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口プログラム DFHINTRU の状況を照会するために EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM コマンドを出しましたが、コマンドが失敗して NOTAUTH 応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 未確定テスト・ツールを実行できるトランザクションは、トランザクション CIND、プログラムが EXEC CICS LINK で DFHINDT にリンクするユーザー・トランザクション、またはプログラムが EXEC CICS LINK で DFHINDAP にリンクするトランザクションです。トランザクションに対してコマンド・セキュリティチェックが有効になっている場合 (CMDSEC=YES) は、ユーザーがリソース EXITPROGRAM に読み取りアクセスできることを確認します。トランザクションに対してリソース・セキュリティチェックが有効になっている場合 (RESSEC=YES) は、ユーザーがリソース DFHINTRU に読み取りアクセスできることを確認します。

モジュール: DFHINDT、DFHINDAP

AIND

説明: 未確定テスト・ツールが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口プログラム DFHINTRU の状況を照会するために EXEC CICS INQUIRE EXITPROGRAM コマンドを出しましたが、コマンドが失敗して予期しない応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT、DFHINDAP

AINE

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定ツールが出した START_LINK_BROWSE コマンドで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINF

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した GET_NEXT_LINK 呼び出しで、予期しない理由による EXCEPTION 応答が発生しました。DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AING

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した GET_NEXT_LINK 呼び出しで、エラー

(DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) も提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINH

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定ツールが出した END_LINK_BROWSE コマンドで、エラー

(EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINI

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した INQUIRE_UOW コマンドで、エラー

(EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINJ

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した INITIATE_RECOVERY 呼び出しで、予期しない理由による EXCEPTION 応答が発生しました。DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINK

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した INITIATE_RECOVERY 呼び出しで、エラー (DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) も提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINL

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した SET_RECOVERY_STATUS コマンドで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプション

によって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINM

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した TERMINATE_RECOVERY コマンドで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINDT は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT

AINN

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対して未確定テスト・ツールが出した ADD_LINK コマンドで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR、または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHINTRU は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHAP0002、および、場

合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINTRU

AINO

説明: 現在のトランザクションが未確定トランザクション・クラス DFHTCIND にあるかどうかを照会する EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION コマンドが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU から出されました。このコマンドが失敗し、NOTAUTH 応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 未確定テスト・ツールがアクティブである場合は、CICS トランザクションが開始されるたびにタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU が呼び出されます。コマンド・セキュリティチェックが有効になっているトランザクションでは、ユーザーがリソース TRANSACTION に読み取りアクセスできることを確認してください。開始済みトランザクションのリソース・セキュリティチェックが指定されている場合は、リソース・セキュリティチェックが有効になっているすべてのトランザクションで、指定された RACF リソース・クラス内のトランザクション名にユーザーが読み取りアクセスできることを確認してください。

コマンド・セキュリティとリソース・セキュリティの詳細については、「CICS セキュリティ」を参照してください。

モジュール: DFHINTRU

AINP

説明: 現在のトランザクションが未確定トランザクション・クラス DFHTCIND にあるかどうかを照会する EXEC CICS INQUIRE TRANSACTION コマンドが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU から出されました。このコマンドが失敗し、予期しない応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINTRU

AINQ

説明: メッセージ DFHIN1009 に組み込む作業単位 ID を取得するために現在のタスクについて照会する EXEC CICS INQUIRE TASK コマンドが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU から出されました。このコマンドが失敗し、TASKIDERR 応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINTRU

AINR

説明: メッセージ DFHIN1009 に組み込む作業単位 ID を取得するために現在のタスクについて照会する EXEC CICS INQUIRE TASK コマンドが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU から出されました。このコマンドが失敗し、NOTAUTH 応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 未確定テスト・ツールがアクティブである場合は、CICS トランザクションが開始されるたびにタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU が呼び出されます。コマンド・セキュリティチェックが有効になっている (CMDSEC=YES) トランザクションでは、ユーザーがリソース TASK に読み取りアクセスできることを確認してください。

モジュール: DFHINTRU

AINS

説明: メッセージ DFHIN1009 に組み込む作業単位 ID を取得するために現在のタスクについて照会する EXEC CICS INQUIRE TASK コマンドが、未確定テスト・ツールのタスク関連ユーザー出口 DFHINTRU から出されました。このコマンドが失敗し、予期しない応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

AINT • AIPD

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINTRU

AINT

説明: 未確定のテスト・ツールが、未確定テスト・ツール・タスク関連のユーザー出口プログラム DFHINTRU を使用可能にするために EXEC CICS ENABLE コマンドを発行しましたが、そのコマンドは NOTAUTH 応答で失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 未確定テスト・ツールを実行できるトランザクションは、トランザクション CIND、プログラムが EXEC CICS LINK で DFHINDT にリンクするユーザー・トランザクション、またはプログラムが EXEC CICS LINK で DFHINDAP にリンクするトランザクションです。トランザクションに対してコマンド・セキュリティ検査が有効になっている場合 (CMDSEC=YES) は、ユーザーがリソース EXITPROGRAM に更新アクセスできることを確認します。トランザクションに対してリソース・セキュリティ検査が有効になっている場合 (RESSEC=YES) は、ユーザーがリソース DFHINTRU に更新アクセスできることを確認します。

モジュール: DFHINDT、DFHINDAP

AINU

説明: 未確定のテスト・ツールが、未確定テスト・ツール・タスク関連のユーザー出口プログラム DFHINTRU を使用可能にするために EXEC CICS ENABLE コマンドを発行しましたが、そのコマンドは予期しない応答で失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHINDT、DFHINDAP

AIPA

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISCOP が不正に開始されました。恐らく、それを参照するトランザクション ID (例えば、CISC または CISS) を端末で入力したためと思われます。このプログラムは必ず CICS 内部

プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISC または CISS は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISCOP

AIPB

説明: IP 相互接続性の受信側プログラム DFHISRRP が不正に開始されました。恐らく、それを参照するトランザクション ID (例えば、CISR) を端末で入力したためと思われます。このプログラムは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISR は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISRRP

AIPC

説明: IP 相互接続性のエラーおよびメッセージ・プログラム DFHISEMP が不正に開始されました。恐らく、それを参照するトランザクション ID (例えば、CISE) を端末で入力したためと思われます。このプログラムは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISE は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISEMP

AIPD

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISCOP が、CICS 内部プロセスによって、無効な接続パラメーターを使用して開始されました。これは、構成エラーまたはストレージの上書きの結果として生じた可能性があります。

DFHISCOP は、IS ドメイン接続性トランザクションの初期プログラムとして定義される必要があります。そのようなトランザクションとは、CISC や、プロトコル IPIC を使用する TCPIP SERVICE のためのトランザクション (デフォルトでは CISS) です。DFHISCOP が他の CICS 内部トランザクションの初期プログラムとして定義されている場合に、このエラーが発生する可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHISCOP が正しく定義されていることを確認してください。

必要に応じて、ダンプや例外トレース項目を調べて、接

続パラメーターが欠落している理由または無効である理由を判別してください。

モジュール: DFHISCOP

AIPE

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISCOP が、IPCONN を獲得または解放するためのシステム間連絡 (IS) ドメインに対する呼び出しから、または IS ドメインの初期設定処理中に別のドメインから、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答を受け取りました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。必要に応じて、詳細についてはダンプおよび例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISCOP

AIPF

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISCOP は、IPCONN を獲得または解放するためのシステム間連絡 (IS) ドメインへの呼び出しから、PURGED 応答を受信しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態

が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHISCOP

AIPG

説明: IP 相互接続性の長期実行要求/応答受信側プログラムは、システム間連絡 (IS) ドメインへの PROCESS_INPUT 呼び出しから、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答を受信しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。必要に応じて、詳細についてはダンプおよび例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISRRP

AIPH

説明: IP 相互接続性の長期実行エラーおよびメッセージ・プログラムが、システム間連絡 (IS) ドメインへの PROCESS_ERROR 呼び出しから、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答を受信しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。必要に応じて、詳細についてはダンプおよび例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISEMP

AIPI

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISREU または DFHISREX が不正に開始されました。恐らく、それを参照するトランザクション ID である CISU または CISX を端末で入力したためと思われます。このプログラムは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

AIPJ • AIPN

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISU または CISX は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISREU、DFHISREX

AIPJ

説明: IS 接続クライアント・モジュール DFHISXM は、モジュール DFHISIS への INITIALIZE_RECEIVER 呼び出しから、INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答を受信しました。

呼び出しが発行されたのは、IP 接続で受信したトランザクション接続メッセージにより開始された、トランザクションの初期化中です。トランザクションとその特定のユーザーとを関連付ける処理の一部として出されました。しかし、特定のユーザーとトランザクションを関連付ける試みは失敗しました。

トランザクションの特定のユーザーのユーザー ID が、正しく定義されていない可能性があります。

IPCONN に定義されたセキュリティ属性が、トランザクションの接続メッセージで受信されたセキュリティ・パラメーターと一致していない可能性があります。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。

対象ユーザーのユーザー ID が外部セキュリティ・マネージャーに対して正しく定義されていることを確認します。IPCONN セキュリティ属性が正しく定義されていることを確認します。

モジュール: DFHISXM

AIPK

説明: IS 接続クライアント・モジュール DFHISXM が、別のモジュールに対する呼び出しを行って PURGED 応答を受け取りました。

呼び出しが発行されたのは、IPIC 接続で受信したトランザクション接続メッセージにより開始された、トランザクションの初期化中です。

このトランザクションに割り振られた IPIC 受信セッションを表す ISSB が、開始元システムからの IPCONN または除去要求でのエラーの後に、異常終了の対象としてフラグを立てられました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: エラー・ログに関連メッセージが報告されていないか確認してください。必要に応じて、詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISXM

AIPL

説明: IS 接続クライアント・モジュール DFHISXM が、別のモジュールに対する呼び出しを行って、INVALID 応答、DISASTER 応答、または予期しない EXCEPTION 応答を受け取りました。

呼び出しが発行されたのは、IPIC 接続で受信したトランザクション接続メッセージにより開始された、トランザクションの初期化中です。トランザクションの初期設定の試みは失敗しました。

受信した入力メッセージが予期した形式ではない可能性があります。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 必要に応じて、詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISXM

AIPM

説明: トランザクションは、IPIC リンクを介して、別の CICS システムのトランザクションに接続されていました。このもう一方のトランザクションが異常終了しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接続先のトランザクションで発生した異常終了の原因を修正してください。

モジュール: DFHISIS

AIPN

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISLQP が不正に開始されました。このプログラムを参照するトランザクション ID CISQ を端末で入力したことが原因と思われます。このプログラムは常に CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISQ は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISLQP

AIPO

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISLQP が、CICS 内部プロセスによって、無効な接続パラメーターを使用して開始されました。これは、構成エラーまたはストレージの上書きの結果として生じた可能性があります。

DFHISLQP は、IS ドメイン接続トランザクション CISQ の初期プログラムとして定義する必要があります。DFHISLQP が他の CICS 内部トランザクションの初期プログラムとして定義されている場合に、このエラーが発生する可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHISLQP が正しく定義されていることを確認してください。

必要に応じて、ダンプや例外トレース項目を調べて、接続パラメーターが欠落している理由または無効である理由を判別してください。

モジュール: DFHISLQP

AIPP

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISLQP は、ローカルでキューに入れられた IPCONN への要求を処理するためのシステム間連絡 (IS) ドメインへの呼び出しから、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答を受信しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。必要に応じて、詳細についてはダンプおよび例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISLQP

AIPR

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISLQP は、IPCONN を獲得または解放するためのシステム間連絡 (IS) ドメインへの呼び出しから、PURGED 応答を受信しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成さ

れ、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHISLQP

AIPS

説明: IP 相互接続のリモート・スケジューラー・プログラム DFHISRSP が不正に開始されました。原因はおそらく、DFHISRSP を参照するトランザクション ID (CISM など) が端末で入力されたためです。

DFHISRSP は CICS 内部プロセスによってのみ開始する必要があります。

システムの処置: このタスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISM は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISRSP

AIPT

説明: IP 相互接続のリモート・スケジューラー・プログラム DFHISRSP が、システム間連絡 (IS) ドメインへの PROCESS_SCHEDULER 呼び出しから INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答を受け取りました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。必要に応じて、詳細についてはダンプおよび例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHISRSP

AIPU

説明: CICS 4.1 以降の場合、4 文字より長い IPCONN 名は CICS 領域間のトランザクション・ルーティングではサポートされていません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS 領域間のトランザクション・ルーティングで 4 文字より長い IPCONN 名が使用されている場合は、4 文字以下となるように修正してください。

モジュール: DFHISXM

AIS1

説明: DFHMROQM FUNC=ENQ コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC 初期設定時に IRC 制御タスク (CSNC) の作業をエンキューするときに出されました。

システムの処置: IRC が CICS 初期設定時に初期設定されている場合 (IRCSTRT を DFHSIT 内に指定したか、または指定変更パラメーターとして指定した結果)、CICS は異常終了します。

IRC が CEMT SET IRC OPEN コマンドの実行時に初期設定された場合には、CEMT トランザクションが異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRSP

AIS2

説明: DFHMROQM FUNC=WAIT_Q コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC 作業がさらに処理されるのを待っているときに outされます。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AIS3

説明: STCK (Store Clock) 命令を出そうとする試みが失敗しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。

他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: システム刻時機構を修理または使用可能にしてください。

モジュール: DFHCRNP

AIS4

説明: DFHMROQM FUNC=ENQUEUE コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。このコマンドは、IRC「遅延作業」キューに対して作業をエンキューするときに出されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AIS5

説明: DFHMROQM FUNC=ENQUEUE コマンドが出された後で、予期しない戻りコードが返されました。

このコマンドは、IRC「即時作業」キューに対してエンキューするときに出されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。

このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域

(共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AIS6

説明: ファイル制御読み取り設定バッファを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AIS7

説明: ファイル制御読み取り設定バッファを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって、またはデッドロック・タイムアウトの結果、除去されました。

モジュール: DFHMIRS

AIS8

説明: DFHMIRS モジュール内で内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AIS9

説明: ミラー・プログラムが、LINK コマンドの完了後に DPL サーバー・プログラムが無効な状態で戻ったことを検出しました。サーバー・プログラムまたはそれがリンクしていたプログラムは、次に同期点を出した別のプログラムと同期レベル 2 の会話を開始しました。ミラー・プログラムに制御権が戻った時点で、サーバー・プログラムは未解決の同期点要求に応答していませんでした。

ミラー・プログラムがこの異常終了コードを出すのは、LINK 要求が SYNCONRETURN を指定しなかった場合だけです。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: DTP アプリケーションまたはサーバー・プログラムが開始したアプリケーションの設計を訂正してください。LINK 要求に SYNCONRETURN オプションが指定されていない場合は、同期点を開始する必要があるのは、クライアント・プログラムだけです。DTP アプリケーションから同期点要求を出す必要がある場合には、LINK 要求に SYNCONRETURN オプションを指定することを考慮してください。LINK コマンドとそのオプションについての詳細は、「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AISA

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) が端末以外の機能からタスク生成されました。これは許可されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用してフィールド TCAFCAAA を調べ、無効なタスク生成を識別してください。

モジュール: DFHMIRS

AISB

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) が、生成元のトランザクションから渡されたデータでエラーを検出しました。

AISC • AISJ

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 無効な入力とはトランザクション・ダンプで確認できます。このエラーは、2 つのシステムの間には何らかの不一致があることが原因と考えられます。

DL/I なしで生成されたシステムで DL/I 要求を受信した場合が典型的な例です。

モジュール: DFHMIRS

AISC

説明: ミラー・トランザクション (CSMI) は、端末から TIOA を受け取りませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプの中のトレース内容およびダンプされた TCTTE を使用して、問題をさらに分析する必要があります。

モジュール: DFHMIRS

AISD

説明: ミラー・プログラムは、要求を実行し、その結果としてゼロ以外の戻りコードを受け取りました。使用されているシステム間リンクのデータ流れ制御状態では、通常、このような情報が戻されることは考えられません。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプにより、ゼロ以外の戻りコードの発生源を分析するのに必要な情報が提供されます。

モジュール: DFHMIRS

AISF

説明: CICS ミラー・プログラム DFHMIRS は、サポートされていない方法でタスク生成されました。ミラー・トランザクションのための基本機能が APPC として定義されていますが、会話のマッピングが行われていません。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: ミラー・トランザクションがタスク生成される原因となったシステムに問題があります。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AISG

説明: ミラー・プログラムが要求を実行し、応答を作成しました。しかし、システム間リンクのデータ流れ制御状態がそれを送信できる状況になかったために、応答は送られませんでした。

システムの処置: そのタスク (CSMI) は、異常終了して、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 提供されたトランザクション・ダンプを使用して、問題を分析してください。

モジュール: DFHMIRS

AISH

説明: 新しい接続タスク CSNC が、誤った方法で (例えば端末から、あるいは EXEC CICS START 要求を経由して) 呼び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRNP

AISI

説明: 機能シップ要求が DFHEIP から DFHISP に渡されましたが、変換プログラム DFHXFP によって、これは無効であることが検出されました。

システムの処置: 機能シップ要求を出したトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプの情報から、問題をさらに分析することができます。

モジュール: DFHISP

AISJ

説明: DFHCRR へのリンクが失敗したために、IRC 管理タスク CSNC が異常終了しました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクも、すべて異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム DFHCRR が使用可能であることを確認してください。

モジュール: DFHCRNP

AIK

説明: APPC セッションでの機能シッ要求の実行時に、ユーザー・トランザクションが異常終了させられました。これは、リモート・システムでミラー・トランザクションが異常終了したため、このセッションを通じて同期点ロールバックに対する要求が送られたことから起こっています。CICS は、このような状況にあるユーザー・トランザクションを異常終了させ、機能シッがトランザクションに対し透過的な状態を保つようにします。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ミラー・システムのログを調べて、ミラー・タスクの最初の異常終了の理由を判別してください。

モジュール: DFHISP

AISL

説明: LU サービス管理トランザクションがユーザー端末から直接開始されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。LU サービス管理トランザクションは、CICS によって内部的に開始されなければなりません。

モジュール:

DFHLUP、DFHCLS3、DFHCLS4、DFHZLS1

AISN

説明: タスク CSNC が、その後の作業が到着するまで自身を中断するために SUSPEND TOKEN を取得しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。IRC 機能が使用不可になります。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AISO

説明: タスク CSNC がその後の作業を待機する間自身を中断しようとしたが、失敗しました。

システムの処置: ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。IRC 機能が使用不可になります。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AISP

説明: ミラー・トランザクション (トランザクション ID CSHR、CSM1、CSM2、CSM3、CSM5、または CSMI) が、無効な基本機能により呼び出されました。そのミラー・トランザクションは、その基本機能として MRO セッション、LU6.1 セッション、または APPC セッションを使用して実行されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末でトランザクション ID を入力してミラー・トランザクションを呼び出そうとしないでください。

モジュール: DFHMIRS

AISQ

説明: EXEC CICS コマンドが、CPI 通信セッションに対して出されました。CPI 通信セッションとは、関連する CPI 通信制御ブロック (CPC) を備えているセッションです。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 会話の同じ側で EXEC コマンドを CPI 通信呼び出しと混在させないでください。

モジュール: DFHMIRS

AISR

説明: CICS 領域内セッション・リカバリー・プログラム (DFHCRR) が誤った方法で (例えば端末から) 呼び出されました。

システムの処置: プログラム DFHCRR は異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCRR

AISS

説明: CICS がリモート APPC システムとの会話を開始しようとしているときに、セキュリティ違反が起きました。要求側のセキュリティ・アクセス・レベルが、接続された APPC システム上のトランザクションにアクセスするには不十分でした。要求の性質およびセキュリティが設定されている方法によって異なりますが、不十分なアクセス・レベルを持つ要求プログラムとしては、ローカル CICS システム、要求トランザクション、または端末ユーザーがあります。

注: リモート領域でのセキュリティ障害の後で DTP プログラムが異常終了する場合には、コード AISS は出されません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: まず、アクセスが正しく拒否されたかを確認してください。次に必要があれば、アクセス・レベルを変更します。

モジュール: DFHZARM

AIST

説明: DFHTC TYPE=LOCATE コマンドの後で、予期しない戻りコードが返されました。

システムの処置: システム・ダンプが作成され、CSNC が異常終了します。他のシステムへの MRO リンクを使用しているタスクは、すべて異常終了します。このシステムと現在通信を行っている他の CICS 領域 (共用データベース・バッチ領域を含む) のタスクもすべて異常終了します。

ユーザーの処置: システム・ダンプ内のトレース内容を使用して、さらに詳しく問題を分析してください。

モジュール: DFHCRNP

AISU

説明: FCENT 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AISV

説明: FCENT 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しで、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHMIRS

AISW

説明: CRB 制御ブロックを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHCRSP

AISX

説明: CRB 制御ブロックを GETMAIN または FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (SM) に対する呼び出しの際に、PURGED 条件が発生しました。

最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHCRSP

AISY

説明: LU サービス管理トランザクションが開始されましたが、無効なパラメーターが検出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHZC4921 を参照してください。

モジュール: DFHLUP

AISZ

説明: LUTYPE6.2 同期点 1 の会話で送られた START PROTECT NOCHECK 要求をコミットしているときに、DFHMXP が予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: パートナー・システムのトランザクシ

ョン CVMI で何が起きたかを確認してください。

START PROTECT NOCHECK 要求がコミットされている場合、以降の処置は不要です。コミットされていない場合は、エラーからリカバリーするためにユーザー定義の処置が必要です。

モジュール: DFHMXP

AITA

説明: IRC セッションのリカバリー状況を初期設定するために行ったリカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー

(INVALID、DISASTER、または予期しない

EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

この障害は、タスクのページの結果であるか CICS 論理エラーのいずれかです。

システムの処置: CSNC タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連する診断材料を参照し、障害の原因を判別してください。CICS 論理エラーの場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRNP

AITB

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

この障害は、タスクのページの結果であるか CICS 論理エラーのいずれかです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連する診断材料を参照し、障害の原因を判別してください。CICS 論理エラーの場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHISP、DFHMXP

AITC

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

この障害は、タスクのパーズの結果であるか CICS 論理エラーのいずれかです。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連する診断材料を参照し、障害の原因を判別してください。CICS 論理エラーの場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AITD

説明: ミラー・プログラムが RX ドメインから予期しない応答を受け取りました。

このエラーにはいくつかの原因が考えられます。

- EXCI クライアントから受け取った要求が同じ作業単位の前の要求と矛盾している。
- CICS が MVS のリカバリー可能リソース管理サービス・コンポーネントから予期しない応答を受け取った。
- RX ドメインで内部エラーが発生した。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: RX ドメインから提供される例外トレースを調べて、障害の原因を判別してください。EXCI クライアントからの矛盾する要求がエラーの原因である場合は、クライアント・プログラムにエラーがある可能性があります。

それ以外の場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AITE

説明: トランザクションがバッチ領域からトランザクション EXCI 要求を実行し、以下のいずれかのイベントを待機していましたが、待機時間がトランザクションの RTIMOUT 値または DTIMOUT 値で指定された間隔を超えました。

- バッチ領域からの追加のトランザクション EXCI 要求。
- リソース・リカバリー管理サービス (RRMS) によって開始された同期点。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 予期したイベントが発生しなかった理由を判別してください。

予期したイベントが追加のトランザクション EXCI 要求である場合:

- バッチ・プログラムが中断された可能性があります。

予期したイベントが同期点である場合:

- 同期点に到達する前にバッチ・プログラムが中断された可能性があります。
- 同期点処理を開始した RRMS が、別のリソース・マネージャーによる同期点要求への応答を待機している可能性があります。

続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AITF

説明: トランザクションがバッチ領域からトランザクション EXCI 要求を実行し、以下のいずれかのイベントを待機している間に除去されました。

- バッチ領域からの追加のトランザクション EXCI 要求。
- リソース・リカバリー管理サービス (RRMS) によって開始された同期点。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 予期したイベントが発生しなかった理由を判別してください。

予期したイベントが追加のトランザクション EXCI 要求である場合:

- バッチ・プログラムが中断された可能性があります。
- 予期したイベントが同期点である場合:
- 同期点に到達する前にバッチ・プログラムが中断された可能性があります。
 - 同期点処理を開始した RRMS が、別のリソース・マネージャーによる同期点要求への応答を待機している可能性があります。

続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AITG

説明: トランザクションがバッチ領域からトランザクション EXCI 要求を実行し、以下のイベントの両方が発生しました。

- バッチ領域からの追加のトランザクション EXCI 要求。
- リソース・リカバリー管理サービス (RRMS) によって開始された同期点。

通常は一方のイベントのみが発生し、両方が発生することはありません。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 両方のイベントが発生した理由を判別してください。この状況は、CICS が DPL 要求を受け取る準備ができていないときに DPL 要求で EXCI クライアントがタイムアウトになり、その後同期点の取得に進んだ場合に発生する可能性があります。そうでない場合は、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMIRS

AITH

説明: TCP/IP 接続クライアントからの ECI 要求を処理していたミラー・トランザクションが、クライアントとの間でデータを送受信しようとして失敗しました。これは、読み取りのタイムアウトか、または CICS がデータを正しく処理するのを妨げる、フローでのさらに重大なエラーである可能性があります。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タイムアウト・エラーの場合は、クライアントが拡張 ECI 会話を継続しなかった理由を判別してください。それ以外のエラーの場合は、関連する IE ドメイン・メッセージが問題の判別に役立ちます。

モジュール: DFHMIRS

AITI

説明: START CHANNEL または LINK CHANNEL 要求を処理するミラー・トランザクションが、接続された CICS システムとの間でデータを送信または受信するときに失敗しました。チャンネルにかなりのデータ量が含まれている場合があるため、チャンネル・データを送信するには端末管理への多くの呼び出しが必要になることがあります。DFHMIRS はプログラム DFHAPCR を呼び出して、チャンネル・データのすべてのシステム間送信を実行します。端末管理はこれらのいずれかの呼び出しでエラーを検出しました。このエラーは読み取りのタイムアウトか、または CICS がデータを正しく処理するのを妨げる、フローでのさらに重大なエラーである可能性があります。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラーがタイムアウトの場合、もう一方の側が会話を継続しない理由を判別します。他のエラーの場合、問題判別を支援するための端末管理メッセージが関連付けられています。DFHAPCR からのトレース項目を検査して、端末管理エラーおよびセンス情報を判別してください。

モジュール:

AITJ

説明: IP 相互接続性を使用して接続されたクライアントからの要求を処理するミラー・トランザクションが、クライアントからデータを受信しようとしている間、またはクライアントにデータを送信しようとしている間に、失敗しました。これは、読み取りのタイムアウトか、または CICS がデータを正しく処理するのを妨げ

AITK • AITP

る、フローでのさらに重大なエラーである可能性があります。

システムの処置: そのミラー・タスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タイムアウト・エラーの場合は、クライアントが会話を継続しなかった理由を判別してください。それ以外のエラーの場合は、関連する IS ドメイン・メッセージが問題の判別に役立ちます。

モジュール: DFHMIRS

AITK

説明: ISCINVREQ 状態が発生しました。これは、資源がまだ別のリモート・システム上にあることがわかった場合、つまり、環状チェーニングが活動中であった場合に起こることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求の環状チェーニングが意図されたものであること、および関連するシステム間リンクがすべてサービス中であることを確認してください。

モジュール: DFHMIRS

AITL

説明: IPIC クライアントは、認識されていない CCSID を送信しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: クライアント・システムが、CICS TS でサポートされているクライアント・コード・ページを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHMIRS

AITM

説明: 自身を呼び出すコマンドがミラー・プログラムで受信されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ミラー・プログラムの名前を指定する EXEC CICS LINK PROGRAM の実行を要求しないように、クライアント・システム・プログラムの API コマンドを訂正してください。

モジュール: DFHMIRS

AITN

説明: DFHMIRS が実行されていた TCB を変更しようとして失敗しました。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMIRS

AITO

説明: IP 相互接続性プログラム DFHISPHP および DFHISPRP が不正に開始されました。これらのプログラムを参照するトランザクション ID CIS1 が端末で入力されたことが原因と思われます。このプログラムは常に CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CISP または CIS1 は直接開始しないでください。

モジュール: DFHISPHP

AITP

説明: アプリケーション・コンテキスト処理モジュール DFHMNAC が、MIRROR_ACD 機能から予期しない応答を返しました。

システムの処置: トランザクションは終了します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMIRS

AJxx 異常終了コード

AJ01

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーの `main` メソッドが引数なしで呼び出されました。ラッパーの `main` には、ユーザーの `main` のクラス名を最初の引数として渡す必要があります。

ラッパーの `callUserClass` メソッドによってこのエラーが検出され、戻りコード `INVALID_ARGUMENTS` が設定され、ネイティブ・メソッド `SetAbend` が呼び出されてタスクが異常終了します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFJICICS

AJ02

説明: CICS `AbendError` が Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーによってキャッチされました。

ラッパーの `callUserClass` メソッドによってこのエラーが検出され、戻りコード `ABEND_RECEIVED` が設定され、ネイティブ・メソッド `SetAbend` が呼び出されてタスクが異常終了します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: `stderr` に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、最初の異常終了の理由を判別してください。

モジュール: DFJICICS

AJ03

説明: `CicsConditionException` が Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーによってキャッチされました。

ラッパーの `callUserClass` メソッドによってこのエラーが検出され、戻りコード `CONDITION_RECEIVED` が設定され、ネイティブ・メソッド

`SetAbendForCondition` が呼び出されてタスクが異常終了します。この状態に該当するデフォルトの異常終了コードが出されるはずですが、何らかの理由で不可能である場合は、AJ03 異常終了コードが出される可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: `stderr` に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、最初の `CicsConditionException` の理由を判別してください。

モジュール: DFJICICS

AJ04

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーがユーザー・クラスを呼び出そうとして予期しないエラーをキャッチしたか、または Java 環境で未処理例外がスローされました。

前者の場合は、ラッパーの `callUserClass` メソッドによってこのエラーが検出され、戻りコード

`UNEXPECTED_EXCEPTION` が設定され、ネイティブ・メソッド `SetAbend` が呼び出されてタスクが異常終了します。後者の場合は、JNI コードによって `SetAbend` メソッドが呼び出されてタスクが異常終了し、AJ04 がデフォルトの異常終了コードとして設定されます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: `stderr` に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、最初の例外の理由を判別してください。

モジュール: DFJICICS

AJ05

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーが、ユーザー・クラスからの `InvocationTargetException` として未処理例外をキャッチしました。

ラッパーの `callUserClass` メソッドによってこのエラーが検出され、戻りコード

`INVOCATION_TARGET_EXCEPTION` が設定され、ネイティブ・メソッド `setAbend` が呼び出されてタスクが異常終了します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: `stderr` に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、最初の例外の理由を判別してください。

モジュール: DFJICICS

AJ07

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーがユーザーの `main` メソッドを呼び出せませんでした。`CallUserClass` メソッドに入力パラメーターとして渡された名前のクラスが見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 対象のクラスに対する読み取り権限およびそのクラスまたは JAR ファイルがある zFS ディレクトリ構造全体に対する読み取り権限が CICS に付与されていることを確認してください。

モジュール: DFJCICS

AJ09

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーがユーザーの `main` メソッドを呼び出せませんでした。`CommAreaHolder` または `String` 配列を入力として取る `public static` メソッドが、ラッパーの `CallUserClass` メソッドに対する入力パラメーターとして渡された名前のクラスに見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 指定されたクラスに、適切なメソッド・シグニチャーを指定した `main` メソッドを追加したことを確認してください。また、対象のクラスが「`public`」クラス修飾子を明示的に使用していること、およびそのクラスが JVM のクラスパス上の JAR ファイルに格納されていることも確認してください。CICS がこの JAR ファイルに読み取りアクセスできることが必要です。

モジュール: DFJCICS

AJ10

説明: Java 環境セットアップ・クラスのラッパーはユーザーのクラスで JDBC または SQLJ が使用されたことを検知しました。ところが、ユーザー・クラスの入力に続くクリーンアップ処理で JDBC/SQL ドライバーをコールバックするために必要な DB2 JDBC クラスをロードできませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFJCICS

AJ11

説明: Java 環境セットアップ・クラスのラッパーはユーザーのクラスで JDBC または SQLJ が使用されたことを検知しました。ところが、ユーザー・クラスの入力に続くクリーンアップ処理で JDBC/SQL ドライバーをコールバックするための DB2 JDBC 静的メソッドが見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFJCICS

AJ12

説明: Java 環境セットアップ・クラスのラッパーはユーザーのクラスで JDBC または SQLJ が使用されたことを検知しました。ところが、ユーザー・クラスの入力に続くクリーンアップ処理で JDBC/SQL ドライバーをコールバックするための DB2 JDBC 静的メソッドを呼び出せませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFJCICS

AJ13

説明: 例外が発生し、CICS がユーザーのクラスのインスタンスを生成できませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: `stderr` に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、例外の理由を判別してください。クラスに引数なしコンストラクターがあることを確認してください。これは、CICS がクラスをインスタンス生成するための条件となります。

モジュール: DFJCICS

AJ99

説明: Java 環境セットアップ・クラスであるラッパーが `AbendException` を検出し、`setAbend` を出しました。`AbendException` から抽出された異常終了コードが長すぎます。

システムの処置: タスクが異常終了し、異常終了コードが AJ99 に設定されます。

ユーザーの処置: `AbendException` を作成する際に使用される異常終了コードのストリングを訂正してください。

モジュール: DFJCICS

AJA0

説明: ネイティブ・メソッド `SetAbendForCondition` に、ラッパー・クラスから無効な `RESP` 値が渡されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFJCICS

AJCD

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCP

AJCE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する `GETMAIN` 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された `DTIMOUT` (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、`DTIMOUT` 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの `DTIMOUT` オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHJCP

AJCS

説明: ログ・マネージャー (LM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCP

AJCT

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初に出されたエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびに (ダンプ・テーブル内のオプションによっては) おそらくシステム・ダンプを提供しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHJCP

AJCU

説明: ログ・マネージャーまたはリカバリー・マネージャーから除去応答を受け取りました。最初の除去条件を検出したドメインから例外トレースが提供されます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHJCP

AKxx 異常終了コード

AKC0

説明: CICS 内部タスク CSSY をユーザー・トランザクションとして稼働する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSSY をユーザー・トランザクションとして稼働する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHAPATT

AKC1

説明: ECB がすでに待機中としてマーク付けされているときに、DFHKC WAIT 要求が出されました。

システムの処置: ユーザー・エラーの可能性がありま。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: その要求を出したプログラムを訂正してください。

モジュール: DFHXCP

AJVM

説明: JVM が例外をスローし、CICS がその例外をキャッチしました。異常終了は発生しませんでした。異常終了コードを参照することが予期されるメッセージで使用するために、AJVM コードが存在します。このコードを参照するメッセージの前に、例外を文書化する他の診断 (通常は DFHSJ1004 メッセージ) が出されます。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: stderr に出力された関連メッセージと JVM エラーを参照して、最初の例外の理由を判別してください。

モジュール: DFHSJSC

AJST

説明: EXEC CICS LINK を使ってプログラム DFHJSON が呼び出されましたが、チャンネルは提供されませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: チャンネルを渡すようにアプリケーション・プログラムを変更してください。

モジュール: DFHJSON

AKC2

説明: ディスパッチャー (DS) ドメイン呼び出しから間違った応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、トランザクション・ダンプおよびトレース項目が作成されま。す。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHXCP

AKC3

説明: タスクが除去されました。おそらく CEMT TASK PURGE コマンドのようなオペレーターの処置が原因です。また、CICS が除去要求を出したためにタスクが除去された可能性もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用し

て、タスクが除去された原因を突き止めてください。
特に、オペレーターが除去を開始した場合、このタスクを明示的に除去する必要がある理由を突き止めるのに、トランザクション・ダンプが役立ちます。

モジュール:

DFHXCP、DFHXMAT、DFHXMCL、DFHXMIQ、
DFHXMMA

AKC6

説明: DFHKC RESUME の前には、必ず DFHKC SUSPEND を出す必要があります。このプロトコルが侵害された場合には、このトランザクションは異常終了コード AKC6 で異常終了します。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード AKC6 で異常終了しました。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHXCP

AKC8

説明: タスク除去要求の処理時に、カーネル (KE) ドメインに対する呼び出しから誤った応答を受け取りました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了して、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。

モジュール: DFHXCP

AKC9

説明: DFHKC TYPE=ENQ 要求または DFHKC TYPE=DEQ 要求の処理中に、エンキュー (NQ) ドメインに対する呼び出しから正しくない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。DFHKC サービスは内部のエンキューにのみ使用されるため、この異常終了は CICS のエラーを示しています。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXCP

AKCB

説明: 必要なステップに失敗したために、CICS トランザクション・マネージャー再始動タスクを完了させることができません。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体がコード AKCB で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、そのトランザクション・マネージャー再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き出します。

CICS は、3 つのメッセージをコンソールに送ります。1 つはトランザクション・マネージャー再始動タスクによって検出されたエラーを識別し、1 つはそのタスクが失敗したことを示し、もう 1 つは CICS を取り消すかその処理を続行させるかのオプションを示すものです。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHKCRP

AKCC

説明: トランザクションの TRANCLASS が除去しきい値に達したため、CICS トランザクション・マネージャーがトランザクションを異常終了させました。これは、CEDA DEFINE TRANCLASS に、PURGETHRESH パラメーターで指定されています。このパラメーターについての詳細は、「リソースの定義」を参照してください。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、メッセージ DFHAC2004 および DFHAC2036 が出されます。この異常終了コードが出された場合は、トランザクション・ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: トランザクションを再度サブミットしてください。異常終了の原因は、システム内の一時的なストレス条件である可能性があります。

問題が解決しない場合は、TRANCLASS が除去しきい値に達した理由を突き止めます。PURGETHRESH が正しく指定されているか確認してください。また、TRANCLASS の MAXACTIVE 値の設定が低すぎないかどうか確認してください。MAXACTIVE 限界に達した後に生成されたトランザクションは、すぐに PURGETHRESH 限界の待機対象となります。

PURGETHRESH および MAXACTIVE が正しく設定されている場合は、TRANCLASS でトランザクションを実行するためのシステムの容量が減少する原因となった、より一般的な問題を探してください。例えば、

AKCE • AKCS

TRANCLASS でのトランザクションの要求を処理する接続済み CICS 領域の処理速度が遅くなった場合、容量の減少はこの接続済み領域が原因で起きた可能性があります。

除去しきい値に達している TRANCLASS 内のトランザクションにより使用されたすべての資源 (ファイル、リンク、ストレージなど) を調べ、システムの容量が減少した理由を判別してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMCL

AKCE

説明: CICS トランザクション・マネージャーがトランザクションまたはプロファイル定義に対する変更を記録しているときに、システム・ログへの書き出しに失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログへの書き出しに失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHKCQ

AKCF

説明: CICS トランザクション・マネージャーがプロファイル定義に対する変更を記録しているときに、カタログへの書き出しに失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、カタログへの書き出しに失敗した理由を突き止めてください。

モジュール: DFHKCQ

AKCR

説明: トランザクション・マネージャーが無効な要求コードを受け取りました。プログラム・マネージャー (PCP) の ABEND TRACE 項目 (TRACE ID 「F2」、要求コード X'6000') の前の最後の AP F000 トレース項目には、そのトレースの最初のセクションの 5 番目のバイトに、無効なトランザクション・マネージャー要求コードが入っています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 無効な要求コードの原因を突き止めて、問題を訂正してください。

モジュール: DFHXCP

AKCS

説明: デッドロック・タイムアウト条件が検出されました。この条件は、そのインストール済みトランザクション定義に DTIMOUT がゼロ以外となるように指定されたトランザクションの中で起こることがあります。デッドロック・タイムアウトは、DTIMOUT に指定された時間よりも長くトランザクションが待機した場合または延期された場合に発生します。

異常終了は、次のような各種の内部 CICS イベントによってもたらされると考えられます。

- ストレージ不足状態
- 一時ストレージの不足
- ENQUEUE
- ALLOCATE 要求
- RETRIEVE WAIT 要求

その異常終了は、CICS がしばらく実行を停止した場合にも起こります。例えば、システム・ダンプが取られている場合です。これは、デッドロック・タイムアウトが、CICS が実行されている時間だけではなく、全体の経過時間に基づいているためです。

分析: AKCS 異常終了を受け取っているトランザクションは、何らかの理由で延期されているか、待機しているはずです。その理由としては、ストレージの不足、ロックに関するエンキュー、一時ストレージの不足、RETRIEVE WAIT の後の延期、ALLOCATE の後の延期、あるいは機能シップまたは端末共用サポート内の暗黙の ALLOCATE が考えられます。上記の理由のいずれも当てはまらない場合には、しばらく CICS が実行を停止する原因となったイベントは、トレースによって明らかになる場合があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプ・コード AKCS のダンプ・テーブル・エントリー項目がダンプを取ることを指示していない限り、ダンプは提供されません。

ユーザーの処置: そのトランザクションを実行し直す必要があります。SUSPEND の原因となっている状況は、このトランザクション自体で十分に解消することができません。

AKCS 異常終了は、DTIMOUT がゼロに設定されていなければ、場合によっては予期されるものです。特別な処置は必要ありません。

モジュール: DFHXCP

AKCT

説明: 端末読み取りタイムアウト条件が検出されました。 トランザクションが端末入力メッセージを待機していた時間が、そのトランザクションの RTIMOUT 値に指定された間隔を超えました。

このタスクに対して EXEC CICS HANDLE ABEND が出されている場合には、タイムアウトとなった読み取りは未解決です。 この読み取りを取り消す必要があった場合には、CICS が端末の TCTTE を終結処理できるようにユーザー出口ルーチンの終わりで EXEC CICS ABEND を出さなければなりません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。 トランザクション・ダンプは生成されません。

ユーザーの処置: この異常終了は通常のもので、その端末が指定した時間内に入力を送らない場合には、PROFILE 項目内で RTIMOUT をコーディングして、タスクを異常終了してください。

モジュール: DFHXCP

AKCV

説明: ICP により延期されたタスクを再開した結果、間違った戻りコードが渡されました。

システムの処置: このトランザクションは終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース内の再開からの応答を調べて、エラーの原因を突き止めてください。

モジュール: DFHALP

AKEA

説明: プログラム・チェックがカーネル (KE) ドメインによって検出されました。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、ASRA 異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこでプログラム・チェックが起こったのかを判別してください。

モジュール: DFHKESTX

AKEB

説明: オペレーティング・システム異常終了が、カーネル (KE) ドメインによって検出されました。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、ASRB 異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: コンソールを調べて、この異常終了を起こした可能性のある MVS メッセージがあるかどうかを確認してください。

システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこで異常終了が起こったのかを判別してください。

モジュール: DFHKESTX

AKEC

説明: カーネル (KE) ドメインがランナウェイを検出しました。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、AICA 異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこでランナウェイが起こったのかを判別してください。

モジュール: DFHKESTX, DFHKERRU

AKED

説明: 据え置き異常終了要求の結果、カーネル (KE) ドメインは異常終了処理を開始するよう要求されました。

システムの処置: 据え置き異常終了要求の対象であるタスクの異常終了処理が開始されます。

ユーザーの処置: タスクは AKED では異常終了せず、据え置き異常終了の要求者が指定した異常終了コードで異常終了します。詳細については、この異常終了の説明を参照してください。

モジュール: DFHKEEDA

AKEF

説明: ドメイン呼び出しを処理しているときに、カーネル (KE) ドメインがエラーを検出しました。そのエラーは、初期設定時にまだ活動状態になっていなかったドメイン・ゲートによって引き起こされた可能性があります。

システムの処置: アプリケーションに制御権がある場合には、そのトランザクションは異常終了し、システム・ダンプが作成されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: カーネル・ドメインからの関連メッセージを参照してください。

システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、エラーが起きた場所を判別してください。まだ活動状態になっていないドメイン・ゲートに対して呼び出しが行われていないかどうかを調べてください。呼び出し側が KERNERROR(YES) を指定していないかどうかを確認してください。

CICS システムの初期設定中に異常終了が発生した場合は、ローカル・カタログ (DFHLCDD) の初期設定に使用されたユーティリティ (DFHCCUTL) が正しいレベルであることを確認してください。SDFHINST (DFHDEFDS) にサンプル・ジョブが提供されています。

モジュール: DFHKERKE

AKEG

説明: カーネル (KE) ドメインがカーネル・スタック・ストレージに対して SM GETMAIN を出しましたが、GETMAIN 要求が失敗しました。

システムの処置: アプリケーションに制御権がある場合には、そのトランザクションは異常終了し、システム・ダンプが作成されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、十分なストレージを使用できない理由を判別してください。

ストレージ不足条件が続く場合には、CICS DSA のサイズ限界を大きくしてください。DSA は、CEMT 発信端末コマンドに DSALIM パラメーターを使用して、動的に変更することができます。

モジュール: DFHKESGM

AKEH

説明: CICS の制御外で実行されていたトランザクションが除去されました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。

EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: トランザクションが除去された理由を調べてください。

次の理由が考えられます。

- オペレーターがトランザクションを除去した。
- DTIMEOUT を超過したためにトランザクションが除去された。
- トランザクションが別のトランザクションによって除去された。

モジュール: DFHKESTX

AKEI

説明: トランザクションが CICS の制御外で実行されているときに、カーネル (KE) ドメインがランナウェイを検出しました。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、AICA 異常終了がアプリケーションに対して示されます。持っていない場合は、ランナウェイ検出時に最後に制御権を持っていた CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: ループの取り扱いについては、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHKESTX

AKEJ

説明: バックレベル XPI 呼び出しがカーネル (KE) ドメインによって検出されました。

システムの処置: バックレベル XPI 呼び出しを行ったグローバル・ユーザー出口またはタスク関連ユーザー出口を特定する追加のエラー・メッセージが CICS によって作成されます。AP ドメインのグローバル・ユーザー出口またはタスク関連ユーザー出口がバックレベル XPI

呼び出しを行った場合は、ASRJ 異常終了がアプリケーションに提示されます。

ユーザーの処置: 追加のエラー・メッセージで特定された出口プログラムを、最新の CICS ライブラリーを使用して再アセンブルしてください

モジュール: DFHKESTX

AKER

説明: タスクが JVM サーバーから QR TCB にリカバリーし、その後に JVM サーバーに対する KILL が続きます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHAPLJP

AKEX

説明: EXEC CICS コマンドが使用可能ではない TCB の下で実行中に、プログラム・チェックがカーネル (KE) ドメインによって検出されました。これは恐らく、CICS コマンドの実行が不可能な環境でその実行を試みたためです。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、ASRA 異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復ルーチンに制御権が与えられます。この回復ルーチンは適切な診断を下し、CICS を終了させます。

ユーザーの処置: システム・ダンプのカーネル・ドメイン・セクションを見て、どこでプログラム・チェックが起こったのかを判別してください。

モジュール: DFHKESTX

AKEZ

説明: 使用可能なカーネル・タスクが不足しているため、ユーザー接続が失敗しました。これは、内部論理エラーを示しています。

システムの処置: メッセージ DFHKE0001 が出され、システム・ダンプがとられます。ユーザー・トランザクションの接続は失敗します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHKETA

AKKA

説明: トランザクションが除去または強制除去から保護されていないときに、強制終了要求が実行されました。トランザクションがディスパッチャーで中断されているか、据え置き異常終了プロセッサが制御権を持っているか、アプリケーションが CICS を呼び出しているか、CICS がアプリケーションに戻っているか、あるいはアプリケーションが CICS の制御外にあります。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復モジュールに制御権が与えられます。この回復ルーチンは診断を下し、CICS を終了させる場合があります。この異常終了コードをアプリケーションで処理することはできません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール:

DFHDSSR, DFHKEEDA, DFHEIP, DFHKEDS

AKKB

説明: トランザクションが強制除去からは保護されていないが除去からは保護されているときに、強制終了要求が実行されました。トランザクションがディスパッチャーで中断されているか、据え置き異常終了プロセッサが制御権を持っているか、アプリケーションが CICS を呼び出しているか、CICS がアプリケーションに戻っているか、あるいはアプリケーションが CICS の制御外にあります。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復モジュールに制御権が与えられます。この回復ルーチンは診断を下し、CICS を終了させる場合があります。この異常終了コードをアプリケーションで処理することはできません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール:

DFHDSSR, DFHKEEDA, DFHEIP, DFHKEDS

AKKC

説明: トランザクションが強制除去から保護されているときに、強制終了要求が実行されました。トランザクションがディスパッチャーで中断されているか、据え置き

AKKD • ALGA

異常終了プロセッサが制御権を持っているか、アプリケーションが CICS を呼び出しているか、CICS がアプリケーションに戻っているか、あるいはアプリケーションが CICS の制御外にあります。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復モジュールに制御権が与えられます。この回復ルーチンは診断を下し、CICS を終了させる場合があります。この異常終了コードをアプリケーションで処理することはできません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHDSSR, DFHKEEDA, DFHEIP, DFHKEDS

AKKD

説明: CEKL 除去が要求されました。据え置き異常終了要求の対象であるタスクの異常終了処理が開始されました。

システムの処置: タスクが異常コード AKKD で異常終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHKEEDA

AKKE

説明: CEKL 強制除去が要求されました。据え置き異常終了要求の対象であるタスクの異常終了処理が開始されました。

システムの処置: タスクが異常コード AKKE で異常終了します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHKEEDA

AKKG

説明: カーネル (KE) ドメインが、ランナウェイ出口プログラムからの強制終了要求を検出しました。強制終了

要求が実行されたときに、タスクがランナウェイから保護されていませんでした。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復モジュールに制御権が与えられます。この回復ルーチンは診断を下し、CICS を終了させる場合があります。この異常終了コードをアプリケーションで処理することはできません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHKESTX, DFHKERRU, DFHKEKIL

AKKH

説明: カーネル (KE) ドメインが、ランナウェイ出口プログラムからの強制終了要求を検出しました。この要求が実行されたときに、タスクはランナウェイから保護されていませんでした。

システムの処置: アプリケーションが制御権を持っている場合には、異常終了がアプリケーションに対して示されます。制御権を持っていない場合は、そのとき制御権を持っている CICS モジュールの機能回復モジュールに制御権が与えられます。この回復ルーチンは診断を下し、CICS を終了させる場合があります。この異常終了コードをアプリケーションで処理することはできません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに知らせて、タスクが除去された理由を判別してください。

モジュール: DFHKESTX, DFHKERRU, DFHKEKIL

AKSE

説明: ユーザーがキーワード・テーブルへの追加を生成しましたが、このキーワードを処理するコードが追加されていません。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: キーワードを処理するコードを追加してください。

モジュール: DFH99KC

ALxx 異常終了コード

ALGA

説明: ログ・マネージャー・ドメイン内でロックを獲得中に、エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に

制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGGL, DFHLGJN, DFHLGLD, DFHLGST

ALGB

説明: ログ・マネージャー・ドメイン内でロックを解除中にエラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGGL, DFHLGJN, DFHLGLD, DFHLGST

ALGC

説明: ログ・マネージャーが使用するビルディング・ブロック・コードを処理する際に DISASTER 応答が検出されました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGGL, DFHLGJN, DFHLGLD, DFHLGST

ALGD

説明: ログ・マネージャーが使用するビルディング・ブロック・ストレージ・インターフェース・コードを処理する際に DISASTER 応答が検出されました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGCM, DFHLGGL, DFHLGJN, DFHLGLD, DFHLGST

ALGE

説明: ログ・マネージャーがジャーナル・モデル定義を検索しようとしたときに予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGJN

ALGF

説明: ログ・マネージャーがエンキュー操作またはデキュー操作を実行しようとしたときに、予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHLG0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHLG0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHLG0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHLGGL, DFHLGJN, DFHLGST

ALGG

説明: トランザクション CSQC が端末から発行されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 端末から CSQC を呼び出さないでください。

モジュール: DFHLGQC

ALIC

説明: CICS が、アプリケーション・プログラムの初期設定フェーズで、31 ビット行より上に言語環境用のランタイム実行ストレージを得るために GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了しま

ALID • ALIJ

す。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALID

説明: CICS が、アプリケーション・プログラムの初期設定フェーズで、31 ビット行より下に言語環境用のランタイム実行ストレージを得るために GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALIF

説明: CICS が、アプリケーション・プログラムの初期設定フェーズで、言語環境用のスレッド・ストレージを得るために GETMAIN 要求を出しました。しかし、使用可能になっているストレージがこの要求を満たすのに不十分です。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 最初のエラーが検出されたストレージ・マネージャーのドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALIG

説明: CICS は、実行されようとしているユーザー・アプリケーション・プログラムの言語を判別することができませんでした。CICS がサポートしなくなった古いレベルのコンパイラを使用してプログラムがコンパイルされたか、プログラムの言語が CICS でサポートされていないかのどちらかです。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 実行されるプログラムが、CICS がサポートしている言語で書かれているか、また、CICS がサポートしているレベルのコンパイラを使用してコンパイルされているかを確認してください。現在サポートされている言語およびコンパイラについての詳細

は、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALIH

説明: CICS がプログラムの言語を VS COBOL II と判別しましたが、言語環境からそのプログラムを実行できないことが通知されました。通常、言語環境は VS COBOL II プログラムを互換モードで実行できます。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 実行されるプログラムが、CICS および言語環境がサポートする言語で作成され、かつ言語環境がサポートするレベルのコンパイラでコンパイルされることを確認してください。現在サポートされている言語とコンパイラ、およびユーザーが実行する必要があるアクション (再コンパイルや再リンクなど) の詳細については、「言語環境マイグレーション・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALII

説明: CICS がプログラムの言語を OS/PLI と判別しましたが、言語環境からそのプログラムを実行できないことが通知されました。通常、言語環境は OS/PLI プログラムを互換モードで実行できます。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 実行されるプログラムが、CICS および言語環境がサポートする言語で作成され、かつ言語環境がサポートするレベルのコンパイラでコンパイルされることを確認してください。現在サポートされている言語とコンパイラ、およびユーザーが実行する必要があるアクション (再コンパイルや再リンクなど) の詳細については、「言語環境マイグレーション・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALIJ

説明: CICS が、XPLINK オプションを使用してコンパイルされた C または C++ プログラムが実行されることを判別しましたが、このプログラムは CONCURRENCY(QUASIRENT) 属性で定義されていません。XPLINK プログラムはオープン TCB 上で実行され、準再入可能性には依存できません。このプログラムは、スレッド・セーフ標準に適合するようにコード化し、CONCURRENCY(REQUIRED) を指定して CICS

に定義する必要があります。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: プログラムがスレッド・セーフ標準に適合するようにコード化され、かつ

CONCURRENCY(REQUIRED) として定義されていることを確認する、または XPLINK オプションを使用せずにプログラムを再コンパイルしてください。

プログラムをスレッド・セーフとして定義するには、プログラムの自動インストールを通じて標準の CICS または CPSM リソース定義機能を使用するか、または言語環境のランタイム・オプションを使用します。ランタイム・オプションは、プログラムのソースで `#pragma runopts(ENVAR(CICSVAR=REQUIRED))` ステートメントを使用して指定できます。あるいは、CEEUOPT CSECT で `ENVAR=('CICSVAR=REQUIRED')` を指定し、それをプログラムにリンク・エディットすることもできます。

モジュール: DFHAPLI

ALIK

説明: CICS が OS/VS COBOL プログラムが実行されることを判別しましたが、CICS は現在このプログラムをサポートしていません。

システムの処置: CICS はタスクを異常終了し、プログラムを使用不能にします。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS がサポートしているレベルのコンパイラーでプログラムが再コンパイルされるようにしてください。現在サポートされている言語およびコンパイラーについての詳細は、「CICS アプリケーションの開発」を参照してください。

モジュール: DFHAPLI

ALIL

説明: CICS が JAVA、XPLINK、または OPENAPI プログラムを実行する場所をオープン TCB に変更しようとしたが、変更モードが失敗しました。CICS がストレージ不足で、新しい TCB を作成できるだけのストレージがない可能性があります。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS から出された他のメッセージを確認して、CICS がストレージ不足かどうかを判別してください。並行トランザクションのストレージ要件を削減するために、最大タスク数 (MXT) を減らすことを検討してください。

モジュール: DFHAPLI、DFHAPLJ、DFHAPLX

ALX1

説明: CICS が言語環境の事前初期設定サービス・システム (CEEPIPI) に `initialize` 要求を出しました。しかし、CEEPIPI はエラー状態を返しました。このエラーは、言語環境の内部障害であることを強く示しています。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: フル・トレース項目は、言語環境からの戻りコードを示します。戻りコードの説明については、「言語環境プログラミング・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

ALX2

説明: CICS が言語環境の事前初期設定サービス・システム (CEEPIPI) に `add_entry` 要求を出しました。しかし、CEEPIPI はエラー状態を返しました。このエラーは、言語環境の内部障害であることを強く示しています。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: フル・トレース項目は、言語環境からの戻りコードを示します。戻りコードの説明については、「言語環境プログラミング・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

ALX3

説明: CICS が言語環境の事前初期設定サービス・システム (CEEPIPI) に `call_main` 要求を出しました。しかし、CEEPIPI はエラー状態を返しました。このエラーは、言語環境の内部障害であることを強く示しています。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: フル・トレース項目は、言語環境からの戻りコードを示します。戻りコードの説明については、「言語環境プログラミング・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

ALX4

説明: CICS が言語環境の事前初期設定サービス・システム (CEEPIPI) に `remove_entry` 要求を出しました。しかし、CEEPIPI はエラー状態を返しました。このエラーは、言語環境の内部障害であることを強く示しています。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: フル・トレース項目は、言語環境からの戻りコードを示します。戻りコードの説明については、「言語環境プログラミング・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

ALX5

説明: CICS が言語環境の事前初期設定サービス・システム (CEEPIPI) に `terminate` 要求を出しました。しかし、CEEPIPI はエラー状態を返しました。このエラーは、言語環境の内部障害であることを強く示しています。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: フル・トレース項目は、言語環境からの戻りコードを示します。戻りコードの説明については、「言語環境プログラミング・ガイド」を参照してください。

モジュール: DFHAPLX

AMxx 異常終了コード

AMGB

説明: タスクがストレージ不足のために除去されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: しばらくしてからそのトランザクションを再試行してください。ストレージ不足が解消されない場合は、動的ストレージ域のサイズを増やしてください。

モジュール: DFHMGP

AMI1

説明: ミラー・タスクを再開したときに、タイムアウトや取り消し以外の正常でない応答がディスパッチャーから返されました。

システムの処置: ミラー・トランザクションが異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプとトレースを使用してエラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHMIRS

AMNA

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、例外応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。ユーザー・パラメーター内の 4 バイト DATA1 フィールドに無効なアドレスが入っているときに、例外応答が作成されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、モニター (MN) ドメインに渡された DATA1 値が無効であった理由を判別してください。

モジュール: DFHCMP

AMNB

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、例外応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。ユーザー・パラメーター内の 4 バイト DATA2 フィールドに無効なデータが入っているときに、例外応答が作成されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、モニター (MN) ドメインに渡された DATA2 値が無効であった理由を判別してください。

モジュール: DFHCMP

AMNZ

説明: ユーザー・イベント・モニター点 (EMP) 要求を処理しているときに、予期しないエラー応答がモニター (MN) ドメインから受け取られました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS コードにエラーの可能性を示しています。モニター・ドメインから以前に CICS メッセージが出されています。そのメッセージの処置に従ってください。

モジュール: DFHCMP

AMPB

説明: タスクがポリシーしきい値を超過しました。定義されているアクションはタスクの異常終了です。

システムの処置: この異常終了の前にメッセージ DFHMP3002 が出されます。

ユーザーの処置: DFHMP3002 メッセージで診断を行って、異常終了の原因を判別してください。

モジュール: DFHMPXM

AMPC

説明: 据え置き規則評価タスク CMPE で予期しないエラーが発生しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。CMPE タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: 障害の原因を判別するには、CICS トレースおよびメッセージ・ログを調べてください。

モジュール: DFHMPDE

AMPD

説明: CICS 据え置き規則評価タスク CMPE の接続が試行されましたが、CICS でトランザクションが内部的に接続されませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。この CMPE タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS 提供の据え置き規則評価タスクがユーザー・トランザクションとして実行されようとした理由を調べてください。

モジュール: DFHMPDE

AMQA

説明: DFHMQCON は、DFHMQTRU によって必要とされるより小さいグローバル作業域で、DFHMQTRU を使用可能にしました。これは、DFHMQCON と DFHMQTRU 間のバージョン・レベルの不一致のためである可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHMQCON と DFHMQTRU のバージョンが一致していることを確認します。問題を解決できない場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHMQTRU

AMQB

説明: DFHMQCON は、DFHMQTRU によって必要とされるより小さいタスク・ローカル作業域で、DFHMQTRU を使用可能にしました。これは、DFHMQCON と DFHMQTRU 間のバージョン・レベルの不一致のためである可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHMQCON と DFHMQTRU のバージョンが一致していることを確認します。問題を解決できない場合は、IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHMQTRU

AMQC

説明: WebSphere MQ API 呼び出しを認識できません。サポートされているすべての API 呼び出しは、「アプリケーションの開発に関する参照情報」マニュアルに文書化されています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: サポートされる WebSphere MQ API の詳細については、「アプリケーションの開発に関する参照情報」を参照してください。

モジュール: DFHMQTRU

AMQD

説明: RMI API 呼び出しを認識できません。認識できない要求タイプを指定して、CICS-MQ タスク関連ユーザー出口 (TRUE) が呼び出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMQTRU

AMQE

説明: データ変換サービス・モジュール CSQAVICM を EXEC CICS LOAD しようとして、失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: WebSphere MQ SCSQAUTH ライブラリーが CICS DFHRPL 連結に指定されていること、および CSQAVICM が CICS にプログラムとして定義されていることを確認してください。CSQAVICM の定義は DFHMQ CSD グループで提供されています。

AMQF • AMQN

モジュール: DFHMQCON

AMQF

説明: 内部論理エラーが、CICS ブリッジ・モニターで検出されました。

システムの処置: メッセージ DFHMQ0750 が CICS CSMT 一時データ・キューに書き込まれ、CICS ブリッジ・モニター・タスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHMQ0750 の説明を参照してください。

モジュール: DFHMQBR0

AMQG

説明: CICS DPL ブリッジ・プログラムは、この作業単位への要求メッセージでエラーを検出しました。

システムの処置: この作業単位に関連するすべての要求メッセージが送達不能キューにコピーされ、MQFB_CICS_* という理由コードが返されます。対応するエラー・メッセージは CICS CSMT 一時データ・キューに書き込まれます。要求があった場合は、MQCRC_BRIDGE_ERROR という応答が応答先キューに送信されます。CICS ブリッジ・タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しくは、一緒に出されるメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHMQBP0

AMQH

説明: CICS ブリッジ・モニターまたは DPL ブリッジ・プログラムが、EXEC CICS API 呼び出しからの予期しない戻りコードのために、異常終了しました。

システムの処置: メッセージ DFHMQ0704 が CICS CSMT 一時データ・キューに書き込まれ、CICS ブリッジ・モニターまたは DPL ブリッジ・プログラムが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHMQ0704 の説明を参照してください。

モジュール: DFHMQBR2

AMQI

説明: CICS ブリッジ・モニターまたは DPL ブリッジ・プログラムが、WebSphere MQ API 呼び出しからの予期しない戻りコードのために、異常終了しました。

システムの処置: メッセージ DFHMQ0710 が CICS CSMT 一時データ・キューに書き込まれ、CICS ブリッ

ジ・モニターまたは DPL ブリッジ・プログラムが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHMQ0710 の説明を参照してください。

モジュール: DFHMQBP2

AMQJ

説明: 作業単位の任意のメッセージを処理する前に、CICS DPL ブリッジ・プログラムが異常終了しました。

システムの処置: この作業単位に関連するすべての要求メッセージが、CICS ブリッジ・モニターの処理対象として CICS ブリッジ・キューに残されます。

ユーザーの処置: 詳しくは、一緒に出されるメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHMQBP2

AMQK

説明: エラーの処理中に、CICS DPL ブリッジ・プログラムが異常終了しました。

システムの処置: CICS DPL ブリッジでのエラー処理中に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、一緒に出されるメッセージの説明を参照してください。問題が再発する場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMQBP2

AMQM

説明: DFHMQBP0 が Link3270 ブリッジ要求を処理しようとしたが、詳細不明のエラーを受け取りました。この異常終了コードは、メッセージ DFHMQ0778 内だけで出されます。

システムの処置: 入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされます。

ユーザーの処置: 発生したエラーのタイプの詳細については、DFHMQ0778 メッセージの直前にある CICS ログを調べてください。問題が再発する場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMQBP0

AMQN

説明: Link3270 ブリッジは 1 つ以上のブリッジ・ベクトルを返しました。DFHMQBP0 はブリッジ・ベクトル長のいずれかが無効であることを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。入力メッセージは、バックアウト・リキュー・キューまたは送達不能キューにバックアウトされます。

ユーザーの処置: トランザクション HANDLE ABEND ルーチンが 3270 ブリッジ異常終了からリカバリーし、異常終了を抑止したかどうかを確認してください。この状況に当てはまる場合は、異常終了を再び出して 3270 ブリッジの異常終了を継続するように HANDLE ABEND ルーチンをコード化する必要があります。問題が再発する場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMQBPO

AMQO

説明: CKTI ではないトランザクション ID を使用して DFHMQTSK を呼び出す試みが行われました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: プログラム DFHMQTSK をユーザー・トランザクションとして呼び出そうとしないでください。

モジュール: DFHMQTSK

AMSA

説明: 3270 から受け取られた入力データ・ストリームは、バッファ・アドレス設定 (SBA) オーダーで始まっていますが、その後に 2 つの 1 バイト・アドレス・フィールドが続いていません。この問題はハードウェア・エラーが原因と思われます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 入力するデータの前にスペースを 2 つ入力することで、問題を回避できる場合があります。

問題が解決しない場合は、サポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHMSP

AMSB

説明: 内部論理エラーがモジュール DFHMSP で検出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異なる配列のオペランドを指定して、CMSG トランザクションを再試行します。これが失敗

した場合には、ダンプを保存して、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHMSP

AMSC

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHMSP

AMSD

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連するエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHMSP

ANxx 異常終了コード

ANJ1

説明: CICS 内部タスク CNJL をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CNJL をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHSJNS

ANJ2

説明: CNJL トランザクションで予期しないエラーが検出されました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CNJL タスクが失敗した理由を調べてください。

モジュール: DFHSJNS

ANJ3

説明: Node.js ワーカー・タスク CNJW をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CNJW をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHSJNW

ANJ4

説明: CICS へのローカル Node.js 呼び出しの処理中に予期しないエラーが検出されました

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: タスクが失敗した理由を調べてください。

モジュール: DFHSJNW

ANQA

説明: エンキュー・ドメイン内でロックを取得する際にエラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリ

ー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHNQ0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHNQ0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHNQ0002 の説明を参照してください。

モジュール:
DFHNQED、DFHNQIB、DFHNQNNQ、DFHNQST

ANQB

説明: エンキュー・ドメイン内でロックを解除する際にエラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このルーチンはメッセージ DFHNQ0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHNQ0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHNQ0002 の説明を参照してください。

モジュール:
DFHNQED、DFHNQIB、DFHNQNNQ、DFHNQST

ANQC

説明: SYSPLEX エンキューを取得する際にエラーが発生しました。SYSPLEX 資源の同時 ENQ 要求数が限界に達しました。

システムの処置: モジュール DFHNQED がメッセージ DFHNQ0103 を出し、EXEC ENQ 要求を出したタスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHNQ0103 の説明を参照してください。

モジュール: DFHNQED

ANQD

説明: SYSPLEX エンキューを取得する際にエラーが発生しました。予期しない環境がエラーが検出されました。

システムの処置: モジュール DFHNQED がメッセージ DFHNQ0104 を出し、EXEC ENQ 要求を出したタスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHNQ0104 の説明を参照してください。

モジュール: DFHNQED

ANQE

説明: ENQMODEL が使用不可または待ち状態になっているリソースに対して EXEC ENQ が出されました。

システムの処置: モジュール DFHNQRN がメッセージ DFHNQ0105 を出し、EXEC ENQ 要求を出したタスクが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHNQ0105 の説明を参照してください。

モジュール: DFHNQRN

ANQF

説明: EXEC CICS ENQ 要求が、トランザクション初期設定中のかなり早い段階 (リカバリー可能トランザクション環境が確立される前) に出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、3270 ブリッジ出口などの出口が実行されているときにのみ発生します。出口プログラムが高水準言語で作成されている場合は、ENQ が言語環境から出された可能性があります。

モジュール: DFHEKC

ANSA

説明: AP ドメイン内で番号スペース・ロックを取得する際にエラーが発生しました。

AOxx 異常終了コード**AOTA**

説明: OT ドメイン再同期トランザクション CJTR が、誤った方法で (例えばユーザー端末から、あるいは開始要求によって) 開始されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。OT ドメイン再同期トランザクションは、CICS が内部的に開始する必要があります。

モジュール: DFHOTR

AOTB

説明: OT ドメイン再同期トランザクション CJTR が予期しないエラーを検出しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHAP0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHAP0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHAP0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHBRNS

ANSB

説明: AP ドメイン内でロックを解放中に、エラーが発生しました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHAP0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHAP0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHAP0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHBRNS

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHOTR

APxx 異常終了コード

APC0

説明: システム・プログラムのリンクを試行中に、プログラム・マネージャー・ドメインへの呼び出しで重大エラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、エラーが起きた理由を調べます。PGLK ドメイン呼び出しの処理における異常条件については、エラーの前のトレース記録を調べてください。ディレクトリー管理機能、ローダー、もしくはストレージ・マネージャーに問題があると考えられます。プログラム・サイズを調べてください。DSA または EDSA のサイズ限界全体を増やすことが必要な場合があります。

モジュール: DFHEICRE, DFHEIG, DFHEIP, DFHEIQCS, DFHPCP, DFHMCY

APC1

説明: 64 KB を超える TGT に対する要求が検出されました。

システムの処置: CICS はトランザクションを異常終了し、インストール済みプログラム定義の使用を禁止します。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを変更して、作業用ストレージ要件を減らしてください。プログラムが訂正されたら、そのプログラムに対して CEMT NEWCOPY および ENABLE を実行してください。

モジュール: DFHAPLI

APC2

説明: アクティブ・ハンドル・ラベルの異常終了による異常終了状態の後で、言語環境ユーザー・プログラムが無効なブランチを試みました。通常はブロック外 GOTO が発生するはずです。これは、プログラムが例えば非活動ブロックに対してブランチを試みていることを意味しています。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: ダンプとトレースを使用してエラーの原因を判別し、エラーになっている GOTO を修正してください。

モジュール: DFHAPLI

APC3

説明: プログラムを実行しようとしたましたが失敗しました。CICS はプログラムを「言語環境対応」と判別しましたが、システムに言語環境サポートが存在しません。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: CICS の初期設定中に出されたメッセージを参照して、言語環境がシステムに存在しない理由を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

APCF

説明: CICS タスクが PL/I と定義されたプログラムを呼び出しましたが、そのプログラムがサポートされている PL/I コンパイラーでコンパイルされていないか、または PL/I 言語で作成されていない可能性があります。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了させ、プログラムを使用不能にします。

ユーザーの処置: プログラムが PL/I であることを確認します。PL/I である場合は、言語環境準拠のコンパイラー (Enterprise PL/I for z/OS など) でプログラムを再コンパイルしてください (ソース・プログラムの変更が必要となる場合があります)。そのプログラムが PL/I でない場合には、プログラムを正しく再定義します。

モジュール: DFHAPLI

APCG

説明: そのトランザクションは、使用可能なプログラムのコピーを行うためのローダーに対する要求の一部として、マスター端末処置によって除去されたか、またはデッドロック・タイムアウト処置が原因で除去されました。デッドロック・タイムアウトは、DSA または EDSA 中の使用可能なスペースを超えるサイズのプログラムによって引き起こされる場合もあります。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、そのトランザクションが除去された理由を調べてください。これは、ローダー資源またはプログラム・ストレージを待っていることが原因である可能性があります。プログラム・サイズを調べてください。DSA または EDSA のサイズ限界全体を増やすことが必要な場合があります。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHACP, DFHCRNP, DFHCRSP, DFHDBCT, DFHDBDSC, DFHEDFP, DFHEIG, DFHEIP, DFHEICRE, DFHEIQCS, DFHEIPSH, DFHEIQIR, DFHEIQSJ, DFHFCRP, DFHFEP, DFHICP, DFHKCQ, DFHMCP, DFHMCPE, DFHMCY, DFHMSP, DFHPCPG, DFHPPH, DFHPSIP, DFHPUP, DFHRDCAL, DFHRTC, DFHSII1, DFHSIJ1, DFHSPP, DFHSTP, DFHTACP, DFHTBSGB, DFHTCRP, DFHTDX, DFHTFP, DFHTSPA, DFHTSRP, DFHUSBP, DFHXRCR, DFHXRE, DFHXRSP, DFHZATA, DFHZATD, DFHZCPLN, DFHZGAI, DFHZQ00, DFHZNCA, DFHZOPA, DFHZXCU

APCH

説明: CICS が VS COBOL II と判別したプログラムに対する要求を実行できません。これは、言語環境がこのアドレス・スペースでアクティブでないか、または言語環境が COBOL 言語をサポートしていないことが原因です。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: 正しい言語環境サポートがあることを確認してください。CICS の初期設定中に出されたメッセージを参照して、COBOL がサポートされていない理由を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

APCI

説明: CICS が OS/PLI プログラムと判別したプログラムに対する要求を実行できません。これは、言語環境がこのアドレス・スペースでアクティブでないか、または言語環境が PL/I 言語をサポートしていないことが原因です。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: 正しい言語環境サポートがあることを確認してください。CICS の初期設定中に出されたメッセージを参照して、PL/I がサポートされていない理由を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

APCJ

説明: C/370 プログラムに対する要求を実行できませんでした。これは、言語環境がこのプログラムを C/370 コンパイラーでコンパイルされたプログラムとして認識できなかったか、またはこのプログラムが属性 AMODE(31) でリンク・エディットされていなかったことが原因です。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラムが属性 AMODE(31) でリンク・エディットされることを確認してください。必要であれば、言語環境準拠のコンパイラー (OS/390 C/C++ など) でプログラムを再コンパイルしてください。

モジュール: DFHAPLI

APCK

説明: C プログラムに対する要求が受け入れられませんでした。これは、言語環境がこのアドレス・スペースでアクティブでないか、または言語環境が C 言語をサポートできないことが原因です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、プログラムは使用不可になります。

ユーザーの処置: 正しい言語環境サポートがあることを確認してください。CICS の初期設定中に出されたメッセージを参照して、C がサポートされていない理由を判別してください。

モジュール: DFHAPLI

APCL

説明: CICS が「言語環境対応」と判別したプログラムに対する要求が失敗しました。これは、言語環境がこのプログラムを実行できないことが原因です。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラムが、言語環境準拠のコンパイラーまたは互換モードの言語環境でサポートされているコンパイラーでコンパイルされていることを確認します。準拠しているかどうかを確認するには、「言語環境マイグレーション・ガイド」を参照してください。

コンパイラーがサポートされ、かつ関連する言語マイグレーション・ガイドに特別な処置が示されていない場合は、使用するインストール・システムのプログラミング機能でこの問題を解決してください。

モジュール: DFHAPLI

APCN

説明: 内部 CICS プログラム、マップ・セット、または区分セットがロードされていないか、既に削除されていたため、そのプログラム、マップ・セット、または区分セットの解放が試みられました。これは、おそらく内部 CICS エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。RELEASE が試行されたプログラムの名前は、異常終了ダンプの TCAPCPI で見つけることができます。

ユーザーの処置: これは内部 CICS エラーか、CICS 内部制御ブロックの上書きによるものです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHAMPEN, DFHFEP, DFHMCP, DFHMCPE, DFHMCY, DFHPHP, DFHTBSSP, DFHZCPLN

APCO

説明: トランザクションの初期設定中に、レベル 2 トレース用ストレージの GETMAIN が失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHAPXM

APCS

説明: CICS が言語環境との正常な接続を行ってプログラムのランタイム特性を判別することができなかったため、そのプログラムを実行する試みが失敗しました。この異常終了に対しては、メッセージ DFHAP1200 が出されます。このメッセージには言語環境によって設定された理由コードがあり、エラーの性質を示しています。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: 言語環境の「」マニュアルで理由コードの意味を確認し、エラーを訂正するために必要な処置をとってください。

モジュール: DFHAPLI

APCT

説明: 以下のいずれかが起こりました。

1. 異常終了が起きたときに、EXEC CICS HANDLE ABEND プログラム内のプログラム名が使用できなかった。以下の理由が考えられます。
 - プログラムが再配置可能プログラム・ライブラリー (RPL) がない。
 - プログラムが使用不能である。
 - プログラムをロードできない。
2. プログラムが CICS に定義されているのに、マップ・セットまたは区分セットをロードする試みが失敗した。
 - マップ・セットまたは区分セットが RPL がない。
 - マップ・セットまたは区分セットが使用禁止になっている。
 - マップ・セットまたは区分セットが自動導入できない。
3. 内部 CICS プログラムへのリンク、同プログラムのロード、または解放の試行が失敗した。以下の理由が考えられます。
 - プログラムが RPL がない。
 - プログラムが使用不能である。
 - プログラムをロードできない。

システムの処置: このプログラムを要求しているトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ケース 1 および 2 の場合は、プログラム、マップ・セット、または区分セットを、CEDA を使用して CICS に定義し、これらが使用可能であることを確認してください。

ケース 3 の場合は、CICS が提供するモジュールの定義が間違っています。CICS のスタートアップ時に出された関連メッセージを調べてください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

問題判別: 異常終了の前のトレースによって、ロード、リンク、解放を行うことができなかったプログラム、マップ・セット、または区分セットが分かります。その名前も TCAPCEPI にあります。

モジュール: DFHACP, DFHAMPEN, DFHCRSP, DFHEDFP, DFHEIG, DFHEIP, DFHEICRE, DFHEIPSH, DFHEIQCS, DFHEIQSJ, DFHFEP, DFHICP, DFHMCP, DFHMCPE, DFHMCY, DFHMELDE, DFHPCPG, DFHPPH, DFHPUP, DFHRDCAL, DFHSII1, DFHTBSGB, DFHTFP, DFHTSRP, DFHZCPLN, DFHZQ00, DFHZXCU

APCW

説明: プログラム言語は COBOL と定義されていますが、それがコンパイルされときのコンパイラのレベルを判別できません。おそらく、プログラムは OS/VS COBOL コンパイラでコンパイルされていますが、そのコンパイラに必要なレベルのサポートがシステムに存在しません。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラム・ソースを変換し、言語環境準拠の COBOL コンパイラ (Enterprise COBOL など) でコンパイルする必要があります。

モジュール: DFHAPLI

APCY

説明: MVS/ESA 環境では、CICS マクロ要求は PL/I または COBOL アプリケーションから出されています。代りに、アプリケーション・プログラムが、CICS 高水準言語プログラミング・インターフェースにより使用される EXEC インターフェース・モジュール (DFHECI や DFHELII など) を使用しないでリンク・エディットされている可能性もあります。このモジュールを組み込むために必要なことについては、「構成」を参照してください。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、そのプログラムは使用できなくなります。

ユーザーの処置: そのアプリケーション・プログラムからマクロ要求を除去してください。

モジュール: DFHAPLI

APCZ

説明: RENT 属性または REFR 属性でリンク・エディットされた「旧式」のアプリケーション・プログラム (つまり、プレリリース 1.6 または DFHE プログラム・スタブを使用するプログラム) を実行しようとした。これらのタイプのプログラムは再入可能ではないため、読み取り専用ストレージにロードできません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: RENT および REFR 属性を設定しないでプログラムを再リンクしてください。

モジュール: DFHAPLI

APGA

説明: プログラム・マネージャー・ドメイン内でロックを取得中に、エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLE, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRE, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGUE, DFHPGXE, DFHPGXM

APGB

説明: プログラム・マネージャー・ドメイン内でロックを解放中に、エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHPGAI, DFHPGAQ, DFHPGDD, DFHPGDM, DFHPGEX, DFHPGIS, DFHPGLD, DFHPGLE, DFHPGLK, DFHPGLU, DFHPGPG, DFHPGRE, DFHPGRP, DFHPGST, DFHPGUE, DFHPGXE, DFHPGXM

APGC

説明: トランザクションがコンテナ用に割り当てようとしたストレージの量が多すぎます。トランザクションは、2 GB 境界より上でコンテナを保持するために使用可能なストレージの 5 % を超える量を割り振ってはいけません。

システムの処置: CICS がメッセージ DFHPG0400 を

APGD • APIC

出してタスクを異常終了させます。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: プログラムに誤りがある場合は、割り振るコンテナ・ストレージを減らすようにプログラムを訂正します。プログラムが正しい場合は、MEMLIMIT を増やして、プログラムが使用するストレージが利用可能ストレージの 5% を超えないようにします。

モジュール: DFHPGCR

APGD

説明: アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(64) であることがそのエントリー・ポイントで示されていますが、AMODE(64) CICS スタブ・プログラム DFHEAG がロード・モジュールの先頭に組み込まれていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(64) の場合は、バインダーによって AMODE(64) CICS スタブ DFHEAG がロード・モジュールの先頭に配置されることを確認します。

AMODE(64) プログラムの変換、アセンブル、バインドを行うには、CICS 提供のプロシーチャー DFHEGTAL を使用します。アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(64) でない場合は、プログラムまたはバインダー・ジョブ内の AMODE 64 ステートメントを正しい AMODE に変更してください。

AMODE(24) または AMODE(31) プログラムの変換、アセンブル、バインドを行うには、CICS 提供のプロシーチャー DFHEITAL を使用します。

モジュール: DFHAPLI3

APGE

説明: AMODE(64) CICS スタブ・プログラム DFHEAG がロード・モジュールの先頭に組み込まれていますが、アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(64) でないことがそのエントリー・ポイントで示されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(24) または AMODE(31) である場合は、バインダーによって DFHEAI スタブ・プログラムがロード・モジュールの先頭に配置されることを確認してください。AMODE(24) または AMODE(31) プログラムの変換、アセンブル、バインドを行うには、CICS 提供のプロシーチャー DFHEITAL を使用します。

アセンブラー・アプリケーション・プログラムが AMODE(64) である場合は、プログラムまたはバインダー・ジョブ内の AMODE ステートメントを AMODE 64 に変更してください。AMODE ステートメントがない場合は、AMODE 64 ステートメントをプログラム、バインダー・ジョブ、またはその両方に追加してください。AMODE(64) プログラムの変換、アセンブル、バインドを行うには、CICS 提供のプロシーチャー DFHEGTAL を使用します。

モジュール: DFHAPLI3

APIA

説明: パイプライン・インバウンド HTTP ルーター・プログラムのトランザクション ID (CPIH) が不正に開始されました。端末で ID を入力したことが原因と思われます。このトランザクションは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CPIH は直接開始しないでください。

モジュール: DFHPIDSH

APIB

説明: パイプライン・アウトバウンド・ルーター・プログラムが、パイプライン開始時にパイプライン・マネージャーからエラー応答を受け取りました。

システムの処置: アウトバウンド・ルーター・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、パイプライン・マネージャーが開始に失敗した原因を判別してください。

モジュール: DFHPIRT

APIC

説明: パイプライン HTTP アウトバウンド・ルーター・プログラムが、DFHWS-PIPELINE コンテナからパイプライン名を取得するために EXEC CICS GET CONTAINER 呼び出しを実行しようとしてエラー応答を受け取りました。トレースとメッセージ DFHPI0998 が出され、両方にエラーの内容が示されます。トレース・ポイント ID が '09DD'x の場合は、CONTAINERERR が DFHPIRT に返されています。ポイント ID '09DE'x は、LENGERR が返されたことを示します。

システムの処置: アウトバウンド・ルーター・プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、

パイプラインを正常に開始できなかった原因を判別してください。

モジュール: DFHPIRT

APIG

説明: プロバイダー・モードの Web サービス呼び出しが失敗しました。SOAP 要求メッセージの処理中または SOAP 応答メッセージの生成中に発生した問題が原因と思われます。

システムの処置: CICS がトランザクションを異常終了させ、SOAP 障害メッセージが要求側に送信されます。

ユーザーの処置: CICS トレースを調べて、DFHPITL から出された例外トレースを確認してください。例外トレースから障害の発生源がわかります。障害が発生した WEBSERVICE に対する妥当性検査が無効になっている場合は、妥当性検査を有効にして問題を再現してみてください。これにより、CICS から Java ベースのプログラムが呼び出されて、WEBSERVICE の WSDL に対して SOAP メッセージの妥当性が検査されます。SOAP メッセージの形式が誤っている場合は、問題を詳細に説明するメッセージが出されます。

モジュール: DFHPITP

APIH

説明: パイプライン WebSphere MQ リスナー・プログラムのトランザクション ID (CPIL) が不正に開始されました。端末で ID を入力したことが原因と思われます。このトランザクションは、インバウンド WebSphere MQ メッセージからトリガーする方法で開始する必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CPIL は直接開始しないでください。

モジュール: DFHPILSQ

APII

説明: WebSphere MQ を CICS Web サービス用のトランスポートとして使用しようとしたましたが、CICS の初期設定中に WebSphere MQ スタブ CSQCSTUB をロードできませんでした。WebSphere MQ を CICS Web サービス用のトランスポートとして使用できるようにするには、WebSphere MQ ライブラリー CSQCLOAD を DFHRPL 連結に組み込む必要があります。

システムの処置: WebSphere MQ を CICS Web サービス用のトランスポートとして使用しようとした

が、拒否されました。同様の試みはこれ以降も拒否されます。

メッセージ DFHAP0900 が作成されます。

そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: WebSphere MQ を CICS Web サービス用のトランスポートとして使用できるようにするには、WebSphere MQ ライブラリー CSQCLOAD を DFHRPL 連結に組み込む必要があります。このライブラリーは、CICS で WebSphere MQ をサポートするために必要なその他の WebSphere MQ ライブラリーに追加されるものです。

モジュール: DFHPILSQ

APIJ

説明: トランザクション CPIL が出した WebSphere MQ 関数の呼び出しが失敗し、ゼロ以外の理由コードが設定されました。トランザクション CPIL は、WebSphere MQ から受け取ったメッセージに対して PIPELINE を開始するために使用されます。

システムの処置: WebSphere MQ 理由コードを含んだメッセージ DFHPI0111 が作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 「IBM MQ メッセージ」で WebSphere MQ 理由コードを確認し、トレースを調べて WebSphere MQ 関数の呼び出しが失敗した理由を判別してください。この問題を解決するために IBM のサポートが必要となる場合があります。

モジュール: DFHPILSQ

APIK

説明: CICS 提供の SOAP ハンドラーが別のモジュールから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: CICS はエラー・モードでパイプラインの実行を試みます。ダンプは取られません。

ユーザーの処置: 関連するメッセージについては、CICS のジョブ・ログを調べてください。

モジュール: DFHPISN

APIL

説明: CICS 提供の SOAP ハンドラーが DISASTER 応答で失敗しました。

システムの処置: CICS はエラー・モードでパイプラインの実行を試みます。ダンプが取られます。

APIM • APIT

ユーザーの処置: ダンプを保管して、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHPISN

APIM

説明: パイプライン・インバウンド WebSphere MQ ルーター・プログラムのトランザクション ID (CPIQ) が不正に開始されました。端末でID を入力したことが原因と思われます。このトランザクションは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CPIQ は直接開始しないでください。

モジュール: DFHPIDSQ

APIN

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。パイプライン WSAT 再同期プログラムのトランザクション ID (CPIS) が不正に開始されました。端末でID を入力したことが原因と思われます。このトランザクションは必ず CICS 内部プロセスから開始する必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CPIS は直接開始しないでください。

モジュール: DFHPIR

APIO

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。WSAT 登録サービス・プログラムがエラーを検出し、登録または 2PC プロトコル要求の処理を完了できませんでした。プログラムは異常終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、登録サービス・プログラムが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHPIRS

APIP

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。WSAT 調整コンテキスト・ヘッダー・ハンドラー・プログラムがリカバリー不能エラーを検出し、調整コンテキストを正常に作成または処理できませんでした。プログラムは異常終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、調整サービス・プログラムが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHWSATH

APIQ

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。WSAT アプリケーション・ハンドラー・プログラムがリカバリー不能エラーを検出し、登録メッセージまたはプロトコル・メッセージを作成または処理できませんでした。プログラムは異常終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、登録/プロトコル・サービス・プログラムが失敗した理由を判別してください。

モジュール: DFHWSATX

APIR

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。WS-AT メッセージ内で片方向メッセージを使おうとしたことを、WSAT アプリケーション・ハンドラー・プログラムが検出しました。WS-AT ではこのような組み合わせは許可されません。プログラムは異常終了します。

システムの処置:

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、障害のあるメッセージを判別してください。

モジュール: DFHWSATH

APIS

説明: CICS がトランザクションの初期設定中に GETMAIN 障害を検出しました。

システムの処置: この異常終了の前に、重大なエラー・メッセージが出され、システム・ダンプが作成されているはずです。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHPIXM

APIT

説明: Web Services Atomic Transaction (WS-AT) ハンドラーが問題を検出しました。未解決の作業単位を再同期しようとしたが失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: 作業単位を再同期できない理由を調べてください。

モジュール: DFHPIR

APIU

説明: 255 バイトより長いターゲット URI を解析しようとしたことを、パイプライン WebSphere MQ リスナー・プログラムが検出しました。RFH2 ヘッダーでのターゲット URI の最大長は 255 バイトであるべきです。

システムの処置: プログラムは異常終了します。

ユーザーの処置: トレースと関連メッセージを調べて、障害のあるメッセージを判別してください。

モジュール: DFHPILSQ

APL0

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL1

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL2

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL3

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL4

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL5

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL6

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL7

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

APL8 • APLG

モジュール:

APL8

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APL9

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLA

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLB

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLC

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLD

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLE

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLF

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLG

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLH

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLI

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLJ

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLK

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLL

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLM

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLN

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLO

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLP

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLQ

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

APLR • APLX

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLR

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLS

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLT

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLU

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLV

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLW

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLY

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLZ

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APLX

説明: 中間の 2 文字が 'PL' である異常終了コードが PL/I によって出されます。このコードについての詳細は Enterprise PL/I for z/OS プログラミング・ガイドで説明されています。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

APP1

説明: DFHIC TYPE=GET 応答コードが、通常応答ではありませんでした。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション :i1.DFHP3270 異常終了コードのダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHP3270

APP2

説明: 一時ストレージを介して DFHP3270 へ渡されたデータの長さが 5 以下でした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザーの DFHTEP を調べてください。DFHTEP に障害がない場合は、APAR を提出してください。

この異常終了が起きた場合には、DFHP3270 が一時ストレージから獲得したデータは、間違った長さで一時ストレージに入れられている可能性があります。印刷のためのアプリケーション要求 (例えば、ISSUE PRINT) を使用するか、Print Request (印刷要求) キーを押して、このデータを一時ストレージに入れるようにユーザーが間接的に要求している場合があります。ただし、この要求の場合のデータの長さは CICS が管理する必要があります。通常の場合では、データを一時ストレージに入れるようにユーザーが直接要求できるのは、ユーザーの TEP 内だけです。印刷要求を処理する場合、特に「印刷装置使用不能または使用中」条件を処理する場合には、DFHIC TYPE=PUT のすべての呼び出しをユーザーの側で調べて、長さフィールドが正しく設定されるようにする必要があります。

問題判別: レジスター 6 は、DFHIC TYPE=GET マクロ呼び出しによって、一時ストレージから取り出されたデータを指しています。このデータのレイアウトは、次のとおりです。

- 端末データ域の長さ (2 バイト)
- 書き込み制御標識 (1 バイト)
- 書き込み制御または紙送り制御文字 (1 バイト)
- データ (可変長)

分析: 3270 情報表示システム端末からの印刷要求を処理するために、DFHP3270 が呼び出されました。このプログラムは、DFHIC TYPE=GET 呼び出しによって、印刷するデータを一時ストレージから獲得します。また、このプログラムによって、印刷する何らかのデータがかならずあるようになります。一時ストレージから戻された区域には、上記の 4 バイトに続いて、印刷するデータが入っています。DFHP3270 は、渡されたデータの長さが 5 以下であったことから、印刷するデータがないことを認識しました。

モジュール: DFHP3270

APP3

説明: 次のいずれかが原因で、データ要求が印刷装置以外の装置またはサポートされていない装置タイプに送られました。

- 端末オペレーターがトランザクション・コードとして CSPP を入力した。または
- トランザクションが DFHTEP 要求を出した。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS トランザクション・ダンプは提供されません。

ユーザーの処置:

1. 端末オペレーターがトランザクション・コードとして CSPP を使用しないようにしてください。または、
2. ユーザー DFHTEP プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHP3270

APR1

説明: 印刷キー処理中に、異常な DFHIC TYPE=PUT 応答コードを受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。印刷キーが押された端末のキーボードは、操作が失敗したことを示すために、ロックされたままです。

ユーザーの処置: ダンプを分析してください。応答コードは、レジスター 0 の下位バイトにあります。

モジュール: DFHPRK

APSJ

説明: 異常終了中のトランザクションが、システム・スプーラー初期設定プログラム (DFHPSIP) を違法に (すなわち、CICS モジュール DFHSIJ1 以外のプログラムから) 呼び出しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: DFHPSIP に対する呼び出しまたはリンクをアプリケーション・プログラムから除去してください。アプリケーションに DFHPSIP の呼び出しが見つかからない場合は、この問題を解決するためにサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPSIP

APST

説明: あるタスクが、必須オペランド NOHANDLE のない SPOOL コマンドを出しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: NOHANDLE を指定して、コマンド構文を訂正します。

モジュール: DFHEPS

APSU

説明: CICS SVC から CICS システム・スプーラー (MVS サブタスク) に無効な JES インターフェース戻りコードが渡されました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。同時に発生した JES 障害を確認してください。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPSPST

APSV

説明: VSAM マクロ戻りコード用のストレージ域に無効な値が含まれていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションによって発

行されたスプール・コマンドの構文と入力データを確認してください。同時に発生した JES 障害を確認してください。

モジュール: DFHPSPST

APSW

説明: CICS システム・スプーラー・サブタスク内で異常終了が発生しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: これは、内部 CICS エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPSPST

APSX

説明: 無効なパラメーターの通知に使用される CICS ストレージ域に無効な値が含まれていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションによって発行されたスプール・コマンドの構文と入力データを確認してください。同時に発生した JES 障害を確認してください。

モジュール: DFHPSPST

APSY

説明: MVS マクロ戻りコード用の CICS ストレージ域に無効な値が含まれていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションによって発行されたスプール・コマンドの構文と入力データを確認してください。同時に発生した JES 障害を確認してください。

モジュール: DFHPSPST

APSZ

説明: JES インターフェース戻りコードを格納する CICS 領域に無効な値が含まれていました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 失敗したトランザクションによって発

行されたスプール・コマンドの構文と入力データを確認してください。同時に発生した JES 障害を確認してください。

これは、内部 CICS エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPSPST

APTI

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHPSPST

APTJ

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによ

って作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHPSPST

APUA

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対する呼び出し (PUPF) で GETSTG パラメーターが欠落しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

-

バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUB

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対する呼び出し (PUPU) で GETSTG パラメーターが欠落しています。

システムの処置:

-

CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

-

バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUC

説明: モジュール DFHPUP が呼び出されたときに、内部エラーが検出されました。DFHPUP に対するドメイン呼び出しに対して無効な機能コードが与えられました。

APUD • APUH

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUD

説明: RDO 言語定義テーブル (DFHEITSP) がライブラリー内に見つかりませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

APUE

説明: 使用できるストレージがないために、RDO 言語定義テーブル (DFHEITSP) をロードすることができません。

システムの処置: 処理は異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 割り振るストレージを増やして、失敗したオフラインの COPY または APPEND コマンドを再実行依頼します。

モジュール: DFHPUP (バッチ環境)

APUF

説明: RDO 言語定義テーブルが無効であるか、またはライブラリーから欠落しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

APUG

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。 CSD レコード・バッファのためのストレージを獲得することができませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUH

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。 引数リストのためのストレージを獲得できませんでした。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUI

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。 引数リストのためのストレージを解放することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUJ

説明: モジュール DFHPUP で内部エラーが検出されました。 CSD レコード・バッファのためのストレージを解放することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUK

説明:

- CICS 環境では、CEDA トランザクション内のログに記録された RDO コマンドを収容するためのバッファ用のストレージを獲得することができません。

バッチ環境では、CSD から変換して戻されたリソース定義を収容するためのバッファ用のストレージを獲得することができません。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUL

説明:

注: この異常終了に関する記述は、APUM、APUN、および APUO にも適用されます。

パラメーターとして指定されたリソース定義に認識できないリソース・タイプ・コードが含まれているため、CICS は機能コードに一致するものを言語定義テーブル内で見つけることができません。

出される異常終了コードは、エラーが発生する前に呼び出された DFHPUP 操作によって異なります。

異常終了

DFHPUP 操作

APUL

FLATTEN

APUM

TRANCASE

APUN

COMPARE

APUO

BACKTRANS

異常終了の原因は、次のいずれかです。

1. ライブラリー内の言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、実行している CICS のリリースに対して無効である。または
2. CICS 論理エラーが発生した。

APUM • APUR

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 上記の 2 つの理由のどちらに当てはまるのかによって、次のいずれかの処置をとります。

1. ライブラリーにある DFHEITSP モジュールおよび DFHEITCU モジュールが CICS のこのリリースに対して有効であるかどうかを確認します。
2. この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUM

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHPUP

APUN

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHPUP

APUO

説明: 異常終了 APUL の「説明」を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール: DFHPUP

APUP

説明: RDO の言語定義テーブルの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。構文ツリー用のキーワード・リスト作成中にスタック・エラーが起きました。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUQ

説明: RDO の言語定義テーブルの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。構文展開時に見つかったキーワードが多すぎます。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APUR

説明: 引数リストまたは CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に、内部エラーが起きました。キーワード・フィールドのデータ型が、言語定義テーブルに指定されたデータ型と矛盾しています。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。

モジュール: DFHPUP

APUS

説明: CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に内部エラーが起きました。キーワード・フィールドの整数データの長が無効です。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。
- ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。
- モジュール: DFHPUP

APUT

説明: 引数リストまたは CSD レコード・バッファの DFHPUP 処理時に、内部エラーが起きました。言語定義テーブル DFHEITSP の KEP(1) 値であるキーワード存在ビット番号が無効です。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。
- ユーザーの処置: モジュール DFHEITSP がライブラリーにあり、CICS のこのリリースに対して有効なものであることを確認してください。
- モジュール: DFHPUP

APUZ

説明: CICS が、認識されていないリソース・タイプ・コードを CSD レコード内で検出しました。この認識されていないコードは、言語定義テーブル内のどの機能コードとも一致しません。この異常終了は、次のいずれかの理由で起きると考えられます。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置:

- CICS 環境では、CEDA トランザクションが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。
- バッチ環境では、処理が異常終了し、オペレーティング・システム・ダンプが作成されます。
- ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。
- 次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。
- 1. 実行中の CICS のリリースによってサポートされていない定義タイプを含むグループに関する操作を回避します。
- 2. 実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。
- 3. この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHPUP

APXA

説明: ユーザー・トランザクションのプロファイルが見つかりませんでした。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。ユーザー・トランザクションは開始されません。

ARxx 異常終了コード

ARCB

説明: 初期設定時に CICS が、タスク関連ユーザー出口またはグローバル・ユーザー出口を使用できるようにしようとしたが、出口プログラムが見つからなかったために失敗しました。

CICSは、どのタイプの開始時にも、DFHEDP (EXEC DLI タスク関連ユーザー出口) と DFHLETRU (言語環境タスク関連ユーザー出口) を使用可能にしようとしています。また、緊急再始動時は、TBEXITs システム初期設定パラメーターの最初の 2 つで指定されるトランザクション・バックアウト出口プログラムを使用可能にします。

CICS は、どのタイプの開始時にも、TBEXITs システム初期設定パラメーターの 3 番目、4 番目、5 番目、6 番目で指定されるファイル制御バックアウト・プログラムを使用可能にしようとしています。

システムの処置: CICS は、組み込まれている出口プログラムを示すメッセージをコンソールへ送ります。その後で、CICS 初期設定が異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連メッセージにプログラム DFHEDP が見つからなかったことが示されている場合は、CICS のコールド・スタート時または初期開始時に使用されるグループ・リストに IBM 提供のグループ DFHEDP が含まれていることを確認してください。

関連メッセージにプログラム DFHLETRU が見つからなかったことが示されている場合は、CICS のコールド・スタート時または初期開始時に使用されるグループ・リストに IBM 提供のグループ DFHMISC が含まれていることを確認してください。

トランザクション・バックアウト出口プログラム (ファイル制御バックアウト・プログラムを含む) については、プログラムが定義され、CICS が使用できるライブラリーに配置されていることを確認してください。

必要な場合、ダンプを使用して、出口プログラムが使用できなかった理由を突き止めてください。

モジュール: DFHRCEX

ユーザーの処置: ユーザー・トランザクション定義内のプロファイル名が正しいこと、およびこのプロファイルが定義済みであることを確認してください。

モジュール: DFHAPXM

ARHA

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIR

ARHB

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが、その呼び出しについて無効なパラメーター数で呼び出されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了とともに作成された例外トレース・ポイントには、誤って出された SAA リソース・リカバリー verb 名が入っています。これを使用して、アプリケーション・プログラムのどこがエラーになっているのかを判断し、適宜アプリケーション・プログラムを修正してください。SAA リソース・リカバリーの verb およびその呼び出し方法について詳しくは、「Systems Application Architecture Common Programming Interface Resource Recovery Reference」(SC31-6821)を参照してください。

モジュール: DFHCPIR

ARHC

説明: SAA リソース・リカバリー・インターフェースが、同期点プログラムからの予期しない戻りコードを検

出しました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションの「CP」のレベル 2 トレースは、このエラーの発生前のイベントの経緯 (例えば、呼び出されたモジュールとそのパラメーター) とエラー自体の詳細を示します。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCPIR

ARLA

説明: リソース・ライフサイクル・ドメイン内でロックを取得する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHRLDM

ARLB

説明: リソース・ライフサイクル・ドメイン内でロックを解除する際にエラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHRLDM

ARLC

説明: CICS 内部タスク CRLR をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CRLR をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHRLRP

ARLD

説明: リソース・ライフサイクル解決トランザクション CRLR で障害が発生しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トラン

ザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHRLRP

ARM0

説明: 制御が与えられるプログラムとして DFHRMXN3 を指定してトランザクションの接続が試行されましたが、トランザクションの内部的な接続は CICS によって行われませんでした。

DFHRMXN3 は CICS システム・トランザクション CSKP によって使用されます。これにより、アクティビティ・キーポイントがサポートされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: CSKP を誤って接続しようとした理由、またはトランザクション定義で DFHRMXN3 が制御を与えられるプログラムとして指定された理由を確認してください。

モジュール: DFHRMXN3

ARP2

説明: CICS ONC RPC を使用可能化中に、サーバー・コントローラーが内部エラーを検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0508, DFHRP0509, DFHRP0528, DFHRP0529, DFHRP0590, DFHRP0591。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

ARP4

説明: 内部エラーのために、サーバー・コントローラーが例外使用不能を実行しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0503, DFHRP0559, DFHRP0697, DFHRP0726, DFHRP0728, DFHRP0730, DFHRP0741。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」および IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

ARP5

説明: サーバー・コントローラーを無効な方法で開始しようとしてしました。

システムの処置: 次のメッセージが出されます:
DFHRP0640。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPMS

ARP9

説明: 接続マネージャー用の十分なストレージがありませんでした。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、「外部インターフェース・ガイド」およびIBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

ARPA

説明: CANCEL 要求の処理時に、目標システム内の CRTE トランザクションのユーザーをサインオフしようとしているときに、DFHSUSN から予期しない応答が出されました。

この異常終了は、VTAM VARY INACT コマンドを誤って使用したために起きた可能性があります。あるいは、CICS 内のエラーであることが考えられます。

システムの処置: CSSF トランザクション (CRTE 取り消しプロセッサ・トランザクション) が、ARPA で異常終了します。

ユーザーの処置: VTAM VARY INACT コマンドが正しく使用されていることを確認してください。これが異常終了の原因でない場合、この問題を解決するには IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRTC

ARPF

説明: 別名を初期設定できませんでした。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0103, DFHRP0104, DFHRP0106, DFHRP0108, DFHRP0109。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPG

説明: CICS プログラムまたはコンバーターのエンコード機能に別名でリンクできませんでした。原因は以下のいずれかです。

- 別名に無効なユーザー ID が指定された。
- CICS プログラムが外部セキュリティー・マネージャーにリソースとして定義されていない。
- CICS プログラム名が無効である。
- CICS プログラムが CICS ONC RPC とは別のシステムにあり、かつ指定されたシステム名が無効である。
- コンバーター・プログラムの名前が無効である。
- コンバーター・プログラムがリモートと定義されている。
- 別名がコンバーターの使用を許可されていない。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0121, DFHRP0131, DFHRP0138, DFHRP0139, DFHRP0141, DFHRP0156, DFHRP0157, DFHRP0159。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPH

説明: 別名がグローバル作業域エラーを検出しました。

システムの処置: 次のメッセージが出されます:
DFHRP0118。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPI

説明: 別名が論理エラーを検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0107, DFHRP0133, DFHRP0135, DFHRP0137, DFHRP0143, DFHRP0144, DFHRP0148, DFHRP0149, DFHRP0155, DFHRP0164, DFHRP0168, DFHRP0170。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPJ

説明: 次のいずれかの理由で別名が終了します。

- トランザクションの初期設定中に CICS から予想しない応答を受け取った。
- 外部セキュリティー・マネージャーが使用不可になった。
- CICS プログラムが実行されていたリモート CICS 領域が異常終了した。
- リモート CICS 領域で実行されていた CICS プログラムが異常終了した。
- 応答をクライアントに送信できなかった。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0105, DFHRP0132, DFHRP0136, DFHRP0140, DFHRP0145, DFHRP0146, DFHRP0147, DFHRP0150, DFHRP0165, DFHRP0166, DFHRP0167。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPK

説明: 別名が CICS 論理エラーを検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0102, DFHRP0122, DFHRP0142, DFHRP0160。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPL

説明: 別名が許可エラーを検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0119, DFHRP0120, DFHRP0132, DFHRP0134。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPM

説明: 別名がユーザー・コードでエラーを検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0161, DFHRP0162, DFHRP0163, DFHRP0169。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPN

説明: 別名が TCB を切り替える際にエラーを検出しました。

システムの処置: 次のメッセージが出されます: DFHRP0151。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPO

説明: 別名プログラムが異常終了を検出しました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP0181, DFHRP0182, DFHRP0183。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPAS

ARPU

説明: 接続マネージャーが CICS ONC RPC データ・セットにアクセスできず、メッセージ DFHRP1512 を送信しようとしたときにエラー応答を受け取りました。

システムの処置: なし。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについて

ARPV • ARTD

は、「外部インターフェース・ガイド」およびIBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

ARPV

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドの後に CICS から予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: 次のいずれかのメッセージが出されます: DFHRP1540、DFHRP1651、DFHRP1954。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

ARPW

説明: 接続マネージャーが EXEC CICS コマンドの後に CICS から予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: 次のメッセージが出されます: DFHRP1969。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPC0E

ARPX

説明: 接続マネージャーが無効な端末に対して開始されました。

システムの処置: 次のメッセージが出されます: DFHRP1522。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPC01

ARPZ

説明: 接続マネージャーの権限が不十分です。

システムの処置: 次のメッセージが出されます: DFHRP1902。

ユーザーの処置: このメッセージに関するユーザーの処置を参照してください。

モジュール: DFHRPC0B

ARSA

説明: 端末から CRST トランザクションを呼び出す試みが行われました。CRST は内部 CICS トランザクシ

ョンであり、このような方法で呼び出すことはできません。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHRSTK

ARTA

説明: タスクが、その主要な機能としての端末を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHRTE が CRTE 以外のタスク用のプログラムとして指定されていないことを確認してください。CRTE が端末入力以外の方法で開始されていないことを確認してください。

モジュール: DFHRTE

ARTB

説明: 入力 TIOA がないか、またはデータの長さがゼロです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHRTE が CRTE 以外のタスク用のプログラムとして指定されていないことを確認してください。CRTE が端末入力以外の方法で開始されていないことを確認してください。

モジュール: DFHRTE

ARTC

説明: 必要なシステムへのリンクを使用することができず、その理由は不明です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRTE

ARTD

説明: 内部論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRTE

ARTE

説明: 一時ストレージに対して読み取りまたは書き込みを実行しようとするときにエラーが発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージの問題の原因を突き止めて、問題を訂正してください。

モジュール: DFHRTE

ARTF

説明: 永続トランザクション・コード・セットを備えた端末から、ルーティング・トランザクション (CRTE) を使用する試みが行われました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRTE

ARTG

説明: CICS は、経路指定されているトランザクションのために指定されたプロファイルを発見できませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ユーザーのトランザクションおよびプロファイルの定義を調べてください。

モジュール: DFHRTE

ARTH

説明: CRTE を実行している代理端末セッションのサインオフ中に、DFHRTE によるリモート端末削除のスケジュールのための呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHRTE

ARUA

説明: RUN コマンドで呼び出されたトランザクションでの ATTACH の BIND フェーズ中に、ADD_LINK で例外条件が返されました。

システムの処置: CICS は呼び出されたトランザクションを異常終了させ、ダンプを作成します。アプリケーションから実行された RUN SYNCHRONOUS コマンドが、エラー応答 INVREQ (RESP2 28) で戻ります。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース参照をしてください。

モジュール: DFHXMUR

ARUB

説明: RUN SYNCHRONOUS コマンドが、リモートと定義されたトランザクションを接続しようとした。同期的に実行できるのは、ローカルと定義されたトランザクションだけです。

システムの処置: CICS は呼び出されたトランザクションを異常終了させ、ダンプを作成します。アプリケーションから実行された RUN SYNCHRONOUS コマンドが、エラー応答 ACTIVITYERR または PROCESSERR (RESP2 27) で戻ります。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース参照をしてください。

モジュール: DFHXMUR

ARUC

説明: RUN SYNCHRONOUS コマンドが、無効なユーザー ID でトランザクションを接続しようとした。

システムの処置: CICS は呼び出されたトランザクションを異常終了させ、ダンプを作成します。アプリケーションから実行された RUN SYNCHRONOUS コマンドが、resp2 値 27 で戻ります。

ユーザーの処置: 詳細については、トレース参照をしてください。

モジュール: DFHXMUR

ARUD

説明: RUN SYNCHRONOUS コマンドが、子トランザクションを接続しようとした。その後に RUN SYNCHRONOUS コマンドを実行した親トランザクションが除去されたため、子タスクを実行できませんでした。

システムの処置: CICS は呼び出されたトランザクションを異常終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: なし

モジュール: DFHXXMXM

ARXA

説明: バッチ領域からトランザクション EXCI 要求を受け取りました。CICS が RRMS リカバリー単位とのセッションを開始しようとする際にエラーが発生しました。

DFHRXUW は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHRX0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS が要求を受け取った後に、リソース・リカバリー・サービス (RRS) がシャットダウンされた可能性があります。その場合は、RRS が再始動された後に EXCI 要求を再試行してください。

そうでない場合は、RX ドメインから提供される例外トレースを調べて障害の原因を判別してください。場合によっては IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRXUW

ARXB

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する ADD_LINK 呼び出しで、エラー (EXCEPTION、DISASTER、INVALID、KERNERROR または PURGED) が発生しました。EXCEPTION 以外のエラーについて、RM ドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

すべてのエラーについて、DFHRXUW は例外トレース、コンソール・メッセージ DFHRX0002、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRXUW

ARXC

説明: 以下のいずれかの状況で、バッチ領域からトランザクション EXCI 要求を受け取りました。

- システム初期設定パラメーター RRMS=NO が指定されていたために、CICS がリソース・マネージャーとしてリカバリー可能リソース管理サービス (RRMS) に登録されていなかった。
- RX ドメインの初期設定が完了していなかった。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS がシステム初期設定パラメーター RRMS=NO で開始された場合は、RRMS=YES を指定して CICS を再始動してください (あるいはトランザクション EXCI 要求を別の CICS システムに経路指定してください)。

それ以外の場合は、RX ドメインが正常に初期設定されなかった理由を調べてください。ドメインの初期設定中に障害が発生した場合は、コンソール・メッセージとシステム・ダンプが出力されます。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHRXUW

ARZ2

説明: サービス GIOP 要求への試行はタスクの接続中に失敗しました。必要なリソースを取得できないため、または要求データの情報が欠落しているためです。

システムの処置: 要求が失敗し、タスクが異常終了コード ARZ2 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZXM

ARZ3

説明: サービス GIOP 要求への試行はタスクの接続中に失敗しました。必要なリソースを取得できないため、または要求データの情報が欠落しているためです。

システムの処置: 要求が失敗し、タスクが異常終了コード ARZ3 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZIX、DFHRZTCX

ARZ4

説明: サービス GIOP 要求への試行はタスクの接続中に失敗しました。必要なリソースを取得できないため、または要求データの情報が欠落しているためです。

システムの処置: 要求が失敗し、タスクが異常終了コード ARZ4 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZRM、DFHRZSO1

ARZ5

説明: ソース・タスクがもはやアクティブでないことを、ターゲット要求ストリーム・タスクが検出しました。ターゲット・タスクは、接続される目的となった要求を処理できません。

システムの処置: 要求が失敗し、タスクが異常終了コード ARZ5 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: このターゲットの初期設定が開始される前にソース・タスクが終了した理由を調べてください。関連するメッセージが CICS ログに記録されている可能性があります。記録されていない場合は、問題を特定するために CICS トレースまたはシステム・ダンプが

必要になります。原因の 1 つとして、ターゲット・タスクが開始される前にソース・タスクがタイムアウトになって除去されたことが考えられます。

モジュール: DFHRZXM

ARZE

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ARZE で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZLN, DFHRZRM, DFHRZSO, DFHRZSO1, DFHRZTA, DFHRZXM

ARZF

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ARZF で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZLN, DFHRZRM, DFHRZSO, DFHRZSO1, DFHRZTA, DFHRZXM

ARZI

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ARZI で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZLN, DFHRZRM, DFHRZSO, DFHRZSO1, DFHRZTA, DFHRZXM

ARZJ

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ARZJ で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHRZLN, DFHRZRM, DFHRZSO, DFHRZSO1, DFHRZTA, DFHRZXM

ASxx 異常終了コード

ASCA

説明: DFHSC TYPE=GETMAIN 要求を行いました、結果は、INVALID または DISASTER 応答を戻したストレージ・マネージャー (SM) ドメインを呼び出すことになりました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前に起こった障害があり、それがストレージ・マネージャー・ドメインからの応答を引き起こしました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHSMSCP

ASCB

説明: DFHSC TYPE=FREEMAIN 要求を行いました、その結果、INVALID または DISASTER 応答を戻したストレージ・マネージャー (SM) ドメインを呼び出すことになりました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前に起こった障害があり、それがストレージ・マネージャー・ドメインからの応答を引き起こしました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHSMSCP

ASCP

説明: 隣接する十分な主ストレージが解放されるのを待っているときに、無条件の DFHSC TYPE=GETMAIN

要求を出したタスクが除去されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターからタスクが除去された場合、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値よりも長い間待ってからタスクがタイムアウトになる場合に起こります。

タスクがマスター端末オペレーターによって除去された場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことに原因があると思われます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎるため使用可能な主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やすことができない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が起こらないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHSMSCP

ASCR

説明: DFHSC マクロ要求が、無効な要求タイプを指定して出されました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

DFHSMSCP により無効な要求が発見されると、コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプが生成されることとなります。

ユーザーの処置: 関連コンソール・メッセージおよびシ

ステム・ダンプを使用して、問題を調査してください。

モジュール: DFHSMSCP

ASDA

説明: デフォルトのシャットダウン・トランザクション (CESD) が端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHCESD

ASFA

説明: EXEC CICS からの予期しない応答のため、DFHSFP で内部論理エラーが発生しました。この異常終了コードには、通常、メッセージ DFHCE3598 が伴います。これには関連する戻りコードが含まれています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHSFP

ASFB

説明: 関連した端末を使用しないで CICS サインオフ・プログラムを実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3598 を伴います。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サインオフ・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSFP

ASFC

説明: APPC セッションに対して CICS サインオフ・プログラムを実行しようとしたため。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通常、DFHCE3598 を伴います。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サイ

ンオフ・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSFP

ASH2

説明: スケジューラー・サービス要求をサービスしようとしたが、必要なリソースを得られなかったために失敗しました。この結果、障害の性質に応じて、要求がサービス不能となるか、アクティビティが異常終了とマークされます。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASH2 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: 領域間に必要なリンクが確立されていることを確認します。分散経路指定プログラムの名前が正しく、かつプログラムが使用可能であることを確認します。トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHSHXM

ASH3

説明: スケジューラー・サービスの要求にバインドされたトランザクションがバックアウトしました。その他の異常終了コードは設定されていません。SH 異常終了要求は、デフォルトでこの異常終了コードを使用します。

システムの処置: トランザクションはバックアウトを続行します。後続のタスクが SH 異常終了要求を処理します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSHRM

ASH4

説明: スケジューラー・サービス要求が、現在使用不可であるトランザクションを接続しようとしたため。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASH4 で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクションの状況を検査してください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

ASHA • ASIB

モジュール: DFHSHXM

ASHA

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASHA で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHSHDM

ASHB

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASHB で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHSHDM

ASHR

説明: コマンドは、CICS コンポーネント (リソース・マネージャー) における重大な障害のために、失敗しました。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASHR で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない

い場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHSHRSP

ASHU

説明: ある領域から別の領域に要求を転送する際に、経路指定障害が原因で異常終了が発生しました。要求を適切な領域に経路指定できません。要求がサービス不能になります。

システムの処置: そのトランザクションは、異常終了コード ASHU で異常終了します。CICS は、モジュール DFHDUIO がロードされない限り、トランザクション・ダンプを取ります。

ユーザーの処置: 領域間にリンクが確立されていることを確認します。分散経路指定プログラムの名前が正しく、かつプログラムが使用可能であることを確認します。トランザクション・ダンプを使用して、障害の原因を突き止めてください。さらに援助を必要とする場合、またはモジュール DFHDUIO がロードされておらずトランザクション・ダンプが使用できない場合には、システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHSHRSP

ASIA

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出し時に、エラーが発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。そして、CICS が異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSII1

ASIB

説明: CICS 内部タスク CPLT をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: このような試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHSIPLT

ASJ7

説明: エラーによって、JVM サーバーは SIGABRT シグナルを受け取りました。

システムの処置: CICS がシステム・ダンプを作成して即時に終了します。

ユーザーの処置: IBM サポートに連絡してください。

モジュール: DFHSJSC

ASJA

説明: Java ドメイン内でロックを取得中に、エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHSJST

ASJB

説明: Java ドメイン内でロックを解放中に、エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHSJST

ASJH

説明: プログラム・チェックまたはその他の理由により JVM が終了しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: JVM の STDOUT ファイルと STDERR ファイル、および JVM ダンプで詳細を確認してください。

モジュール: DFHSJIN

ASJI

説明: EXEC CICS LINK を使ってプログラム DFHSJJI が呼び出されましたが、チャンネルは提供されませんでした。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 正しいチャンネルを渡すようにアプリケ

ーション・プログラムを変更してください。

モジュール: DFHSJJI

ASJL

説明: Liberty で実行されているアプリケーションへのリンク付けを行った後にエラーが発生しました。CICS は、LINK を発行したタスクと関連付けられたリソースを解放するために、この異常終了を実行します。

システムの処置: CICS はこのタスクを異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSJJS

ASJO

説明: JVM サーバー解決トランザクション CJSR が内部エラーを検出しました。

CICS システム・トランザクション CJSR は、新しい JVM サーバーの初期化をサポートします。これが失敗する場合、CICS システム内にエラーが存在する可能性があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSJIT

ASJS

説明: JVM サーバーで稼働中の Java アプリケーションが、System.exit() メソッドを呼び出しました。

システムの処置: CICS がシステム・ダンプを作成して即時に終了します。

ユーザーの処置: System.exit() を呼び出さないようにアプリケーションを変更するか、Java セキュリティー・マネージャーを実装して System.exit() が呼び出されないようにしてください。

モジュール: DFHSJSC

ASJR

説明: JVM サーバー内で実行されている呼び出し側プログラムによって DFHSJJS が呼び出されました。要求の処理中に JVM サーバーが終了しました。DFHSJJS は、通常の方法で呼び出し側プログラムに制御を戻すことができませんでした。

ASNA • ASOD

システムの処置: トランザクションは異常終了します。
CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSJJS

ASNA

説明: EXEC CICS からの予期しない応答のため、
DFHSNP で内部論理エラーが発生しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了
させ、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通
常、DFHCE3548 を伴います。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から
さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き
について、IBM との協力による問題解決を参照してく
ださい。

モジュール: DFHSNP

ASNB

説明: 関連した端末を使用しないで CICS サインオ
ン・プログラムを実行する試みが行われました。この
異常終了コードは、通常、DFHCE3548 を伴います。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了
させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 関連した端末がある場合に限り、サイ
ンオン・プログラムを使用してください。

モジュール: DFHSNP

ASNC

説明: サインオン・プログラムがユーザーに対して要求
を送ろうと試みましたが、失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了
させ、ダンプを作成します。この異常終了コードは、通
常、DFHCE3548 を伴います。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から
さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き
について、IBM との協力による問題解決を参照してく
ださい。

モジュール: DFHSNP

ASND

説明: SNEX のアドレス上の ENQ に DFHSNTU が
出した要求が、端末ユーザーのサインオフ中に失敗し
ました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成さ

れ、サインオフを実行したタスクが異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から
さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き
について、IBM との協力による問題解決を参照してく
ださい。

モジュール: DFHSNTU

ASOA

説明: TCP/IP リスナー・タスク CSOL が誤って端末
から開始されました。このタスクは、CICS システム初
期設定時のソケット・ドメインによって、または
CEMT SET TCPIP OPEN か同等の SPI 関数を使用す
ることによってのみ、開始できます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トラ
ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHSOL

ASOB

説明: ソケット・ドメインがロックを実行する際にロッ
ク・エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トラ
ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了以前の例外トレースに、
この異常終了が発行された理由についての詳しい情報が
あります。

モジュール: DFH SOCK, DFHSODM, DFHSOIS,
DFHSOLS, DFHSOUE, DFHSOS00-23

ASOC

説明: TCP/IP リスナー・タスク CSOL がアンロック
を実行する際にアンロック・エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トラ
ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了以前の例外トレースに、
この異常終了が発行された理由についての詳しい情報が
あります。

モジュール: DFHSOL

ASOD

説明: 新しいタスクのトランザクション接続処理のバイ
ンド・ステージ中に TCP/IP トランザクション接続モ
ジュール DFHSOXM にエラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了以前の例外トレースに、この異常終了が発行された理由についての詳しい情報があります。

モジュール: DFHSOXM

ASOL

説明: TCP/IP listener タスク CSOL が異常終了しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションが異常終了した原因を調べてください。この異常終了以前の例外トレースに、この異常終了が発行された理由についての詳しい情報があります。

モジュール: DFHSOL

ASP1

説明: 同期点の取得中にシステム間連絡が失敗しました。コーディネーター・システムとの通信が中断され、同期点処理のクリティカル未確定期間中に障害が発生しました。このため、この CICS システムではトランザクションの作業単位の結果が未確定になります。

あるいは、リカバリー可能リソース管理サービス (RRMS) から作業単位の結果が提供されるのを待機する間にトランザクションがタイムアウトになったか、クリティカル未確定期間中に RRMS で障害が発生した可能性があります。

トランザクション定義では、未確定属性として WAIT(YES) が指定されています。このため、作業単位は、完了しないまま中断されて、コーディネーター・システムとの再同期を待機します。トランザクション定義で WAITTIME 属性が指定されている場合は、指定された時間だけ作業単位が待機します。この時間が経過した時点でコーディネーター・システムとの再同期が行われていない場合は、トランザクション定義の ACTION キーワードの指定に従って、作業単位について一方的に決定が行われます。WAITTIME をゼロ (デフォルト) にすると、待機が無期限になります。CEMT SET UOW コマンドを使用して、作業単位について強制的に一方的な決定を行うこともできます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

関連する作業単位が中断されて、コーディネーター・システムの戻りを待機します。作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースは、ロックされたままとなり

ます。このロックは、再同期の際に作業単位がバックアウトまたはコミットされたとき、またはこのシステムが一方的な決定を行ったときに解除されます。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2201 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2231 が送信されます。

ユーザーの処置: なし。コーディネーター・システムとの再同期が行われると、作業単位によって実行された更新が自動的に解決されます。

あるいは、ユーザーが作業単位をコミットまたはバックアウトするための CEMT 要求を出して、コーディネーター・システムとは無関係に更新を強制的に解決することもできます。

モジュール: DFHAPAC

ASP2

説明: システム間会話が EXEC CICS SYNCPOINT を実行できない状態にあるときに、同期点処理が試行されました。最終エージェントとして機能する必要があるシステム (IMS など) に CICS が接続している場合は、別のシステムとのリンクで PREPARE が受け取られたときに同期点処理からこの異常終了が出されます。同期点処理をサポートするには、最終エージェントに直接接続されている CICS がコーディネーターとして機能する必要があります。この場合、コーディネーター・システムは PREPARE 同期点コマンドを送信できますが、このコマンドを受信することはありません。

システムの処置: タスクは異常終了し、端末管理情報が入っている CICS トランザクション・ダンプが作成されます。特にこのダンプには、このトランザクションで使用したリンクの状態情報が入っています。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: アプリケーションの同期レベル 2 の会話が正しい状態にある場合にのみ、アプリケーションが EXEC CICS SYNCPOINT コマンドを実行するようにしてください。EXEC CICS SYNCPOINT コマンドは、各会話が以下のいずれかの状態である場合にのみ実行できます。

```
SEND
PEND-RECEIVE (MRO は対象外)
PEND-FREE
SYNC-RECEIVE
SYNC-SEND (MRO は対象外)
SYNC-FREE
```

モジュール: DFHAPAC

ASP3

説明: アプリケーションが、EXEC CICS SYNCPOINT または暗黙的な EXEC CICS RETURN を通じて同期点を要求しました。同期点のコーディネーターは、この CICS システムではなくリモートのシステムです。同期点プロトコル中に、リモートのコーディネーターが、作業単位をコミットできずバックアウトする必要があると判断しました。

このエラーは、外部リソース・マネージャーがリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を介して CICS に接続されている場合、および CICS システムが LU 6.2、MRO、および IPIC を介して接続されている場合に発生する可能性があります。外部リソース・マネージャー (DB2 など) がトランザクションで更新される唯一のリカバリー可能リソースである場合は、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインが同期点プロトコルを最適化できます。この場合は、外部リソース・マネージャーが同期点コーディネーターになります。また、外部リソース・マネージャーがバックアウトされた応答で戻ると、ASP3 異常終了が発生します。

システムの処置: トランザクションが異常終了し、作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースがバックアウトされます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2220 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2250 が送信されます。

ユーザーの処置: リモート・コーディネーター・システムを参照して、作業単位がバックアウトされた理由を判別してください。

モジュール: DFHAPAC

ASP7

説明: 同期点プロトコルに組み込まれているリソース・マネージャーが、「準備」するための要求に対して、「No」で応答しました。リソース・マネージャーが、この CICS システムに対してローカルであるか、別の CICS システム上のリモート・リソース・マネージャーであるか、またはリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) 経由で通信する外部リソース・マネージャーである可能性があります。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースはバックアウトされました。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

No で応答したのがローカル・リソース・マネージャー

である場合は、端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2218 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2248 が送信されます。

No で応答したのがリモート・リソース・マネージャーである場合は、端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2219 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2249 が送信されます。

ユーザーの処置: この異常終了は以前の問題により発生します。以下に例を示します。

- リソース・マネージャーが入出力エラーのためにバッファをフラッシュできない。
- リソース・マネージャーが TP の障害のために CICS と通信できない。
- イベント処理で同期イベントを発行できない。

CICS メッセージ・ログを調べて以前の問題の原因を判別し、訂正してください。CICS でストレージが不足している場合は、端末または接続のインストール中に ASP7 が発生する可能性もあります。例えば、メッセージ DFHAC2248 からトランザクションが CATA であることがわかった場合は、以前のストレージ不足に関するメッセージを探してください。

モジュール: DFHAPAC

ASP8

説明: トランザクションが同期点ロールバックを要求しましたが、そのトランザクションは、同期点ロールバックがサポートされないタイプの処理を使用していました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2217 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2247 が送信されます。

ユーザーの処置: このエラーは、アプリケーション・エラーまたは構成エラーです。通信セッションには (例えば、LU6.1)、同期点ロールバックをサポートしないものがあります。また、CICS がロールバック処理時にそのようなセッションを検出した場合、タスクは異常終了します。この制約事項については、「CICS の相互通信」で説明されています。問題を解決するためには、以下のいずれかを行ってください。

•

サポートされないセッションが割り振られているときに同期点ロールバック・コマンドを実行しないようにアプリケーションを変更する (例えば、最初に EXEC CICS FREE を実行する)。

•

通信に APPC セッションまたは MRO セッションを使用するように構成を変更する。同期点ロールバックをサポートするセッションは、2 つしかありません。

あるいは、前の同期点でセッション障害が発生した後に、CICS がデータ保全性を維持するためにこの作業単位をロールバックした可能性があります。同期点ロールバックをサポートしないセッションが作業単位に含まれているために、この異常終了が発生します。この場合、異常終了に対する処置は不要ですが、最初の障害への対処が必要となる場合があります。

モジュール: DFHAPAC

ASP9

説明: トランザクションが EXEC CICS SYNCPOINT を通じて同期点を要求しましたが、アクティビティの代わりに実行されているトランザクションではこの処理が許可されません。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: このエラーは、トランザクションの同期点処理が無効であることを示しています。

モジュール: DFHEISP

ASPA

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する要求が完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。処理がデータの保全性が維持されない時点にある場合には、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。これは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定した DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待機した後タイムアウトになったタスクによるものです。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合

には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

CICS が異常終了した場合には、データの保全性を確実に維持するために CICS を緊急再始動させる必要があります。

モジュール: DFHAPAC

ASPB

説明: リカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。処理がデータの保全性が維持されない時点にある場合には、CICS は異常終了されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

CICS が異常終了した場合には、データの保全性を確実に維持するために CICS を緊急再始動させる必要があります。

モジュール: DFHAPAC

ASPC

説明: ブリッジ同期点ルーチン (DFHBRSP) の呼び出しでエラー (INVALID または DISASTER) が発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHSPP

ASPD

説明: トランザクションが EXEC CICS SYNCPOINT を通じて同期点を要求したか、EXEC CICS SYNCPOINT ROLLBACK を通じてロールバックを要求しましたが、OTS トランザクションに関連するトランザクションではこの処理が許可されません。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを異常終了させます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

ユーザーの処置: このエラーは、トランザクションの同期点処理が無効であることを示しています。

トランザクションで DB2 にアクセスしている場合は、トランザクションが使用する DB2ENTRY または DB2CONN プール定義に DROLLBACK(YES) が指定されていないことを確認してください。

モジュール: DFHEISP

ASPF

説明: CICS が内部同期点要求を出した結果、リカバリー・マネージャー(RM) ドメインに ROLLEDBACK を返したシステム間セッションで同期点が取られました。その結果、同期点処理された作業単位がバックアウトされたために、トランザクションが異常終了しました。

この原因としては、IRC の遮断または接続済み CICS 領域の障害が考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。作業単位によって更新されたりリカバリー可能リソースはバックアウトされ、ロックが解放されました。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2215 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2245 が送信されます。

ユーザーの処置: リモート・システム間セッションが ROLLEDBACK 応答を同期点要求に戻した理由を突き止めてください。これを訂正したら、そのトランザクションを再試行してください。

これから ASPF 異常終了が起きるのを避けるには、IRC を遮断する前に、作動中の作業単位がないことを確認してください。

モジュール: DFHAPAC

ASPI

説明: CICS 同期レベル 1 (synclevel 1) のコミット中に、パートナー・システムから予期しない FMH を受け取ったか、何もデータを受け取りませんでした。ローカル資源および同期レベル 2 パートナーがコミットされましたが、同期レベル 1 の機能シップ資源更新がバックアウトされた可能性があります。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了しません。CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。その際、できるだけ多くの同期レベル 1 の資源をコミットすることを目標とします。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、FMH が無効であった理由または欠落していた理由を判別してください。これはリモート・システムのエラーである可能性があります。

同期点処理の詳細については、「」を参照してください。

モジュール: DFHCR2U

ASPJ

説明: CICS 同期レベル 1 (synclevel 1) のコミット中に、パートナー・システムから予期しない同期点メッセージ・データを受け取りました。ローカル資源および同期レベル 2 パートナーがコミットされましたが、同期レベル 1 の機能シップ資源更新がバックアウトされた可能性があります。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了しません。CICS 同期レベル 1 のコミット処理は続行されます。その際、できるだけ多くの同期レベル 1 の資源をコミットすることを目標とします。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを調べて、メッセージ・データが無効である理由を判別してください。このエラーはリモート・システムにあることが考えられます。

同期点処理の詳細については、「」を参照してください。

モジュール: DFHCR2U

ASPN

説明: トランザクションが、バックアウト必須プログラム状態で EXEC CICS RETURN を出しました。このバックアウト必須プログラム状態は、アプリケーションが異常終了を受け取ったかまたは出したとき、あるいは保護会話上でバックアウト要求を受け取ったときに設定されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースはバックアウトされ、ロックが解放されました。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2216 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2246 が送信されます。

ユーザーの処置: トランザクションの異常終了を回避するには、アプリケーションで EXEC CICS RETURN の前に EXEC CICS SYNCPOINT コマンドを実行する必要があります。「バックアウト必須」プログラム状態で同期点が発行されると、バックアウトが実行され、EXEC CICS SYNCPOINT コマンドで ROLLEDBACK 条件が返されます。この条件が処理されると、後続の EXEC CICS RETURN は正常に完了します。LU61 会話の場合、続いて ASP8 異常終了が発生しないようにするには、アプリケーションで EXEC CICS FREE の後に EXEC CICS SYNCPOINT ROLLBACK を実行する必要があります。

モジュール: DFHAPAC

ASPO

説明: 同期点が取られているときにシステム間セッションが失敗に終わりました。このシステム間セッションは、コーディネーター・システムとのリンクでした。この障害は同期点処理の未確定期間中に発生しました。そのため、この CICS システムはトランザクションの作業単位の結果については未確定です。

作業単位は、コーディネーター・システムの戻りを待機するために中断されるのではなく、一方的にコミットされます。作業単位が中断されない理由は以下のいずれかです。

- トランザクション定義で WAIT(NO) が指定されている。
- WAIT(YES) オプションをサポートしないバックレベルの CICS システムとの MRO セッションが作業単位に含まれており、このセッションが一因で作業単位がコーディネーター・システムの戻りを待機できない。
- 作業単位に LU6.1 セッションが含まれており、このセッションが一因で作業単位がコーディネーター・システムの戻りを待機できない。

INDOUBTWAIT オプションで使用可能になっていないタスク関連ユーザー出口ルーチンが作業単位に含まれている。

WAIT(NO) で定義されているリカバリー可能一時データ宛先を作業単位が更新した。

CSD (CICS システム定義) ファイルからの CICS リソース定義のインストールが作業単位に含まれている。

トランザクション定義で ACTION(COMMIT) が指定されているために、作業単位はバックアウトされずにコミットされます。

作業単位がコミットされたことは、作業単位がコーディネーター・システムと再同期されるまで、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインが認識しています。この時点で、コーディネーター・システムがコミットとバックアウトのどちらを実行したかに応じて、従属システムでの作業単位の解決がコーディネーター・システムと整合しているかどうかを報告する再同期メッセージがリカバリー・マネージャー・ドメインから出されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースがコミットされ、ロックが解除されます。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2202 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2232 が送信されます。

ユーザーの処置: 作業単位によって実行された更新はすべてコミットされます。コーディネーター・システムがバックアウトした場合は、リカバリー可能リソースがコーディネーター・システムと整合しなくなる恐れがあります。障害の原因が上記リストの最初の原因である場合に CICS でデータ保全性を確実に維持するには、未確定トランザクション定義を変更して WAIT(YES) を指定します。これにより CICS で自動的に未確定障害が処理され、コーディネーター・システムとのリンクが再確立されたときに作業単位が再同期されるようになります。

モジュール: DFHAPAC

ASPP

説明: 同期点が取られているときにシステム間セッションが失敗に終わりました。このシステム間セッションは、コーディネーター・システムとのリンクであったため、同期点処理のクリティカル未確定期間中に障害が発生しました。そのため、この CICS システムはトランザ

クシヨンの作業単位の結果については未確定です。

作業単位は、コーディネーター・システムの戻りを待機するために中断されません。代わりに一方的にバックアウトされます。作業単位が中断されない理由は以下のいずれかです。

- トランザクション定義で WAIT(NO) が指定されている。
- WAIT(YES) オプションをサポートしないバックレベルの CICS システムとの MRO セッションが作業単位に含まれており、このセッションが一因で作業単位がコーディネーター・システムの戻りを待機できない。
- 作業単位に LU6.1 セッションが含まれており、このセッションが一因で作業単位がコーディネーター・システムの戻りを待機できない。
- INDOUBTWAIT オプションで使用可能になっていないタスク関連ユーザー出口ルーチンが作業単位に含まれている。
- WAIT(NO) で定義されているリカバリー可能一時データ宛先を作業単位が更新した。
- CSD (CICS システム定義) ファイルからの CICS リソース定義のインストールが作業単位に含まれている。

トランザクション定義で ACTION(BACKOUT) が指定されているために、作業単位はコミットされずにバックアウトされます。

作業単位がバックアウトされたことは、作業単位がコーディネーター・システムと再同期されるまで、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインが認識しています。この時点で、コーディネーター・システムがバックアウトとコミットのどちらを実行したかに応じて、従属システムでの作業単位の解決がコーディネーター・システムと整合しているかどうかを報告する再同期メッセージがリカバリー・マネージャー・ドメインから出されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースはバックアウトされ、ロックが解放されました。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2203 が送

信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2233 が送信されます。

ユーザーの処置: 作業単位によって実行された更新はすべてバックアウトされます。コーディネーター・システムがコミットした場合は、リカバリー可能リソースがコーディネーター・システムと整合しなくなる恐れがあります。障害の原因が上記リストの最初の原因である場合に CICS でデータ保全性を確実に維持するには、未確定トランザクション定義を変更して WAIT(YES) を指定します。これにより CICS で自動的に未確定障害が処理され、コーディネーター・システムとのリンクが再確立されたときに作業単位が再同期されるようになります。

モジュール: DFHAPAC

ASPQ

説明: 2 フェーズ同期点プロトコルのフェーズ 2 で、リモート・システムとの通信中にエラーが発生しました。このエラーが発生したのはリカバリー可能リソースがコミットまたはバックアウトされた後であるため、データ保全性に問題は生じません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。作業単位によって更新されたリカバリー可能リソースは、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインの決定に従ってバックアウトまたはコミットされます。この処理は、後から発生した問題の影響を受けません。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2221 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2251 が送信されます。

ユーザーの処置: CICS の通信コンポーネントまたはリモート・リソース管理コンポーネントから出された以前のメッセージを参照して、システム間連絡の問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHAPAC

ASPR

説明: 同期点の取得中にシステム間連絡が失敗しました。コーディネーター・システムとの通信が中断され、同期点処理のクリティカル未確定期間中に障害が発生しました。そのため、この CICS システムはトランザクションの作業単位の結果については未確定です。

ただし、この CICS システムは作業単位のリカバリー可能リソースを更新していないため、作業単位を中断してリソースの再同期を待機する必要はありません。コーディネーター・システムでは、そのリソースのコミットまたはバックアウトが行われます。このシステムのリソースを同じように処理する必要はありません。

このエラーは、外部リソース・マネージャーがリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) を介して CICS に接続されている場合、および CICS システムが IPIC、LU 6.2、および MRO を介して接続されている場合に発生する可能性があります。外部リソース・マネージャー (DB2 など) がトランザクションで更新される唯一のリカバリー可能リソースである場合は、リカバリー・マネージャー (RM) ドメインが同期点プロトコルを最適化できます。この場合は、外部リソース・マネージャーが同期点コーディネーターになります。このときに外部リソース・マネージャーとのリンクが失われると、外部リソース・マネージャーの更新がコミットされたかバックアウトされたかが CICS で未確定になります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。この CICS システムではどのリカバリー可能リソースも影響を受けません。EXEC CICS HANDLE ABEND コマンドは、この異常終了を処理することができません。

端末エンド・ユーザーにメッセージ DFHAC2222 が送信され (可能な場合)、一時データ宛先 CSMT にメッセージ DFHAC2252 が送信されます。

ユーザーの処置: リモート・システム上のメッセージを参照して、リモート・リソースがバックアウトされたかコミットされたかを判別してください。

モジュール: DFHAPAC

ASQA

説明: CLS2 トランザクションが再同期を処理していましたが、トランザクションが使用していた通信セッションで障害が発生しました。

システムの処置: 新しいセッションで処理が再実行されます。既に再実行が試行されている場合は、トランザクションが終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、再同期プロセスで通信中のシステムの間で確立されている複数のセッションで障害が発生した場合に起きる可能性があります。これを確認するには、CSMT 一時データ・キューに関連する期間を調べます。

もう 1 つの原因として、このシステムまたはパートナー・システム上の再同期プログラム内の論理エラーが原因でセッションが終了した可能性があります。この場合は、CSMT 一時データ・メッセージにエラーの種類が表示されます。

モジュール: DFHCRRSY

ASQB

説明: CLS2 トランザクションがログ名交換またはリモート・システムとの再同期を実行しているときに、論理エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

メッセージ DFHRS2158 も出されることがあります。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQC

説明: CLS2 トランザクションが予期しない開始コードで接続されました。トランザクションは、通信セッションで端末入力によって接続するか、システム接続を通じて接続することができます。どちらの方法も使用されませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーは、トランザクションが無効な方法で開始されたことを示しています。

モジュール: DFHCRRSY

ASQD

説明: CLS2 トランザクションが接続されましたが、トランザクション・マネージャー・インターフェースを使用して入力パラメーターを取得できませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: このエラーはトランザクション・マネージャーの障害を示しています。管理対象のトランザクションが生成した例外トレース項目を参照して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQE

説明: CLS2 トランザクションがリモート・システムとのログ名交換を実行していましたが、CICS から送信されたウォーム・ログ名交換要求に対するウォーム・ログ名交換応答の請求を 3 回再試行して失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了は、リモート・システムのエラーを示しています。リモート・システムは、CICS

ASQG • ASQL

から送信されたログ名を保管して、後でログ名交換要求を受け取ったときにウォーム応答で対応する必要があります。

モジュール: DFHCRRSY

ASQG

説明: 再同期処理を実行していた CLS2 トランザクションが、リモート・システムから MRO セッション経由でデータを受信する際に失敗しました。データが预期された長さを超えていました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了は、おそらくリモート・システムでの CICS 論理エラーを示しています。ダンプ内のトランザクション・ストレージに、受信したデータが示されます。トランザクション・トレースには先行するシステム間のフローが示されますが、このフローが「z/OS Communications Server: SNA プログラマーズ LU 6.2 解説書」(SC30-6808) に記載されているフローと一致している必要があります。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQH

説明: 再同期処理を実行していた CLS2 トランザクションが、リモート・システムから MRO セッション経由でデータを受信する際に失敗しました。データの長さが预期される最小長を下回っていました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、おそらくリモート・システムでの CICS 論理エラーを示しています。ダンプ内のトランザクション・ストレージに、受信したデータが示されます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQI

説明: CLS2 トランザクションが、APPC 接続の初期設定シーケンスの一部としてログ名交換プロセスを実行していました。CICS リカバリー・マネージャーを呼び出してログ名を保管しようとしたましたが、失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

メッセージ DFHRS2157 も出されることがあります。

ユーザーの処置: このエラーは CICS リカバリー・マネージャーのエラーを示し、CICS リカバリー・マネージャーによって例外トレース・レコードが作成されています。トレース・レコードおよび CSMT メッセージ・ログでエラーの詳細を確認してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQK

説明: CLS2 トランザクションが、ネット名で識別される接続先パートナーとのログ名交換または再同期を処理していました。このネット名に関連する接続項目が見つけられてロックされましたが、後続の処理でアンロックできませんでした。これは CICS 内部論理エラーを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

メッセージ DFHRS2156 も出されることがあります。

ユーザーの処置: これは、CICS テーブル・マネージャーのエラー (このマネージャーの例外トレース・レコードが作成されています) または再同期プログラム自体のエラーを示しています。トレース・レコードおよび CSMT メッセージ・ログで詳細を確認してください。テーブル・マネージャー・プログラムのエラーまたは接続のテーブル項目のエラーが示されている可能性があります。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQL

説明: CLS2 トランザクションが、接続先パートナーとの作業単位の再同期を実行しているときに、CICS リカバリー・マネージャーが管理する関連データをロックしました。このデータをアンロックするための TERMINATE_RECOVERY コマンドの呼び出しが失敗しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

メッセージ DFHRS2154 も出されます。

ユーザーの処置: これは、CICS リカバリー・マネージャーのエラー (このマネージャーの例外トレース・レコードが作成されています) または再同期プログラム自体のエラーを示しています。トレース・レコードおよび CSMT メッセージ・ログで詳細を確認してください。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必

要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASQM

説明: 再同期プログラム用の動的ストレージの管理で、CICS 内部論理エラーが発生しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、再同期プログラムがストレージ域を記録するためのスペースを使い果たしたことを示しています。この症状から見て、プログラムがエラー・リカバリー・プロセスを実行せずにループしていた可能性があります。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCRRSY

ASRA

説明: プログラム・チェックのためにタスクが異常終了しました。

システムの処置: タスクは異常終了して、CICS はメッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 を出します。メッセージ DFHSR0622 も出されることがあります。

ユーザーの処置: メッセージの説明を参照して、プログラム・チェックについての原因を突き止め、それを訂正してください。

モジュール: DFHSRP

ASRB

説明: オペレーティング・システム異常終了が起り、CICS は現行トランザクションを異常終了させることができました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS はメッセージ DFHAP0001 または DFHSR0001 を出します。

ユーザーの処置: 関連するメッセージの説明を参照して、最初のオペレーティング・システム異常終了の原因を判別し、必要な訂正処置をとってください。

モジュール: DFHSRP

ASRD

説明: 以下のいずれかの理由でタスクが異常終了しました。

- プログラムに CICS が現在サポートしていないアセンブラー・マクロ呼び出しが入っている。
- CSA または TCA に対して無効なアクセスの試みが行われた。
- フィールド CSAQRTCA (以前の CSACDTA) を介して TCA にアクセスしようとした。
- アセンブラー以外のプログラムが、アセンブラー・プログラムとして間違って CICS に定義された。
- アプリケーション・プログラムが適切な EXEC インターフェース・スタブなしにリンク・エディットされた。

このエラーは、プログラム・チェックとして表示されます。

システムの処置: タスクを異常終了してから、CICS がメッセージ DFHSR0618 を出し、その後に DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。

ユーザーの処置: 関連するメッセージの説明を参照して、エラーの原因を突き止めて、それを訂正してください。

通常、TCA をアドレッシングする R12、または CSA をアドレッシングする R13 のいずれかが、アクセスが許可されていないストレージを指し示します。

モジュール: DFHSRP

ASRE

説明: CICS-DB2 RCT ロード・モジュールにアクセスしようとしたために、タスクが異常終了しました。

RCT は現在はロード・モジュールとして存在しておらず、直接アクセスすることはできません。

CICS DB2 リソース定義の情報にアクセスするには、CICS SPI コマンド EXEC CICS INQUIRE/SET DB2CONN、EXEC CICS INQUIRE/SET DB2ENTRY、および EXEC CICS INQUIRE/SET DB2TRAN を使用します。

このエラーは、プログラム・チェックとして表示されます。

システムの処置: タスクを異常終了してから、CICS がメッセージ DFHSR0619 を出し、その後に DFHAP0001 または DFHSR0001 が出されます。

ユーザーの処置: CICS SPI コマンドを使用して CICS DB2 リソース定義の情報にアクセスするように、アプリケーションを変更してください。

モジュール: DFHSRP

ASRJ

説明: タスクが呼び出した AP ドメイン・グローバル・ユーザー出口またはタスク関連ユーザー出口がバッ

クレベル XPI 呼び出しを行ったため、タスクが異常終了しました。

システムの処置: このタスクは異常終了します。CICS から出されるエラー・メッセージ DFHAP0702 または DFHAP0708 に、バックレベル XPI 呼び出しを行った出口プログラムが示されます。

ユーザーの処置: 最新の CICS ライブラリーを使用して、出口プログラムを再アセンブルしてください。

モジュール: DFHSRP

ATxx 異常終了コード

ATC1

説明: 必要なステップが失敗したため、CICS 端末管理再始動タスクを完了させることができませんでした。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体はコード ATC1 で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、端末管理再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き込みます。

CICS は、2 つのメッセージをコンソールへ送ります。1 つは端末管理再始動タスクによって検出されたエラーを識別するものであり、もう 1 つはタスクが失敗に終わったことを示す DFHTC1001 です。これらのメッセージに続いて、ダンプが作成されて CICS が異常終了したことを示すメッセージ、あるいは GO または CANCEL の応答を要求する 3 番目のメッセージが出されます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」と応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、端末管理は行われません。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHTCRP

ATC2

説明: VTAM が CICS 要求を拒否したために、CICS SET VTAM OPEN コマンドが失敗しました。

システムの処置: メッセージ DFHZC2302、DFHZC2304、または DFHZC2307 がコンソールに送られ、CICS がトランザクションを異常終

了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: RPL (VTAM 要求コードとともに) および戻りコードは、TCTVRVRA からアドレッシングされた RA プール内で見つけることができます。

z/OS Communications Server: SNA Programming を使用して、エラーの原因を判別し、必要な訂正処置をとってください。エラーを訂正した後で、要求を再試行するか、または CICS を終了させた後に都合のよいときにネットワークを再始動させるようにするかのいずれかを行うことができます。

モジュール: DFHZSLS

ATC3

説明: データ長が 0 の TLX 装置への書き込みが発行され、TIOA データ長 (TIOATDL) がゼロになりました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TLX 装置への書き込み時のエラーの場合、端末入出力域 (TIOA) に配置するデータのデータ長が書き込み時に提供されるようにして、ユーザー・プログラムのエラーを修正します。

モジュール: DFHZARL DFHZARQ

ATC4

説明: 重大な CAVM エラーが起きました。XRF TCB は異常終了しました。

システムの処置: CICS は異常終了し、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプおよび他のシステム・コンポーネントによって出されたメッセージの指示を使用して、根本的なエラーを診断し、訂正してください。

システム・ダンプの使用についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

モジュール: DFHTCRP

ATC5

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARL によって維持されている会話の状態が、DFHETL と DFHZARM によって共同維持されている状態と一致していません。

この問題は、CICS がアプリケーション・データを受け取っているときにも生じる可能性があります。CICS は、予想されたすべてのデータを受け取る前に、チェーンの終わりの通知を受け取る場合があります。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHETL

ATC6

説明: DFHETL が 65 528 バイトを超えるデータ長の SEND DATA 要求を持っています。65 528 バイトは DFHETL が処理できる最大バイト数です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHETL

ATC7

説明: DFHZSUP が、INITIAL-CALL 要求から DFHZARL への誤った応答を検出しました。この応答は、DFHLUC パラメーター・リスト内の DFHZSUP に戻されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHLUC パラメーター・リストの中のフィールド LUCCDRCD を調べてください。これは、DFHZARL の ENTRY/EXIT トレース・ポイントに現れます。トレースがオフになった場合には、トランザクション・ダンプ内の DFHZSUP の LIFO 項目で

このフィールドを見つけることができます。

- LUCCDRCD = 'A0000100' - セッション障害
- LUCCDRCD = 'A0010100' - 読み取りタイムアウト
- LUCCDRCD = 'A0010000' - デッドロック・タイムアウト

(LUCCDRCD のオフセットは、「CICS Data Areas」にあります。)

LUCCDRCD が X'00000000' である場合には、このエラーは接続障害によるものです。この場合、詳細な診断情報については、CSMT ログを調べてください。

モジュール: DFHZSUP

ATC8

説明: インバウンド機能管理ヘッダー (FMH) の処理時にエラーが起きました。長さエラーが検出された (例えば、不完全な FMH が受け取られた) か、FMH の中で無効なフィールドが検出されたかのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。問題は、おそらく、無効な FMH を送ってきたリモート・システムにあります。

モジュール: DFHETL

ATC9

説明: 最初に DFHKC SUSPEND を出さなかったタスクに、DFHKC RESUME マクロ呼び出しが出されました。DFHKC RESUME マクロは、DFHKC SUSPEND マクロを出した後にされなければなりません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース項目を調べて、エラーを突きとめてください。

モジュール: DFHZNCE

ATCA

説明: CICS アプリケーション・プログラムが DFHTC マクロを出したときに、システムが最終静止モードになっていました。

システムの処置: 入出力を要求しているタスクは異常終

ATCB • ATCE

了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZARQ

ATCB

説明: CICS アプリケーション・プログラムは、2 つの連続した DFHTC 書き込み要求または 2 つの連続した DFHTC 読み取り要求を出しましたが、どちらの場合も間に待機要求が入れられていませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 実行されているプログラムの中で訂正処置をとります。

これは、ほぼ確実にアプリケーション・プログラムのエラーです。アプリケーション全体の制御の流れを判別し、待機要求が途中で出されなかった理由を判別してください。アプリケーションの中で読み取りおよび書き込み要求が出されている場所を見つけるには、トレース・テーブルが役に立ちます。必要であれば、マスター端末コマンドを使用してトレースまたは補助トレースを開始して、トレース結果を入手するためのトランザクションを実行し直します。補助トレースの出力は、トレース・ユーティリティ・プログラム DFHTU720 を使用して印刷することができます。

問題判別: この異常終了はトランザクション・ダンプを作成します。そのダンプ内のレジスター 12 は、現在の TCA のアドレスを示し、レジスター 10 とフィールド TCAFCAAA は、このタスクに関連した TCTTE のアドレスを示します。TCATPOS2 のビット TCATPOWR (X'01') は、書き込みが DFHTC マクロによって要求されたことを示し、ビット TCATPORR (X'10') は、読み取りが要求されたことを示します。TCTTEOS のビット TCTTEOWR (X'01') は、書き込みが進行中であることを示し、ビット TCTTEORR (X'10') は、読み取りが進行中であることを示します。

分析:

| レジスター | ラベル | 説明 |
|------------|-----------|---|
| R10=@TCTTE | TCZARQ05 | ビット TCATPOWR は バイト TCTTEOWR にあり、 ビット TCATPOS2 は バイト TCTTEOS にあります。 |
| R12=@TCA | (TCZAQ1W) | |
| R10=@TCTTE | TCZARQ05 | ビット TCATPOWR は バイト TCTTEOWR にあり、 ビット TCATPOS2 は バイト TCTTEOS にあります。 |
| R12=@TCA | (TCZAQ2W) | |
| R10=@TCTTE | TCZARQ12 | ビット TCATPOWR は |

バイト TCTTEOWR にあり、
ビット TCATPOS2 は
バイト TCTTEOS にあります。

モジュール: DFHZARQ

ATCC

説明: パイプライン・セッションを使用するアプリケーション・プログラムが複数の書き込み要求を出したか、または 1 つの読み取り要求を出しました。トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

システムの処置:

ユーザーの処置: パイプライン・セッション端末に対して 2 つ以上の連続した WRITE を出さないように、アプリケーション・プログラムを訂正します。

モジュール: DFHZARQ

ATCD

説明: この異常終了コードは、CTYPE 要求または QUEUE 要求が出されて、VTAM または ZCP 機能がシステムに組み込まれていなかった場合に必ず使用されます。

このコードは、CICS システムが APPC をサポートするレベルになかった場合に、APPC コマンドを出すタスクを異常終了させるためにも使用されます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: VTAM がシステム内に生成されていなかった場合には、CTYPE マクロ命令が出されないようにそのトランザクションを訂正するか、あるいは CTYPE 要求または QUEUE 要求が出された対象となっている ZCP 機能を組み込みます。

モジュール: DFHZDSP、DFHZERH

ATCE

説明: CICS アプリケーション・プログラムは、TIOA のアドレスを指定せずに DFHTC 要求を出しましたが、その要求は、3270 データ・ストリーム端末に対する ERASE ALL UNPROTECTED 要求または READBUF 要求ではありませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 書き込み時に端末入出力域 (TIOA) が用意されていることを確認して、ユーザー・プログラムのエラーを訂正します。

これは、ほぼ確実にアプリケーション・プログラムのエ

ラーです。アプリケーション全体の制御の流れを判別し、TIOA が指定されなかった理由を判別してください。

問題判別: この異常終了はトランザクション・ダンプを作成します。そのダンプ内のレジスター 12 は、現在の TCA のアドレスを示し、レジスター 10 とフィールド TCAFCAAA は、このタスクに関連した TCTTE のアドレスを示します。レジスター 8 と TCTTEDA には、入出力要求で使用する TIOA のアドレスが入っていないかもしれませんが、実際にはゼロが入っています。3270 データ・ストリーム端末の場合は、バイト TCTETDST にはビット TCTETTSI (X'01') が設定されています。全無保護域消去要求は、バイト TCTTEEUB のビット TCTTEEUI (X'40') の設定内容によって示され、バッファ読み取り要求は、バイト TCTTERBB のビット TCTTERBI (X'80') の設定内容によって示されます。分析:

| レジスター | ラベル | 説明 |
|------------|----------|--|
| R10=@TCTTE | TCZARQ41 | NIOABAR (レジスター 8) はゼロです。レジスター 8 はこのタスクと関連した TCTTE の TCTTEDA フィールドによりロードされます。 |
| R8=0 | | |

モジュール: DFHZARQ

ATCF

説明: DFHTC CTYPE マクロが非 VTAM 端末管理テーブル端末項目 (TCTTE) に対して出されたか、あるいは DFHTC CTYPE=COMMAND マクロまたは RESPONSE マクロが VTAM 3270 TCTTE に対して出されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのプログラムが CTYPE マクロを VTAM 端末に対してのみ出し、VTAM 3270 に対しては CTYPE=COMMAND または RESPONSE を出さないようにしてください。

モジュール: DFHZCRQ

ATCG

説明: CICS アプリケーション・プログラムは、所有していない端末に対して DFHTC 要求を出しました。この所有権の問題は、そのタスクが前に WRITE, LAST 要求 (そのタスクから端末を切り離す) を出していたこと、または要求の宛先となる端末がそのタスクで正しく指定されていないことに起因している場合があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、

CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、ほぼ確実にアプリケーション・エラーと考えられます (ただし、ストレージが完全に重ね書きされている場合を除く)。トレース・テーブルからの流れを判別し、DFHZCP タスク消去ルーチン DFHZDET への要求または DFHTC WRITE, LAST が出された時期を判別してください。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しており、レジスター 10 には TCTTE のアドレスが入っています。TCTTE のアドレスは、非 ISC トランザクションの場合には TCAFCAAA から、バイト TCATPOC3 のビット TCATPTTA (X'40') がオンの場合 (DFHTC 要求に TERM=YES が指定されたことと、このトランザクションが ISC トランザクションであることを示す) には、TCATPTA から得られます。このようにして突き止められた TCTTE では、フィールド TCTTECA には TCA のアドレスが入っておらず、この TCA がこのタスクによって所有されていないことを示しています。

分析: フィールド TCTTECA に TCA のアドレスが入っていないような TCTTE を指定して DFHTC 要求が出されました。

| レジスター | ラベル | 説明 |
|------------|----------|------------------------------|
| R10=@TCTTE | TCZARQ05 | TCTTECA はレジスター 12 と等しくありません。 |

モジュール: DFHZARQ

ATCH

説明: このタスクは、ドメイン呼び出しが正常に完了される前に除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、そのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されたか、または CICS が出したページ要求によって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考え

ATCI • ATCK

られます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

CICS がタスクを除去するのは、アクティブ・タスクの存在によって保留される操作が完了できるようにするため、またはデータ保全性を確保するためです。例えば、CICS は、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルが存在するプールのカップリング・ファシリティ・データ・テーブル・サーバーがリサイクルしたと判断した場合、作業単位のすべての更新を確実にバックアウトするために、カップリング・ファシリティ・データ・テーブルに対するリカバリー可能な更新を行ったタスクを除去します。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHBSM62 DFHBSS DFHBSSZ
DFHBSTZ DFHBSTZV DFHBSTZ1 DFHBSTZ2
DFHTBSB DFHTBSBP DFHTBSD DFHTBDP
DFHTBSL DFHTBSLP DFHTBSQ DFHTBSR
DFHTBSRP DFHTBSP DFHTCRP DFHTOASE
DFHTOATM DFHTOLCR DFHTOLUI DFHTRZCP
DFHTRZIP DFHTRZPP DFHTRZXP DFHTRZYP
DFHTRZZP DFHZCQCH DFHZCQDL DFHZCQIQ
DFHZCQIS DFHZCQRS DFHZCQ00 DFHMRXM
DFH62XM

ATCI

説明: モジュール DFHRTSU の呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。最初のエラーを検出したモジュールは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したモジュールによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZSUP DFHMRXM DFH62XM

ATCJ

説明: この異常終了は、次の状況で DFHZATA により出されます。

- 端末からトランザクション CATA が出された。
-

AWE(TCAFCAAA) のアドレスがゼロである。

- AWE が無効である (TCTWETYP は TCTTEAWE でなければなりません)。
-

異常終了は、DFHZATA で早期に出されている。

この異常終了は、次の状況で DFHZATD により出されます。

- 端末からトランザクション CATD が出された。
-

AWE(TCAFCAAA) のアドレスがゼロである。

- TCAFCAAA は AWE であって、端末ではない。
-

異常終了は、DFHZATD で早期に出されている。

この異常終了は、次の状況で DFHZATR により出されます。

- 端末からトランザクション CATR が出された。
-

異常終了は、DFHZATD で早期に出されている。

システムの処置: CICS はその要求を拒否します。

ユーザーの処置: メッセージを出したプログラム、および異常終了の理由を判別して、次のように適切な処置をとってください。

端末から CATA、CATD または CATR を呼び出さないでください。

TCAFCAAA 内のアドレスが正しくない場合には、呼び出しのメカニズムに障害があります。これは、CICS 論理エラーです。

異常終了が出された場合には、トランザクション・ダンプを使用して、どこで異常終了が起こったのかを判別してください。これは、CICS 論理エラーです。

モジュール: DFHZATA、DFHZATD、DFHZATR

ATCK

説明: アプリケーション・プログラムが VTAM 端末に対して WRITE を出しましたが、その WRITE には、許可されていない CCOMPL=NO の指定がありました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのトランザクション・プロファイルの中に CHAINCONTROL を指定してください。

モジュール: DFHZARQ

ATCL

説明: このトランザクションと端末メッセージの自動ジャーナル処理または自動ロギングを行っているときに、エラーが起きました。ログに記録されているメッセージは、アプリケーション・プログラムの中の明示的な READ または WRITE と関連するものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ジャーナルまたはログ・レコードを正しく書き込めない理由を突き止めてください。ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL が壊されている可能性があります。

問題判別: レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ログ・マネージャ要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー
X'02' - INVREQ - 無効な要求
X'03' - STATERR - ステータス・エラー
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

TIOA のアドレスはレジスター 8 に入っており、そのデータ長は TIOATDL に入っています。

分析:

| レジスター | ラベル | 説明 |
|-------|-----|----|
|-------|-----|----|

| | | |
|---------|----------|-----------------|
| R4=@JCA | TCZARQPJ | JCAJCRC は非ゼロです。 |
|---------|----------|-----------------|

モジュール: DFHETL、DFHTCPCM、DFHZARQ

ATCN

説明: このトランザクションの最初の入力メッセージの自動ジャーナル化または自動ロギングを行っているときに、エラーが起きました。この入力メッセージは、トランザクションが実際に呼び出される原因となったメッセージです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、ログ・レコードを

正しく書き込むことができなかった理由を突き止めます。

ジャーナル・レコード長のエラーが示された場合には、TIOATDL (X'08') が壊されている可能性があります。

問題判別: レジスター 12 は、現行の TCA およびフィールド TCAJCAAD をアドレッシングし、レジスター 4 は JCA をアドレッシングします。ログ・マネージャ要求は JCATR2 に入っており、応答コードは JCAJCRC に入っています。

考えられる要求コードは次のとおりです。

X'8001' - WRITE
X'8003' - PUT

考えられる応答コードは、次のとおりです。

X'01' - IDERROR - ジャーナル ID エラー
X'02' - INVREQ - 無効な要求
X'03' - STATERR - ステータス・エラー
X'05' - NOTOPEN - ジャーナルが開いていない
X'06' - LERROR - ジャーナル・レコード長エラー
X'07' - IOERROR - 入出力エラー

分析:

| レジスター | ラベル | 説明 |
|-------|-----|----|
|-------|-----|----|

| | | |
|---------|----------------------|-------------------------------|
| R4=@JCA | TCZARQPJ TCZSUPJW | JCAJCRC は非ゼロです。 ジャーナル・エラー。 |
|---------|----------------------|-------------------------------|

モジュール: DFHZSUP DFH62XM DFHTFXM

ATCO

説明: アプリケーション・プログラムは、端末またはシステムによってサポートされていない機能の実行を試みました。

考えられるエラーは、次のとおりです。

1.

SIGNAL がサポートされていない。

WAIT=YES オプションを指定した DFHTC
TYPE=SIGNAL 要求が VTAM 論理装置に対して出されましたが、CICS は、SIGNAL 標識を受け取るためのサポートを備えていません。

2.

WRITE STRUCTURED FIELD がサポートされていない。

この書き込み要求は、この機能をサポートしない装置に対する STRFIELD キーワードを備えた SEND コマンドの結果として試みられたものと考えられます。

3.

APPC マップ式会話がサポートされていない。

ATCQ • ATCS

アプリケーションでは、APPC 非マップ式会話のために使用されているセッションでの通常の端末管理コマンドの実行が試みられました。(EXEC CICS GDS コマンドを出せるだけです。)

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムを訂正してください。

モジュール: DFHZARQ

ATCQ

説明: アプリケーション・プログラムが、送信状況にある端末に対して書き込み操作を出しました。この書き込みを進めることができるように、単一のコマンドが送られ、DFHZCP は方向変換標識を待っている端末からのデータの読み取りを開始しました。データ・レコードは、受け取られるたびに一時ストレージに入れられ、これらの操作のうちの 1 つについて一時ストレージ・エラーが起きました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージがシステムに含まれているかどうか、およびそこに十分なスペースがあるかどうかを調べます。

無効な要求が示されている場合には、一時ストレージへ書き出されているデータの長さが、VSAM 制御インターバル・サイズから 84 を差し引いた値よりも大きくないかどうかを調べます。データの長さは TIOATDL にあります (これは、DFHZCP によって読み込まれたデータの長さよりも 8 だけ大きくなっています)。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。TCACCSV1 には、一時ストレージ応答コードを含む TCATSTR の保管されたコピーが入っています。一時ストレージ応答コードには、次のものがあります。

X'04' - IOERROR - 入出力エラー
X'08' - NOSPACE - 一時ストレージ・スペースがない
X'20' - INVREQ - 無効な要求

一時ストレージ識別名は、文字ストリング『DFHQ』と、TCTTETI からの端末識別名を連結して構成されます。一時ストレージ識別名は、TCATSDI に入れられます。

レジスター 8 とフィールド TCTTEDA は、一時ストレージへ書き出されている TIOA アドレスを示しています。一時ストレージに渡されるアドレスは、TIOATDL のアドレスです。

分析: DFHTS TYPE=PUTQ の後に、一時ストレージ応答コードがゼロになっていませんでした。

レジスター ラベル 説明

R12=@TCA ZRAQ60 TCATSTR は非ゼロです。

モジュール: DFHZRAQ

ATCR

説明: 前の書き込み操作により、DFHZCP がロックアウトを避けるために端末からデータの先行読み取り操作を出した後で、アプリケーション・プログラムが読み取り操作を出しました。DFHZCP は、一時ストレージから保管されたデータを取り出すための DFHTS GETQ を出したところですが、そこでエラーが起きました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時ストレージ・エラーの原因を判別して、それを訂正してください。

一時ストレージ識別エラーが示されている場合には、TCTTETI に有効な端末識別名が入っているかどうかを調べます。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。TCACCSV1 には、一時ストレージ応答コードを含む TCATSTR の保管されたコピーが入っています。一時ストレージ応答コードには、次のものがあります。

X'01' - ENERROR - 入力エラー
X'02' - IDERROR - 識別エラー
X'04' - IOERROR - 入出力エラー
X'20' - INVREQ - 無効な要求

一時ストレージ識別名は、文字ストリング『DFHQ』と、TCTTETI からの端末識別名を連結して構成されます。一時ストレージ識別名は、TCATSDI に入れられます。

分析: DFHTS TYPE=GETQ の後に、一時ストレージ応答コードがゼロになっていませんでした。

レジスター ラベル 説明

R12=@TCA ZRAR90 TCATSTR は非ゼロです。

モジュール: DFHZRAR

ATCS

説明: アプリケーション・プログラムが、RCD (宛先変更要求) を伴う SIGNAL データ・フロー・コマンドを受け取った後で、論理装置へのデータの送信を試みました。この条件は、アプリケーションが IGREQCD 例外条件を誤って取り扱ったときに引き起こされます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IGREQCD 例外条件を正しく取り扱ってください。

モジュール: DFHZARQ

ATCT

説明: リモート所有されている端末を表すための代理 TCTTE を作成する試みが失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSUP DFHMRXM DFH62XM

ATCU

説明: アプリケーション・プログラムは論理装置へのデータの送信を試みましたが、このアプリケーション・プログラムは受信モードになっており (EIBRECV が設定されている)、先行読み取りキューイングがインストール済みプロファイル定義に指定されていません (RAQ=NO)。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EIBRECV が設定されなくなるまで受信要求を出すようにアプリケーション・プログラムを変更するか、または RAQ=YES をインストール済みプロファイル定義に指定します (RAQ=YES を指定した場合には、トランザクションの終了前にすべての入力メッセージが読み取られることを確認します)。

モジュール: DFHZARQ

ATCV

説明: アプリケーションで論理装置に対する操作が試みられましたが、それが次のいずれかの理由により正しいモードになっていませんでした。

1.

DFHZARQ によって出されている場合は、未解決の別の要求があるため (EIBSYNC が設定されている)、CICS はその要求を実行できない。これは、APPC または非 APPC システムにあてはまりません。

2.

DFHETL によって出されている場合は、アプリケーションは APPC システムと通信中であり、試みられた操作を実行するための正しい状態になっていない。これは、APPC システムだけにあてはまりません。

3.

DFHZISP によって出されている場合は、TCTTE 解放が要求されており、未解決の同期点要求が存在している。これは、非 APPC システムだけにあてはまります。

4.

DFHZISP によって出されている場合は、TCTTE 解放が要求されており、TCTTE は受信モードになっていて、インストール済みプロファイル定義内に RAQ=NO が指定されている。これは、非 APPC システムだけにあてはまります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 応答はエラーの理由によって、以下のようになります。

1.

同期点を出してから要求を出してください。

2.

解放要求を出してからセッション割り振りをし直してください。

3.

アプリケーションを変更して、EIBRECV の設定を解除するまで受信要求を出すか、またはインストール済みプロファイル定義に RAQ=YES を指定してください。(インストール済みプロファイル定義に RAQ=YES を指定する場合には、トランザクションが終了する前にすべての入力メッセージが読み取られるようにしてください。)

4.

コマンドの正しい使用法の規則が示されている CICS 資料を参照してください。その後でアプリケーションを訂正してください。

アプリケーション・プログラムは、論理装置上で操作を試みましたが、その操作は無効でした。その論理装置とのセッションにおけるプログラムの現在の状況では、そのような操作は許されていないためです。TCTTE (つまり、セッション)、状況バイト、および要求バイトの TCA タイプを調べれば、そのいずれに上記の問題が関係しているのかがわかります。

問題の原因が突き止められた場合には、次の要求がそのセッションを通じて送られてくる前に、セッション本位の情報に基づいた処置が確実にとられるように、アプリケーション・プログラムを変更しておかなければなり

せん。EXEC インターフェース・ブロック (EIB) にあるアプリケーション・プログラムでは、そのセッションを通じての RECEIVE、CONVERSE、または RETRIEVE 要求の実行に続いて、直ちにセッション状況情報が使用できるようになります。これ以降の操作がセッション上で試みられる前に、関連するバイトを示されている順に厳密にテストし、機能させるようにしなければなりません。さらに、状況情報バイトそれ自体は、必ずしも持続性のあるものではなく、EXEC CICS ステートメントの実行のたびに、それに先立ってリセットされます。したがって、後のテストに備えて、RECEIVE、CONVERSE、または RETRIEVE の実行後に、それらの情報をアプリケーション・ユーザー・ストレージに保管しておくことが適切なプログラミング手法といえます。状態としては、次のものがあります。

1. EIBSYNC

アプリケーションでは、同期点を取らなければなりません。

2. EIBFREE

アプリケーションでは、セッションを解放しなければなりません (または、終了しなければなりません。その場合にセッションが自動的に解放されます)。

3. EIBRECV

アプリケーションでは、さらに RECEIVE コマンドを出すことによってデータの受信を続けなければなりません。この状態にある間は、当然、データを送信することはできません。

場合によっては、これらの状況テストのいくつかを省略することができます (例えば、リモート・システムのアプリケーション・プログラム自体は同期点要求を決して出すことがないとわかっている場合には、EIBSYNC 状況のテストは必須ではありません)。ただし、特にリモート・アプリケーションが後日修正されると思われる場合には、常にテストを実行する必要があります。このような修正により、セッション処理論理も同様に変更されることが考えられるからです。また、リモート・トランザクション自体が、セッションに関する予期しない流れを引き起こしている場合もあります。例えば、リモート・プログラムがセッションを通じて EXEC CICS SEND..... LAST を出し、続いて RETURN を出した場合には、伝送されるデータ上に同期点要求 (RQD2) が追加されることになります。(アプリケーション・プログラマーは、このトピックの説明について、CICS 資料を参照してください)。このような追加の結果、ローカル・アプリケーションでは、予期しない同期点要求が受け取られます。同期点要求を受け付けずにセッションが解放された場合には、このローカル・アプリケーションが異常終了することになります。

注: APPC マップ式アプリケーションを処理しているときに状態エラーが起こった場合 (つまり、誤った状態にあるときに、プログラムがある操作の実行を試みた場合) には、モジュール DFHETL によっても ATCV 異常終了が引き起こされます。APPC マップ式アプリケーションの処理については、「CICS 診断リファレンス」で説明されています。前述のように、一部のコマンドは DFHZARQ によって処理され、その他のコマンドは、DFHETL によって呼び出される他の各種のモジュールによって処理されます。APPC のコマンド使用に関する規則は、CICS 資料で示されています。このガイドを参照することで、プログラミングのエラーが明らかになるはずです。

問題判別: レジスター 12 は現在の TCA のアドレスを示しています。レジスター 10 とフィールド TCAFCAAAA は、TCTTE のアドレスを示しています。同期点が必要である場合は、端末バイト TCTTECRE にビット TCTEUCOM (X'02') が設定され、空きセッションが必要である場合には、TCTEUFRT (X'04') が設定されます。アプリケーションが SEND モードであれば、TCTESMDI に TCTEUSMD (X'02') が設定されます。アプリケーションが RECEIVE モードである場合には、TCTERCVI に TCTEURCV (X'01') が設定されます。バイト TCTEIRAQ のビット TCTESRAQ (X'80') は、このトランザクションのためのインストール済みプロファイル定義に読み取り先行キューイングがコーディングされていることを示しています。

TCA の要求タイプ・ビットは、次のように設定されます。

- TCATPOS1 TCATPIS (X'01'>) 信号要求
— TCATPFRE (X'03') TCTTE 解放
- TCATPOS2 TCATPORR (X'10') 受信要求
— TCATPOWR (X'01') 送信要求

分析:

| 番号 | ラベル | 説明 |
|---------|----------|--------------------------------|
| DFHZARQ | | |
| 1. | TCZAQW8 | 同期点又は、空きセッション未解決の場合受信が試みられました。 |
| 2. | TCZAQ2W | 受信モードで送信が試みられました。 |
| 3. | ZARQNOPG | 送信モードで SIGNAL が発行されました。 |

DFHZISP

4. ZISPVTCK 同期点要求が未解決のままセッションを空けようと試みられました。

モジュール: DFHETL, DFHZARQ, DFHZISP

ATCW

説明: システムが、LU6.1 または APPC セッションのためのインストール済みプロファイル定義なしで生成されています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。

モジュール: DFHZSUP DFHMRXM DFH62XM

ATCX

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

ATCX 異常終了後に端末制御要求を出すアプリケーション・プログラムに、さらに問題があると考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHBSMIR, DFHBSPMP, DFHBSPM62, DFHBSS, DFHBSTB, DFHBSTB3, DFHBSTC, DFHBSTZ, DFHBSTZB, DFHBSTZO, DFHBSTZR, DFHBSTZV, DFHBSTZ1, DFHBSTZ2, DFHBSSZS, DFHAPRT, DFHCRP, DFHQRY, DFHZARL, DFHZARQ, DFHZERH, DFHZGET, DFHZFRE, DFHZNAC, DFHZRVS, DFHZSUP, DFHMRXM, DFH62XM DFHZTSP, DFHZXST

ATCY

説明: インバウンド機能管理ヘッダー (FMH) の処理時にエラーが起きました。長さエラーが検出された (例えば、不完全な FMH が受け取られた) か、FMH の中で無効なフィールドが検出されたかのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、

CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーにエラーを知らせてください。問題は、おそらく、無効な FMH を送ってきたリモート・システムにあります。

インバウンド FMH が旧リリースの CICS を使用したシステムからのものである場合は、USEDFTUSER を設定してください。『CICS セキュリティー』の 12 章の『Attach Time Security and the USEDFTUSER option』を参照してください。

モジュール: DFHZARQ, DFHZSUP DFHMRXM DFH62XM

ATCZ

説明: CICS VTAM ACB のオープン (例えば EXEC CICS SET VTAM OPEN または CEMT SET VTAM OPEN) の一環として、セキュリティ・ドメインに対して SET_NETWORK_IDENTIFIER 呼び出しを行ったところ、エラー (INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 応答) が起きました。最初のエラーが検出されたドメインには、例外トレース、コンソール・メッセージ、またダンプ・テーブルで指定したオプションによっては、システム・ダンプがあります。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。VTAM ACB がクローズされている。

ユーザーの処置: ダンプ、トレース、およびコンソール・メッセージを使用して、最初のエラーを診断し、訂正してください。以前に起きたエラーが解決されたら、コマンドを再試行してください。

モジュール: DFHZSLS

ATD3

説明: タスクが除去されました。おそらく CEMT TASK PURGE コマンドのようなオペレーターの処置が原因です。また、CICS が除去要求を出したためにタスクが除去された可能性もあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、タスクが除去された原因を突き止めてください。特に、オペレーターが除去を開始した場合、このタスクを明示的に除去する必要がある理由を突き止めるのに、トランザクション・ダンプが役立ちます。

モジュール: DFHTDB

ATD9

説明: ENQUEUE 要求または DEQUEUE 要求の処理中に、エンキュー (NQ) ドメインに対する呼び出しから正しくない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳しい情報については、ダンプおよびすべての例外トレース項目を調べてください。これは内部のエンキューにのみ使用されるため、この異常終了は CICS のエラーを示しています。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTDB

ATDC

説明: トランザクションが論理的にリカバリー可能な一時データ・キューに対して EXEC CICS READQ、WRITEQ、または DELETEQ コマンドを出しました。別のタスクが現在エンキューを所有しているため、タスクはエンキューされました。エンキューを取得するために待機しているときに、タスクが除去されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクションが除去された原因を調べてください。例えば、CEMT によって、または自動的に DTIMEOUT によって除去された可能性があります。

モジュール: DFHETD

ATDS

説明: デッドロック・タイムアウト条件が検出されました。この条件は、そのインストール済みトランザクション定義に DTIMOUT がゼロ以外となるように指定されたトランザクションの中で起こることがあります。デッドロック・タイムアウトは、DTIMOUT に指定された時間よりも長くトランザクションが待機した場合または延期された場合に発生します。

異常終了は、内部 CICS イベント ENQUEUE によって生成されます。

分析: ATDS 異常終了を受け取るトランザクションは、ENQUEUE 要求を出した後に中断されている必要があります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。ダンプは提供されません (ダンプ・テーブル・エントリ

ーがセットアップされている場合でも)。

ユーザーの処置: そのトランザクションを実行し直す必要があります。SUSPEND の原因となっている状況は、このトランザクション自体で十分に解消することができません。

ATDS 異常終了は、DTIMOUT がゼロに設定されていなければ、場合によっては予期されるものです。特別な処置は必要ありません。

モジュール: DFHTDB

ATDY

説明: 一時データ初期設定が失敗しました。この失敗の理由は、コンソール・メッセージ DFH12xx に示されています。

システムの処置: 一時データの初期設定は異常終了します。この異常終了に続いて、失敗に終わった機能について ATDZ の異常終了が必ず起こり、メッセージ DFHSI1521 (CICS が無条件に異常終了した場合) またはメッセージ DFHSI1522 (GO または CANCEL の応答を必要とする) が出されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因については、コンソール・メッセージを参照してください。メッセージ DFHSI1522 が出された場合には、それに応答します。

モジュール: DFHTDRP

ATDZ

説明: 一時データの初期設定で呼び出された CICS 機能が失敗に終わりました。失敗に終わった機能が一時データ・ルーチンであった場合には、この異常終了の前に、コンソール・メッセージ ATDY 異常終了コードが出されています。

システムの処置: 一時データの初期設定は異常終了します。この異常終了に続いて、メッセージ DFHSI1521 (CICS が無条件に異常終了した場合) またはメッセージ DFHSI1522 (GO または CANCEL の応答を必要とする) が必ず出されます。

ユーザーの処置: 失敗の原因に関する詳細については、関連するコンソール・メッセージを参照してください。メッセージ DFHSI1522 が出された場合には、それに応答します。

モジュール: DFHTDRP DFHTDB

ATFE

説明: CICS が CEDA CHECK または CEDA INSTALL コマンドを実行していたときに、ストレー

ジ・マネージャーへの FREEMAIN 要求が失敗しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプおよびストレージ・マネージャーによって出された関連メッセージを使用して、FREEMAIN 障害を調査してください。

モジュール: DFHTOUT1

ATGE

説明: CICS が CEDA CHECK または CEDA INSTALL コマンドを実行していたときに、ストレージ・マネージャーへの GETMAIN 要求が失敗しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: ダンプおよびストレージ・マネージャーによって出された関連メッセージを使用して、GETMAIN 障害を調査してください。

モジュール: DFHTOUT1

ATMA

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、そのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されたか、または CICS が出したページ要求によって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

CICS がタスクを除去するのは、アクティブ・タスクの存在によって保留される操作が完了できるようにするためです。

モジュール: DFHTMP

ATMB

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTMP

ATNA

説明: 端末オペレーターが NACP のためのトランザクション識別名を入力しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その NACP トランザクション識別名 (CSNE) を再入力しないでください。

モジュール: DFHZNAC

ATNB

説明: 読み取りタイムアウト状態のため、以前の要求が異常終了 AZCT で中断された端末について、アプリケーション・プログラムが端末管理要求を出しました。端末制御ブロックは、新しい要求を処理するのに適した状態ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了 AZCT を処理するときに異常終了を発行するようにアプリケーション・プログラムを変更します。

モジュール: DFHZARQ

ATNC

説明: タスクが除去されたため、以前の端末管理要求が異常終了 ATCH で中断された端末について、アプリケーション・プログラムが端末管理要求を出しました。端

末制御ブロックは、新しい要求を処理するのに適した状態ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了 ATCH を処理するときに異常終了を発行するようにアプリケーション・プログラムを変更します。

モジュール: DFHZARQ

ATND

説明: ノード・エラー・プログラム (NEP) または NACP が、タスクを異常終了させなければならないと判断しましたが、そのタスクは処理の重要な地点にあり、直ちに終了させるとシステムの保全性に危険をもたらす恐れがあります。

システムの処置: タスクが端末に対して次の何らかの処理を要求するか、またはその端末に関係する同期点要求を出した時点で、そのタスクを異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その他の詳細な情報が得られるのかどうか宛先 CSMT を調べます。ダンプを使用して、そのタスクが NEP によって異常終了させられた理由を判断します。多くの場合、異常終了 ATND は、リソースに関する問題が原因のタスクによる遅延応答に関連しています。遅延が十分に長い場合、ユーザーがエミュレーター・セッションを取り消すことがあり、それにより、ATND 異常終了がトリガーされます。これに該当すると思われる場合は、タスクでスローダウンやハングがないかを調べてください。

モジュール: DFHZARQ、DFHZARL、DFHZSUP

ATNI

説明: この異常終了には、2 つの形式があります。

VTAM 形式

ノード・エラー・プログラム (NEP) または NACP が、タスクを異常終了させなければならないかどうかを判断します。DFHZNAC が要求したモジュールに知らせ、そのモジュールが TC 単位の完了後にこのトランザクションを異常終了させます。

非 VTAM 形式

端末エラー・プログラム (TEP) または端末異常条件プログラム (TACP) が、タスクを異常終了させなければならないのかどうかを判断します。DFHTACP は、TC 単位の完了後にトランザクションを異常終了させるように DFHZARQ に通知します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、通常、ネットワーク装置が送られてきたデータ・ストリームを拒否するといったハードウェアの障害によって起こります。装置それ自体が、拒否した具体的な理由を表すエラー・コードを示している場合もあります。詳細については、CSMT ログを調べてください。

この異常終了コードは、ミラー・トランザクションが異常終了したなどの、接続されたシステムにおけるエラーから出されることもあります。

異常終了 ATNI は、ユーザー・アプリケーションが、外部リソース・マネージャー (DB2 など) からのエラー戻りコードを正しく処理しなかった場合に起こることがあります。

NEP(VTAM) 形式の場合には、論理装置に対して VTAM トレース・タイプ =BUF を実行して、そのエラーを再現します。

TEP (非 VTAM) 形式の場合には、その装置の回線またはローカル・チャネル・アドレスについてリンク・トレースを実行します。

データ・ストリームとエラー応答を調べて、エラーの原因を判別します。

この種のエラーは、TCT 中の定義が実際の装置の属性と一致しない場合に起こります。

モジュール: DFHZARL、DFHZARM、DFHZARQ、DFHZRAQ、DFHZSUP

ATOA

説明: ユーザーが、基本的な機能として端末から CESC トランザクションを呼び出そうとしました。これは許可されていません。

システムの処置: CICS は、CESC トランザクションを終了します。ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: CESC トランザクションが端末に対して実行されていないことを確認してください。

モジュール: DFHCESC

ATOB

説明: CICS が、EXEC CICS START TRANSACTION(CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。これは内部エラーが原因です。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM から

さらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOC

説明: CICS は、DFHZCUT に対するローカル・ユーザー ID テーブル (LUIT) のタイムアウト要求から異常な応答を受け取りました。これは DFHZCUT 内の内部エラーが原因です。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOD

説明: CICS が、EXEC CICS CANCEL TRANSACTION(CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOE

説明: CICS が、XRF の引き継ぎがいつ始まったかを判別できません。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOF

説明: CICS が、EXEC CICS DELAY TRANSACTION(CESC) 要求から異常な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOG

説明: CICS が、EXEC CICS START TRANSACTION(CEGN) から異常な応答を受け取りました。これは内部エラーが原因です。

システムの処置: CICS は CEGN トランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOH

説明: 無効な機能コードで CESC トランザクションを呼び出す試みが行われました。CESC トランザクションは、必ず CICS で呼び出してください。有効なコードは TERM_TIMEOUT、XRF_TIMEOUT、および ENABLE_TIMEOUT です。

このエラーが起きる主な理由としては、ユーザーが CESC を呼び出す試みが無効であることが考えられます。

システムの処置: CICS は CESC トランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CESC がどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS で呼び出されたのであれば、問題解決には IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCESC

ATOT

説明: CEGN トランザクションの呼び出し中にエラーが起きました。CEGN は EXEC CICS RETRIEVE コマンドを出し、CEGN パラメーター・リストを検索します。EXEC CICS RETRIEVE コマンドが失敗したか、失敗していない場合は検索されたデータが無効です。

このエラーが起きる主な理由としては、ユーザーが

ATOU • ATPE

CEGN を呼び出す (例えば端末から、あるいは EXEC CICS START 要求を通じて) 試みが無効であることが考えられます。

システムの処置: CICS は CEGN トランザクションを終了させ、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CEGN がどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS で呼び出されたのであれば、問題解決には IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

ATOU

説明: CEGN トランザクションが EXEC CICS RETURN を出そうとしましたが、このコマンドが失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

ATOV

説明: CEGN トランザクションが EXEC CICS GETMAIN、ASSIGN、または SEND を出そうとしましたが、このコマンドが失敗しました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCEGN

ATPA

説明: メッセージ・ドメインが所有する CICS メッセージの長さを予測しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTPR

ATPB

説明: メッセージ・ドメインから CICS メッセージを検索しようとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTPR

ATPC

説明: メッセージ・ドメインが所有する CICS メッセージの長さを予測しているときに、エラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTPQ

ATPD

説明: メッセージ・ドメインから CICS メッセージを検索しようとしているときにエラーが起きました。

システムの処置: CICS はそのトランザクションを終了させ、ダンプを作成します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTPQ

ATPE

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、そのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されたか、または CICS が出したページ要求によって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

CICS がタスクを除去するのは、アクティブ・タスクの存在によって保留される操作が完了できるようにするためです。

モジュール: DFHTPQ、DFHTPR

ATPF

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTPQ、DFHTPR

ATRA

説明: フィールド開発グローバル・トラップ出口プログラム DFHTRAP が、タスクの異常終了を要求しました。しかし、現在のアクティブ・タスクはシステム・タスクではなく (例えば、タスク・ディスパッチャー)、しかも異常終了しようとしていませんでした。

システムの処置: CICS は、トラップ出口に再び入ることがないようにその使用を禁止して、現在のアクティブ・タスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: これは、ユーザーが要求したタスクの異常終了です。

トラップを再び使用するのであれば、次のようにしてそれを活動化し直さなければなりません。

CSFE DEBUG,TRAP=ON

グローバル・トラップ出口は、必ず **IBM** サポート担当員と相談して使用してください。

モジュール: DFHTRP

ATSA

説明: TS ドメインからの内部要求以外によってトランザクション CTSD が接続されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CTSD トランザクションが開始された理由を調べてください。このトランザクションは、CICS の内部使用専用であり、ユーザーまたは端末から開始することはできません。

モジュール: DFHTSDQ

ATSB

説明: 無効なパラメーターを指定してトランザクション CTSD が接続されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHTSDQ

ATSC

説明: 一時ストレージ・コマンドの実行時に、タスクが取り消されました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが取り消された理由を調べてください。そのタスクは、マスター端末オペレーターによって取り消されたか、またはデッドロック・タイムアウト (DTIMEOUT) 機構あるいは読み取りタイムアウト (RTIMEOUT) 機構によって自動的に取り消された可能性があります。

モジュール: DFHEITS、DFHICP、DFHTSP

ATSD

説明: 一時ストレージ (TS) ドメインに対する要求から、INVALID 応答または DISASTER 応答を受け取りました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TS からの上記の応答を引き起こす原因となった以前の障害がありました。これ以前に起こった障害 (コンソール・メッセージおよびシステム・ダンプを伴っていた) を調べてください。

モジュール: DFHEITS、DFHICP、DFHTSP

ATSP

説明: タスクが、同じ作業単位で既に削除されているリカバリー可能 TS キューに対する WRITEQ TS 要求を出そうとしました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: キューが既に削除されている作業単位のリカバリー可能キューに対して WRITEQ TS 要求を出さないようにアプリケーションを修正してください。

モジュール: DFHEITS、DFHTSP

ATSQ

説明: 一時ストレージへの (または一時ストレージからの) データの移動に失敗しました。理由としては、CICS に渡された区域のサイズと、使用されるデータ長の長さが矛盾しているということが考えられます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: アプリケーション内の障害が起きた一時ストレージ要求を識別して、要求に指定された長さとデータ域のサイズが一致するかどうかを調べてください。必要に応じてアプリケーションを訂正してください。

注: DFHETS ではなく DFHTSP でエラーが起きた場合は、一時ストレージで内部論理エラーが起きた可能性があります。この場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEITS

ATSU

説明: IOERR が原因の DISASTER 応答が、一時記憶域 (TS) ドメインへの要求から受信されました。

システムの処置: そのトランザクションは終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一時記憶域レコードの作成中に障害が発生しました。恐らく、バッファの準備中に新規レコードが追加される前に IOERR が発生しました。失敗したレコードへの以降の参照を避けるために、キューを削除することをお勧めします。

モジュール: DFHEITS、DFHTSP、DFHICP

ATUF

説明: DYNALLOC SVC のパラメーター・リストを作成するために十分なスペースがありません。

システムの処置: タスクが異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFH99KO

AUxx 異常終了コード

AUEL

説明: CICS ユーザー出口管理の内部論理エラーです。これが発生するのは、EPB のチェーンのロック解放試行が予期せず失敗した場合です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHUEM、DFHERM

AUEP

説明: UERCPURG の戻りコードがユーザー出口プログラムによりユーザー出口ハンドラーに送られたために、そのタスクは異常終了しました。UERCPURG の値

は、マクロ DFHUEEXIT TYPE=EP,ID=xxxxxxx により定義されています。ここで、xxxxxxx は、出口プログラムを使用可能にする出口点です。このコードは、ドメイン内の出口点には適用されません。この出口プログラムがその値を返すのは、このプログラムが出口プログラミング・インターフェース (XPI) を使用して CICS サービスに対して要求を行ったとき、ならびに XPI 呼び出しに PURGED という RESPONSE コードがあったときです。出口プログラムでは、いかなる状況の下でも UERCPURG 戻りコードを設定してはなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この戻りコードの使用方法については、「CICS 用システム・プログラムの開発」を参照してください。

モジュール: DFHUEH

AWxx 異常終了コード

AW2A

説明: DFHW2A Web2.0 別名プログラムが、CICS Web サポートによって接続されていないトランザクションで実行されました。これは通常、CW2A トランザクションを端末から直接発行しようとするときに生じます。これはサポートされていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末から CW2A トランザクションを実行しようとししないでください。

モジュール: DFHW2W2

AWB2

説明: 別名タスクのトランザクション生成呼び出しを実行中に、CICS Web インターフェースがエラーを検出しました。

システムの処置: エラーを説明するメッセージ DFHWB0727 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれ、トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBXN

AWB3

説明: CICS Web トランザクションが、データまたは端末のユーザーによって間違った開始コードで不正に開始されました。

システムの処置: CICS Web インターフェースは開始されません。

ユーザーの処置: CICS Web トランザクション実行は、DFHXMAT ATTACH を使用してソケット・ドメインによってのみ開始されます。端末のユーザーまたはデータによって開始してはいけません。

モジュール: DFHWBXN

AWB4

説明: CICS Web トランザクション実行が、CWXXN トランザクションの開始コードを判別するための INQUIRE_TRANSACTION 呼び出しから不正な応答を受け取りました。

システムの処置: CICS Web インターフェースは開始されません。

ユーザーの処置: CICS Web トランザクション実行は、DFHXMAT ATTACH を使用してソケット・ドメインによってのみ開始されます。端末のユーザーまたはデータによって開始してはいけません。

モジュール: DFHWBXN

AWB5

説明: 要求されたポートが使用可能でないため、CICS Web インターフェース・サーバー・コントローラーが使用可能化処理を続行できませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目 4106 が作成され、メッセージ DFHWB0131 が出されます。

ユーザーの処置: 要求されたポートを使用している TCP/IP アプリケーションを終了し、CBWB を使用して機能を再度使用可能にするか、CWBC を使用して異なるポート番号を使用して CICS Web インターフェースを使用可能にします。

モジュール: DFHWBWM

AWB7

説明: CICS Web インターフェース環境変数プログラムが起動されましたが、起動トランザクションが有効な Web 環境で実行されていないと考えられます。

システムの処置: プログラムが例外トレース・ポイント 4623 を書き込みます。

ユーザーの処置: 環境変数プログラムがどのようにして呼び出されたかを突き止めてください。CICS Web インターフェースまたはビジネス論理インターフェースを介して、Web から開始されたトランザクションからプログラムを実行する場合にのみ意味をなします。

モジュール: DFHWBENV

AWB8

説明: CICS Web インターフェース環境ガーベッジ・コレクション・タスク CWBG が、端末から直接開始されました。これは許可されていません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHWBGB

AWB9

説明: ストレージ不足のため、CICS Web インターフェース接続マネージャーが失敗しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが取られません。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWBC01

AWBA

説明: CICS Web 受信プロセスが、Web 送信受信機能 DFHWBSR から例外応答を受け取りました。これは以下のエラーのいずれかである可能性があります。

- 分析プログラムでのエラー
- 分析プログラムが指定されていない
- 分析プログラムにリンクできない
- 分析プログラム・データ長エラー
- 分析プログラム・ヘッダー長エラー
- コード・ページ変換エラー
- ストレージ・エラーが発生した
- エラーで接続がクローズされた
- ソケットがエラーを受信する

システムの処置: クライアントと CWBO 一時データ・キューにエラー・メッセージが送られます。

ユーザーの処置: 異常終了が発生した原因を判別するには、この異常終了に伴うエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBXN

AWBB

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムへの着信パラメーター・リストが予想しない形式になっています。現在、構造が固定されていると思われ、1 つのバージョン・レベルしか認識されません。

システムの処置: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムは実行されません。

ユーザーの処置: 正しい形式のパラメーター・リストをプログラムが受信することを確認してください。

モジュール: DFHWBBLI

AWBC

説明: COMMAREA が CICS Web インターフェース・ユーティリティ・プログラムに渡されませんでした。CICS Web インターフェースで提供されたユーティリティ・プログラムのいずれかが実行されましたが、渡された COMMAREA が不在であったか、または短すぎて有効な情報を含むことができませんでした。

システムの処置: CICS Web インターフェース・ユーティリティは実行されません。

ユーザーの処置: 起動するユーティリティに必要なパラメーターを含むことができる長さを持つ

COMMAREA を、プログラムが渡すことを確認してください。

モジュール: DFHWBENV, DFHWBTL

AWBD

説明: CICS で認証に失敗したか、Web 受信プロセスが Web 送信受信機能 DFHWBSR から例外応答を受け取ったため、CICS で直接接続ユーザー・トランザクションのトランザクション初期設定中にエラーが検出されました。これは以下のエラーのいずれかである可能性があります。

- ストレージ・エラーが発生した
- 要求内のメソッドがサーバーで実装されていない
- ソケットがエラーを受信する
- 要求ヘッダーが無効である
- コード・ページ変換エラー
- エラーで接続がクローズされた

システムの処置: クライアントと CWBO 一時データ・キューにエラー・メッセージが送られます。

ユーザーの処置: 異常終了が発生した原因を判別するには、この異常終了に伴うエラー・メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBXM

AWBE

説明: コンバーター・プログラムが応答バッファのアドレスの変更を許可されていないときにこれを行おうとしたことを、CICS Web インターフェースが検出しました。

システムの処置: 新しい応答バッファ内のデータは Web ブラウザーに返されません。CICS トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 変換パラメーター・リストの converter_volatile フラグが '1' に設定されている場合にのみ、変換プログラムは応答バッファを置換できます。このフラグが '0' に設定されているときは、コンバーター・プログラムが新しい応答バッファを返そうとしていないことを確認してください。

モジュール: DFHWBBLI

AWBF

説明: CICS Web インターフェース別名がその初期設定内のエラーを検出しました。別名が EXEC CICS START によって開始されなかったか、または開始データ用の EXEC CICS RETRIEVE コマンドにエラーがありました。

システムの処置: EXEC CICS RETRIEVE にエラーがある場合、CWBO 宛先にメッセージ DFHWB0103 が書き込まれます。CICS トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 別名が EXEC CICS START によって開始されなかった場合、これが端末から開始されているかどうかを調べてください。これは許可されていません。端末から開始されていない場合、手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBBA

AWBH

説明: CICS Web インターフェース別名が論理エラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目 454F が作成されます。メッセージ DFHWB0106 が CWBO 宛先に書き込まれます。CICS トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBBA

AWBI

説明: CICS Web インターフェース別名が EXEC CICS ASSIGN STARTCODE から予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: 例外トレース項目 4544 が作成されます。メッセージ DFHWB0102 が CWBO 宛先に書き込まれます。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBJ

説明: CICS Web インターフェース別名が、RP TCB に切り替えたときに予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: 例外トレース項目 454E が作成されます。メッセージ DFHWB0105 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBK

説明: CICS Web インターフェース別名が、要求を処理していたコンバーターまたは CICS プログラムの異常終了を検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目 4550 が作成されます。メッセージ DFHWB0108 が CWBO 宛先に書き込まれます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBA

AWBL

説明: CICS Web インターフェース別名が、プログラム DFHWBBLI で EXEC CICS LINK コマンドのエラーを検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目 4543 が作成されます。メッセージ DFHWB0101 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られません。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBM

説明: CICS Web インターフェース別名が、ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI からのエラー応答を検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0101 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBN

説明: CICS Web インターフェース別名が、プログラム DFHWBEP で EXEC CICS LINK コマンドのエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0101 が CWBO 宛先に書き込まれます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBO

説明: CICS Web インターフェース別名プログラムが HTTP サービスに対する非 HTTP 要求を受け取ったか、SSL 要求が非 SSL TCIPSERVICE に送信されました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0114 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれ、トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース項目 4567 も書き込まれます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA

AWBP

説明: アプリケーションがソケットを介したチャUNK化された応答の送信を開始したが、長さがゼロのチャUNKで Web 送信チャUNK・コマンドのシーケンスを終了しなかったことが CICS Web インターフェース別名で検出されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: アプリケーションをチェックして、終了チャックが送信されなかった理由を確認してください。

モジュール: DFHWBA

AWBQ

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムがパラメーター・リスト内のエラーを検出しました。

システムの処置: ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4581' が作成され、メッセージ DFHWB0119 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれます。Web インターフェース・プログラム DFHWBA1 から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4560' が作成され、メッセージ DFHWB0124 が CWBO 宛先に送信されます。トランザクション・ダンプが取られます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBA1, DFHWBBLI

AWBR

説明: CICS Web ビジネス論理インターフェース・プログラムが論理エラーを検出しました。

システムの処置: ビジネス論理インターフェース・プログラム DFHWBBLI から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4583' が作成され、メッセージ DFHWB0118 が CWBO 一時データ宛先に書き込まれます。Web インターフェース・プログラム DFHWBA1 から異常終了が出された場合、例外トレース項目 '4558' が作成され、メッセージ DFHWB0123 が CWBO 宛先に送信されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBA1, DFHWBBLI

AWBU

説明: CICS Web インターフェース接続マネージャーが、端末にメッセージを送信するためにストレージを取得できませんでした。

システムの処置: 処理を続行します。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBC01

AWBV

説明: CICS Web インターフェース接続マネージャーが EXEC CICS DEQ でエラー応答を検出しました。

システムの処置: 例外トレース項目 4345 が作成されます。メッセージ DFHWB1651 が CWBO 宛先に書き込まれます。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWBC04

AWBX

説明: CICS Web インターフェース接続マネージャーが、無効な端末タイプに対して開始されました。

システムの処置: 例外トレース項目 4308 が作成されます。メッセージ DFHWB1522 が CWBO 宛先に書き込まれます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBC01

AWBZ

説明: CICS Web インターフェース接続マネージャーが EXEC CICS EXTRACT EXIT に対する NOTAUTH 応答を検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB1902 が CWBO 宛先に書き込まれます。

ユーザーの処置: 手引きについては関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWBC0B

AWC1

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、異常終了したトランザクションを開始した Web 端末トランザクション・タスクとのパートナー関係を確立できませんでした。

システムの処置: 例外トレース項目 4106 が作成され、メッセージ DFHWB0131 が出されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

AWC2

説明: 接続処理で、無効な状態のトークンが CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT に渡されました。

システムの処置: 例外トレース項目 410C が作成され、メッセージ DFHWB0130 が出されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。使用中の CICS 領域上では、多くの場合、Web 3270 ガーベッジ・コレクション・プロセスが状態データを廃棄した後にブリッジ・トランザクションが開始されたことが原因です。

モジュール: DFHWBLT

AWC3

説明: CICS Web 3270 機能を使用するアプリケーションが、BMS と端末管理コマンドの、サポートされない組み合わせを出しました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

AWC4

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、前のエラーを返した後に再起動されました。

システムの処置: 例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBLT

AWC5

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、brxa ユーザー域の getmain を行うことができなかったため接続処理中に異常終了しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0132 が出され、例外トレース項目 410D が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、CICS にストレージの問題があることが考えられます。

モジュール: DFHWBLT

AWC6

説明: CICS Web インターフェース 3270 ブリッジ出口 DFHWBLT が、その要求パラメーターまたは状態データ内に不整合があることを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0133 が出され、例外トレース項目が作成されます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、ストレージが上書きされたことが考えられます。

モジュール: DFHWBLT

AWC7

説明: CICS Web 別名トランザクションのトランザクション初期設定中に、CICS がエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFHWB0360 が出されず。この異常終了では、トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。この異常終了の原因としては、CICS Web インターフェース分析プログラムのユーザー置き換え可能モジュールによって CICS に無効なユーザー ID が渡されたことが考えられます。以下の場合に、ユーザー ID が無効になります。

- ユーザー ID が外部セキュリティ・マネージャーに定義されていない。
- ユーザー ID が取り消されている。
- ユーザー ID がこの CICS 領域へのアクセスを許可されていない

モジュール: DFHWBXM

AWC8

説明: CICS Web 別名トランザクションのトランザクション初期設定中に、CICS がエラーを検出しました。

システムの処置: この異常終了では、トランザクション・ダンプがとられます。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用してユーザー応答を決定してください。

モジュール: DFHWBXM

AWC9

説明: CICS IPCONN 獲得サーバー・サイド・トランザクションのトランザクション初期化中に、CICS がエラーを検出しました。

システムの処置: この異常終了の前に、重大なエラー・メッセージが出され、システム・ダンプが作成されているはずです。

ユーザーの処置: 関連する診断を使用して、問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHWBXM

AWKY

説明: ウォーム・キーポイント処理中に、グローバル・カタログを使用してレコードの PURGE または WRITE を行うよう要求されましたが、失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: グローバル・カタログまたはローカル・カタログを使用して、問題を調べてください。詳細については、CICS カタログ・ドメインが出した DFHCCnnnn メッセージを参照してください。

モジュール: DFHWKP

AWSA

説明: DFHWSSE1 が EIB のアドレッシングに失敗しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWSSE1

AWSC

説明: SOAP フィーチャー・パイプライン・ステージが必要とするコンテナが見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前のパイプライン・ステージのユーザー作成プログラムが正しいコンテナを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHWSPMI、DFHWSPMO

AWSD

説明: DFHWSSE1 がコンテナの読み取りに失敗しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWSSE1

AWSH

説明: パイプライン・マネージャーによって、SOAP フィーチャー・パイプラインのステージを表す BTS アクティビティの状態が正しくないことが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 以前のパイプライン・ステージのユーザー作成プログラムが正しい BTS プロトコルを使用していることを確認してください。

モジュール: DFHWSPMI、DFHWSPMO

AWSJ

説明: DFHWSSE1 がコンテナの長さの取得に失敗しました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWSSE1

AWSL

説明: SOAP フィーチャー・インバウンド・パイプライン・マネージャーがメッセージ・アダプターにリンクできませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 前の CICS メッセージを確認して、メッセージ・アダプターにリンクできなかった原因を判別してください。

モジュール: DFHWSPMI

AWSN

説明: EXEC CICS DEFINE COUNTER または EXEC CICS GET COUNTER コマンドから誤った応答が返されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: オプション・テーブル DFHNCOPT で、考えられるエラーを確認してください。CICS ジョブ・ログで AXMSCnnnn メッセージを探してください。

モジュール: DFHWSDSH

AWSP

説明: Web サービス要求を行うアプリケーションから、長さが 256 バイトを超える SOAPAction HTTP 要求ヘッダーが SOAP フィーチャー・パイプラインに渡されました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: Web サービスを呼び出すアプリケーションによって、長さが 256 バイトを超える SOAPAction ヘッダーが作成されないことを確認してください。

モジュール: DFHWSRT

AWSQ

説明: これは、パイプラインのユーザー・ステージが異常終了した場合の正常な動作です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ユーザー異常終了を修正してください。

モジュール: DFHWSPMI

AWSR

説明: アプリケーションが Web サービス要求を行うために SOAP フィーチャー・パイプラインを呼び出したときに、TARGET-URI コンテナまたは REQUEST-BODY コンテナが見つかりませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要なコンテナが Web サービス要求を行っているアプリケーションで提供されることを確認してください。

モジュール: DFHWSRT

AWSS

説明: パイプラインとは異なるトランザクション ID またはユーザー ID の下でメッセージ・アダプターを呼び出すように SOAP フィーチャー・サービス・プロバイダー・パイプラインが要求されましたが、要求を満たすことができませんでした。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 要求されたトランザクション ID およびユーザー ID が有効であること、およびパイプラインを実行しているユーザー ID が要求されたユーザー ID の代理であることを確認してください。

モジュール: DFHWSPMI

AWST

説明: SOAP フィーチャー・パイプラインの HTTP または WebSphere MQ トランスポート・ステージで入力または出力エラーが検出されました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: CICS または WebSphere MQ メッセージを使用して、問題の原因を判別してください。エラーは一時的なものである可能性があり、その場合は再試行できます。

モジュール: DFHWSTOH

AWSU

説明: 無効な URI が Web サービス・プロバイダーの場所として SOAP フィーチャー・リクエスター・パイプラインに渡されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: Web サービス要求を行っているアプリケーションで Web サービス・プロバイダーの場所として有効な URI が指定されていることを確認してください。

モジュール: DFHWSRT

AWSX

説明: DFHWSSE1 が予期しない応答を WSSE API から受け取りました。

システムの処置: タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM に連絡して、この問題を解決する必要があります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHWSSE1

AWSY

説明: DFHPIRT アウトバウンド・ルーター・プログラムで、問題が発生しました。通常、これは、DFHPIRT によって使用されるコンテナの 1 つにデータが正しく取り込まれなかったことを暗黙に示します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

AXxx 異常終了コード

AXF0

説明: タスクが動的ストレージ域 (DSA) 内のストレージ不足のために除去されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: しばらくしてからそのトランザクションを再試行してください。

ストレージ不足条件が続く場合には、CICS DSA のサイズ限界を大きくしてください。DSA は、CEMT 発信端末コマンドに DSALIM および EDSALIM パラメーターを使用して、動的に変更することができます。

モジュール: DFHXFP

AXF1

説明: ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMGF は、DFHXFP が予期しない条件を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、CICS ストレージに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

AXF2

説明: DSA 内のストレージ不足のために、タスクが除去されました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: しばらくしてからそのトランザクションを再試行してください。

ストレージ不足状態が持続する場合は、DFHSIT DSA パラメーターを使用して、動的ストレージ域のサイズを大きくしてください。

ンザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHPIRT を使用しているアプリケーションが、パイプライン処理に必要な制御コンテナに正しくデータを取り込んでいることを確認してください。

モジュール: DFHPIRT

モジュール: DFHXFP

AXF3

説明: ストレージ・マネージャー・モジュール DFHSMMC は、DFHXFP が予期しない条件を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、CICS ストレージに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

AXF4

説明: EXEC インターフェース・サービス・ルーチン・モジュール (DFHEISR) への GET_BUFFER 要求が正しく完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したドメインが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態

AXF5 • AXFE

が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHXFX

AXF5

説明: EXEC インターフェース・サービス・ルーチン・モジュール (DFHEISR) への呼び出し時にエラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が起こりました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によっては、システム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHXFX

AXF8

説明: ファイル制御コマンドで TOKEN, CONSISTENT, REPEATABLE, UNCOMMITTED, NOSUSPEND などのキーワードが指定されていますが、該当する機能がシップ先システムでサポートされません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ファイル専有領域内の CICS が正しいレベルであることを確認してください。

モジュール: DFHXFX

AXFA

説明: リモート・システムへ送るファイル管理要求のキーの長さはファイル管理テーブルから入手しなければなりません。その長さがゼロであることが分かりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのキーの長さが、使用されているリモート・ファイル定義の中に定義されるか、または使用しているアプリケーション・プログラムからの長さオプションとして定義されるようにしてください。

モジュール: DFHXFP

AXFB

説明: 受け入れることのできないタイプの機能管理ヘッダー (FMH) が検出されました。これは、タイプ 05、タイプ 06、またはタイプ 43 でなければなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFC

説明: データ形式変更プログラムに渡された要求は、CICS にとって不明のものです。ユーザーのノード・エラー・プログラム (DFHZNEP) から無効な EXEC CICS START 要求が出されたために、このような異常終了が MRO/IRC システムで起こる可能性もあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS 用システム・プログラムの開発内から EXEC CICS コマンドを使用する際の制約事項については、「」を参照してください。コマンドの使用が異常終了の原因でない場合は、IBM のサポートが必要です。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFD

説明: データ形式変更プログラムに渡された要求 (ストレージ管理要求など) をリモート・システムへ送ることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFE

説明: 要求された変換が存在していません。例えば、DL/I スケジュール応答は、データ変換プログラム内の

アウトバウンド要求処理プログラムでは認識されません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFF

説明: 受け入れることのできないキュー編成が、キュー・モデル機能管理ヘッダー (FMH) の中で検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFG

説明: 受け入れることのできない引数の数が、タイプ 43 の機能管理ヘッダー (FMH) の後のデータで検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFH

説明: タイプ 43 の機能管理ヘッダー (FMH) に続くデータの中にある引数番号は、受け入れることができますが、引数自体が予期されていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFI

説明: WRITEQ TD または READQ TD のデータの長さが、ゼロになっています。この異常終了は、ファイル管理要求の長さを判別している場合にも起こる可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFJ

説明: UIBFCTR および UIBDLTR に保持されているエラー・コードを、相当する SNA エラー・コードに変換することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFL

説明: 変換プログラム 2 および 4 は、機能管理ヘッダー (FMH) と、おそらくはそれに続くユーザー・データを受け取ることを予期しています。しかし、ヌルのデータ・チェーンが受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFM

説明: ISCINVREQ 状態が発生しました。これは、資源がまだ別のリモート・システム上にあることがわかった場合、つまり、環状チェーニングが活動中であった場合に起こることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 要求の環状チェーニングが意図されたものであること、および関連するシステム間リンクがす

AXFN • AXFT

べてサービス中であることを確認してください。

モジュール: DFHXFP

AXFN

説明: ユーザー・ドメイン・モジュール DFHUSAD が、DFHXFX で予期されていない状態を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連する CICS メッセージ、異常終了、または例外トレースを探し、ユーザー・ドメインまたはセキュリティ・ドメイン内で前に障害があったかどうかを判別してください。

モジュール: DFHXFX

AXFO

説明: タスク生成機能管理ヘッダー (FMH) の DS パラメーターおよび DBA パラメーターに関する検査が失敗に終わりました。この異常終了は、システム間リンクの両端に関するシステム定義に不一致があることに起因したユーザー・エラーを表しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFP

説明: CICS には、機能管理ヘッダー (FMH) に続く 2 番目の FMH が必要ですが、その 2 番目の FMH は受け取られませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFQ

説明: 受け入れられたばかりの機能管理ヘッダー (FMH) は、有効な FMH であるには短すぎるか、または長すぎます。あるいは、予期した FMH が存在しません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・プロファイル・パ

ラメーター INBFMH が ALL に設定されているかどうか調べてください。分散プログラム・リンクで通信を行っている場合は、要求された機能がパートナーのシステムでサポートされていることを確認してください。

モジュール: DFHXFP

AXFR

説明: CICS コマンド・レベル・インターフェースでは、データの最大長は 32 767 に限られています。受け取られたばかりのデータの長さが、この限界を超えています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFS

説明: PSB が正常にスケジュールされました。しかし、最大入出力域の長さが 65 535 を超えていました。この異常終了は、大きなセグメントを検索するために経路呼び出しを使用した場合、または FLS によって過大なセグメントの展開を引き起こした場合 (あるいはその両方) に起こることが考えられます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFT

説明: 出力の入出力域サイズの見積もりが行われましたが、そのサイズは可能な最大サイズである 65 535 を超えています。

注: 見積もられたサイズが実際のサイズを超えているとしても、その差は数バイトに過ぎません。

この異常終了は、複数のセグメントの呼び出し、挿入、または置換がデータベースで行われ、多くの修飾セグメント探索指数が指定された場合に起こる可能性があります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXFU

説明: 線形 (一時ストレージ・) キューに関係した機能管理ヘッダー (FMH) に、2 レベル・カーソルがあります。しかし、これらのカーソルは、階層キューの場合にだけ有効なものであって、CICS によってはサポートされていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHXFP

AXFV

説明: ユーザー・ドメイン・モジュール DFHUSAD が、DFHXFX で予期されていない状態を戻しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連する CICS メッセージ、異常終了、または例外トレースを探し、ユーザー・ドメインまたはセキュリティ・ドメイン内で前に障害があったかどうかを判別してください。

モジュール: DFHXFX

AXFW

説明: いずれかのデータ変数に対応する CICS コマンド・レベル要求に、無効な長さが指定されました。

CICS が構成した FMH には、指定された各パラメーターごとにゼロまたはそれ以上の自己記述データ変数が続いています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CICS コマンド・レベルに無効な長さまたはゼロの長さが指定されているかどうか、またはユーザー作成のノード・エラー・プログラム (NEP) にデータの切り捨てが指定されているかどうかを調べてください。

モジュール: DFHXFP

AXFX

説明: 以下の原因で APPC リンクによる機能シップ要求が失敗しました。

- ・ リモート・システムで全同期点プロトコルがサポートされない
- ・ 交換ログ名シーケンスが失敗し、不一致となった可能性がある
- ・ 要求が割り振られている時間 (10 秒) 内に完了しなかった

システムの処置: CICS はそのタスクを異常終了させます。

ユーザーの処置: 要求が正しいリモート・システムに送信されたこと、およびリモート・システムが全同期点プロトコル (同期レベル 2) をサポートするようにセットアップされていることを確認してください。

モジュール: DFHXFP

AXFY

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: リモート CICS システムに対する接続を調べて、確立し直してください。

モジュール: DFHXFP

AXFZ

説明: モニター・ドメイン・モジュール DFHMNOD が、DFHXFX で予期されていない状態を返しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 関連する CICS メッセージ、異常終了、または例外トレースを探し、モニター・ドメイン内で前に障害があったかどうかを判別してください。

モジュール: DFHXFX

AXGA

説明: プログラム DFHAPCR は予期しない応答を返しました。DFHAPCR は以下の機能を実行します。

・

AXGB • AXMA

チャンネルを構成するすべてのコンテナのコンテンツを抽出し、これらをリモート・システムに送信します。

•

リモート・システムから受け取ったインバウンド・データからチャンネルおよびコンテナを再作成します。

DFHAPCR は、インバウンド・データ内にエラーを検出したか、チャンネル・データの抽出または再作成中に予期しない応答を受け取りました。

このエラーの原因の 1 つは、トランザクション・チャンネルがサポートされない CICS リリースに、チャンネルおよびコンテナを使用している EXCI ジョブが DFHTRANSACTION チャンネルを送信したことです。CICS TS 5.2 以上では、トランザクション・チャンネルがサポートされます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、コンテナを管理するプログラム・マネージャーに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。プログラム・マネージャーまたは DFHAPCR からの例外トレース項目を調べて、エラーの原因を判別してください。

EXCI ジョブが CICS TS 5.2 より前のシステムにトランザクション・チャンネルを送信している場合は、非トランザクション・チャンネルを使用するように EXCI ジョブを変更します。

モジュール: DFHXFX,DFHXFP

AXGB

説明: アプリケーション・コンテキスト処理モジュール DFHMNAC が、IS_ACD_SET 機能から予期しない応答を返しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHXFP

AXGC

説明: アプリケーション・コンテキスト処理モジュール DFHMNAC が、GET_ACD 機能から予期しない応答を返しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHXFX、DFHXFP

AXGD

説明: アプリケーション・コンテキスト処理モジュール DFHMNAC が、MIRROR_ACD 機能から予期しない応答を返しました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: DFHXFX、DFHXFP

AXGE

説明: チャンネル名 DFHTRANSACTION が指定された分散プログラム・リンク (DPL) 要求で、端末入出力域 (TIOA) に対して大きすぎる COMMAREA も指定されています。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 要求で COMMAREA に対して正しい長さが使用されているかを確認してください。

DFHTRANSACTION チャンネルが指定されている場合、COMMAREA のサイズは 24 KB を超えてはなりません。この場合、24 KB を超えるサイズに対応するには、COMMAREA の代わりにユーザー・チャンネルを指定してください。

モジュール: DFHXFP

AXMA

説明: トランザクション・マネージャー・ドメイン内でロックを獲得中に、エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このリカバリー・ルーチンがメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMBD、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMFD、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMST、DFHXMMA、DFHXMMD、DFHXMME

AXMB

説明: トランザクション・マネージャー・ドメイン内でロックを解放中に、エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このルーチンはメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュールのリストについては、診断リファレンスを参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMBD、DFHXMCL、DFHXMDD、DFHXMFD、DFHXMLD、DFHXMQD、DFHXMST、DFHXMSTA、DFHXMMD、DFHXMSE

AXMC

説明: 固有のトランザクション番号を新しいトランザクションに割り振っているときに、重大エラーが起きました。

システムの処置: 制御下にあるモジュールのリカバリー・ルーチンが呼び出されます。このルーチンはメッセージ DFHXM0002 を出し、システム・ダンプを作成します。DFHXM0002 によって、エラー時に制御下にあったモジュールがわかります。

ユーザーの処置: 詳細については、DFHXM0002 の説明を参照してください。

モジュール: DFHXMAT、DFHXMSE

AXMD

説明: CICS 内部タスク CSXM をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSXM をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHXMAB

AXMU

説明: トランザクションの接続中に、トランザクションに割り当てられたユーザー ID が無効であることが判明しました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: 無効なユーザー ID がどのようにトランザクションに割り当てられたのかを判別してください。ユーザー置き換え可能モジュールによって出力された可能性があります。

モジュール: DFHXMAT

AXMY

説明: トランザクションのタスク生成中、トランザクション・クラス・メンバーシップの獲得を行っている際に、予期しないエラーが起きました。

システムの処置: このトランザクションはクラス・メンバーシップとはみなされず、その後異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプを使用して、トランザクションがトランザクション・クラスのメンバーシップを獲得できなかった理由を調べてください。

モジュール: DFHXMAT

AXMZ

説明: 他のコンポーネントで起きた重大エラーが、トランザクション・マネージャー・ドメインによって検出されました。

システムの処置: 制御下にあるタスクが異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。障害が起きたコンポーネントによって、さらに詳しい診断が得られているはずです。

ユーザーの処置: 以前に出されたメッセージを探して、問題の原因を突き止めてください。詳細については、以前に出されたメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHXMSTA

AXSA

説明: 必要なステップに失敗したために、CICS セキュリティー管理タスクを完了させることができませんでした。そのタスクでは、重要ないくつかのリカバリー操作は実行されましたが、タスクそれ自体がコード AXSA で異常終了しました。

システムの処置: CICS は、セキュリティ管理再始動タスクに関するトランザクション・ダンプを書き出します。

CICS はメッセージをコンソールに送ります。1 つは、セキュリティ管理タスクによって検出されたエラーを識別するものです。初期設定時にエラーが起こった場合には、他のメッセージが、セキュリティの初期設定または CEMT PERFORM SECURITY REBUILD が失敗したことを示します。これらのメッセージに続いて、ダ

ンプが作成されて CICS が異常終了したことを示すメッセージ、あるいは GO または CANCEL の応答を要求する 3 番目のメッセージが出されます。先に起こったエラーの性質によっては、他のシステム・コンポーネント (例えば、アクセス方式) からメッセージが出されることもあります。

ユーザーの処置: CICS が応答を要求している場合には、まず、それに応答する必要があります。「GO」で応答した場合には、CICS の処理は続行されますが、外部セキュリティ・マネージャーのためのサポートは含まれません。CICS セキュリティは、依然として作動しています。「CANCEL」と応答した場合には、CICS は異常終了し、ダンプが作成されます。

メッセージとダンプを使用して、障害の原因を調べてください。

モジュール: DFHXSMN

AXSB

説明: システム・トランザクションが端末から開始されましたが、これは許可されません。カテゴリ 1 トランザクションは、CICS によって内部からに限り開始できます。

システムの処置: このタスクは異常終了します。トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHXMTA

AXSC

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、タスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考え

られます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHXSMN

AXSD

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHTCRP

AXSE

説明: CICS セキュリティ・トークン・サービスは、チャンネルを使用せずに呼び出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: DFHSAML プロセッサを呼び出すプログラムを変更します。SAML プログラミング・インターフェースで定義されたインターフェースを使用して呼び出すようにします。

モジュール: DFHSAML

AXSF

説明: CICS セキュリティ・トークン・サービスで重大なエラーが発生しました。

システムの処置: 関連する DFHAP0002 メッセージと共にシステム・ダンプが作成されます。そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHSAML

AXSG

説明: DFHSAML プログラムは CICS キーで実行していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: グループ DFHSAML で提供される DFHSAML プログラム定義をインストールします。

モジュール: DFHSAML

AXTA

説明: 送り出すデータの長さの計算に失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTB

説明: データを送り出すための バッファ を入手する試みに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTC

説明: データを送り出せるようにするための変換の試みに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTD

説明: リモート・システムからバッファを受信しませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTE

説明: 正しくないデータがリモート・システムから受け取られました。そのデータの長さは十分ではありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTF

説明: 中継処理機能管理ヘッダー (FMH) がリモート・システムから受け取られませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTG

説明: リモート・システムから受け取られたデータの変形に失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 変形処理の失敗が、リモート端末の誤った定義が理由ではなかったかどうかを調べます。特に、その端末に指定されたユーザー域の長さがローカル・システムとリモート・システムの両方で同じ長さになっているかどうかを調べます。端末の定義が正しい場合は、この問題を解決するためにサポートが必要です。

AXTH • AXTM

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTH

説明: 端末識別名を突き止める試みに失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTI

説明: トランザクション・ルーティング変換プログラムに対して指定された DFHLUC パラメーター・リストの主要要求バイト LUCOPN0 が無効であるか、またはリモート・システムにシップされていない要求に対応しています。パラメーター・リストは、変換プログラムの呼び出し側の動的ストレージ内で見つけることができ、補助トレースからの出力を利用して突き止めることができます。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTJ

説明: トランザクション・ルーティング変換プログラムのパラメーター・リスト内のフィールド XTSSTAT とフィールド XTSTCOPC の中で、予期しない組み合わせのビットの設定が行われました。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTK

説明: CICS システム間のタスク生成が出されたときに、APPC 会話障害が発生しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート CICS システムに対する接続を調べて、確立し直してください。

モジュール: DFHXTP

AXTL

説明: APPC マップ・データの処理は、デフォルト値による APPC 付加 FMH の生成を必要とします。具体的には、要求された同期レベルはデフォルトの 2 になります。一方、使用される予定のセッションは同期レベル 1 でバインドされています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの CONNECTION リソースは単一セッションとして定義されていない。
- リモート・システムは同期レベル 2 をサポートできるか。
- ログ名の交換が接続に備えて完了しているかどうか。CEMT INQUIRE CONNECTION コマンドを使用してこれを行うことができます。ログ名交換処理についての詳細は、「CICS の相互通信」を参照してください。
- 正しい同期レベルが要求されたかどうか。

モジュール: DFHXTP

AXTM

説明: 同期レベル 1 でバインドされている APPC リンクを介して、メッセージを保護されたトランザクションを経路指定する試みが行われましたが失敗しました。こうしたトランザクションは、同期レベル 2 でバインドされた APPC リンクを介してのみ経路指定されるためです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: そのトランザクションを CICS OS/2 に経路指定する場合 (同期レベル 1 でバインドされる)

には、メッセージ保護オプションを除去してください。そのトランザクションを別のホスト・システムに経路指定する場合で、しかもメッセージ保護が必要な場合には、そのリンクを再定義して、同期レベル 2 でバインドできるようにしてください。

モジュール: DFHXTTP

AXTN

説明: トランザクション・ルーティング変換プログラム・モジュールが、オフセット TCTERCSA で TCTTE の連鎖が切れたアプリケーション・バッファに破損したヘッダーがあることを検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTTP

AXTO

説明: CICS セキュリティー・マネージャーから、トランザクション・ルーティング変換プログラム・モジュールに例外応答が戻されました。CICS セキュリティー・マネージャーへの呼び出しが行われる前に、出荷時の端末定義ではあらかじめセキュリティについて設定されていることを変換モジュールが検出しました。それから、変換は、出荷時の端末情報とともに送信されたユーザー ID の事前設定されたセキュリティ・サインオンを実行するために、CICS セキュリティー・マネージャーを呼び出しました。つまり、この事前設定されているセキュリティにサインオンしようとして失敗したということです。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CSCS に DFHSNxxxx メッセージを出します。

ユーザーの処置: この異常終了が起こった原因として最も考えられるものとしては、アプリケーション所有領域 (AOR) に送られる端末に、AOR には無効なユーザー ID の事前設定されたセキュリティがあるということです。このことを確認するためには、AOR の CSCS 一時データ・キューについての関連 DFHSNxxxx メッセージを検査してください。そのメッセージには、事前設定されたセキュリティ・サインオン要求の障害につ

いての正確な理由が示されています。この障害は、未許可のトランザクション・ルーティング要求を行ったために起こります。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTTP

AXTP

説明: DFHCCNV FUNCTION

(CONVERT_DS3270_FOR_SBCS) からトランザクション・ルーティング変換プログラム・モジュールに、例外応答が戻されました。このモジュールは、クライアントから送られたデータの ASCII から EBCDIC への変換を要求する CICS クライアント仮想端末のために呼び出されました。しかし、この変換は失敗しました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CSCS に DFHSNnnnn メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHCCNV の COMMAREA の DFHC32 に戻された応答と理由を調べてください。これは CICS エラーである可能性があるので、クライアントとサーバーのコード・ページはすでに妥当性検査されています。さらに援助が必要であれば、IBM に連絡してください。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTTP

AXTQ

説明: DFHCCNV FUNCTION

(CONVERT_DS3270_FOR_SBCS) からトランザクション・ルーティング変換プログラム・モジュールに、例外応答が戻されました。このモジュールは、クライアントに送信するデータの EBCDIC から ASCII への変換を要求する CICS クライアント仮想端末のために呼び出されました。しかし、この変換は失敗しました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CSCS に DFHSNnnnn メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHCCNV の COMMAREA の DFHC32 に戻された応答と理由を調べてください。これは CICS エラーである可能性があるので、クライアントとサーバーのコード・ページはすでに妥当性検査されています。さらに援助が必要であれば、IBM に連絡してください。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTTP

AXTR

説明: EXEC プログラムの DFHCCNV をロードしようとしたとき、例外応答が、DFHPGLE FUNCTION (LOAD_EXEC) からトランザクション・ルーティング変換プログラム・モジュールに戻されました。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。CICS セキュリティー・マネージャーは、一時データ・キュー CSCS に DFHSNnnnn メッセージを出します。

ユーザーの処置: DFHPGLE から戻された応答と理由を調べ、CICS が DFHCCNV を呼び出すことができなかった理由を判別してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTS

説明: 以下のいずれかの条件が発生しました。

- AOR 内で実行中のトランザクションがチャンネルを作成しました。トランザクションは EXEC CICS RETURN TRANSID CHANNEL を発行することによって終了され、疑似会話内で次のトランザクションを指定し、チャンネルを次のトランザクションに渡します。ただし、TOR はチャンネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルではありません。
- AOR 内で実行中のトランザクションがチャンネルを作成しました。トランザクションは EXEC CICS RETURN TRANSID CHANNEL を発行することによって終了され、疑似会話内で次のトランザクションを指定し、チャンネルを次のトランザクションに渡します。チャンネルは TOR に送信され、疑似会話内の次のトランザクションが開始するまでそこに保持されます。ただし、次のトランザクションが開始されたとき、チャンネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルでない AOR 内に存在することが見つかりました。

AZxx 異常終了コード

AZAB

説明: DFHZARM が 65 528 バイトを超えるデータ長の SEND DATA 要求を持っています。65 528 バイトは DFHZARM が処理できる最大バイト数です。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクション・ルーティング要求が終了してから、端末専有領域 (TOR) に、この要求が失敗したことを示すメッセージが送られます。

ユーザーの処置: 疑似会話内のトランザクション間でチャンネルが渡される場合、チャンネルを渡すことに関与するすべての TOR および AOR システムは、チャンネルをサポートできるほどの十分な高さの CICS レベルであることを確認する必要があります。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

AXTU

説明: プログラム DFHAPCR は予期しない応答を返しました。DFHAPCR は以下の機能を実行します。

- チャンネルを構成するすべてのコンテナのコンテンツを抽出し、これらをリモート・システムに送信します。
- リモート・システムから受け取ったインバウンド・データからチャンネルおよびコンテナを再作成します。

DFHAPCR は、インバウンド・データ内にエラーを検出したか、チャンネル・データの抽出または再作成中に予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関連 CICS メッセージおよび異常終了を探して、コンテナを管理するプログラム・マネージャーに障害が発生したことがあるかどうかを調べてください。プログラム・マネージャーまたは DFHAPCR からの例外トレース項目を調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHAPRX、DFHXTP

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZAD

説明: DFHZCN1 が予期しないシステムから開始されました。CCIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。例外トレース・ポイント AP3008 が書き込まれます。データ 1 に XMIQ 開始タイプが入っています。

ユーザーの処置: CCIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCN1

AZAE

説明: DFHZCN1 が端末から開始されましたが、LU6.2 セッションではありませんでした。CCIN トランザクションは、クライアントからしか出すことができません。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CCIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCN1

AZAF

説明: DFHZCN1 がトランザクション CCIN に対して開始されました。しかし、環境が正しくないか、クライアント・アーキテクチャーに違反しています。この異常終了は常に、問題を詳述する DFHZC32nn メッセージと一緒に出されます。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP30xx が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: コンソールまたは CSNE の DFHZC32nn メッセージ、および例外トレース・ポイント AP30xx を検索してください。これらを使用して問題を診断してください。

モジュール: DFHZCN1

AZAG

説明: DFHZCT1 が予期しないシステムから開始されました。CTIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース・ポイント AP302A が書き込まれます。データ 1 に XMIQ 開始タイプが入っています。

ユーザーの処置: CTIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCT1

AZAH

説明: DFHZCT1 が端末から開始されましたが、LU6.2 セッションではありませんでした。CTIN トランザクションは、クライアントだけが出すことができます。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。例外トレース・ポイント AP3032 が書き込まれます。データ 1 に主要機能アドレスが入っています。

ユーザーの処置: CTIN トランザクションは必ずクライアントから出してください。

モジュール: DFHZCT1

AZAI

説明: DFHZCT1 がトランザクション CTIN に対して開始されました。しかし、環境が正しくないか、クライアント・アーキテクチャーに違反しています。この異常終了は常に、問題を詳述する DFHZC32nn メッセージと一緒に出されます。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP30xx が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: コンソールまたは CSNE の DFHZC32nn メッセージ、および例外トレース・ポイント AP30xx を検索してください。これらを使用して問題を診断してください。

モジュール: DFHZCT1

AZAJ

説明: DFHZCN1 がトランザクション CCIN に対して開始されました。しかし、CCIN トランザクションは代理で開始されています。これは、このトランザクションがリモート・トランザクションとして定義されていることを意味します。CCIN は、ローカル・トランザクションで、直接クライアントに接続されている CICS 領域で実行しなければなりません。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3041 が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CCIN にデフォルト定義を使用するか、ローカル・トランザクションとして定義してください。

モジュール: DFHZCN1

AZAK

説明: DFHZCT1 がトランザクション CTIN に対して開始されました。しかし、CTIN トランザクションは代理で開始されています。これは、このトランザクションがリモート・トランザクションとして定義されていることを意味します。CTIN は、ローカル・トランザクションで、直接クライアントに接続されている CICS 領域で実行しなければなりません。

システムの処置: 例外トレース・ポイント AP3039 が書き込まれます。トランザクションは異常終了します。

ユーザーの処置: CTIN にデフォルト定義を使用するか、ローカル・トランザクションとして定義してください。

モジュール: DFHZCT1

AZCA

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARL によって維持されている会話の状態が、DFHETL と DFHZARM によって共同維持されている状態と一致していません。

この問題は、CICS がアプリケーション・データをアセンブルしていて、予期したすべてのデータを受け取る前にチェーンの終わりを受け取るような場合にも生じることが考えられます。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCB

説明: APPC マップ式処理時に、CICS はセンス・コード X'088901xx' を受け取りました。これに続いて、エラー・データ GDS (汎用データ・ストリーム) 変数が示されるはずですが、

CICS はエラー・データの受け取りを試みましたが、しかし、データが受け取られなかったか、または受け取られたデータが正しい長さの CICS ISSUE ERROR のためのもではありませんでした。

CICS が予期するエラー・データは、他のシステムが GDS ID X'12F2' (機能管理データ) を認識できないことを示すものです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トラ

ンザクション・ダンプが作成されます。

エラーのあった GDS ID は、リモート・システムに戻され、そこで詳しく分析されます。

ユーザーの処置: 他のシステムのトランザクションによるセッションの失敗または異常終了がなかったかどうかを調べます。

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCC

説明: 失敗に終わったトランザクションが、アプリケーション機能管理データを、これをサポートしないシステムで実行されているトランザクションへ送っていました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムでアプリケーション機能管理データをサポートできるかどうかを調べます。

モジュール: DFHZARM

AZCD

説明: APPC マップ式処理中に、考えられるシステム間論理エラーが検出されました。受け取られるべきアプリケーション・データの長さ (LL フィールドおよび連結フラグから判別された長さ) が、実際に受け取られた長さと一致していません。CICS は、受信するアプリケーション・データの長さを LL フィールドと連結フラグから決定します。しかし、CICS が受信したのは、予期されるすべてのデータではありませんでした。

この異常終了は、パートナー・システムにおける持続セッション再始動の失敗後のデータの損失が原因で発生することがあります。その場合、すべての更新がバックアウトされるため、論理エラーは発生していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了がパートナー・システムでの持続セッション再始動の失敗が原因でない場合は、さらに IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHETL, DFHZARM

AZCE

説明: APPC マップ式処理時に、システム間論理エラーが検出されました。受け取られるべきアプリケーション・データの長さ (LL フィールドおよび連結フラグから判別された長さ) が、CICS の実施限度である 32 767 (受信コマンドおよび変換コマンドの場合)、または 65 000 (CICS トランザクション・ルーティングか機能シッブ要求の場合) を超えています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システム内のトランザクションが CICS に送信するデータの量を減らしてください。

モジュール: DFHETL、DFHZARM

AZCF

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。無効な要求が DFHZARL に渡されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCG

説明: APPC マップ式処理時に内部論理エラーが検出されました。DFHZARM は、渡される TCTTE が APPC として定義されていること、TCTEILUC (TCTELUC) がオンに設定されること、そして TCTECVT が TCTEMAPD に設定されること (マップ式会話を示すために) を予期しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCH

説明: APPC マップ式処理時に、予期しないセンス・コード X'0889xxxx' が受け取られました。

これはリモート・システムによる APPC アーキテクチャーの違反を表しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHETL、DFHZARM

AZCI

説明: APPC マップ式データの処理には、デフォルト値を持つ APPC 付加機能管理ヘッダー (FMH) の生成が必要です。具体的には、要求された同期レベルはデフォルトの 2 になります。一方、使用される予定のセッションは同期レベル 1 でバインドされています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 次の点について調べてください。

- リモート・システムの CONNECTION リソースは単一セッションとして定義されていない。
- リモート・システムは同期レベル 2 をサポートできるか。
- ログ名の交換が接続に備えて完了しているかどうか。CEMT INQUIRE CONNECTION を使用してこれを行うことができます。ログ名交換処理についての詳細は、「CICS の相互通信」を参照してください。

モジュール: DFHETL、DFHZARM、DFHZARQ

AZCJ

説明: GDS ID X'12F1' (空データ) を持つ APPC 構造化フィールドがリモート・システムに送信されましたが、そのリモート・システムはこれらのフィールドの受信をサポートしていません。リモート・システムは否定応答を出し、その会話を終了させました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 問題はリモート・システムにあります。この問題を解決するために IBM からさらにサポー

AZCK • AZCP

トが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCK

説明: APPC マップ式処理のエラー・リカバリー時に、内部論理エラーが検出されました。その会話は、内部 CICS SEND INVITE により RECEIVE 状態に切り替えられましたが、その会話はパートナーによってすでに解放されていました。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。CICS 処理を続行します。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCL

説明: APPC マップ式処理時に、CICS はセンス・コード X'088901xx' を受け取りました。汎用データ・ストリーム (GDS) にはエラー・データの中の有効な GDS ID が入っているはずですが、CICS はその値を認識しませんでした。CICS によって認識されるこれらの値は次のとおりです。

X'12F1' null data
X'12F2' function management data
X'12FF' application data.

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 別のシステムのトランザクションによるセッション障害ならびに異常終了がないかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARM

AZCM

説明: エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が、ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する呼び出しで発生しました。最初のエラーを検出したドメインは、例外トレース、コンソール・メッセージ、および、場合によってはシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインによって作成された関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZARM

AZCN

説明: ストレージ・マネージャー (SM) ドメインに対する GETMAIN 要求が正常に完了する前に、そのタスクが除去されました。除去された条件を最初に検出したタスクが、例外トレースを提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてください。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHZARM

AZCO

説明: VTAM 持続セッション初期設定トランザクション CGRP が、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCGRP

AZCP

説明: ZCP に論理エラーが検出されました。開始中のタスクのための割り振り要求を満たせません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSUP DFH62XM

AZCQ

説明: 相互通信セッションのリカバリー状況を変更するために行ったリカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この障害は、タスク除去の結果であるか、CICS 論理エラーを表しており、IBM からの支援が必要となります。

リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連診断資料を参照してください。

モジュール: DFHZSUP DFHMRXM DFH62XM

AZCR

説明: APPC SYNCPOINT ROLLBACK 要求の処理中に、論理エラーまたはプロトコル・エラーが検出されました。最後の作業単位が正しく完了した後に、会話状態を元の状態にリストアしようとする試みが行われました。この保管済みの状態が、パートナーから受け取った流れと一致しません。

この問題は、以下のいずれかの状況のロールバック時に起こります。

- 保管状態が受け取られ、パートナーは、指示変更 (CICS が送信状態にあることをパートナーが予測していることを示す) を最後の流れで送信した。
- 保管状態が送信されたが、パートナーは、最後の流れでは、指示変更標識 (CICS が受信状態にあるとパートナーが予測していることを示す) を送らなかった。

システムの処置: タスクは CICS トランザクション・ダンプを出して異常終了します。その他の処理を続行します。

ユーザーの処置: CICS での障害またはパートナーでの障害が原因で、問題が生じています。どちらに障害があるかを判別するには、最後に正しく行われた同期点で

の流れを分析します。この同期点に 2 つの LU があった状態を判別してみてください。異常終了が起こる前の、パートナーから CICS への同期点流れを参照します。この流れから、SPCMOD 修飾子バイトの指示変更標識がオンであったかどうかを計算してください。(SPCMOD 修飾子バイトについて詳しくは、資料

「Systems Network Architecture Formats (GA27-3136)」を参照してください)。保管済みの CICS 会話状態が受け取られたときにだけ、この標識がセットされる必要があります。最後の CICS 状態が送信され、さらに標識がオンの場合には、CICS は障害のある状態になります。同様に、最後の CICS 状態が受け取られ、さらに標識がオフの場合にも、CICS は障害のある状態になります。

最後の CICS 状態が送信され、標識がオフの場合、または最後の CICS 状態が受信され、標識がオンの場合には、CICS は、指示変更標識 (CICS がこの標識を予測していないときも) を受け取ります。この場合には、パートナーを検査して、論理エラーを見つけてください。

モジュール: DFHZARL

AZCT

説明: 端末読み取りタイムアウト条件が検出されました。トランザクションが端末入力メッセージを待機していた時間が、そのトランザクションの RTIMOUT 値に指定された間隔を超えました。

PROFILE 項目に RTIMOUT とコーディングすると、端末が指定された時間内に入力を送信しない場合には、タスクを異常終了させることになります。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプ・コード AZCT のダンプ・テーブル項目がダンプをとることを指示していない限り、ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: このタスクに対して HANDLE ABEND コマンドが出されている場合には、タイムアウトとなった読み取りはまだ未解決です。この読み取りを取り消すためには、ユーザー出口ルーチンの終わりで ABEND コマンドを出します。これにより、CICS は端末の TCTTE をクリーンアップできます。これ以上端末管理コマンドを出してはなりません。

モジュール: DFHZARQ

AZCU

説明: COVR トランザクションが端末から直接開始されたか、START コマンドで開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。

トランザクション・ダンプはとられません。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZCOVER

AZCV

説明: VTAM への接続中に、COVER トランザクションで論理エラーが検出されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZCOVER

AZCW

説明: CICS 内部タスク CSTP をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われました。

システムの処置: CICS はそのタスクを終了し、トランザクション・ダンプを作成します。

ユーザーの処置: CSTP をユーザー・トランザクションとして実行する試みが行われた理由を調べてください。

モジュール: DFHZCSTP

AZI1

説明: IRC のデータ伝送要求が出されましたが、伝送プロトコルに違反したために、それを完了することができません。

そのセッションが分散トランザクション処理に使用されていない場合、つまり、そのセッションが機能シップまたはトランザクション・ルーティングに使用されている場合には、この問題は CICS 論理エラーによって引き起こされます。

そのセッションが分散トランザクション処理に使用されている場合には、異常終了の原因として次のものが考えられます。

- 無効な端末管理コマンド (ISSUE SIGNAL など) が出された。

-

送信要求が出されたがそのセッションは送信状態になかったか、または、読み取り要求が出されたがそのセッションが受信状態になかった。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了の原因を調べて、該当する場合にはアプリケーションを訂正してください。詳細については、「CICS の相互通信」の『EXEC インターフェース・ブロック (EIB)』を参照してください。EIB は、要求が出された後のセッションの状態を記述しています。

モジュール: DFHZARQ

AZI2

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、それを完了することができません。問題の原因としては、次のものが考えられます。

- 接続システムで実行されているトランザクションが除去された。
- 接続システムで実行されているトランザクションがタイムアウトになった。
- 異常終了トランザクションが、RECEIVE 状態になっているときに SEND を試みた。
- 異常終了トランザクションが、SEND 状態になっているときに RECEIVE を試みた。

異常終了が DFHIRP による伝送要求の拒否に起因している場合には、ダンプ内に、失敗に終わった IRC セッションを表している TCTTE のフィールド TCTEIRET に、DFHIRP の戻りコードが含まれることになります。この TCTTE のアドレスは、DFHTC データ伝送要求を表しているトレース項目のフィールド B にあります。

DFHIRP 戻りコードの意味は、サンプル集 DFHIRSDS に示されています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: エラーの原因が除去またはタイムアウトであった場合には、処置はこれ以上必要ありません。

そのエラーが、例えば RECEIVE 状態での SEND の試みまたはその逆の状態により引き起こされた場合には、ダンプを分析して、プロトコル違反を訂正してください。

モジュール: DFHZARQ

AZI3

説明: 他のシステムとの会話に失敗したために、アプリケーションがリモート所有されている端末に対して出した端末管理要求は失敗に終わります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

AZI4

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、他のシステムを領域間通信に使用することができなくなったために、それを完了させることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: IRC を使用できるようになった時点で、そのトランザクションを実行し直します。

モジュール: DFHZARQ

AZI5

説明: IRC データ伝送要求が出されましたが、接続されたシステムがその要求に応答して送ってきたデータは、IRC プロトコルに違反しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

AZI6

説明: トランザクションは、IRC リンクを介して、別の CICS システムのトランザクションに接続されていました。このもう一方のトランザクションが異常終了しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接続先のトランザクションで発生した異常終了の原因を修正してください。

モジュール: DFHZARQ

AZI7

説明: トランザクションが、接続サブシステムからの応答の待機を含む MRO 要求を処理していました。この「待機」要求は、CICS ディスパッチャーによって拒否されました。

システムの処置: そのトランザクションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZIS2

AZI8

説明: IRC 接続上で ISSUE-ABEND の流れで受け取ったエラー・ログ・データの形式が正しくありませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZIS1

AZI9

説明: トランザクションが、接続サブシステムからの応答の待機を含む MRO 要求を処理していました。その待機時に、失敗したトランザクションが除去されました。この除去は、間違いなく CEMT SET TASK PURGE などのオペレーターの処置に起因するものです。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: そのトランザクションが除去された理由を調べてください。

モジュール: DFHZIS2

AZIA

説明: トランザクションが、MRO 処理時にストレージを獲得または開放しようとしたのですが、CICS ストレージ・マネージャー (SM) ドメインから、要求が無効であるという応答が返されました。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

AZIB • AZIE

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZIS2

AZIB

説明: ストレージが接続サブシステムから MRO データを受け取るのを待っている間に、そのトランザクションが除去されました。その除去は、オペレーターの処置 (CEMT SET TASK PURGE など) によるものか、あるいは、その待ち時間がそのトランザクションの DTIMOUT 値を超えたために引き起こされた可能性があります。

システムの処置: タスクはダンプを出して異常終了します。

ユーザーの処置: この条件がタイムアウトにより引き起こされた場合には、失敗したトランザクションの DTIMOUT 値を調べて、その値が小さすぎる場合には大きくしてください。

モジュール: DFHZIS2

AZIC

説明: INVALID、DISASTER、または EXCEPTION 条件が CRB 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (DFHSMGFM) に対する呼び出しで発生しました。

最初のエラーを検出したドメインが、例外トレースおよびコンソール・メッセージ、ならびにおそらくシステム・ダンプを提供します。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 最初のエラーを検出したドメインからの関連メッセージを参照してください。

モジュール: DFHZIS2

AZID

説明: CRB 制御ブロックを FREEMAIN するためのストレージ・マネージャー・ドメイン (DFHSMGFM) に対する呼び出しで PURGED 条件が発生しました。

最初に出されたエラーを検出したドメインは、例外トレースを提供するはずですが。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: タスクが除去された原因を調べてくだ

さい。このタスクは、CEMT トランザクションを介してマスター端末オペレーターが除去を行った結果か、またはそのトランザクションに指定された DTIMOUT (デッドロック・タイムアウト) 値を超えて待った後でタイムアウトになったタスクによって除去されました。

マスター端末オペレーターがそのタスクを除去した場合には、これは、何らかの理由でデッドロックされた可能性のあるシステムを消去しようとしたことが原因と考えられます。

タスクが、DTIMOUT 値を超えた結果、自動的にタイムアウトになった場合には、システム内のタスクの数が多すぎて主ストレージが不足していることが原因と考えられます。主ストレージの容量を増やせない場合は、システム内のタスクの数を減らして、ストレージ不足状態が発生しないようにしてください。そのトランザクションの DTIMOUT オプションの値を増やすという方法もあります。

モジュール: DFHZIS2

AZIE

説明: 領域間通信 (IRC) の ISSUE-ERROR または ISSUE-ABEND 流れが、IRC プロトコルの違反を受け取りました。この原因として以下のことが考えられます。

- CICS 論理エラー IRC プロトコルは、MRO 分散トランザクション処理アプリケーションに対して使用することができません。これらは、CICS 内部使用に限られます。
- 接続済みシステムでのトランザクションの異常終了。この結果、LU6.2 の接続に FMH 7 流れが発生し、異常終了が出されます。

システムの処置: トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: マップ式会話と非マップ式会話を混在して使用したかどうかを調べてください。異常終了の原因となります。また、タスク生成済みシステムでトランザクションが異常終了する理由が他にないかどうかを調べてください。

CICS 論理エラーが含まれている場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

AZIF

説明: 相互通信セッションのリカバリー状況を変更するために実行したリカバリー・マネージャー (RM) ドメインに対する呼び出しで、エラー (INVALID、DISASTER、または予期しない EXCEPTION 応答) が発生しました。ドメインは、出口トレース、場合によってはコンソール・メッセージ、およびシステム・ダンプ (ダンプ・テーブルに指定したオプションによって異なる) を提供します。

これは、タスク除去、CICS 論理エラー、または未確定テスト・トランザクション CIND の不適切な使用の結果として生じます。CIND を活動化できるのは、同期点処理が開始された先の CICS システムでのみです。特に、CICS ミラー・トランザクションのいずれでも CIND を使用してはなりません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CIND が同期点処理を開始していないトランザクションに対して活動化されているかどうかを判別してください。CIND が使用されていない場合は、リカバリー・マネージャー・ドメインによって作成された関連診断資料を参照し、失敗の理由を判別してください。

CICS 論理エラーの場合は、IBM からのサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARQ

AZIG

説明: MRO セッション読み取りタイムアウト状態が検出されました。トランザクションが MRO セッションを待機していた時間が、そのトランザクションの RTIMOUT 値に指定された間隔を超えました。

PROFILE 項目に RTIMOUT とコーディングすると、セッションが指定された時間内に応答しない場合にタスクが異常終了します。

システムの処置: トランザクションは異常終了します。トランザクション・ダンプ・コード AZIG のダンプ・テーブル項目がダンプをとることを指示していない限り、ダンプは作成されません。

ユーザーの処置: このタスクに対して HANDLE ABEND コマンドが出されている場合には、タイムアウトとなった読み取りはまだ未解決です。この読み取りを取り消すためには、ユーザー出口ルーチンの終わりで ABEND コマンドを出します。これにより、CICS は端末の TCTTE をクリーンアップできます。これ以上端末管理コマンドを出してはなりません。

モジュール: DFHZIS2

AZR2

説明: ストレージ・マネージャーの GETMAIN が失敗したため、モジュール DFHZARRA は、新規のアプリケーション・バッファのためにメイン・メモリーを確保することができませんでした。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース内容を利用して、ストレージ・マネージャーからの戻りの失敗を識別し、障害の内容を分析してください。

モジュール: DFHZARRA

AZR3

説明: GETMAIN 要求時に、ストレージ・ドメインはそのタスクが除去されたことを検出しました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トレース結果を利用して、そのタスクが除去された理由を調べてください。マスター端末オペレーターに責任があったかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

AZR4

説明: ディスパッチャー・ドメイン呼び出しから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARER

AZR5

説明: ディスパッチャー・ドメイン呼び出しから予期しない応答を受け取りました。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

AZR6 • AZRF

モジュール: DFHZARR1

AZR6

説明: CICS リカバリー・マネージャー・ドメインに対する APPC 通信ルーチン DFHZARL からの要求の結果として、例外条件が生成されました。この原因は、CICS 論理エラーか、未確定テスト・トランザクション CIND の不適切な使用のいずれかです。CIND を活動化できるのは、同期点処理が開始された先の CICS システムでのみです。特に、CICS ミラー・トランザクションのいずれでも CIND を使用してはなりません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CIND が同期点処理を開始していないトランザクションに対して活動化されているかどうかを判別してください。CIND が使用されていない場合は、問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARER

AZRA

説明: DFHZARRC は、APPC 内の FMH のアドレスが受信バッファ内になかったことを検出しました。その原因は、ストレージの上書きか CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRC

AZRB

説明: モジュール DFHZARR0 は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引

きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR0

AZRD

説明: APPC の論理受信バッファと物理受信バッファが一致しなくなりました。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARR0

AZRE

説明: APPC の論理受信バッファ (TCTERBLA によりアドレッシング) が、物理受信バッファ (TCTERBLA によりアドレッシング) の前または後で始まりました。論理受信バッファは、これからまだ処理が行われる物理受信バッファの一部であるため、これは無効です。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARR0

AZRF

説明: DFHZUSR 状態マシンが、無効な状態エラーを返すべきではない時点でそれを返しました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引

きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

AZRG

説明: DFHZUSR 状態マシンが、無効な状態エラーを返すべきではない時点でそれを返しました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR

AZRH

説明: 受け取り処理を制御するために使用する DFHZARR 状態変数 RECEIVE_TYPE が、無効な値に設定されています。この変数にアクセスのある他の唯一のモジュールは DFHZARRF です。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR

AZRI

説明: DFHZARR1 に渡されたパラメーターの 1 つが無効でした。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR1

AZRJ

説明: バッファ自体よりも長いレコードを APPC 受信バッファから除去するように、DFHZARR0 に対して要求されています。この問題の原因は、ストレージの上書きまたは CICS 内部論理エラーのいずれかです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARR0

AZRK

説明: DFHZERH から DFHZARRF に戻された DFHLUC パラメーター・リストには、無効な組み合わせ LUCCIERR、LUCCIFRE、および LUCCIRBK フィールドが入っています。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

AZRL

説明: モジュール DFHZARRF は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

AZRM

説明: モジュール DFHZARR は、誤った時点で自分の内部ルーチンの 1 つを呼び出しました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR

AZRN

説明: DFHZERH から DFHZARRF に戻された DFHLUC パラメーター・リストでは、LUCCIERR がオンに設定されていませんでした。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

AZRO

説明: モジュール DFHZARER は、無効な最初のパラメーターで呼び出されました。この最初のパラメーターは、実行される機能コードでなければなりません。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARER

AZRP

説明: モジュール DFHZARER が、DFHZNAC から無効な応答を検出しました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARER

AZRQ

説明: モジュール DFHZARRA が、無効なパラメーターで呼び出されました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

AZRR

説明: モジュール DFHZARRA が、オフセット TCTERCSA で TCTTE の連鎖が切れたアプリケーション・バッファーに無効なヘッダーがあることを検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

AZRS

説明: モジュール DFHZARRA は、一部のデータをコピーすることになっている新規のアプリケーション・バッファのためにメイン・メモリーを獲得することができません。これは、DFHLUC 受け取り要求が SUBTYPE=LLID、SET=YES になっていて、しかも DFHZARRA が GETMAIN で確保する長さを認識していないためです。DFHZARRA は現在受け取ろうとしているレコードの長さを必要としています、その長さがエラーで 0 に設定されています。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

AZRT

説明: モジュール DFHZARRA が、一部のデータをコピーすることになっているアプリケーション・バッファが無効であることを検出しました。これは、バッファのアドレスがゼロであるためか、またはその長さが、そこにコピーされるデータの長さよりも短いためです。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードに伴う例外トレース・ポイントが、バッファ・アドレスとバッファ長およびデータ・アドレスとデータ長を示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRA

AZRU

説明: モジュール DFHZARRF が、DFHZARR0 から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARRF

AZRV

説明: モジュール DFHZARR1 が、DFHZARR0 から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR1 に渡されたパラメーターのいずれか

AZRW

説明: モジュール DFHZARRA が、TCTTE (フィールド TCTELLC) 内で負のレコード長を検出しました。これは CICS 論理エラーまたはストレージの上書きのいずれかによるものです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、TCTTE アドレスおよび TCTELLC の値を示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。トランザクション・ダンプ内の TCTTE に印刷可能文字または記憶保護違反エラーに関するその他の徴候があるかどうかを調べてください。

モジュール: DFHZARRA

AZRY

説明: モジュール DFHZARR が、DFHZARRC から予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR

AZRZ

説明: モジュール DFHZARR が、内部サブルーチンから予期しない応答を検出しました。これは、CICS 論理エラーです。この異常終了コードを伴う例外トレース・ポイントが、無効な応答コードを示しています。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題が再現可能な場合には、TC コンポーネントのレベル 1 および 2 のトレースが問題判別に役立ちます。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZARR

AZS0

説明: DFHZSTAM マクロを介して処理中の DFHZSTAP プログラムに無効な要求が出されました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS1

説明: DFHZSTAM マクロを介して、処理中の DFHZ プログラムに無効な要求が出されました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS2

説明: 処理中の DFHZSTAP プログラムに DFHZSTAM マクロを介して渡された TCTTE が、MRO または APPC 会話に関連していません。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS3

説明: APPC 会話に関して、DFHZSTAM マクロを介して、処理中の DFHZSTAP プログラムに TCTTE が渡されましたが、LUC 拡張制御ブロックが見つかりませんでした。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS4

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、DFHZUSRM LUC 状態マシンに無効な設定値が見つかりました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS5

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、内部状態番号に無効な設定値が見つかりました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZS6

説明: DFHZSTAP で DFHZSTAM 要求を処理中に、内部状態番号に無効な設定値が見つかりました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZSTAP

AZT1

説明: トランザクションのルーティングのときに、アプリケーション所有領域内でタスクが正しく生成されませんでした。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: ルーティング・システムでの会話は、MRO セッションまたは LU タイプ 6.2 会話でなければなりません。そのトランザクションが、ユーザー・プログラムによってではなく、接続済みシステム内の CICS 中継プログラムによってタスク生成されるようにしてください。

トランザクションが、接続済みシステム内の CICS 中継プログラムによってタスク生成されている場合には、この問題を解決するためにサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZT3

説明: あるタスクが出された領域に、そのタスクが戻されます。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: トランザクション定義を訂正してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRT、DFHRTE

AZT6

説明: アプリケーション所有領域内のタスクが、端末専有領域から ROLLBACK 要求を受け取りましたが、会話は続行されています。端末専有領域がトランザクション・ルーティング・プロトコルに違反しました。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZT7

説明: リモート所有 APPC 端末または接続のためのセッション端末管理テーブル (TCT) 項目を TCT に追加できませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZT8

説明: リモート所有 APPC 端末または接続のためのセッション端末管理テーブル (TCT) 項目を TCT から削除できませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

AZT9 • AZTE

モジュール: DFHZTSP

AZT9

説明: 別のタスクによってロックされているため、リモート所有 APPC 端末または接続のためのセッション端末管理テーブル (TCT) 項目を TCT から削除できませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: その別のタスクは一時的なものである可能性があります。その場合、再試行すると成功します。

モジュール: DFHZTSP

AZTA

説明: タスクが、その主要な機能としての端末を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

AZTB

説明: この CICS システム内のリモート端末をインストールまたは削除しようとして、失敗しました。これは、CITS が同じ端末 ID を持つリモート端末をインストールしているときと同じタイミングで CATA がローカル端末をインストールしようとしていたためである可能性があります。この場合、CICS では、ローカルにインストールされる端末 (CATA) が優先されます。この異常終了が発生する可能性があるのは、CICS システムが MAXTASK やストレージ不足 (SOS) 状態に達したことなどが原因で CITS/CDTS/CMTS/CFTS トランザクションの実行にあまりにも長い時間がかかった場合です。この異常終了が起こるのは、CITS/CDTS/CMTS/CFTS トランザクションが使用可能でない (つまり、そのトランザクションがインストールされていない) 場合です。

システムの処置: トランザクション・ルーティング用に初期設定されているタスクが異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: TOR に異常終了 AZI6/AZTS が発生した場合、同じ TERMID を持つ、ローカルにインストールされている端末がログオフした後に要求を再試行し

てください。CICS システムが MAXTASK またはストレージ不足 (SOS) 状態に達した場合は、CICS システムが処理している作業が少ないときに要求を再試行してください。あるいは、CICS システムの MAXTASK 値またはストレージ割り振りを更新する必要があることもあります。それ以外の場合は、リストされたトランザクションが存在しており、インストールされているかを確認してください。障害が解決しない場合は、この問題を解決するためにさらにサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRA

AZTC

説明: このシステム内のリモート端末をインストールまたは削除しようとして、失敗しました。原因は、ストレージ不足 (SOS) 条件が起きたため、CITS、CDTS、または CFTS の接続を行うための GETMAIN 要求が失敗したからです。

この異常終了は、シャットダウン時に、トランザクション定義で SHUTDOWN(DISABLED) が指定されている場合にも発生することがあります。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SOS 条件が起きた理由を調べてください。SOS 条件の処理についての詳細は、「トラブルシューティングおよびサポート」を参照してください。

後でトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRA

AZTE

説明: EDF の使用およびリモート領域へのトランザクションの経路指定を行う試行が失敗しました。

これは、CEDF トランザクションが EDF セッションを開始するために使用された後で、トランザクションをリモート領域に経路指定しようとしたためです。

ローカル領域とリモート領域間の通信では、IPIC 接続を使用します。

しかし、リモート領域が、IPIC 接続での EDF の使用をサポートしない旧バージョンの CICS です。

システムの処置: CICS トランザクション・ダンプが作成され、タスクは異常終了します。

ユーザーの処置: 以下のいずれかを実行することができます。

-

リモート領域でトランザクションに対して CEDX を使用可能にする。

- IPIC 接続を解放し、別の接続タイプを使用して、EDF を使用可能にしてトランザクションを実行する。

モジュール: DFHAPRT

AZTF

説明: DFHZTSP が、最大 TCTTE SUBPOOL よりも長さ (TCTTETEL) が長い TCTTE の GETMAIN または FREEMAIN を試みました。したがって、要求は無効となります。これは、記憶保護違反または CICS 内部論理エラーを意味します。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: トランザクション・ダンプを使用して、エラーになっている TCTTE を識別します。まず、これがストレージの上書きであるかどうかを調べてください。上書きである場合には、統計を調べて、同じトランザクションに起因するいくつかの記憶保護違反を受け取っているかどうかを調べてください。受け取っている場合には、ユーザーが提供したアプリケーションがおそらく問題を引き起こした原因です。

記憶保護違反の問題ではない場合、またはランダム記憶保護違反が存在する場合には、CICS 内のエラーの可能性もあります。この場合、問題解決にはサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTG

説明: リモート所有されている端末で、その基本機能としてシステム間 TCTTE を使用しないでタスク生成が試みられました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTH

説明: リモート端末管理マクロからエラー応答を受信しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTI

説明: リモート所有されている端末でのタスク生成が試みられましたが、その端末はこのシステムのリモート所有端末として定義されていませんでした。

これは、CICS が代理 TCTTE を削除しようとしたが、それに対して実行されているトランザクションがまだ存在している場合に、AZVK 異常終了の後に発生することがあります。

あるいは、別のタスクがこの端末でロックを保持しています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関係するシステム内の端末管理テール定義を調べます。定義が正しければ、別のタスクが端末にロックをかけたかどうかを検査してください (例えば、CECI)。

AZVK 異常終了がこの端末で以前に発生したかどうかを確認し、リンク・セッションのタイムアウトが元の原因かを判別してください。長期実行トランザクションが終了すると、すべて問題なくなるはずですが。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRA

AZTL

説明: リモート所有されている端末に対してタスク生成が試みられましたが、その端末はこのトランザクションを実行するために使用することができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。関係するシステム内の端末リソース定義を調べます。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRA

AZTM

説明: リモート・システムから受け取られたデータに、FMH (機能管理ヘッダー) が含まれていません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTN

説明: リモート・システムとの会話が、予期しないうちに終了されました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTO

説明: TCTTE の所有権チェーンにエラーがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTP

説明: リモート・トランザクションのために出された BMS TYPE=STORE 要求が失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。必要な BMS サポートが生成されていることを確認してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

AZTQ

説明: 無効な BMS データが、リモート・システムから受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

AZTR

説明: リモート・システムのために出された BMS TYPE=PAGEOUT 要求が失敗に終わりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 必要な BMS サポートが生成されていることを確認してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR

AZTS

説明: リモート・システムとの会話が失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: リモート・システムとの会話が失敗に終わった理由を調べます。リモート・システムのトランザクションが、おそらく異常終了したか、またはセッションが失敗に終わっています。

メッセージ「DFHZC4930 読み取りのタイムアウト後にセッションがアンバインドされました。」が AZTS の直前に発生した場合、その AZTS の原因は、CICS がリモート・システムと会話しようとしたときに APPC セッションで発生したタイムアウトです。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRR、DFHAPRA

AZTT

説明: リモート・システムでのタスクの接続試行が行われましたが、リモート・システムとの接続が APPC 接続でも MRO 接続でもありません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 接続を APPC または MRO として再定義するか、この接続でトランザクション経路指定を使用しないようにしてください。

モジュール: DFHZTSP

AZTU

説明: 同期点がとられた後に、タスクはリンク TCTTE を所有していません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTV

説明: 無効な管理機能ヘッダー (FMH) がリモート・システムから受け取られました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTW

説明: リモート所有されている端末で、すでにタスクが実行されていたときに、タスク生成が試みられました。

これは、このトランザクションによって使用されているリンク・セッションについて端末専有領域で生じる読み取りタイムアウトによって発生することがあります。読み取りタイムアウトは、プロファイル DFHCICSS で指定されます。セッションはタイムアウトになりましたが、トランザクションがまだ実行されている可能性があり、最初のトランザクションが終了するまで、代理 TCTTE がさらにトランザクションを受け入れることができません。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 関係するシステム内の端末管理テーブル定義を調べます。

同じ端末の TOR で読み取りタイムアウト異常終了が発生したかどうかを確認して、これが原因かを判別してください。この端末でさらにトランザクションを再試行する前に、トランザクションが終了するまで待機してください。

モジュール: DFHZTSP、DFHAPRA

AZTY

説明: リモート所有されている APPC 端末または接続のためのセッション TCT 項目を作成することができません。この項目を作成すると、APPC セッションの最大許容数を超過してしまうためです。

セッションの最大数は、APAR PQ27823 用に提供されている PTF がインストールされているかどうかによって異なります。基本制限は 46656 であり、名前の範囲は -AAA から -999 です。APAR により、この制限が 2 倍の 93312 になり、追加の範囲 AAA- から 999- が提供されます。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。システムの使用率が少なくなるのを待つか、または、一部の APPC セッションを削除してください。

システム・プログラマーは、CICS TOR の数を増やすことを検討してください。

モジュール: DFHZTSP

AZTZ

説明: CICS 中継プログラム DFHCRT が、サポートされていない方法でタスク生成されました。

システムの処置: CICS はトランザクション・ダンプを出してトランザクションを異常終了させます。

ユーザーの処置: 中継トランザクションは、その基本機能として MRO セッションまたは LU タイプ 6.2 を使用して実行されます。そのトランザクションが、ユーザー・トランザクションによって直接タスク生成されるのではなく、APPC 端末共用論理によってタスク生成されるようにしてください。

トランザクションが、APPC 端末共用論理によってタスク生成されている場合には、この問題を解決するためにサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZTSP

AZVA

説明: タスクをアプリケーション所有の領域内に生成しているときに、リモート端末の作成時にサービス・トランザクション CITS が完了するのを待っている間に、DFHZTSP がタイムアウトになりました。

多くの場合、アプリケーション所有の領域が頻繁に使用

中であるため、DFHZTSP によって許可されているタイムアウト値より長時間、CITS トランザクションが待っていたことによります。ターゲット・システムのストレージの不足が、CITS がディスパッチされなかった、もしくはディスパッチされても完了しなかった理由の場合もあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システムの使用が少なくなったときに、そのトランザクションを再試行してください。ターゲット・システムのトランザクション・スループットを改善する際の詳細については、「パフォーマンスの改善」を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVB

説明: DFHZCQ が、リモート端末定義の作成に失敗しました。前に出されたメッセージまたは複数のメッセージが、その障害の理由を示しているはずです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 詳細については、前に出されたメッセージまたは複数のメッセージを参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVC

説明: DFHZATS に予期しないエラーが発生しました。おそらく、DFHZATS が CSA、EIB または TCA をアドレッシングすることができないためです。EXEC CICS START コマンドを使用して、DFHZATS がトランザクション CITS、CFTS、CMTS、または CDTS に対して呼び出された場合にも、このようなエラーが発生する可能性があります。上記のトランザクションは内部 CICS トランザクションなので、このような方法で呼び出さないでください。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVD

説明: 予期しないエラーが、DFHZATS のインストール手順で起こりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: これは、CICS 論理エラーです。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVE

説明: DFHZATS が既存の TCT 項目と同じ端末識別名でリモート端末をインストールしようとしています。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 端末名を変更して、同じシステム内で重複が起こらないようにしてください。

モジュール: DFHZATS

AZVF

説明: DFHZATS (CITS、CFTS、CMTS、または、CDTS) のリモート・インストールまたは削除トランザクションのいずれかが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、CICS によって内部からに限り開始することができません。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATS

AZVG

説明: リモート削除ルーチンでエラーが起こりました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVH

説明: リモート端末の大量削除時に、リモート削除ルーチンでエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVI

説明: 単一のリモート端末を削除しようとしたときに、リモート削除ルーチンでエラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: CADL 一時データ・キューで、エラーの理由を示す関連メッセージがないかを確認してください。問題を解決できない場合には、IBM のサポートが必要になります。続行する方法の手引きについては、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVJ

説明: リモート端末の大量削除時にエラーが起きました。これは CICS 論理エラーが原因です。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVK

説明: 単一のリモート端末の削除時に、リモート削除ルーチンから予期しない戻りコードを受け取りました。

これは、CICS が代理 TCTTE を削除しようとしたが、それに対して実行されているトランザクションがまだ存在している場合に、AZTW 異常終了の後に発生することがあります。AZTW なしでも、リンク・セッションがタイムアウトになって、AOR のトランザクションが実行中のままになったが、その後、長期実行トランザク

ションを開始した端末からログオフした場合に発生することがあります。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 一緒に出される DFHZC6911 メッセージを参照してください。このメッセージには、削除障害の理由が示されています。その後で適切な処置をとってください。

この端末のリンク・セッションがタイムアウトになったかどうか、およびその後端末が別のトランザクションを出したか、ログオフしたかを確認してください。長期実行トランザクションが終了すると、すべて問題なくなるはずです。

モジュール: DFHZATS

AZVL

説明: リモート端末を大量削除用にフラグ付けしているときに、エラーが起きました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZVM

説明: DFHZATMF でエラーが起きました。おそらく、DFHZATMF が CSA、EIB または TCA をアドレッシングすることができないためです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATMF

AZVN

説明: DFHZATMF (CRMF) のリモート削除フラグのトランザクションが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

AZVO • AZXA

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATMF

AZVO

説明: DFHZATMD (CRMD) のリモート削除のトランザクションが、端末から直接開始されました。これは許可されていません。このトランザクションは、必ず CICS で内部から開始してください。

システムの処置: トランザクションは異常終了し、トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: なし。

モジュール: DFHZATMD

AZVP

説明: DFHZATMD でエラーが起きました。おそらく、DFHZATMD が CSA、EIB、または TCA をアドレッシングできないためです。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATMD

AZVQ

説明: 発行された端末定義のインストール要求が、自動インストールのユーザー・プログラムに受け入れられませんでした。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: システムがあまり使用されていないときにトランザクションを再試行してください。

モジュール: DFHZATS

AZVR

説明: 自動インストール・ユーザー・プログラムが予期しない戻りコードを出したため、提供された端末定義をインストールしようとして失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 自動導入のユーザー・プログラムを調べて、この戻りコードが出された理由を判別してください。

モジュール: DFHZATS

AZVS

説明: 自動インストール・ユーザー・プログラムでエラーが起こったため、提供された端末定義のインストール要求が失敗しました。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 自動導入のユーザー・プログラムを調べて、障害の理由を判別してください。

モジュール: DFHZATS

AZVU

説明: DFHZATS が、シッパされた端末、仮想端末、またはシッパされた接続を自動インストールしようとし、自動インストール URM が呼び出されました。しかし、以下のいずれかの理由で自動インストールが失敗しました。

- SELECTED_SHIPPED_TERMID で URM によって返された名前の先頭が、以下の文字のいずれかである。
<
>
-
•

SIT VTPREFIX パラメーターの値に、組み込みブランクまたは端末名で許可されない文字が含まれていた。

システムの処置: そのタスクは異常終了し、CICS トランザクション・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHZATS

AZXA

説明: 予期しないエラーが、理由コード 5 を伴ってキャッチアップ・プログラム DFHZXCU 内に検出されました。詳細については、メッセージ DFHXG6492 の説明を参照してください。

システムの処置: コンソール・メッセージ DFHXG6492 が作成され、トランザクションの異常終了後に CICS が続行されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6492 を参照してください。

モジュール: DFHZXCU

AZXB

説明: 予期しないエラーが、理由コード 4 を伴ってキャッチアップ・プログラム DFHZXCU 内に検出されました。詳細については、メッセージ DFHXG6492 の説明を参照してください。

システムの処置: コンソール・メッセージ DFHXG6492 が作成され、トランザクションの異常終了後に CICS が続行されます。

ユーザーの処置: メッセージ DFHXG6492 を参照してください。

モジュール: DFHZXCU

第 2 章 システム異常終了コードとダンプ・コード

異常終了コードとダンプ・コードは、以下のシステム・コンポーネントおよび製品で使用されます。

- CICS システム
- IMS
- CICS 変換プログラム
- CICS システム・ダンプ・プログラム
- CICS ユーティリティー・プログラム DFHCSDUP
- 外部 CICS インターフェース
- CICS JVM インターフェース
- Language Environment®

CICS システム・ダンプ・コード

問題診断を進められるように、CICS では、CICS システム・ダンプを要求したイベントに対応するシステム・ダンプ・コードを参照します。ほとんどの場合、システム・ダンプ・コードは、DFH 接頭部を除去した DFH メッセージに対応します。

例えば、システム・ダンプ・コード DM0001 は、DFH タグが除去された状態のメッセージ DFHDM0001 に対応します。詳細については、該当する関連メッセージを参照してください。

ただし、この形式には以下のリストに示すような例外があります。

システム・ダンプ・コード
対応するメッセージまたは例外条件

ABNDU603

このシステム・ダンプ・コードは、USER 異常終了コードを参照し、メッセージ DFHSR0603 に関連しています。

ABNDU605

このシステム・ダンプ・コードは、USER 異常終了コードを参照し、メッセージ DFHSR0605 に関連しています。

APTRAPPC

このシステム・ダンプ・コードは、メッセージ DFHTR1001 に関連しています。

APTRAPUS

このシステム・ダンプ・コードは、メッセージ DFHTR1000 に関連しています。

APUSER

このシステム・ダンプ・コードは、PERFORM SNAP コマンドの実行時に CEBT トランザクションを使用して出されます。

APXRFTO

このシステム・ダンプ・コードには、関連する DFH メッセージがありません。現在活動状態の CICS システムにエラーが発生しました。現在、代替 CICS システムが制御権を持っていて、活動 CICS システムがそれ自体のダンプを作成することを要求しています。

CCVNOSP

このダンプと DFHCC0203 メッセージは、カタログ・レコードの書き込みの試行中に VSAM から「スペース不足」の応答を受け取る場合に、診断目的で提供されます。

MT0001

このシステム・ダンプ・コードには、関連する DFH メッセージがありません。ダンプが CEMT のユーザーによって要求され、PERFORM SNAP または PERFORM DUMP のいずれかを出していることを示します。

問題診断におけるダンプの使用について詳しくは、Using dumps in problem determinationを参照してください。

DHxx (IMS) 異常終了コード

プログラミング・エラーによって引き起こされた状態が IMS 高水準プログラミング・インターフェース (HLPI) で検出された場合、またはエラーを示す状況コードが DL/I から HLPI に返された場合、IMS は状況コード xx を CICS Transaction Server for z/OS® に返します。ここでは、より一般的な異常終了コードをリストします。DHxx 異常終了を構成する可能性がある xx 状況コードの完全なリストについては、IMS 製品資料内の『DL/I 状況コード』を参照してください。

DHTA

説明: タスクがプログラム仕様ブロック (PSB) スケジュール要求を出しましたが、PSB が見つかりませんでした。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコード」の DL/I 状況コード TA の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

ユーザーの処置:

モジュール:

DHTE

説明: タスクがプログラム仕様ブロック (PSB) スケジュール要求を出しましたが、PSB 初期設定エラーが発生しました。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコード」の DL/I 状況コード TE の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

DHTC

説明: タスクがプログラム仕様ブロック (PSB) スケジュール要求を出しましたが、PSB が既にスケジュールされています。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコード」の DL/I 状況コード TC の説明を参照してください。

システムの処置:

DHTG

説明: タスクが終了要求を出しましたが、プログラム仕様ブロック (PSB) がスケジュールされていないため、要求が失敗しました。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコー

ド」の DL/I 状況コード TG の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

DHTH

説明: タスクが DL/I 要求を出しましたが、プログラム仕様ブロック (PSB) がスケジュールされていないため、要求が失敗しました。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコード」の DL/I 状況コード TH の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

DHTJ

説明: タスクがプログラム仕様ブロック (PSB) スケジュール要求を出しましたが、CICS が DBCTL に接続されていないため、要求が失敗しました。

手引きについては、資料「IMS メッセージおよびコード」の DL/I 状況コード TJ の説明を参照してください。

システムの処置:

ユーザーの処置:

モジュール:

01xx (変換プログラム) 異常終了コード

0100

説明: リスト・データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CICS コマンド・レベル変換プログラムは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが指定されているときは、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: JCL が正しいかどうかを確認します。または、オープン・エラーの原因を判別します。

モジュール: DFHEAP (アセンブラ言語の場合)、DFHECP (COBOL の場合)、DFHEDP (C の場合)、DFHEPP (PL/I の場合)

システムの処置: CICS コマンド・レベル変換プログラムは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが指定されているときは、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHEAP (アセンブラ言語の場合)、DFHECP (COBOL の場合)、DFHEDP (C の場合)、DFHEPP (PL/I の場合)

0101

説明: 変換プログラムは、リカバリーすることのできないプログラム・チェックを検出しました。

02xx (DFHPD720) 異常終了コード

0211

説明: システム・ダンプ形式設定プログラムが前に出されたプログラム・チェックを処理しているときに、プログラム・チェックが発生しました。

システムの処置: システム・ダンプ形式設定プログラムは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが指定されているときは、システム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: 異常終了の前に出されるプログラム・チェックには、メッセージ DFHPD0123 が出されま

す。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHPD0680

0212

説明: システム・ダンプ形式設定プログラムの実行時に 6 番目のプログラム・チェックが起きました。

システムの処置: システム・ダンプ形式設定プログラムは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが指定されているときは、システ

ム・ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: この異常終了の前には、5 つの DFHPD0123 メッセージが出されています。これらのメッセージは、前に出された 5 つのプログラム・チェック

クに対して 1 つずつ出されます。詳細については、このメッセージの説明を参照してください。

モジュール: DFHPD0680

03xx (DFHCSDUP) 異常終了コード

0300

説明: SYSIN データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: JCL が正しいことを確認し、さらに SYSIN データ・セットが順次形式で存在していることを確認してください。必要な場合、SYSIN DD ステートメントを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

0301

説明: SYSIN データ・セットに指定した RECFM パラメーターが無効です。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セット内の RECFM パラメーターが、F または V のいずれかであることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

0302

説明: SYSIN データ・セットに指定したレコード長が無効です。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: SYSIN データ・セットに指定したレコード長が 80 以下であることを確認してください。

モジュール: DFHCSDUP

0303

説明: SYSPRINT データ・セットが正しくオープンされていません。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: SYSPRINT データ・セットが存在することを確認してください。必要な場合、SYSPRINT DD ステートメントを調べて、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

0304

説明: DFHCSDUP が、CSD レコード内で認識されていないリソース・タイプ・コードを見つけました。この認識されていないコードは、言語定義テーブル内のどの機能コードとも一致しません。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

1. 新しい CICS リリースによって CSD ファイル上に作成された定義のタイプをサポートしない CICS リリースを使用している。
2. 言語定義テーブル (DFHEITSP または DFHEITCU) が、CICS のこのリリースに対して無効である。
3. CSD マネージャー (DFHDMP) が無効な CSD レコード・バッファを DFHPUP に渡した。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: 考えられる上記理由のうち、どれがエラーの原因であるかを判別してください。理由の 1 と 2 を消去できれば、理由 3 に当てはまると仮定することができます。

次のように、確定した理由に応じた処置をとってください。

1. メッセージを無視します。
- 2.

実行中の CICS のリリースに対して、有効な DFHEITSP および DFHEITCU のバージョンがライブラリーに入っているようにします。

3.

この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0305

説明: 代替の SYSIN DCB と SYSPRINT DCB をクローズしようとしたとき (CLOSEDCB)、またはタスク・ローカル・ストレージを解放しようとしたとき (FREETS) に、予期しない戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0307

説明: 入力コマンドの印刷に失敗しました。メッセージを出すことはできないため、ユーティリティは必ず終了します。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0308

説明: TCT テーブルの移行中に、正しくないコマンド・シーケンスが見つかりました。これは次のいずれかの理由により発生する可能性があります。

•

TYPETERM が TERMINAL で始まっていない。

•

TERMINAL の後に TYPETERM がない。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: TCT テーブルを訂正して移行し、ジョブを再実行してください。

モジュール: DFHCSDUP

0309

説明: DFHCSDUP が、コマンド内で認識されていない機能コードを見つけました。これは、CICS 内部論理エラーです。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0321

説明: CSD ユーティリティ・コマンドによって呼び出されたときに、モジュール DFHCSDUP で内部エラーが起きました。

システムの処置: メッセージ DFH5100 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0322

説明: MIGRATE コマンドの処理中に、移行を指定されたテーブルをロードできませんでした。

システムの処置: メッセージ DFH5601 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメント

が提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0323

説明: コマンドの処理中に VSAM がエラーを検出しました。

システムの処置: メッセージ DFH5179 が、エラーに従って DFH5177 または DFH5178 の後に出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: 出されたメッセージの説明を確認して、エラーの原因を判別してください。

モジュール: DFHCSDUP

0325

説明: LIST コマンドが CSD ファイル上のオブジェクトをスキャンするために DFHDMP を呼び出したとき、DFHDMP 機能の実行時にエラーが起きました。

システムの処置: メッセージ DFH5180 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0326

説明: DFHCSDUP ユーティリティ・プログラムに内部論理エラーがありました。逆変換された出力バッファ内のデータが無効です。長さコードが範囲外であったり、データ・フィールドの順序に誤りがあることも考えられます。データ・フィールドの 1 つまたは複数が無効になっている場合もあります。

システムの処置: メッセージ DFH5184 が出され、CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメント

が提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0327

説明: 言語テーブル DFHEITCU をロードできませんでした。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出されたメッセージを参照してください。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0328

説明: 言語テーブル DFHEITCU をアンロードできませんでした。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP DD ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: 障害の理由を指定する、先に出されたメッセージを参照してください。この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0330

説明: 移行されるテーブルの相互参照テーブルが小さすぎます。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引き

について、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0331

説明: 言語環境準拠の HLL ユーザー出口を使用して EXTRACT コマンドを実行するために DFHCSDUP が呼び出されましたが、このユーティリティは CEE 環境を正常に初期設定できませんでした。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。レジスター 15 に初期設定の戻りコードが入っています。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

0332

説明: 言語環境準拠の HLL ユーザー出口を使用して EXTRACT コマンドを実行するために DFHCSDUP が呼び出されましたが、このユーティリティは実行中に言語環境からエラーを示す戻りコードを受け取りました。

システムの処置: CSD バッチ更新ユーティリティは異常終了します。SYSABEND または SYSUDUMP ステートメントが提供されている場合、システム・ダンプが生成されます。レジスター 15 に言語環境の戻りコードが入っています。

ユーザーの処置: この問題を解決するために IBM からさらにサポートが必要な場合は、続行する方法の手引きについて、IBM との協力による問題解決を参照してください。

モジュール: DFHCSDUP

04xx (外部 CICS インターフェース) 異常終了コード

0401

説明: 外部 CICS インターフェース (EXCI) 要求が、CALL API または EXEC API を使用して出されましたが、アプリケーションでリンク・エディットされた EXCI スタブ DFHXCSTB によって、この要求が AMODE 24 または AMODE 64 で実行されていたことが検出されました。外部 CICS インターフェースは、AMODE 31 で作成された呼び出しをサポートするだけです。

システムの処置: アプリケーションは異常終了します。

ユーザーの処置: EXCI 呼び出しが AMODE 31 で作成されるようにアプリケーションを変更するか、アプリケーション AMODE 31 を再リンク・エディットしてください。

モジュール: DFHXCSTB

0402

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が MVS ESTAE マクロを出して、リカバリ環境を確立しようとしたましたが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプおよび MVS の関連メッセージを調べ、MVS ESTAE 要求が失敗した理由を判別してください。

アプリケーションに代わって INITIALIZE_USER 要求を処理中にエラーが起きた場合、CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使用してダンプを形式設定しようとしても、出力は形式設定されません。これは、制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定でエラーが起きるのが早すぎたためです。

モジュール: DFHXCPRH

0403

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が MVS GETMAIN 要求を出して、その XCGLOBAL ブロック用のストレージを獲得しようとしたましたが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチン呼び出す異常終了コード 0403 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。

EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(XCGLOBAL_GETMAIN_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、GETMAIN が失敗した理由を示す、MVS からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(602) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、MVS GETMAIN

要求が失敗した理由を判別してください。理由がストレージの不足だった場合は、バッチ・アプリケーションの領域サイズを大きくしてください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0404

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH は、以前報告された問題に関して MVS SDUMP を作成する必要がありました。しかし、EXCI ダンプ・サービスが使用できるように設定された EXCI 初期設定で、エラーが起きるのが早すぎました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH は、ESTAE ルーチン呼び出す異常終了コード 0404 を出して MVS を異常終了させます。このルーチンから SDUMP ではなく SYSMDUMP が取られて、以前報告された問題がキャプチャーされます。

ユーザーの処置: SYSMDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0405

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、使用する CICS SVC タイプ 3 SVC の番号を判別するために、MVS に対して IEFSSREQ SSI VERIFY 要求を出しました。この SSI VERIFY 要求が失敗しました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチン呼び出す異常終了コード 0405 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(SS1_VERIFY_FAILED) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、SSI VERIFY が失敗した理由を示す、MVS からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(606) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、SSI VERIFY 要求が失敗した理由を判別してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0406

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が CICS SVC を呼び出し、EXCI 環境を初期設定しようとした。しかし、CICS SVC 呼び出しは失敗しました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチン呼び出す異常終了コード 0406 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(CICS_SVC_CALL_FAILURE) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、呼び出しが失敗した理由を示す、CICS SVC からの R15 戻りコードが入っています。EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(607) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、CICS SVC 呼び出しが失敗した理由を判別してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0407

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が CICS SVC を呼び出し、SVC が正しいレベルで外部 CICS インターフェースに使用されているかどうかを検査しました。検査は失敗し、CICS SVC が誤ったレベルで使用されていることが示されます。

システムの処置: メッセージ DFHEX0100 が出力され、モジュール DFHXCPRH が MVS 異常終了コード 0407 を出し、異常終了します。このコードは ESTAE ルーチン呼び出して環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。

EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(INCORRECT_SVC_LEVEL) を受け取ります。 EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(627) を受け取ります。

ユーザーの処置: 詳細については、メッセージ DFHEX0100 の説明を参照してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0408

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、作業ストレージの MVS GETMAIN 要求を出しましたが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチンを呼び出す異常終了コード 0408 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。 EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(WS_GETMAIN_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、GETMAIN が失敗した理由を示す、MVS からの R15 戻りコードが入っています。 EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(601) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、MVS GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。理由がストレージの不足だった場合は、バッチ・アプリケーションの領域サイズを大きくしてください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0409

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が MVS GETMAIN 要求を出して、その SSI VERIFY 要求に必要なストレージを得ようとしまし

たが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチンを呼び出す異常終了コード 0409 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。 EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(VERIFY_BLOCK_GM_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、GETMAIN が失敗した理由を示す、MVS からの R15 戻りコードが入っています。 EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(605) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、MVS GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。理由がストレージの不足だった場合は、バッチ・アプリケーションの領域サイズを大きくしてください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCPRH

0410

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCPRH が、XCUSER ブロックの MVS GETMAIN 要求を出しましたが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: モジュール DFHXCPRH が、ESTAE ルーチンを呼び出す異常終了コード 0410 を出して MVS を異常終了し、環境を整理します。制御をアプリケーションに返す前に、SYSMDUMP がとられます。 EXCI CALL API を使用するアプリケーションでは、戻り域で RESPONSE(SYSTEM_ERROR) REASON(XCUSER_GETMAIN_ERROR) を受け取ります。戻り域の subreason1 フィールドには、GETMAIN が失敗した理由を示す、MVS からの R15 戻りコードが入っています。 EXCI EXEC API を使用するアプリケーションは、RESP(LINKERR) RESP2(603) を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションあるいはダンプからの MVS R15 戻りコードを使用して、MVS GETMAIN 要求が失敗した理由を判別してください。理由がストレージの不足だった場合は、バッチ・アプリケーションの領域サイズを大きくしてください。

モジュール: DFHXCPRH

0411

説明: 外部 CICS インターフェース・ダンプ・モジュール DFHXCDMP は、MVS SDUMP を取って以前の問題をキャプチャーするために、CICS SVC を呼び出そうとしました。SVC 番号がなかったために DFHXCDMP が SVC を呼び出せませんでした。DFHXCDMP は、代わりに SYSMDUMP を取る呼び出し元の ESTAE ルーチンを呼び出すために、0411 異常終了を出しました。

システムの処置: 以前報告された問題については、SDUMP ではなく SYSMDUMP が取られます。

ユーザーの処置: 作成された SYSMDUMP を使用して、以前報告された問題を診断してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在するように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCDMP

0412

説明: 外部 CICS インターフェース・ダンプ・モジュール DFHXCEIP が EXCI EXEC API 要求を処理中に、外部 CICS インターフェースがサポートしていない機能が、渡された EXEC パラメーター・リストに含まれていることが検出されました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EXCI に渡されたパラメーター・リストを示すこのエラーは、CICS 変換プログラムによって生成されたものではありません。CICS 変換プログラムは常に使用してください。アプリケーションを訂正して、正しい EXCI EXEC API コマンドを指定してください。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場合、CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

モジュール: DFHXCEIP

0413

説明: 外部 CICS インターフェース・ダンプ・モジュール DFHXCEIP が EXCI EXEC API 要求を処理中に、戻りコードをアプリケーションに返すために使用する必須 RETCODE パラメーターを、渡された EXEC

パラメーター・リストが必要としていないことが検出されました。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場合、CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: EXCI に渡されたパラメーター・リストを示すこのエラーは、CICS 変換プログラムによって生成されたものではありません。CICS 変換プログラムは常に使用してください。RETCODE を指定するように、アプリケーションを訂正します。

モジュール: DFHXCEIP

0414

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCEIP が MVS ESTAE マクロを出して、リカバリ環境を確立しようとしたましたが、ゼロ以外の戻りコードが MVS から返されました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: ダンプおよび MVS の関連メッセージを調べ、MVS ESTAE 要求が失敗した理由を判別してください。

今回の要求が、この TCB に対する最初の EXCI 要求だった場合、CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使用して、作成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。

モジュール: DFHXCEIP

0415

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCEIP が、EXCI ダンプ・サービスが使用可能になる前に、EXCI 初期設定の早期にエラーを検出しました。DFHXCEIP は異常終了 0415 を行い、ESTAE ルーチンが呼び出され、エラーを獲得する代りにそこから SYSMDUMP がとられるようにします。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SYSMDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

CICS IPCS ダンプ・フォーマッターを使って、生成された SYSMDUMP を形式設定しようとしても、ジョブの出力は形式設定されません。制御ブロックが存在する

ように設定された EXCI 初期設定で、エラーが早期に起こったためです。

モジュール: DFHXCEIP

0416

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCEIP が、チャンネルおよびコンテナのコマンドを処理する際に、DFHXCBAから予期しない戻りコードを受け取りました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SYSMDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHXCEIP

0417

説明: チャンネルに割り振られたストレージ合計が MEMLIMIT の 5% を超えるために、外部 CICS インターフェースがコンテナへのデータの保管を拒否しました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: PROGRAM のストレージ要件を確認します。データのボリュームが正しい場合は、チャンネルから不要なコンテナを削除するか、または

MEMLIMIT を増やしてプログラムが利用可能ストレージの 5% を超えるストレージを使用しないようにします。

モジュール: DFHXCBA

0418

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCBA が、チャンネルおよびコンテナのコマンドを処理する際に PURGED 応答を受け取りました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SYSMDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHXCBA

0419

説明: 外部 CICS インターフェース・モジュール DFHXCBA が、チャンネルおよびコンテナのコマンドを処理する際に、DISASTER 応答を受け取りました。

システムの処置: アプリケーションは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの処置: SYSMDUMP を調べ、以前報告された問題の原因を判別してください。

モジュール: DFHXCBA

4xxx LE/370 異常終了コード

4000 から 4095 の範囲の異常終了コードは、CICS で実行されている LE 使用可能アプリケーションに対して LE/370 ランタイム・ライブラリー・モジュールから出されます。

LE/370 は、リカバリー不能エラーを検出すると、トランザクションを終了し、EXEC CICS 異常終了を出します。異常終了コードの番号は、4000 から 4095 です。CEE1000S メッセージをシステム・コンソールに書き込むために、オペレーター宛メッセージ (WTO) が実行されます。このメッセージには、異常終了コードと異常終了に関連した理由コードが入っています。

これらの異常終了の一部は、システムがストレス下であり、LE/370 が前の異常終了または障害を報告するのに必要なリソースを獲得できない場合に発生する可能性があります。この場合、通常、システムがストレス下にあることを示す他の症状 (例えば、ストレージ不足メッセージや AEXY または AKC3 異常終了での他のトランザクションの除去など) があり、トランザクション・ダンプを調べることで、元の異常終了を特定できるはずです。

LE/370 異常終了コードおよびランタイム・メッセージについては、「z/OS Language Environment ランタイム・メッセージ」の『Language Environment 異常終了コード』で説明しています。

CICSplex SM 異常終了コードおよびダンプ・コード

異常条件が発生すると、CICSplex® SM は、規則に従ってリカバリーして通常の処理を続行しようとします。ときどき、そのようなりカバリーを妨げたり不可能にしたりする状態が発生し、タスク、コンポーネント、またはシステムが終了することがあります。この状態では、異常終了コードまたはダンプ・コードが出されます。

CICS 異常終了コードとダンプ・コード

異常終了コードまたはダンプ・コードに対処するために IBM に連絡する必要がある場合は、できるだけ多くの診断情報を収集してください。

IBM サポートが問題を診断するために必要な診断情報を以下に示します。

- MAS からのジョブ・ログ。
- MAS が接続されていた、あるいは接続を試行していた CMAS からの EYULOG。
- MAS からの CICS TRANDUMP データ・セット。CICS DFHDUP ユーティリティーを使用して、ダンプ・データ・セットをフォーマット設定します。
- MAS からの CICS AUXTRACE データ・セット (使用可能な場合)。Using trace in CICSplex SMの説明に従って、EYU9XZUT トレース・フォーマット設定ユーティリティーを使用して、データ・セットをフォーマット設定します。また、不定形式のトレース・データ・セットのコピーを保持してください。

EYUI

説明: 初期設定中にリカバリー不能エラーが発生しました。

システムの処置: MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってから、MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV

EYUK

説明: MAS の初期設定中にリカバリー不能異常終了が発生したか、異常終了からリカバリーしようとしているときに適切な環境が存在しませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

システムの処置: この異常終了が初期設定中に発生した

場合、MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってから、必要に応じて MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUO

説明: CMAS または MAS の環境作成ルーチンの無効な呼び出しが行われました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスではありませんでした。

システムの処置: CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- サイト作成プログラムが CICSplex SM 環境作成を呼び出そうとしていない。
- ユーザーが端末または EXEC CICS START を使用して CICSplex SM TRANIDS を直接使用しようとしていない。

上記のいずれの条件にも当てはまらない場合は、指定された診断情報を収集し、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLOP

EYUR

説明: 異常終了からのリカバリーの試行中に、エラーが発生しました。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。CICS システムは引き続き正常に実行されますが、CICSplex SM に認識されない可能性があります。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってから、必要に応じて MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUV

説明: CMAS または MAS の Web ユーザー・インターフェース環境作成ルーチンの無効な呼び出しが行われました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスでありませんでした。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。トランザクション・ダンプが取られます。CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- サイト作成プログラムが CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース環境作成を呼び出そうとしていない。
- ユーザーが端末または EXEC CICS START を使用して CICSplex SM TRANIDS を直接使用しようとしていない。

上記の条件のいずれにも当てはまらない場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU0VGIN

EYUX

説明: リモート MAS で例外条件が検出されましたが、その時点では完全な CICSplex SM 例外トレースを書き込むことができませんでした。この状態は、必ずしもアプリケーションの障害とは限らず、例外条件 (通常、通信の問題の結果) を報告するものです。通信例外

は、接続された CMAS に送信できません。

システムの処置: 例外を文書化するために、トランザクション・ダンプが作成されます。タスクの実行は続行し、例外条件に対して適切なアクションが実行されます。

ユーザーの処置: MAS および CMAS ジョブ・ログで、問題を示している可能性があるメッセージ (特に、通信ネットワークに関連したもの) を調べます。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV、EYU9XLOP

EYUY

説明: CMAS 間の接続が異常終了しました。接続の受信タスク・コンポーネントができる限りクリーンに終了しようとしたましたが、まだネットワーク受信状態であることを検出しました。このため、この送信状態の明らかな矛盾を示すトランザクションの異常終了を CICS が追加で生成しないと、このコンポーネントを終了できません。しかし、報告された接続障害のため、このネットワーク状態をリセットできません。この異常終了は、該当するネットワーク状態エラーに関連した通常の CICS 異常終了コードを先取りするために出されます。

システムの処置: この時点で、CPI-C または MRO 受信タスクがこの異常終了とともに完全に終了します。接続のすべてのタスク・コンポーネントが終了すると、接続ペアの最初の送信元である CMAS が接続の再確立を試行する必要があります。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ・ログ、EYULOG、および CICS メッセージ・ログで以前の障害またはエラー状態を確認し、該当するメッセージのユーザー応答に従ってください。

モジュール:

EYU0CLCT、EYU0CLCU、EYU0CLMT、EYU0CLMU

EYUI

説明: 初期設定中にリカバリー不能エラーが発生しました。

システムの処置: MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに

関連付けられている指示に従ってから、MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV

EYUK

説明: MAS の初期設定中にリカバリー不能異常終了が発生したか、異常終了からリカバリーしようとしているときに適切な環境が存在しませんでした。

システムの処置: MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: この異常終了が初期設定中に発生した場合、MAS の初期設定が終了します。CICS システムは、正常に実行を続けますが、CICSplex SM に認識されていません。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってから、必要に応じて MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUO

説明: CMAS または MAS の環境作成ルーチンの無効な呼び出しが行われました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスではありませんでした。

システムの処置: CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- サイト作成プログラムが CICSplex SM 環境作成を呼び出そうとしていない。
- ユーザーが端末または EXEC CICS START を使用して CICSplex SM TRANIDS を直接使用しようとしていない。

上記のいずれの条件にも当てはまらない場合は、指定された診断情報を収集し、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XL0P

EYUR

説明: 異常終了からのリカバリーの試行中に、エラーが発生しました。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。CICS システムは引き続き正常に実行されますが、CICSplex SM に認識されない可能性があります。

ユーザーの処置: 問題を示している可能性があるメッセージの MAS ジョブ・ログを調べてください。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってから、必要に応じて MAS を再始動してください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLRV

EYUV

説明: CMAS または MAS の Web ユーザー・インターフェース環境作成ルーチンの無効な呼び出しが行われました。呼び出しプロセスが CICSplex SM サービスではありませんでした。

システムの処置: 失敗したタスクは終了します。トランザクション・ダンプが取られます。CICS システム処理は続行されます。

ユーザーの処置: 以下の点を確認してください。

- サイト作成プログラムが CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース環境作成を呼び出そうとしていない。
- ユーザーが端末または EXEC CICS START を使用して CICSplex SM TRANIDS を直接使用しようとしていない。

上記の条件のいずれにも当てはまらない場合は、IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU0VGIN

EYUX

説明: リモート MAS で例外条件が検出されましたが、その時点では完全な CICSplex SM 例外トレースを書き込むことができませんでした。この状態は、必ずしもアプリケーションの障害とは限らず、例外条件 (通常、通信の問題の結果) を報告するものです。通信例外は、接続された CMAS に送信できません。

システムの処置: 例外を文書化するために、トランザクション・ダンプが作成されます。タスクの実行は続行し、例外条件に対して適切なアクションが実行されます。

ユーザーの処置: MAS および CMAS ジョブ・ログで、問題を示している可能性があるメッセージ (特に、通信ネットワークに関連したもの) を調べます。そのようなメッセージが存在している場合は、そのメッセージに関連付けられている指示に従ってください。何もメッセージがない場合や適切なアクションが示されていない場合は、指定された診断情報を収集して IBM サポート・センターに連絡してください。

モジュール: EYU9XLEV、EYU9XLOP

EYUY

説明: CMAS 間の接続が異常終了しました。接続の受信タスク・コンポーネントができる限りクリーンに終了しようとしたのですが、まだネットワーク受信状態であることを検出しました。このため、この送信状態の明らかな矛盾を示すトランザクションの異常終了を CICS が追加で生成しないと、このコンポーネントを終了できません

Uxxxx 異常終了コード

Uxxxx 異常終了コードのいずれかが発生した場合の対応として、できる限り多くの診断情報を収集してから、IBM サポートに連絡してください。

使用可能な診断情報のリストについては、274 ページの『CICS 異常終了コードとダンプ・コード』を参照してください。

U100

説明: ISPF インターフェース障害が発生しました。

U1600

説明: PC が使用不可のサービスに対する呼び出しをしました。

U1700 through U1798

説明: リカバリー・マネージャーが異常終了します。

U1799

説明: 発生してはならない状態が発生しました。

U1800

説明: C ハウスキーピング障害が発生したことを示します。

U1801

説明: GSI ハウスキーピングで障害が発生しました。

ん。しかし、報告された接続障害のため、このネットワーク状態をリセットできません。この異常終了は、該当するネットワーク状態エラーに関連した通常の CICS 異常終了コードを先取りするために出されます。

システムの処置: この時点で、CPI-C または MRO 受信タスクがこの異常終了とともに完全に終了します。接続のすべてのタスク・コンポーネントが終了すると、接続ペアの最初の送信元である CMAS が接続の再確立を試行する必要があります。

ユーザーの処置: CMAS ジョブ・ログ、EYULOG、および CICS メッセージ・ログで以前の障害またはエラー状態を確認し、該当するメッセージのユーザー応答に従ってください。

モジュール:

EYU0CLCT、EYU0CLCU、EYU0CLMT、EYU0CLMU

U1802

説明: GSI ルーター・ハウスキーピングで障害が発生しました。

U1803

説明: トランザクション・マネージャー・ハウスキーピング障害が発生しました。

U1804

説明: SAS/C 常駐モジュールで障害が発生しました。

U1899

説明: システム環境条件のため、DYNAEC EPD で障害が発生しました。

U1900

説明: ストレージ・マネージャーで障害が発生しました。

U3000

説明: 組み込みのサービス機能ルーチンでエラーが発生しました。

U4000

説明: 疑似 GSI サービス障害が発生したことを示します。

U4080

説明: リカバリー不能な制御タスク・エラーが発生しました。

U4090

説明: サーバーまたはアプリケーションの初期設定エラーが発生しました。

U4095

説明: タスクが PGTERM によって終了されました。

U100

説明: ISPF インターフェース障害が発生しました。

U1600

説明: PC が使用不可のサービスに対する呼び出しを出しました。

U1700 through U1798

説明: リカバリー・マネージャーが異常終了します。

U1799

説明: 発生してはならない状態が発生しました。

U1800

説明: C ハウスキーピング障害が発生したことを示します。

U1801

説明: GSI ハウスキーピングで障害が発生しました。

U1802

説明: GSI ルーター・ハウスキーピングで障害が発生しました。

U1803

説明: トランザクション・マネージャー・ハウスキーピング障害が発生しました。

U1804

説明: SAS/C 常駐モジュールで障害が発生しました。

U1899

説明: システム環境条件のため、DYNAEC EPD で障害が発生しました。

U1900

説明: ストレージ・マネージャーで障害が発生しました。

U3000

説明: 組み込みのサービス機能ルーチンでエラーが発生しました。

U4000

説明: 疑似 GSI サービス障害が発生したことを示します。

U4080

説明: リカバリー不能な制御タスク・エラーが発生しました。

U4090

説明: サーバーまたはアプリケーションの初期設定エラーが発生しました。

U4095

説明: タスクが PGTERM によって終了されました。

システム・ダンプ・コード

これらのダンプ・コードのいずれかが発生した場合の対応として、以下の診断情報を収集し、IBM サポート・センターに連絡してください。

- CMAS からのジョブ・ログおよび EYULOG。

- 不定形式 SVC ダンプ (SDUMP)。IPCS を利用してください。
- CMAS からの CICS AUXTRACE データ・セット。EYU9XZUT トレース・フォーマット設定ユーティリティを使用して、データ・セットをフォーマット設定します。また、不定形式のトレース・データ・セットのコピーを保持してください。

EYUXL001

説明: 初期設定プロセスが失敗しました。

システムの処置: 初期設定が終了します。

モジュール: EYU9XLEV

EYUXL001

説明: 初期設定プロセスが失敗しました。

システムの処置: 初期設定が終了します。

モジュール: EYU9XLEV

EYUXL002

説明: 初期設定中にリカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: 初期設定が終了します。

モジュール: EYU9XLRV

EYUXL002

説明: 初期設定中にリカバリー・ルーチンに入りました。

システムの処置: 初期設定が終了します。

モジュール: EYU9XLRV

EYUXL003

説明: リカバリー・ルーチンに入りましたが、異常終了から正常にリカバリーできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

モジュール: EYU9XLRV

EYUXL003

説明: リカバリー・ルーチンに入りましたが、異常終了から正常にリカバリーできませんでした。

システムの処置: 処理は終了します。

モジュール: EYU9XLRV

CICSplex SM 異常終了コードおよびダンプ・コード

異常条件が発生すると、CICSplex SM は、規則に従ってリカバリーして通常の処理を続行しようとします。ときどき、そのようなリカバリーを妨げたり不可能にしたりする状態が発生し、タスク、コンポーネント、またはシステムが終了することがあります。この状態では、異常終了コードまたはダンプ・コードが出されます。

CICS 異常終了コードとダンプ・コード

異常終了コードまたはダンプ・コードに対処するために IBM に連絡する必要がある場合は、できるだけ多くの診断情報を収集してください。

IBM サポートが問題を診断するために必要な診断情報を以下に示します。

- MAS からのジョブ・ログ。
- MAS が接続されていた、あるいは接続を試行していた CMAS からの EYULOG。
- MAS からの CICS TRANDUMP データ・セット。CICS DFHDUP ユーティリティを使用して、ダンプ・データ・セットをフォーマット設定します。
- MAS からの CICS AUXTRACE データ・セット (使用可能な場合)。Using trace in CICSplex SMの説明に従って、EYU9XZUT トレース・フォーマット設定ユーティリティを使用して、データ・セットをフォーマット設定します。また、不定形式のトレース・データ・セットのコピーを保持してください。

Uxxxx 異常終了コード

Uxxxx 異常終了コードのいずれかが発生した場合の対応として、できる限り多くの診断情報を収集してから、IBM サポートに連絡してください。

使用可能な診断情報のリストについては、274 ページの『CICS 異常終了コードとダンプ・コード』を参照してください。

システム・ダンプ・コード

これらのダンプ・コードのいずれかが発生した場合の対応として、以下の診断情報を収集し、IBM サポート・センターに連絡してください。

- CMAS からのジョブ・ログおよび EYULOG。
- 不定形式 SVC ダンプ (SDUMP)。IPCS を利用してください。
- CMAS からの CICS AUXTRACE データ・セット。EYU9XZUT トレース・フォーマット設定ユーティリティーを使用して、データ・セットをフォーマット設定します。また、不定形式のトレース・データ・セットのコピーを保持してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- システム・プログラムの開発
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- トラブルシューティングおよびサポート
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java™ Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（メイン・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（データ・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（「Hello World」ページ）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

